

# ソリッドステート メモリーカムコーダー

## PXW-X200

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の  
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読み  
のうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあと  
は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

**XDCAM**

**MPEG HD422**

**SXS**

**Exmor**

**HDMI**



**XAVC**

# 目次

---

## 概要

各部の名称 .....	8
本体 .....	8
赤外線リモートコマンダー（付属） .....	13
画面表示 .....	14
ダイレクトメニュー操作 .....	16

---

## 準備

電源 .....	18
バッテリーパックを使う .....	18
AC 電源を使う（DC IN 電源） .....	19
電源を入れる / 切る .....	19
時計を合わせる .....	20
LCD モニターとビューファインダーを調整する .....	20
LCD モニターを調整する .....	20
ビューファインダーを調整する .....	20
赤外線リモコンを使う .....	21
SxS メモリーカードを使う .....	22
SxS メモリーカードについて .....	22
SxS メモリーカードを入れる / 取り出す .....	23
使用する SxS メモリーカードを切り換える .....	23
SxS メモリーカードをフォーマット（初期化）する .....	23
残りの記録可能時間を確認する .....	24
SxS メモリーカードを修復する .....	24
他のメディアを使う .....	25
XQD メモリーカード .....	25
SD カード .....	26
USB メモリー .....	27

---

## 撮影

基本操作手順 .....	29
基本設定を変更する .....	32
ビデオフォーマット .....	32
ND フィルター .....	32
ホワイトバランス .....	32
マーカー / ゼブラパターン .....	34

ゲイン .....	35
電子シャッター .....	35
アイリス .....	36
ズーム .....	36
フォーカス .....	37
手ぶれ補正 .....	38
フリッカー .....	38
タイムデータ .....	38
<b>音声を記録する .....</b>	<b>39</b>
内蔵ステレオマイクを使う .....	39
外部入力を使う .....	39
外部マイクを使う .....	39
録音レベルを調整する .....	40
音声をモニターする .....	41
<b>便利な機能を使う .....</b>	<b>41</b>
カラーバー / 基準音声信号 .....	41
ショットマーク .....	41
OK/NG/KP フラグ (UDF、exFAT) .....	42
OK マーク (FAT/HD モードのみ) .....	42
レックレビュー .....	43
アサインابلボタン .....	43
インターバルレック .....	43
フレームレック : コマ撮りする .....	44
クリップコンティニユアスレック (UDF、exFAT) .....	45
ピクチャーキャッシュレック : さかのぼって記録する .....	46
スロー&クイックモーション .....	47
2 スロット同時記録 .....	48
フリーズミックス : 位置を合わせる .....	48
フランジバックの自動調整 .....	49
ピクチャープロファイル .....	49
クリップの削除 .....	57
設定データの保存と呼び出し .....	57
プランニングメタデータ .....	60
測位情報の取得 (GPS) .....	63
<b>プロキシー記録をする .....</b>	<b>64</b>
本機で使用可能な SD カード .....	64
SD カードをフォーマット (初期化) する .....	64
残容量を確認する .....	64
プロキシー記録する .....	64
プロキシーファイルの自動転送について .....	65
プロキシー記録時の設定を変更する .....	65
記録されるファイルについて .....	65
ファイルの保存先について .....	65
ファイル名について .....	65
プロキシーファイルの静止画記録 .....	66

<b>デバイスとワイヤレス LAN 接続する .....</b>	<b>66</b>
ワイヤレス LAN モジュール (IFU-WLM3) を取り付ける .....	67
ワイヤレス LAN モジュール (CBK-WA02) を取り付ける .....	67
ワイヤレス LAN アクセスポイントモード (Access Point モード) で接続する .....	68
ワイヤレス LAN ステーションモード (Station モード) で接続する .....	70
<b>インターネット接続する .....</b>	<b>71</b>
モデムを使用して接続する .....	71
ワイヤレス LAN ステーションモード (Wi-Fi Station モード) で接続する .....	72
LAN ケーブルを使用して接続する .....	74
ネットワーク接続による対応機能一覧 .....	75
ネットワーク接続に必要な機器 .....	76
<b>ファイルを転送する .....</b>	<b>77</b>
準備する .....	77
ファイルを選んで転送する .....	77
<b>映像・音声をストリーミング伝送する .....</b>	<b>79</b>
準備する .....	79
ストリーミングを開始する .....	80
ストリーミングを停止する .....	81
ネットワーククライアントモードについて .....	81
<b>Wi-Fi リモコンを使用する .....</b>	<b>84</b>
<b>Web メニューについて .....</b>	<b>85</b>
ストリーミングフォーマット設定「Streaming Format」 .....	86
モニタリング設定 .....	86
ストリーミング設定 .....	87
プロキシフォーマット設定「Proxy Format」 .....	88
ワイヤレス LAN 設定「Station Settings」 .....	89
有線 LAN 設定「Wired LAN Settings」 .....	90
転送設定「Upload Settings」 .....	91
記録終了時に自動的にファイル転送を開始する .....	92
ファイル転送を再開する (リジューム機能) .....	92
ファイル転送の確認をする「Job List」 .....	92
エラー / 警告表示 .....	93

---

## 再生

<b>サムネイル画面 .....</b>	<b>94</b>
サムネイル画面の構成 .....	94
サムネイル画面の種類を変更する .....	95
<b>クリップの再生 .....</b>	<b>96</b>
選択したクリップ以降のクリップを連続再生する .....	96
音声を聞く .....	97
頭出しする .....	97



再生中にショットマークを追加する（UDF、exFAT または FAT/HD モード） .....	97
<b>クリップ操作 .....</b>	<b>98</b>
クリップ操作メニュー構成 .....	98
クリップ操作メニューの基本操作 .....	98
クリップの詳細情報を表示する .....	100
フラグを付ける / フラグを削除する（UDF、exFAT） .....	101
OK マークを付ける / OK マークを削除する （FAT/HD モードのみ） .....	101
クリップをコピーする .....	101
クリップを削除する .....	102
クリップエクスパンド画面を表示する .....	102
ショットマーク画面を表示する （UDF、exFAT、FAT/HD モード） .....	103
ショットマークを追加・削除する （UDF、exFAT または FAT/HD モード） .....	104
クリップの代表画を変更する （UDF、exFAT、FAT/HD モード） .....	105
クリップを分割する（FAT/HD モードのみ） .....	105
<b>ステータス画面を表示する .....</b>	<b>105</b>
カメラステータス画面 .....	105
オーディオステータス画面 .....	106
ビデオステータス画面 .....	107
ボタン / リモートステータス画面 .....	107
バッテリー / メディアステータス画面 .....	107
GPS ステータス画面 .....	108
RECENT FILES ステータス画面 .....	108

---

## メニュー表示と詳細設定

<b>セットアップメニューの構成と階層 .....</b>	<b>109</b>
セットアップメニューの階層 .....	109
<b>セットアップメニューの基本操作 .....</b>	<b>111</b>
<b>セットアップメニュー一覧 .....</b>	<b>114</b>
USER メニュー .....	114
USER MENU CUSTOMIZE メニュー .....	114
CAMERA SET メニュー .....	117
AUDIO SET メニュー .....	125
VIDEO SET メニュー .....	127
LCD/VF SET メニュー .....	129
TC/UB SET メニュー .....	133
NETWORK SET メニュー .....	135
OTHERS メニュー .....	140

---

## 外部機器を接続する

外部モニターや記録装置を接続する .....	150
コンピューターでクリップを管理・編集する .....	152
i.LINK で接続する (FAT のみ) .....	154
本機の画像を外部機器で記録する .....	154
ノンリニア編集する .....	154
外部入力信号を記録する .....	155
外部同期 .....	156

---

## 付録

使用上のご注意 .....	159
ビデオフォーマット (Format) .....	163
UDF/HD モード .....	163
UDF/SD モード .....	163
exFAT/HD モード .....	164
exFAT/SD モード .....	164
FAT/HD モード .....	165
FAT/SD モード .....	165
出力のフォーマットと制限 .....	166
ビデオフォーマットと出力信号 .....	166
入出力制限 .....	174
ビデオフォーマットと記録機能 .....	175
バックアップ電池の交換 .....	181
トラブル時の対処 .....	182
電源 .....	182
記録・再生 .....	182
外部機器 .....	183
ワイヤレス LAN 使用時 .....	183
インターネット接続 .....	183
Wired LAN 接続 .....	183
エラー / 警告表示 .....	184
エラー表示 .....	184
警告表示 .....	184
ライセンスについて .....	189
MPEG-4 AVC Patent Portfolio License について .....	189
ビットマップフォントについて .....	189
END USER LICENSE AGREEMENT .....	189
jQuery, Sizzle.js, Jansson について .....	195
OpenSSL について .....	195
保証書とアフターサービス .....	198
保証書 .....	198

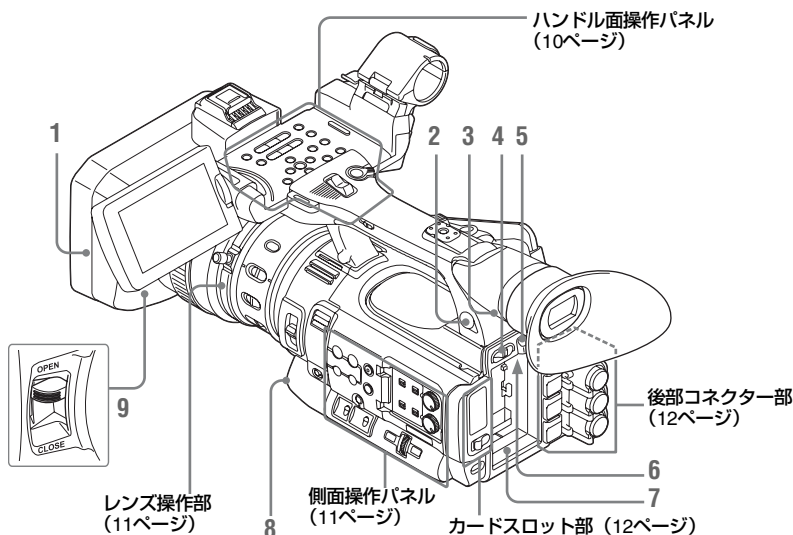
アフターサービス .....	198
<b>主な仕様 .....</b>	<b>198</b>
一般仕様 .....	198
レンズ .....	201
カメラ部 .....	201
入出力 .....	201
表示部 .....	202
内蔵マイク .....	202
メディアスロット部 .....	202
付属品 .....	202
別売りアクセサリ .....	203
商標について .....	203
<b>索引 .....</b>	<b>205</b>

## 概要

# 各部の名称

◆それぞれの機能・使いかたについて詳しくは、( ) 内のページをご覧ください。

## 本体



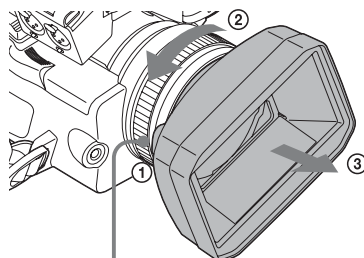
### 1. レンズフード

#### 取り付け

本体とフードの印を合わせてフードを差し込み、本機を正面から見て時計回り（下図②と反対方向）にロックされるまで回してください。

#### 取りはずす

①PUSH（レンズフード取り外し）ボタンを押し、②矢印の方向に回して、③取りはずします。



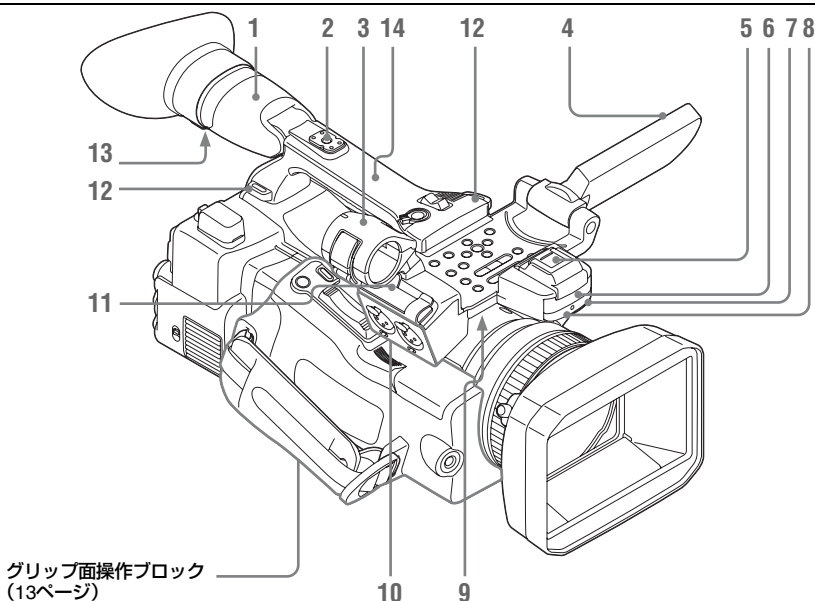
PUSH（レンズフード取り外し）  
ボタン

2. ヘッドホン端子（ステレオミニジャック）  
(41ページ)
3. 後部赤外線リモコン受光部
4. 電源スイッチ (19ページ)
5. BATT RELEASE（バッテリー取り出し）  
ボタン (18ページ)
6. DC IN（DC電源入力）端子 (19ページ)

7. バッテリーパック装着部 (18ページ)

9. レンズキャップ開閉レバー (29ページ)

8. WHITE BAL (ホワイトバランス自動調整) ボタン (34ページ)

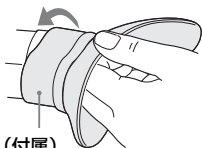


グリップ面操作ブロック  
(13ページ)

1. ビューファインダー (20ページ)

大型アイカップ取り付け方法

大型アイカップを少し伸ばしてビューファインダーにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込んでください。



大型アイカップ (付属)

2. 後部アクセサリースュー (10ページ)

3. 外部マイク取り付け部 (40ページ)

4. LCDモニター (20ページ)

5. 前部アクセサリースュー

カバーが装着してあります。マルチインターフェースシュー対応アクセサリを装着することができます。

**ni** Multi  
Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリについて詳しくは販売店にお問い合わせください。

6. 内蔵ステレオマイク (39ページ)

7. REC/TALLY (記録/タリー) ランプ

8. 前部赤外線リモコン受光部

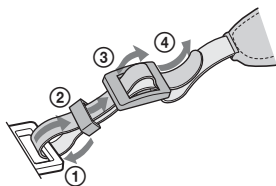
9. 内蔵スピーカー (97ページ)

10. AUDIO IN CH-1/CH-2 (オーディオ入力チャンネル1/チャンネル2) 端子 (XLR) と入力切り換え (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ (39ページ)

11. マイクケーブルホルダー (40ページ)

12. ショルダーベルト取り付け部

付属のショルダーベルトを図のように取り付けます。



### 13. ビューファインダー視度調整つまみ (21 ページ)

### 14. GPSモジュール

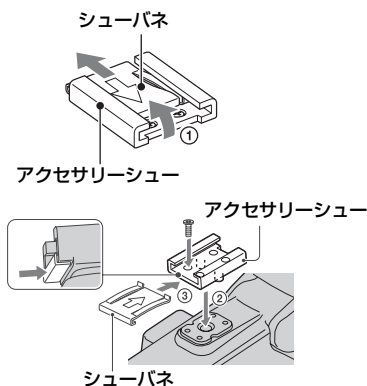
この部分にGPSモジュールが内蔵されています。

#### ご注意

GPS機能使用中に、この部分を握ると、測位精度に影響をおよぼすことがあります。

### アクセサリシューを取り付ける

アクセサリシュー取り付け部に図のように取り付けてください。

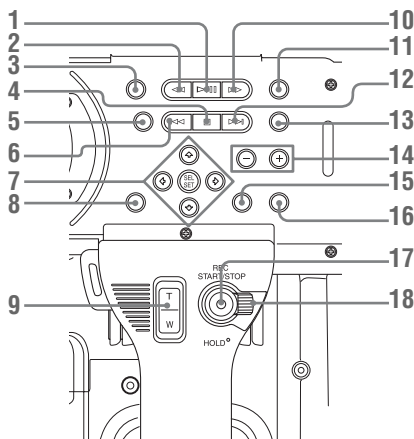


- 1 シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- 2 アクセサリシューの凸部とアクセサリシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- 3 シューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリシューの端部にはまるように取り付ける。

### アクセサリシューを取り外す

「アクセサリシューを取り付ける」の手順1と同様にシューバネを外し、ネジを緩めてアクセサリシューを外す。

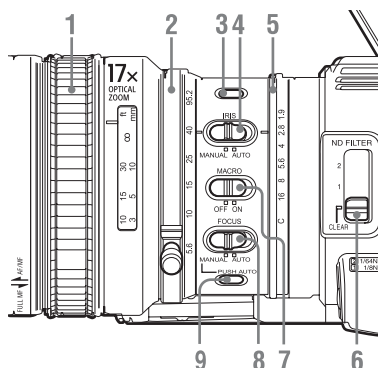
## ハンドル面操作パネル



1. **PLAY/PAUSE** (再生/一時停止) ボタン (96ページ)
2. **F REV** (逆高速再生) ボタン (97ページ)
3. **THUMBAIL** (サムネイル表示) ボタン (94ページ)
4. **STOP/CAM** (停止) ボタン (94ページ)
5. **STATUS** (ステータス表示切り換え) ボタン (105ページ)
6. **PREV** (逆方向クリップジャンプ) ボタン (97ページ)
7. **上/下/左/右ボタン、SEL/SET** (選択/確定) ボタン (111ページ)
8. **MENU** (メニュー表示ON/OFF) ボタン (111ページ)
9. **ハンドルZOOM** (ズーム) ボタン (37ページ)
10. **F FWD** (高速再生) ボタン (97ページ)
11. **LCD BRIGHT** (LCDモニター明るさ調整) ボタン (20ページ)
12. **NEXT** (順方向クリップジャンプ) ボタン (97ページ)
13. **DISPLAY** (画面表示) ボタン (14ページ)
14. **VOLUME** (モニター音量調節) ボタン (41ページ)
15. **CANCEL** (キャンセル) ボタン

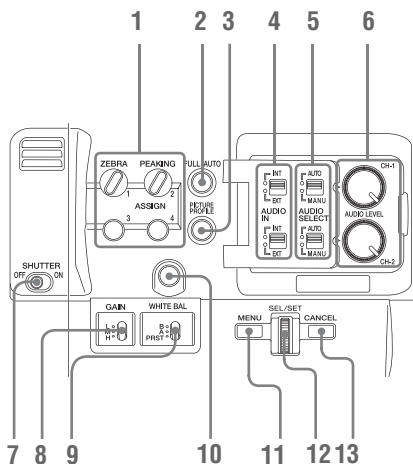
16. DURATION/TC/U-BIT (タイムデータ切り換え) ボタン (39ページ)
17. REC START/STOP (記録開始 / 記録停止) ボタン (30ページ)
18. REC HOLD (記録ホールド) レバー (30ページ)

## レンズ操作部



1. フォーカスリング (37ページ)
2. ズームリング (36ページ)
3. STEADY SHOT (手ぶれ補正) ボタン (38ページ)
4. IRIS (アイリス調整モード選択) スイッチ (36ページ)
5. アイリスリング (36ページ)
6. ND FILTER (NDフィルター切り換え) スイッチ (32ページ)
7. MACRO (マクロ) スイッチ (38ページ)
8. FOCUS (フォーカス調整モード) スイッチ (37ページ)
9. PUSH AUTO (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン (38ページ)

## 側面操作パネル



1. ASSIGN 1/2/3/4 (アサインابل1/2/3/4) ボタン (43ページ)  
工場出荷時はASSIGN 1にZebra, ASSIGN 2にPeakingがそれぞれ割り当てられています。
2. FULL AUTO (フルオートモード) ボタンとインジケータ (29ページ)
3. PICTURE PROFILE (ピクチャプロファイル) ボタン (50ページ)
4. AUDIO IN (音声入力切り換え) スイッチ (39ページ)
5. AUDIO SELECT (音声レベル調整モード切り換え) スイッチ (40ページ)
6. AUDIO LEVEL CH-1/CH-2 (オーディオレベルCH-1/CH-2) 調整つまみ (41ページ)
7. SHUTTER (シャッター) スイッチ (35ページ)
8. GAIN (ゲイン) スイッチ (35ページ)
9. WHITE BAL (ホワイトバランスメモリー切り換え) スイッチ (33ページ)
10. ASSIGN 5 (アサインابل5) ボタン (43ページ)
11. MENU (メニュー表示ON/OFF) ボタン (111ページ)

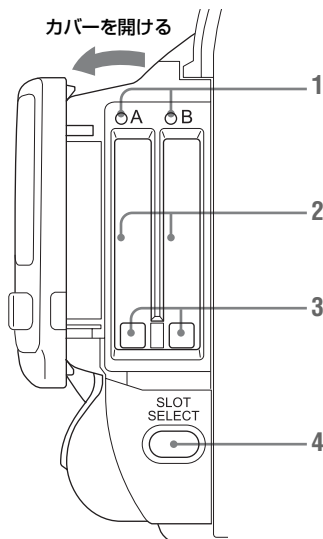
## 12. SEL/SETダイヤル（ジョグダイヤル） （111ページ）

上下に回すか、水平方向に押して使用します。本書では「ジョグダイヤル」と記載します。

## 13. CANCEL（キャンセル）ボタン

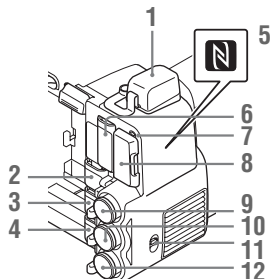
### カードスロット部

SxSメモリーカードスロットおよびEJECTボタンはカバー内にあります。



1. ACCESS（アクセス）ランプ（23ページ）
2. SxSメモリーカードスロット（23ページ）
3. EJECT（SxSメモリーカード取り出し）ボタン（23ページ）
4. SLOT SELECT（SxSメモリーカード選択）ボタン（23ページ）

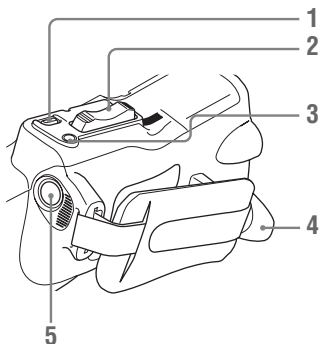
### 後面コネクタ部



1. 外部機器接続端子（27ページ、67ページ）
2. PC接続端子（152ページ）
3. i.LINK（HDV/DV）端子（4ピン、IEEE1394準拠S400）（151ページ）
4. A/V OUT（オーディオ/ビデオマルチ出力）端子（151ページ）
5. N(Nマーク)
  - NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
  - NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。
6. HDMI OUT端子（150ページ）
7. SDカードACCESS(アクセス)ランプ  
SDカードアクセス中に赤色で点灯します。
8. プロキシ記録用SDカードスロット（64ページ）
9. SDI OUT（シリアルデジタル出力）端子（BNC型）（150ページ）
10. TC IN（タイムコード入力）/TC OUT（タイムコード出力）端子（BNC型）（157ページ）
11. IN/OUT（入出力切り換え）スイッチ（158ページ）  
IN側にするとTC INとGENLOCK INが、OUT側にするとTC OUTとVIDEO OUTがそれぞれ選択されます。
12. GENLOCK IN（ゲンロック入力）/VIDEO OUT（アナログビデオ出力）端子（BNC型）（150、157ページ）

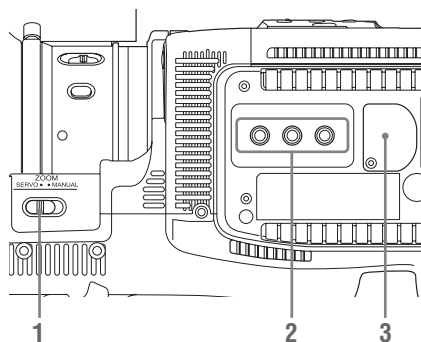


## グリップ面操作ブロック



1. REC REVIEW (レックレビュー) ボタン (30ページ)
2. 電動ズームレバー (37ページ)
3. FOCUS MAGボタン (37ページ)
4. LENS REMOTE (レンズコントロールリモコン) 端子 (37ページ)
5. REC START (記録開始/記録停止) ボタン (30ページ)

## 底面



1. ZOOM (ズームモード切り換え) スイッチ (36ページ)

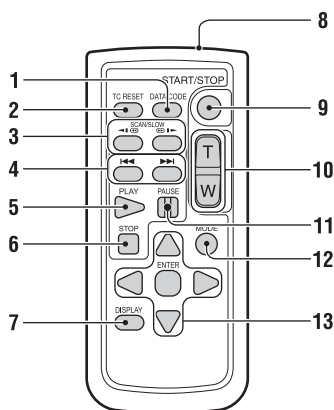
## 2. 三脚用ネジ穴

### ご注意

穴の径が、雲台のネジの径と合うことを確認してください。ネジの径と合わない、本機が落下したり転倒したりして、けがの原因となることがあります。

## 3. バックアップ電池取り付け部 (181ページ)

## 赤外線リモートコマンダー (付属)



### 1. DATA CODEボタン

本機に対応していない機能のため、使用しません。

### 2. TC RESET (タイムコードリセット) ボタン

### 3. SCAN/SLOW (逆高速再生/高速再生) ボタン

### 4. ◀▶ (PREV/NEXT) (順方向/逆方向クリップジャンプ) ボタン

### 5. PLAY (再生) ボタン

### 6. STOP (再生停止) ボタン

### 7. DISPLAY (画面表示) ボタン

### 8. リモコン発光部

### 9. START/STOP (記録開始/停止) ボタン

### 10. ズームレバー

### 11. PAUSE (再生一時停止) ボタン

### 12. MODEボタン

本機に対応していない機能のため、使用しません。

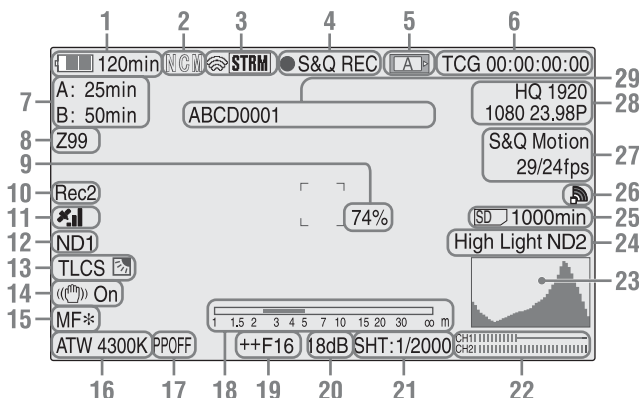
### 13. ◀▶/▲▼/ENTERボタン

# 画面表示

撮影中（記録中/記録待機中）にDISPLAYボタンを押すと、LCDモニター/ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

## 名称の注釈

- [M] : LCD/VF SETメニューのDisplay On/Offで個別に表示/非表示を選択することができます（130ページ）。
- [A] : 対応する機能を割り当てたアサインボタンで個別に表示/非表示を選択することができます（43ページ）。
- [D] : 画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます（16ページ）。





1. バッテリー残量/DC IN電圧表示 [M] (18ページ)
2. ネットワーククライアントモード状態表示  
ネットワーククライアントモード時の接続状態を表示します。(82ページ)
3. i.LINK状態表示/ストリーミング状態表示  
i.LINK接続機器の状態の表示（154ページ）、または、ストリーミング状態を表示（80ページ）します。
4. 特殊記録/動作状態表示

●REC	録画中
STBY	録画待機中

CONT	クリップコンティニュアス録画待機中 点灯：クリップコンティニュアスレック時にクリップ継続中の場合 点滅：クリップコンティニュアスレック時に継続しているクリップがない場合
●S&Q REC	スロー&クイックモーション録画中
S&Q STBY	スロー&クイックモーション録画待機中
●INT REC	インターバルレック実行中
INT STBY	インターバルレック待機中
●FRM REC	フレームレック実行中
FRM STBY	フレームレック待機中
●CACHE	●が緑のとき：ピクチャーキャッシュレック待機中 ●が赤のとき：ピクチャーキャッシュレック実行中
●SML REC	2スロット同時録画中

## 5. メディア状態表示

	スロットAのメモリーカードが有効
	スロットBのメモリーカードが有効

6. タイムデータ表示 [M] (38ページ)7. メディア残量表示 [M] (24ページ)8. ズームポジション表示 [M] (36ページ)9. 輝度レベル表示 [M][A]10. 同期記録表示 [M] (131ページ)

VIDEO SETメニューのSDI Rec ControlをHD SDI Remote I/Fに設定し、記録しているときに[Rec2]が表示されます。  
CAMERA SETメニューのProxyをOnにして同期記録をしているときは、[Rec2-P]が表示されます。

## 11. GPS状態表示




GPSの測位状態がアイコンで表示されます。

## ◆「測位情報の取得(GPS)」(63ページ)

12. NDフィルターポジション [M]

選択されているNDフィルター番号が表示されます。(32ページ)

13. TLCSモード表示 [M][D] (123ページ)

	バックライトモード
	標準モード
	スポットライトモード

14. 手ぶれ補正モード表示 [M] (38ページ)15. フォーカスモード表示 [M] (MF時のみ [D]) (37ページ)16. ホワイトバランスモードと色温度表示 [M][D] (32ページ)17. ピクチャープロファイル表示 [M][D] (49ページ)18. 被写界深度バー表示 [M][A]19. アイリスポジション表示 [M][D] (36ページ)20. ゲイン表示 [M][D] (35ページ)21. シャッターモード/シャッタースピード表示 [M][D] (35ページ)22. オーディオレベルメーター [M]23. ヒストグラム表示 [M][A]24. 映像レベル注意表示 [M] /推奨NDフィルター表示/クリップ転送状態表示












クリップ転送状態表示は、ワイヤレスLAN接続時に表示します。転送する残クリップ数と転送率(%)が表示されます。

## 25. SDカード残量表示

SDカードがカードスロットに挿入されているときにSDカードの残容量が表示されます。(64ページ)

## 26. ネットワーク接続状態表示

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

条件			
メニューのNETWORK SET >NW&Proxy/USB	メニューのNETWORK SET >Network Mode	ネットワーク接続状態	アイコン
Off または USB A	—	—	表示なし
Network&Proxy	Off	—	表示なし
	Access Point	Wi-Fi準備中	 点滅表示
		Wi-Fi接続中	AP
		Wi-Fi接続不可状態 <sup>1)</sup>	表示なし
	Station	Wi-Fi準備中	 点滅表示
		Wi-Fi接続中	 強度1  強度2
			 強度3  強度4 電波強度によりアイコンが変化
		Wi-Fi接続断	 電波なし
		Wi-Fi接続不可状態 <sup>1)</sup>	表示なし
	Modem	3G/4G準備中	 点滅表示
		3G/4G接続中	3G/4G
		3G/4G接続断	3G/4G 
		3G/4G接続不可状態 <sup>2)</sup>	表示なし
	Wired LAN	LAN準備中	 点滅表示
		LAN接続中	LAN
		LAN接続断	LAN 
		LAN接続不可状態 <sup>3)</sup>	表示なし

1) USBワイヤレスLANモジュールを接続していないとき、SSIDが設定されていないとき。

2) 3G/4G/LTE 対応モデム(別売り)を接続していないとき

3) USB-RJ45 アダプター (別売り) を接続していないとき


## 27. 特殊記録モード表示 (スロー&クイックモーションスタンバイ時のみ)

Frame Rec	フレームレックモード
Interval Rec	インターバルレックモード
S&Q Motion xx/xx fps	スロー&クイックモーションモード

## 28. ビデオフォーマット表示 (32ページ)

## 29. クリップ名表示 (30ページ)

## ダイレクトメニュー操作

名称の後ろにが付いた項目は、画面に表示されるダイレクトメニューで設定を変更することができます。

ダイレクトメニューは、OTHERSメニューのDirect Menu (149ページ) でAllモード、Partモード、Offを切り換えます。

**ご注意**

フルオートモード（29ページ）で強制的に自動モードになる機能は、FULL AUTOボタンのインジケータが点灯しているときはダイレクトメニュー操作はできません。

- 1 本機の状態や設定が画面に表示されているときに、SEL/SETボタン（10ページ）またはジョグダイヤル（12ページ）を押す。**

ダイレクトメニューがAllまたはPartのときは、操作できる項目のうちのいずれかにカーソルが表示されます。

- 2 上/下/左/右ボタン（10ページ）またはジョグダイヤルで操作したい項目にカーソルを合わせ、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。**

選択した項目のダイレクトメニューが表示されます。

- 3 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで設定を選び、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。**

メニューが消えて、新しい設定が表示されます。

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。

安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックおよびACアダプターを使用しないでください。

### リチウムイオンバッテリーパック

BP-U30

BP-U60

BP-U60T

BP-U90

### バッテリーチャージャー / AC アダプター

BC-U1

BC-U2

ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です（常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合）。したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



**警告**

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

### ご注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。

必ず指定の電池に交換してください。

使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

### ご注意

本機にバッテリーパックを装着した状態でACアダプターを接続することはできません。

## バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（9ページ）の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックします。

取り外すときは、BATT RELEASEボタン（8ページ）を押しながらバッテリーパックを上にもスライドさせてロックをはずし、引き抜きます。

### ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1またはBC-U2を使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。
- バッテリーパックBP-U90は大容量でサイズが大きいため、装着時に本体からの突出が大きくなります。BP-U90は三脚などに本機を固定して長時間撮影をする場合などに便利です。

## 残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、LCDモニター / ビューファインダー画面（14ページ）にバッテリー残量アイコンと残り時間が表示されます。

アイコン	残量
	100%～91%
	90%～71%
	70%～51%
	50%～31%
	30%～11%
	10%～0%

残り時間は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパック

の使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

## バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low BATT状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、タリランプの点滅とブザー音で警告します。

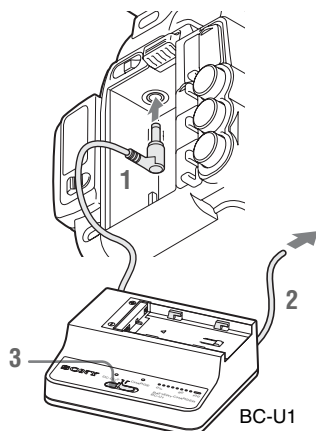
さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると（BATT Empty状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り換わります。充電されたバッテリーパックに交換してください。

## 警告残量を変更する

工場出荷時には、Low BATTはフル充電の10%、BATT Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、OTHERSメニューのBattery Alarm（143ページ）で変更することもできます。

## AC電源を使う（DC IN電源）

### 接続例：BC-U1 の場合



- 1 BC-U1のDC電源出力ケーブルを本機のDC IN端子に接続する。
- 2 BC-U1の電源コードをAC電源に接続する。

## 3 BC-U1のモード切り換えスイッチをDC OUTに設定する。

### 電源を入れる/切る

電源を入れるときは、電源スイッチ（8ページ）をON（Iの位置）にします。電源を切るときは、電源スイッチをOFF（Oの位置）にします。

### ご注意

- 本機は、電源スイッチをOFFにした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやDC IN電源は、電源スイッチをOFFにしてから取りはずしてください。ONのまま取りはずすと、本機やSxSメモリーカードの故障の原因となることがあります。

## 時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池を交換した後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニター/ビューファインダー画面に初回設定画面が表示されます。この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

### Time Zone について

UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

### Date/Timeを設定する

上/下/左/右ボタン（10ページ）またはジョグダイヤル（12ページ）でカーソルを移動し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押して各項目を設定します。最後にカーソルをFinishに合わせてSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、設定画面が消えて時計合わせが完了します。

設定画面が消えた後は、OTHERSメニューのTime Zone（141ページ）およびClock Set（141ページ）を使用してTime ZoneおよびDate/Timeの設定を変更することができます。

### ご注意

- 動作電源が供給されていない（バッテリーパックもDC IN電源も接続されていない）状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。

## LCDモニターとビューファインダーを調整する

### LCDモニターを調整する

LCDモニターは、開くとON、格納するとOFFになります。

### 角度を調整する

対面撮影方向（画面が被写体側に向く方向）に90度、逆方向に180度回転します。対面撮影方向に90度反転させると、画像が上下反転(鏡像)、文字表示が上下左右反転します。

### バックライトを調整する

LCD BRIGHTボタン（10ページ）でバックライトの明るさを調整できます。

### 色の濃さ、コントラスト、明るさを調整する

LCD/VF SETメニューのLCD（129ページ）を使用して調整できます。明るさなどを変えても、記録される映像に影響はありません。

### ビューファインダーを調整する

周囲が明るくLCDモニターが見つづらいときなどは、ビューファインダーで映像を確認することができます。



### 警告

接眼レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光が接眼レンズを通してビューファインダー内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。



本書では、ビューファインダーをこれ以降「EVF」(Electronic Viewfinderの略称)と記載します。

## EVFをON/OFFする

工場設定時は、LCDモニターを閉じたときや対面撮影方向(画面が被写体側に向く方向)に向けたときに、EVFがONになるように設定されています。

LCD/VF SETメニューのEVF(129ページ)でPowerの設定をAutoからOnに設定することによって、LCDモニターの開閉や角度に関係なく常時ONになるように変更することもできます。

## 視度を調整する

EVFの視度調整つまみ(10ページ)を操作すると、ユーザーの視力に合わせてEVFの画像がはっきり見えるように調整することができます。

## バックライトを調整する

EVFのバックライトの明るさをHighとLowに切り換えることができます。LCD/VF SETメニューのEVF(129ページ)でBacklightを設定してください。

## カラー/モノクロを切り換える

EVFの画面は、カラー表示とモノクロ表示を切り換えることができます。LCD/VF SETメニューのEVF(129ページ)でModeを設定してください。モノクロの方が被写体の確認、フォーカス合わせがしやすい場合はB&Wに設定してください。アサインボタン(43ページ)にEVF Modeを割り当てると、ボタン操作でEVFのカラー/モノクロの切り換えが可能です。

## コントラスト、明るさを調整する

LCD/VF SETメニューのEVF(129ページ)を使用して調整できます。明るさなどを変えても、録画される映像に影響はありません。

# 赤外線リモコンを使う

## 初めて使用するときは

付属の赤外線リモコン(リモコン)を初めて使用するときは、電池ホルダーから絶縁シートを引き抜いてください。



ホルダーには工場出荷時にリチウム電池CR2025がセットされています。

## リモコンで本機を操作するときは

リモコンを使用するときは、本体の電源を入れてから、リモコン操作機能を有効にしてください。

リモコン操作機能の有効/無効の切り換えには、セットアップメニューを使用します。

## メニューで有効にするには

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り換え、SystemメニューのIR Remote(143ページ)をOnにします。

## アサインボタンを使用するには

アサインボタン(43ページ)のいずれかに、IR Remoteを割り当てると、ボタンを押して有効/無効を切り換えることができます。

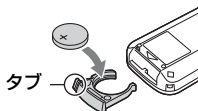
### ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。
- 誤動作を防ぐため、本体の電源を切るとリモコン操作が自動的に無効になるように設定されています。電源を入れるごとに有効に切り換えて使用してください。

## リモコンの電池を交換する

市販のリチウム電池CR2025を使用します。CR2025 以外の電池は使用しないでください。

- 1 タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- 2 +面を上にして新しい電池を入れる。
- 3 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



### 警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

### ご注意

- 指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

## SxSメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のSxSメモリーカード（別売り）に記録します。

## SxSメモリーカードについて

### 本機で使用可能なSxSメモリーカード

下記のソニー製SxSメモリーカードをご使用ください。

下記のソニー製以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

#### SxS PRO+ シリーズ

#### SxS PRO シリーズ

#### SxS-1 シリーズ

これらのカードは、ExpressCard規格に準拠したメモリーカードです。

- ◆ SxSメモリーカードの使いかたや使用上のご注意について詳しくは、SxSメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

SxS、SxS PRO、およびSxS-1はソニー株式会社の商標です

ExpressCardワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属します。

### ご注意

ご使用になるSxS-1カードによっては、XAVC-Iの記録フォーマットでのスロー&クイックモーション撮影（47ページ）が正常に記録できない場合があります。SxS PROまたはSxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。

## SxSメモリーカードを入れる / 取り出す

### SxSメモリーカードを入れる

- 1 カードスロット部（12ページ）のカバーを開ける。
- 2 **SxSメモリーカードを、SxSのラベルを右にしてカードスロットに差し込む。**  
ACCESSランプ（12ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。
- 3 カバーを閉める。

#### ACCESS ランプによる状態表示

A と B のカードスロットの状態を示すために、それぞれに ACCESS ランプがあります。

ランプ	スロットの状態
赤で点灯	装着されているSxSメモリーカードにアクセス中（データの書き込み/読み出し中）
緑で点灯	スタンバイ状態（装着されているSxSメモリーカードを使用して記録・再生を行います。）
消灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SxSメモリーカードが装着されていない。</li> <li>• 使用できないカードが装着されている。</li> <li>• SxSメモリーカードは装着されているが、別のスロットのカードが選択されている。</li> </ul>

### SxSメモリーカードを取り出す

- 1 カードスロット部のカバーを開け、**EJECTボタン（12ページ）**を押してボタンを引き出す。
- 2 もう一度**EJECTボタン**を押し込んでカードを抜く。

#### ご注意

メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証

されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ずACCESSランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。

### 使用するSxSメモリーカードを切り換える

カードスロットAとBの両方にSxSメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン（12ページ）を押して使用するカードを切り換えることができます。記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り換わります。

#### ご注意

再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り換わりません。サムネイル画面（94ページ）表示中はボタン操作が有効です。

### SxSメモリーカードをフォーマット（初期化）する

フォーマットされていないSxSメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたSxSメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター /EVF画面に表示されます。下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

### フォーマット（初期化）を実行する

**OTHERSメニューのFormat Media（146ページ）**で、**Media(A）（スロットA）**か**Media(B）（スロットB）**かを指定し、**Execute**を選択する。確認メッセージが表示されたら、もう一度**Execute**を選択する。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

## フォーマット実行中の記録・再生

フォーマット中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して記録・再生が可能です。

## フォーマットできなかったときは

プロテクトされたSxSメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットされません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるSxSメモリーカードに交換してください。

### ご注意

- 本機で使用するSxSメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。他の機器でフォーマットした場合は、異なるフォーマットとみなされ、本機で再度フォーマットする必要があります。
- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。


## 残りの記録可能時間を確認する

撮影中（記録中/記録待機中）は、LCDモニター /EVF画面（14ページ）の記録メディア残量表示部で、各スロットに装着したSxSメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット（記録ビットレート）で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

バッテリー /メディアステータス画面（107ページ）を表示させると、残量をメーター形式で確認することもできます。

### ご注意

- メモリーカードがプロテクトされている場合は、 マークが表示されます。
- メモリーカードの残量表示は、目安となります。メモリーカードへの記録は、映像データ以外に管理領域などが含まれており、メモリーカードの残量表示に対し、記録に使用できる容量が少なくなります。

## SxSメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分をきると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」（Media Near Full）が表示され、タリールランプの点滅とブザー音で警告します。空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」（Media Full）に変わり記録が停止します。

### ご注意

1枚のSxSメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」（Media Full）が表示されます。

## SxSメモリーカードを修復する

何らかの原因でメモリーカード内のデータに異常が発生した場合は、メモリーカードの修復が必要になります。

修復が必要なSxSメモリーカードを挿入したときは、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター /EVF画面に表示されます。

## 修復を実行する

上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで **Execute** を選択し、**SEL/SET** ボタンまたは **ジョグダイヤル** を押す。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。修復が終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

## 修復できなかったときは

- プロテクトされたSxSメモリーカードや、エラーが発生したSxSメモリーカードは修復できません。警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、プロテクトを解除するか、別のSxSメモリーカードに交換してください。

- エラーが発生したSxSメモリーカードは、フォーマットをし直すと再利用できる場合があります。
- 一部のクリップのみが修復できない場合もあります。修復できたクリップは再生可能になります。
- 修復を実行しても繰り返し「一部修復ができませんでした」とメッセージが表示されるようになったSxSメモリーカードは、以下の手順で正常に戻せる場合があります。

- 1 本機のコピー機能（101ページ）または専用アプリケーションソフトウェア（153ページ）を用いて、必要なクリップを他のSxSメモリーカードへコピーする。
- 2 問題のあるSxSメモリーカードを本機でフォーマットする。
- 3 必要なクリップをフォーマットしたSxSメモリーカードにコピーして戻す。

### 修復中の記録・再生

修復中でも、もう一方のカードスロットに装着したSxSメモリーカードを使用して、記録・再生が可能です。

#### ご注意

本機で記録されたメディアは、本機で修復してください。

本機以外で記録されたメディアや、本機と同一機種であってもバージョンが異なる機器で記録されたメディアは、本機では修復できない場合があります。

## 他のメディアを使う

#### ご注意

- プロフェッショナル用途のSxSメモリーカードと同等の高い信頼性・耐久性を得られるものではありません。
- すべてのメモリーカードの動作を確認したわけではありません。動作確認済みのメモリーに関しては各販売店にお問い合わせください。
- 本機で使用するメディアは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてからご使用ください。

## XQDメモリーカード

別売りのメディアアダプター QDA-EX1を使用することによって、XQDメモリーカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

◆メディアアダプター QDA-EX1の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

#### ご注意

- XQDメモリーカードを使って高速再生（10ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。
- ご使用になるXQDメモリーカードによっては、XAVC-Iでの記録や、スロー&クイックモーション撮影（47ページ）が正常に記録できない場合があります。SxS PROまたはSxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。

## フォーマット（初期化）する

本機で初めてXQDメモリーカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するXQDメモリーカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。XQDメモリーカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」

す」がLCDモニター /EVF画面に表示されます。  
下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

## フォーマット（初期化）を実行する

**OTHERSメニューのFormat Media（146ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。**

実行中はメッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

### ご注意

XQDメモリーカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

### 本機とパソコンの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録したXQDメモリーカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンをUSBケーブルで接続して使用してください。

### 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットしなおして使用してください。

## SDカード

本機では、別売りのメディアアダプターMEAD-SD02を使用することによって、SDカードをSxSメモリーカードスロットに入れて、SxSメモリーカードと同様に記録・再生が行えます。

◆メディアアダプター MEAD-SD02の使いかたについて詳しくは、アダプターに付属の取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

SDカードを使って高速再生（10ページ）を行う場合、正しく動作しないことがあります。

## SDHC カード（FATのみ）

SDHCカード（SDスピードクラス：Class10）

### ご注意

UDFとexFATモード時は使用できません。

## SDXC カード（exFATのみ）

SDXCカード（SDスピードクラス：Class10）

### ご注意

- exFATモード時以外では使用できません。
- SDXCカードと他のメモリーカードを同時に使用しないでください。違う種類のメディアを使用した場合、記録中にメディアがフルになっても自動切り換えができません。
- ご使用になるSDXCカードによっては、XAVC-Iでの記録や、スロー&クイックモーション撮影（47ページ）が正常に記録できない場合があります。SxS PROまたはSxS PRO+メモリーカードの使用をお勧めします。
- PMWシリーズおよびPXWシリーズのカムコーダーで記録したSDXCカードは、機種によって本機で記録・再生できない場合があります。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

## フォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

本機が対応していないフォーマットで初期化されたSDカードを装着すると、メッセージ「ファイルシステムが異なります」がLCDモニター /EVF画面に表示されます。下記の「フォーマット（初期化）を実行する」に従ってフォーマットしてください。

## フォーマット（初期化）を実行する

**OTHERSメニューのFormat Media（146ページ）で、Media(A)（スロットA）かMedia(B)（スロットB）かを指定し、Executeを選択する。**

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、ACCESSランプが赤く点灯します。フォーマットが終了すると、完了メッセージが3秒間表示されます。

#### ご注意

SDカードをフォーマットすると、プロテクトされた画像も含めて、すべてのデータが消去され、復元できません。

#### 本機とパソコンの接続

XDCAM/XDCAM EXシリーズで記録したSDカードを本機側のスロットに装着して、本機とパソコンをUSBケーブルで接続して使用してください。

#### 本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットしなおして使用してください。

### USBメモリー

UDF、exFATモード時に外部機器接続端子（12ページ）にUSBメモリーを接続して、以下のデータを記録、保存、呼び出しできます。

- 「プランニングメタデータファイルを読み込む」（60ページ）
- 「設定データの保存と呼び出し」（57ページ）

ソニー製USBメモリーを使用することをお勧めします。

#### ご注意

- 記録容量が4GBから32GBまでのUSBメモリーを使用してください。
- 推奨品以外のUSBメモリーは、外部機器接続端子に接続しても認識されないことがあります。

#### 外部機器接続端子を使用するときは

- NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でUSB Aを選択してください。

#### ご注意

- この設定ではOTHERSメニューのSystemのFormat（144ページ）でXAVC-L50 1920x1080/59.94P、50P XAVC-L35 1920x1080/59.94P、50Piは選択できません。

- この設定ではOTHERSメニューのSystemのFormatが、1920x1080/29.97P、23.98P、25P設定のとき、S&Q MotionのFrame Rate設定は60、50fpsを選択できません。

### フォーマット（初期化）する

USBメモリーはFAT32ファイルシステムでフォーマットされている必要があります。

#### ご注意

USBメモリーを使用するときは、あらかじめコンピューターまたは本機でフォーマットしてください。コンピューターでフォーマットしたUSBメモリーが使用できない場合は、本機でフォーマットしてください。

#### 1 USBメモリーを、外部機器接続端子に接続する。

USBメモリーが未フォーマットの場合や本機に対応しない形式でフォーマットされている場合は、フォーマットを実行するかどうかを確認するメッセージが、LCDモニター /EVF画面に表示されます。

#### 2 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで「Execute」を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、フォーマットが始まります。フォーマットが終了すると、「Format USB Memory Done」が表示されます。USBメモリー内に、\MSSONY\PRO\XDCAM\MEMDISCフォルダーと\General\Sony\Planningフォルダーが自動生成されます。

#### フォーマットできなかったときは

プロテクトされたUSBメモリーや本機で使用できないUSBメモリーはフォーマットされません。

警告メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって、使用できるUSBメモリーに交換してください。

### USBメモリーを修復する

ファイルシステムが壊れているなど正常にマウントできない状態のUSBメモリーを接

続すると、修復を実行するかどうかを確認するメッセージがLCDモニター /EVF画面に表示されます。

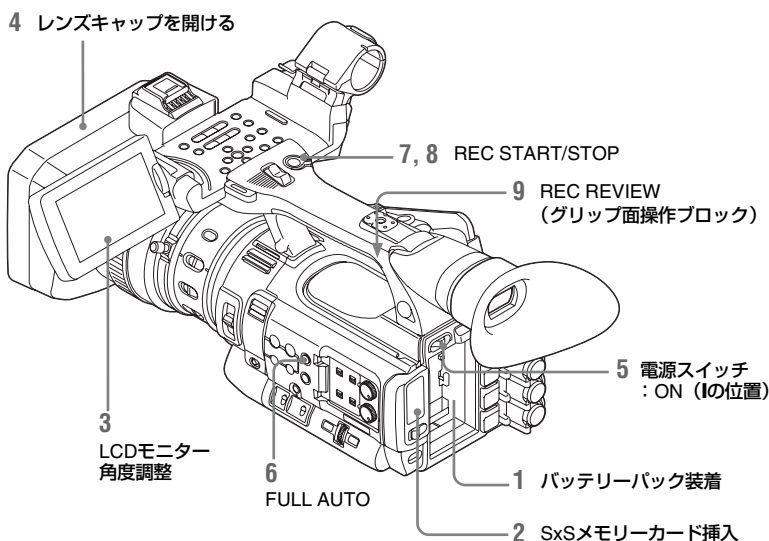
上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで「Execute」を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、実行中メッセージと進捗状況（%）が表示され、修復が始まります。

修復が終了すると、「Restore USB Memory Done」が表示されます。

- XQDはソニー株式会社の商標です。



# 基本操作手順



## 準備する

- 1 充電したバッテリーパックを取り付ける。
- 2 SxSメモリーカードを入れる。  
2枚入れておくと、1枚目がフルになった時点で自動的に2枚目に切り換わりま  
す。
- 3 LCDモニターを開き見やすい角度に調整する。  
EVFを使うときはLCDモニターを収納し、EVFを見やすい角度に調整します。
- 4 レンズキャップを開ける  
レンズキャップ開閉レバーを上げて、レンズフードに付いているレンズキャップを開  
けます。
- 5 電源スイッチをONにする。  
撮影画面が表示されます。

リモコンを使用するときは、リモコン操作モードを有効にしてください (21ページ)。

### ご注意

グリップを持って撮影するときは、左手で本機の底面を支えて操作してください。

## 撮影する (フルオートモード)

- 6 FULL AUTOボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させる。  
フルオートモードがONになり、TLCS (123ページ) が動いて、オートアイリス、AGC、オートシャッター、ATW (自動追尾ホワイトバランス) がONになり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。  
それぞれをマニュアルで調整したいときは、フルオートモードをOFFにしてください。  
◆「アイリス」(36ページ)  
◆「ゲイン」(35ページ)  
◆「電子シャッター」(35ページ)

## ◆「ホワイトバランス」(32ページ)

## ご注意

フルオートモードをONにしても、AF（オートフォーカス）は有効になりません。

## ◆「フォーカス」(37ページ)

## 7 REC START/STOPボタンを押す。

グリップのREC STARTボタンでも記録を開始できます。

(赤外線リモコン使用時は、START/STOPボタンを押してください。)

タリーランプが点灯して、記録が始まります。

## 8 記録を終了するときは、もう一度REC START/STOPボタンを押す。

グリップのREC STARTボタンでも記録を停止できます。

(赤外線リモコン使用時は、START/STOPボタンを押してください。)

記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

## ご注意

前の記録データの書き込みが完了していない状態でREC START/STOPボタンを押すと、メッセージ「操作できません」が表示され、次の記録が開始されないことがあります。

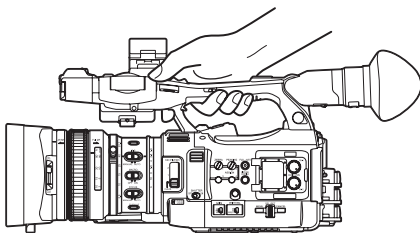
### 誤操作を防止するには

ハンドルのREC START/STOPボタンには、誤操作防止用のREC HOLDレバーがあります。ハンドルのREC START/STOPボタンを使用しない場合は、誤ってボタンが押されても記録が開始/停止しないように、レバーをHOLD側にセットしておくことをお勧めします。

ロックを解除するときは、レバーを元の位置に戻してください。

### ハンドルの持ちかたについて

ハンドルを持って撮影する場合は、ハンドルの前端を持つとカメラのバランスが良くなります。



### 直前に撮影した映像を確認する（レックレビュー）

## 9 REC REVIEWボタンを押す。

レックレビュー機能（43ページ）が働いて、直前に記録された画像がLCDモニター /EVF画面で再生されます。

### クリップを削除するには

Last Clip DEL機能（57ページ）を使用すると、直前に記録したクリップを削除できます。All Clips DEL機能（57ページ）を使用すると、SxSメモリーカードに記録された全クリップを削除できます。クリップを指定して削除する場合は、サムネイル画面（94ページ）から操作してください。

### クリップ（記録データ）

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」としてSxSメモリーカードに記録されます。

### クリップ名について

本機で記録されるクリップには、OTHERSメニューのClip（145ページ）のAuto Namingで選択した方法で、自動的にクリップ名がつけられます。初期設定では、Auto NamingがPlanに設定されています。プランニングメタデータが読み込まれていれば、プランニングメタデータに設定されているクリップ名がつけられます。

Auto NamingをTitleに変更すると、「4～46文字の英数字」と「4桁の番号」からなるクリップ名がつけられます。

#### 例：ABCD0001

クリップ名の「4～46文字の英数字」部分にはOTHERSメニューのClipで記録開始前に任意の文字列を設定することも可能です。（記録後に変更することはできません。）

「4桁の番号」部分は、記録順に自動的にカウントアップされます。

#### 記録されるクリップについて

クリップのファイルサイズの上限は、UDFおよびexFATで43GB、FAT/HDモードで4GB、FAT/SDモードで2GBです。長時間の連続記録を行うと、ファイルサイズの関係で、記録された素材が複数のファイルに分割されることがあります（最大分割数は99）。FATモードでは、複数のファイルに分割された場合でも、本機上ではひとつのクリップとして扱います。

クリップの記録時間によっては、AとBのカードスロットに挿入した2枚のSxSメモリーカードにまたがって記録することができます。

コンピューターを使用して、記録したクリップをHDDなどにコピーする場合は、連続性を保つため、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードして使用することをお勧めします。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（202ページ）をご覧ください。

#### ご注意

Explorer（Windows環境）やFinder（MAC環境）を使用してコピーなど行った場合は記録素材の連続性、関連性を保持できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

#### クリップの最大時間

クリップの最大時間は、FAT（MP4、AVI）では24時間、UDF（MXF）およびexFAT（MXF）では6時間です。

録画時間がクリップの最大時間を超える場合、録画を継続したまま自動的に新しいクリップが作られます。新しいクリップはサムネイル画面で別のクリップとして確認できます。

## 基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

### ビデオフォーマット

選択できるフォーマットは、UDF/exFAT/FAT、HDモード/SDモード、使用地域（NTSC Area/PAL Area）の設定によって異なります。

◆使用地域は、OTHERSメニューのSystem（144ページ）の、Countryで切り換えます。

### UDF/exFAT/FATを切り換える

OTHERSメニューのSystem（144ページ）の、F.Sys.で切り換えます。  
切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

#### ご注意

記録・再生中にUDF/exFAT/FATを切り換えることはできません。

### HDモード/SDモードを切り換える

OTHERSメニューのSystem（144ページ）の、HD/SDで切り換えます。  
切り換えを実行すると、本機は自動的に再起動します。

#### ご注意

記録・再生中にHD/SDを切り換えることはできません。

### XAVC/MPEG2を切り換える

OTHERSメニューのSystem（144ページ）の、XAVC/MPEG2で切り換えます。  
OTHERSメニューのF.Sys.がexFAT、HD/SDがHDのときに選択できます。

#### ご注意

記録・再生中にXAVC/MPEG2を切り換えることはできません。

## フォーマットを変更する

OTHERSメニューのSystem（144ページ）の、Formatで切り換えます。  
SDI OUT、A/V OUT、およびHDMI OUT端子からの信号も、このメニューで選択されたフォーマットに従って出力されます。

### NDフィルター

レンズの絞りを適切な範囲に保つため NDフィルターを使用できます。

**2:** 1/64ND

**1:** 1/8ND

**CLEAR:** NDなし

### ホワイトバランス

撮影状況に応じて調整モードを選択できます。

#### プリセットモード

色温度をプリセット値（工場出荷時：3200K）に調整するモードです。ホワイトバランスを調整する時間がないときや、ピクチャープロファイルで設定したホワイトバランスに固定して撮影したい場合に使用します。

#### メモリー A/メモリー B モード

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。  
WHITE BALボタンを押すと、ホワイトバランスの自動調整を実行し、調整値をメモリー A またはメモリー B に保存し直します。

Wi-Fi Remote使用時、ATWオフの設定のときは、WHITE BALスイッチの状態に関わらず、メモリー A に切り換わります。

#### ATW(自動追尾ホワイトバランス) モード

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整するモードです。  
光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

CAMERA SETメニューのATW Speed (123ページ)で、5段階の調整速度を選択できます。

アサインボタン (43ページ) にATW Hold機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

### ご注意

照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。

例：

- 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
- 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体

ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

## スイッチで切り換える

WHITE BALスイッチ (11ページ) で選択します。

**B:** ATWモードまたはメモリー Bモード

**A:** メモリー Aモード

**PRST:** プリセットモード

WHITE BALスイッチのBの位置には、工場出荷時にATWモードが割り当てられています。CAMERA SETメニューのWhite Switch <B> (123ページ) で、メモリー Bモードを選択するように変更することができます。フルオートモード (29ページ) をONにすると、強制的にATWモードになります。

アサインボタン (43ページ) に、ATWのON/OFF機能を割り当てると、フルオートモードOFFのときボタン操作でATWを単独でON/OFFすることができますようになります。

## ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAYボタン (10ページ) を押すと、選択されているモードと色温度が画面に表示されます (14ページ)。

**ATW:** ATWモード

**W:A:** メモリー Aモード

**W:B:** メモリー Bモード

**W:P:** プリセットモード

ダイレクトメニュー (16ページ) がAllモードに設定されているときは、ATW、W:A、W:B、W:Pの切り換えが可能です。

ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、ATWとWHITE BALスイッチで選択されているモードの切り換えが可能です。

W:NSが表示されているときは、ダイレクトメニューでの切り換えはできません。

## アサインボタンで切り換える

本機に登録した6種類のピクチャープロフィール (PP1~PP6) を呼び出した場合、あらかじめピクチャープロフィールのWhite>Preset Whiteで設定した4個のプリセット色温度を、アサインボタンにアサインしたWB Presetを押すたびに切り換えることができます。

## プリセット色温度を設定する

**1** **PICTURE PROFILE**ボタン (11ページ) を押す。

PICTURE PROFILEメニューが表示されます。

**2** **SEL**を選択し、使用するPP1~PP6のいずれかを選択する。

**3** **SET**を選択し、White>Preset White Selで、1~4のいずれかを選択する。

**4** **White>Preset White**で、色温度を設定する。

Preset Whiteには、Preset White Selで選択した1~4のいずれかの番号の色温度が表示されます。

Preset White Selで選択した1~4の色温度初期値は以下となります。

- Preset White Selが1のとき：3200K
  - Preset White Selが2のとき：4300K
  - Preset White Selが3のとき：5600K
  - Preset White Selが4のとき：6300K
- 色温度を100Kステップで設定します。

**5** 任意の色温度を設定したら、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。

- 6** 1～4に繰り返し任意の色温度を設定する場合は、手順3～5を繰り返し操作する。

アサインブルスイッチで操作する

- 1** アサインブルボタン<1>～<5>のいずれかにWB Presetを割り当てる。
- 2** WHITE BALスイッチ（11ページ）、またはダイレクトメニュー操作でプリセットモードを選択する。

#### ご注意

Network RemoteがOnの場合、メモリー A固定になるため、プリセットモードにできません。プリセットモードにするには、Network RemoteをOffにしてください。

- 3** WB Presetを割り当てたアサインブルボタンを押す。  
「プリセット色温度を設定する」（33ページ）で、あらかじめ設定した4個のプリセット色温度が、アサインブルボタンを押すごとに切り換わります。  
例) 1→2→3→4→1→2→…

#### ご注意

以下の条件のときは、操作できません（ボタンを押しても切り換わりません）。

- ホワイトバランスモードがATWモード、メモリー Aモード、メモリー Bモードのとき
- ピクチャープロファイルのSELがOffのとき
- 再生中、レックレビュー中、サムネイル表示中、カラーバー表示中
- ABB、AWB、Multi Matrix>Color Detection、Color Correction>Area Indication、Skin Tone Detail>Area Detection、APR、Auto FB、AWS、ABSのいずれかを実行中

### オートホワイトバランスを実行する

- 1** 調整値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 2** 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。

- 3** 明るさを調整する。

「マニュアルで明るさを調整する」（36ページ）に従って、アイリスを調整してください。

- 4** WHITE BALボタン（9ページ）を押す。

メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー（AまたはB）に保存されます。

ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

#### ご注意

- プリセットモードのときは、オートホワイトバランスは実行できません。
- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

## マーカー /ゼブラパターン

撮影中は、LCDモニター /EVF画面の映像に各種のマーカーやゼブラパターンを重ねて表示することができます。  
記録映像には影響ありません。

### マーカーを表示する

設定にはLCD/VF SETメニューのMarker（130ページ）を使用します。

### ゼブラパターンを表示する

LCDモニター /EVF画面の映像に、映像の適切な輝度レベルを示すゼブラパターンを重ねて表示することができます。

ZEBRAボタン（ASSIGN 1ボタン）（11ページ）を押すと、ゼブラパターン表示をON/OFFすることができます。

### ゼブラパターンを変更する

LCD/VF SETメニューのZebra（130ページ）を使用すると、表示されるゼブラパターンを変更することができます。

## ゲイン

### 固定ゲインで撮影する

映像アンプのゲインを切り換えます。

#### スイッチで切り換える

GAINスイッチ（11ページ）の各ポジションは、工場出荷時に下記のように設定されています。

**L:** 0 dB

**M:** 9 dB

**H:** 18 dB

それぞれのゲイン値は、CAMERA SETメニューのGain Setup（117ページ）で－3 dB～＋18 dBの範囲で変更することができます。

#### ご注意

AGCモードがOnのときは、固定ゲインは選択できません。

#### ダイレクトメニューで切り換える

DISPLAYボタン（10ページ）を押すと、選択されているゲイン値が画面に表示されます（14ページ）。

ダイレクトメニューがAllモードに設定されているときは、ダイレクトメニューでゲインを3 dB刻みで切り換えることができます（AGCモードへの切り換えも可能です）。ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、AGCモードとGAINスイッチで選択されているゲインとの切り換えのみ可能です。

### AGCモードで撮影する

映像の明るさに応じて映像アンプのゲインを自動制御します。

フルオートモード（29ページ）をONにすると、強制的にAGCモードになります。

フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューのTLCS（123ページ）でAGCをOnに設定するか、ダイレクトメニューでAGCを選択して、AGCモードを単独でONにすることができます。

## 電子シャッター

### 固定シャッターで撮影する

シャッター速度（蓄積時間）を設定して撮影します。

SHUTTERスイッチ（11ページ）をONにすると、CAMERA SETメニューのShutter（117ページ）で設定したモードとシャッター速度の固定シャッターがONになります。

#### ご注意

- ・オートシャッターモードがONのときは、固定シャッターは選択できません。
- ・超高感度スローシャッター（35ページ）がONのときは、固定シャッターは選択できません。

#### CAMERA SET メニューで設定する

CAMERA SETメニューのShutter（117ページ）を使用して、シャッターモードと速度を設定します。

#### ダイレクトメニューで設定する

DISPLAYボタンを押すと、選択されているシャッターモードと設定値が画面に表示されます（14ページ）。

ダイレクトメニュー（16ページ）がAllモードに設定されているときは、ダイレクトメニューでシャッターモードと速度を設定することができます。

#### ご注意

- ・ダイレクトメニューがPartモードに設定されているときは、SHUTTERスイッチがONの場合、ダイレクトメニューでシャッターをOFFにできません。SHUTTERスイッチがOFFの場合は、オートシャッターとシャッター OFFの切り換えのみが可能です。
- ・フルオートモード（29ページ）がONのときやSLS/EX SLSモードが設定されているときは、ダイレクトメニューは選択できません。

### スローシャッター（SLS）/超高感度スローシャッター（EX SLS）で撮影する

蓄積フレーム数でシャッター速度を設定します。最大64 フレームまで蓄積でき、低照度の状況下でノイズの少ないクリアな映像を撮影したいときや、残像を伴う幻想的な映像を撮影したいときに便利なモードです。

SLS/EX SLSはCAMERA SETメニューのSLS/EX SLS（117ページ）で蓄積フレーム数を設定します。2～8、16、32、64フレームから選択できます。

SLS/EX SLSがONのときは、フルオートモード（29ページ）を設定することはできません。

フルオートモード（29ページ）がONの場合やオートシャッターがONの場合にSLS/EX SLSをONにすると、フルオートモードやオートシャッターは解除されます。

## オートシャッターで撮影する

映像の明るさに応じて自動でシャッター速度を調整します。

フルオートモード（29ページ）がONのときは、強制的にオートシャッターになります。フルオートモードがOFFのときは、CAMERA SETメニューでTLCS（123ページ）を選択し、Auto ShutterをOnに設定することによって、オートシャッターを単独でONにすることができます。

## アイリス

被写体に応じて明るさを調整します。

## オートモードで撮影する

**フルオートモード（29ページ）がONのとき**  
アイリスは強制的にオートモードになります。

**フルオートモードがOFFのとき**  
IRISスイッチをAUTOにすると、オートアイリスモードになります。オートアイリスの制御目標レベル（明るめ/暗め）、をセットアップメニューまたはダイレクトメニューで設定できます（この設定は、AGCにおけるゲイン制御、オートシャッターにおけるシャッタースピード制御にも連動します）。

## セットアップメニューで制御目標レベルを調整する

CAMERA SETメニューのTLCS（123ページ）の、Levelを設定します。

## ダイレクトメニューで制御目標レベルを調整する

制御目標レベルはダイレクトメニュー（16ページ）で設定することもできます。

DISPLAYボタンを押すと、現在のエクスポージャーポジションが画面に表示されます（14ページ）。

## マニュアルで明るさを調整する

フルオートモードがOFFのときに、IRISスイッチをMANUAL側に切り換えると、マニュアルアイリスモードになります。アイリスリングを回してアイリス調整します。

## 一時的にオートアイリスに切り換える

マニュアルアイリスモードで、One Push Auto Irisを割り当てたアサインボタンを押すと、ワンプッシュオートアイリス機能が働きます。ボタンを押している間オートアイリスが働き、ボタンを離すとマニュアルアイリスモードに戻ります。

## ズーム

## 手動でズームを操作する

本機底面のZOOMスイッチ（13ページ）をMANUAL側にすると、手動ズームモードに切り換わります。

## 電動でズームを操作する

グリップの電動ズームレバー（13ページ）、ハンドルZOOMボタン（10ページ）でズームを調整できます。付属の赤外線リモコン、および別売りのレンズリモートコントロールユニットでの操作も可能です。本機底面のZOOMスイッチをSERVO側にすると、電動ズームモードに切り換わります。DISPLAYボタンを押すと、画面に現在のレンズズームの位置が0（広角端）～99（望遠端）の範囲で表示されます。

LCD/VF SETメニューのDisplay On/Off（130ページ）のZoom Positionで、バー表示に変更することもできます。



## 電動ズームレバーで調整する

レバーを深く押すとズーム速度が速くなり、浅く押すと遅くなります。

## ハンドル ZOOM ボタンで調整する

ズームスピードは、CAMERA SETメニューのHandle Zoom（118ページ）で選択します。Varilに設定すると、グリップの電動ズームレバー同様、深く押すとズーム速度が速く、浅く押すとズーム速度が遅くなります。ズームスピードは、CAMERA SETメニューのZoom Speed（118ページ）で変更することができます。

CAMERA SETメニューのZoom Transition（119ページ）で、徐々に速度を上げてズームアップし、徐々に速度を下げて終了するSoftモードを選択することができます。

## 赤外線リモコンの ZOOM ボタンで調整するときは

ズーム速度は、CAMERA SETメニューZoom SpeedのRemote（118ページ）の設定に従います。

- ◆ リモコン操作を有効にする方法については、「赤外線リモコンを使う」（21ページ）をご覧ください。

## レンズコントロールリモコンを使用するときは

LENS REMOTE端子に接続した別売りのレンズコントロールリモコンでズームを操作できます。

- ◆ 別売りのレンズコントロールリモコンでのズームの操作方法については、レンズコントロールリモコンの操作ガイドをご覧ください。

## フォーカス

温度変化によるフォーカスの移動を補正するため、無限遠（∞）位置には余裕を持たせています。無限遠の被写体をMFモードで撮影する場合は、LCDモニター /EVF画面で確認しながらフォーカス合わせをしてください。

## Full MFモードで調整する

フォーカスリングを後方（本体側）に引くと、常にマニュアルでフォーカスを合わせるFull MFモードになります。

### ご注意

フォーカスリングを後方にスライドさせると、フォーカスが目盛の位置に瞬時に移動します

LCDモニター /EVFの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

Full MFモードでは、リングの距離指標が有効です。フォーカスの合う距離はフォーカスリングの絶対位置に対応します。

## 拡大フォーカス

FOCUS MAGボタンを押すと、LCDモニター /EVFで画像の中央部分が拡大表示され、フォーカスを合わせやすくなります。フォーカスを合わせたら、もう一度FOCUS MAGボタンを押すか、5秒間フォーカスリングを操作しなければ、通常（記録）画角の表示に戻ります。

## ピーキング

PEAKINGボタン（ASSIGN2ボタン）を押すと、ピーキング機能が働いて、LCDモニター /EVFの表示画像の輪郭が強調され、マニュアルでのフォーカス調整が容易になります。

記録される映像信号には影響しません。

強調レベル、および輪郭色は、LCD/MF SETメニューのPeaking（129ページ）で設定できます。

## MFモードで調整する

必要となきのみオートフォーカスを動かせることができるMF（マニュアルフォーカス）モードです。

フォーカスリングを前方（レンズフード側）にスライドさせ、FOCUSスイッチ（11ページ）をMANUALにします。

このモードでは、拡大フォーカス機能やピーキング機能、ワンブッシュオートフォーカス機能や、MFアシスト機能が使用できます。

LCDモニター /EVFの画像を見ながら、フォーカスリングを回してフォーカスを合わせます。

### ワンブッシュオートフォーカス

PUSH AUTOボタンを押すと、一時的にオートフォーカスが起動します。ワンブッシュオートフォーカスは、フォーカスが合った時点で終了します。

### MF アシスト機能

CAMERA SETメニューのMF Assist（118ページ）をOnにしてMFアシスト機能を有効にしておくと、レンズ操作リングでのフォーカス合わせを止めた時点でオートフォーカスが起動し、画面中央部の被写体に対してフォーカスの微調整（フォーカスの追い込み）を行います。微調整が終了した時点でMFアシストによるオートフォーカス動作は終了します。  
ダイレクトメニュー（16ページ）でもMFアシスト機能をONにできます。DISPLAYボタンを押すと、選択されているフォーカスモードが画面に表示されます（14ページ）。MF以外のモードのときは、ダイレクトメニューは選択できません。

### AFモードで調整する

常にオートでフォーカスを合わせるAF（オートフォーカス）モードです。フォーカスリングを前方にスライドさせ、FOCUSスイッチをAUTOにします。

### マクロモードを使う

フォーカス調整モードがMFまたはAFのときは、MACROスイッチをON側にするとマクロモードになり、マクロ領域を含めた範囲でのフォーカス操作が可能になります。マクロモードは、Full MFモードでは無効になります。

### 手ぶれ補正

手ぶれ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

### レンズのSTEADY SHOTボタンを押す。

ボタンを押すごとに、手ぶれ補正モードがON/OFFします。  
設定は、EVF画面に表示されます。

#### ご注意

三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ぶれ補正をOFFにしてください。

### フリッカー

#### 電子シャッターのスピードを「1/電源周波数」に合わせる

電子シャッター（35ページ）を有効にして、シャッタースピードを電源周波数に応じて設定します。

#### 電源周波数が 50 Hz のとき

シャッタースピードを1/50秒または1/100秒に設定します。

#### 電源周波数が 60 Hz のとき

シャッタースピードを1/60秒または1/120秒に設定します。

#### フリッカー補正機能を使用する

CAMERA SETメニューのFlicker Reduce（118ページ）のModeをAutoまたはOnに設定して、Frequencyを電源周波数（50 Hzまたは60 Hz）に合わせます。

#### ご注意

撮影しているフレームレートが電源周波数に近い場合は、フリッカー補正機能が働いてもフリッカーを完全に補正できない場合があります。この場合は、電子シャッターを使用してください。

### タイムデータ

#### タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UB SETメニュー（133ページ）のTimecodeおよびTC Formatを使用して設定します。

## ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとして記録映像に付加できます。ユーザービットを現在年月日に設定することも可能です。設定には、TC/UB SETメニューのUsers Bit (133ページ) を使用します。

## タイムデータを表示する

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます (14ページ)。表示は、DURATION/TC/U-BITボタン (11ページ) を押すたびに、タイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り換わります。

表示	内容
TCG **:**:**:**:**	タイムコード
CLK **:**:**:**:**	タイムコード (Clockモード)
UBG * * * * *	ユーザービット
DUR **:**:**:**	記録開始からの経過時間

## 音声を記録する

本機では、映像と同期して4チャンネル (CH-1/CH-2/CH-3/CH-4) の音声を記録できます (リニアPCM記録)。内蔵ステレオマイク (無指向性エレクトレットコンデンサーマイク) またはAUDIO IN 端子に接続した外部音声入力を、AUDIO INスイッチで切り換えて使用します。

### 内蔵ステレオマイクを使う

**AUDIO INスイッチ (CH-1/CH-2) (11ページ)** を両方ともINT側に設定する。

### 外部入力を使う

- 1 AUDIO INスイッチ (CH-1/CH-2) (11ページ)** をEXT側にする。
- 2 AUDIO IN端子 (CH-1/CH-2) (9ページ)** に外部オーディオ機器を接続する。
- 3 AUDIO SETメニューのAudio Input** で、**CH1 EXT Input**と**CH2 EXT Input**を**XLR**に設定する (125ページ)。
- 4 入力切り換え (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチ (CH-1/CH-2) (9ページ)** を**LINE** (ラインレベル+4 dBu) に設定する。

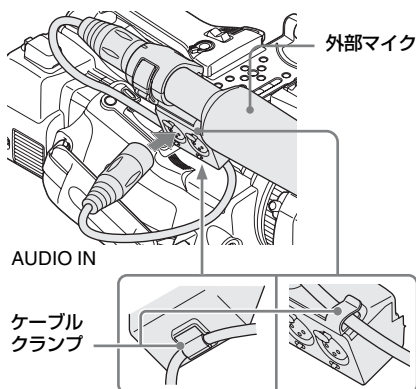
#### ご注意

XLR端子をご使用になる場合は、AUDIO SETメニューのAudio Inputで、CH1 EXT InputまたはCH2 EXT InputをXLRに設定してください。

### 外部マイクを使う

エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-673などを取り付けて使用することができます。

- 1 外部マイク取り付け部（9ページ）の取っ手を引き上げてカバーを開ける。
- 2 マイクを取り付け、外部マイク取り付け部のカバーを元どおり閉めてマイクを固定する。
- 3 **AUDIO IN**端子（CH-1/CH-2）にマイクケーブルを接続する。



- 4 マイクを接続した端子に対応する**AUDIO IN**スイッチ（CH-1/CH-2）（11ページ）をEXT側にする。
- 5 **AUDIO SET**メニューのAudio Inputで、CH1 EXT InputとCH2 EXT InputをXLRに設定する（125ページ）。
- 6 接続したマイクに合わせて、入力切り換え（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ（CH-1/CH-2）（9ページ）を切り換える。  
**MIC**：電源供給不要のマイクを接続したとき  
**MIC+48V**：+48V電源供給を要するマイク（ECM-673など）を接続したとき

#### ご注意

XLR端子をご使用になる場合は、**AUDIO SET**メニューのAudio Inputで、CH1 EXT InputまたはCH2 EXT InputをXLRに設定してください。

マルチインターフェース対応マイクを使う

- 1 **AUDIO IN**スイッチ（CH-1/CH-2）をEXT側にする。
- 2 マルチインターフェースシューにマイクを取り付ける。
- 3 **AUDIO SET**メニューのAudio Inputで、CH1 EXT InputとCH2 EXT InputのSHOE MICに設定する（125ページ）。

#### ご注意

- 本機がACアダプター（BC-U1、BC-U2）またはバッテリー駆動している場合で、マルチインターフェースシューの動作が異なります。ACアダプター（BC-U1、BC-U2）で駆動している場合
  - ーネットワーク機能を使用している場合、マルチインターフェースシューへは電源供給できません。
  - ーワイヤレスマイクロホンUWP-D11/D12を使用する場合は、NW&Proxy/USBをNetwork&Proxy以外に設定してください。
  - ーワイヤレスマイクロホンUWP-D11/D12を装着してネットワーク機能と併用する場合は、ワイヤレスマイクロホンUWP-D11/D12と本機のXLR入力を接続することで使用することができます。
- この場合、マルチインターフェースシューへは電源供給できませんので、ワイヤレスマイクロホンUWP-D11/D12はバッテリー駆動でご使用ください。
- バッテリーで駆動している場合
  - ーマルチインターフェースシューへの電源供給は可能で、ワイヤレスマイクロホンUWP-D11/D12を装着して使用することができます。
- **AUDIO SET**メニューのAudio Inputで、CH1 EXT InputとCH2 EXT InputのSHOE MICに設定したときは、入力切り換え（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチ（CH-1/CH-2）の設定は無効となります。どのポジションでもMIC相当になります。

## 録音レベルを調整する

### 自動調整する（AGC）

**AUDIO SELECT** スイッチ（CH-1/CH-2）（11ページ）をAUTOにすると、録音レベルは自動調整されます。

## 手動で調整する

AUDIO SELECT スイッチ (CH-1/CH-2) を MANUALにして、AUDIO LEVEL調整つまみ (11ページ) を回して、録音レベルを調整します。

つまみを5の位置にすると基準位置 (0 dB) になり、10で最大 (+12 dB)、0で 最小 (-∞) になります。

DISPLAYボタンを押すと、画面に入力レベルが表示されます (14ページ)。

## 特殊記録モードでの音声記録

インターバルレックモード、フレームレックモードでは、音声は記録されません。スロー&クイックモーション撮影で、再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。

## 音声をモニターする

ヘッドホン端子 (ステレオミニジャック) (8ページ) に接続したヘッドホンで、記録される音声をモニターできます。

### ご注意

撮影中 (記録中/記録待機中) は内蔵スピーカーで音声をモニターすることはできません。

## モニター音量を調整するには

VOLUMEボタン (10ページ) を使用します。

# 便利な機能を使う

## カラーバー / 基準音声信号

CAMERA SETメニューのColor Bars (118ページ) で、Camera/BarsをBarsに設定すると、撮影中の映像に代えてカラーバーを出力することができます。Cameraに設定すると撮影画に戻ります。

AUDIO SETメニューのAudio Input (125ページ) で、1KHz ToneをOnに設定すると、カラーバーと同時に1KHzの基準音声信号が出力されます。

カラーバーと基準音声信号は、SDI OUT端子、HDMI OUT端子、i.LINK端子、VIDEO OUT端子 (カラーバーのみ)、A/V OUT端子から出力されます。

カラーバーの種類は、CAMERA SETメニューのColor Bars の、Bars Typeで選択できます。

### ご注意

- スロー&クイックモーション撮影時、超高感度スローシャッター (SLS/EX SLS) モードのときは、カラーバーを出力することはできません。
- 記録中は、カラーバーには切り換わりません (カラーバーからカメラ画像への切り換えは可能です)。

## ショットマーク

UDF、exFATまたはFAT/HDモードで記録したクリップでは、映像/音声の重要なシーンに、ショットマークをデータとして記録しておく、マークを付けたシーンだけが表示される「ショットマーク画面」(104ページ) で目的のシーンを容易に頭出しでき、効率的な編集作業が可能になります。本機では、ショットマーク1、ショットマーク2の2種類のショットマークを記録できます。

ショットマークは撮影中に随時記録するか、記録終了後にサムネイル画面で再生画像を確認しながら追加することができます。

## 撮影中にショットマークを記録する

アサインابلボタン（43ページ）に、Shot Mark1またはShot Mark2を割り当て、ショットマークを入りたいシーンでボタンを押します。

◆記録終了後にショットマークを追加する方法については、「再生中にショットマークを追加する（UDF、exFATまたはFAT/HDモード）」（97ページ）、「ショットマークを追加・削除する（UDF、exFATまたはFAT/HDモード）」（104ページ）をご覧ください。

◆プランニングメタデータを使ってショットマーク名をつける方法は、「プランニングメタデータでショットマーク名を設定する」（62ページ）をご覧ください。

## OK/NG/KPフラグ（UDF、exFAT）

UDFまたはexFATで記録したクリップは、OK/NG/KPフラグを付加することができます。フラグを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面「OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面」（95ページ）に表示させることができます。

### ご注意

クリップを保護するには、Lock Clipの設定（99ページ）が必要です。

## フラグを付加する

記録中または再生中に、**Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keep**を割り当てたアサインابلボタンを押す。

記録中または再生中のクリップにOK/NG/KPフラグを付加することができます。

## フラグを削除する

**Clip Flag OK/Clip Flag NG/Clip Flag Keep**を割り当てたアサインابلボタンを2回続けて押す。

クリップに付加されたOK/NG/KPフラグを削除することができます。

◆サムネイル画面からもOK/NG/KPフラグを付加、削除することができます。詳しくは「フラグを付ける/フラグを削除する（UDF、exFAT）」（101ページ）をご覧ください。

## OKマーク（FAT/HDモードのみ）

FAT/HDモードで記録したクリップは、OKマークを付加することによって、誤って削除・分割されることを防ぐことができます。また、OKマークでマーキングすることによって、必要なクリップのみサムネイル画面「OKクリップサムネイル画面」（96ページ）に表示させることができます。

## OKマークを付加する

記録を停止し、**OK Mark**を割り当てたアサインابلボタンを押す。

記録待機中に、選択されているメモリーカードに最後に記録されたクリップ（Last Clip）にOKマークを付加することができます。

## OKマークを削除する

**OK Mark**を割り当てたアサインابلボタンを押して、**Execute**を選択する。

記録待機中に、メモリーカードの最後のクリップに付加されたOKマークのみ削除することができます。

## 一つ以上前のクリップにOKマークを付加・削除する

サムネイル画面から設定します。

- ◆ 設定方法について詳しくは、「OKマークを付ける/OKマークを削除する（FAT/HDモードのみ）」（101ページ）をご覧ください。

## レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認（レックレビュー）できます。

### 記録を停止したら、REC REVIEWボタン（13ページ）を押す。

アサインボタン（43ページ）にRec Reviewを割り当てて使用することもできます。

CAMERA SETメニューのRec Review（122ページ）の設定に従って、クリップの最後の3秒、10秒、またはクリップ全体を再生します。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY（記録待機）モードに戻ります。

### レックレビューを中止するには

REC REVIEWボタン、STOP/CAMボタン、またはRec Reviewを割り当てたアサインボタンを押します。

#### ご注意

- レックレビューによる再生時は、STOP/CAMボタン以外の再生コントロールボタンは動きません。
- 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。（例外：SP 1440×1080/23.98PからSP 1440×1080/59.94iに変更した場合）。
- レックレビュー中は、セットアップメニュー、およびピクチャープロファイルメニューは操作できません。

## アサインボタン

本機には、機能を変更して使用できるアサインボタン（5個）（11ページ）があります。

### 機能を変更するには

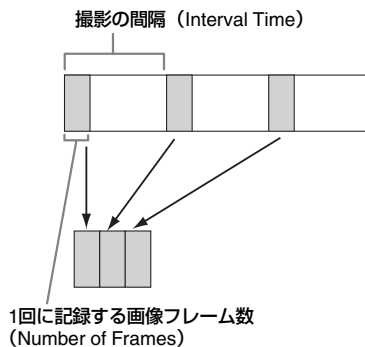
OTHERSメニューのAssign Button（142ページ）を使用します。

割り当てられた機能は、「ボタン/リモートステータス画面」（107ページ）で確認することができます。

## インターバルレック

間欠的に映像を記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。

1度に記録するフレーム数（Number of Frames）と間隔時間（Interval Time）を設定し、間欠的に映像を自動記録できます。



三脚などに本機を固定して、本体のREC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

#### ご注意

- インターバルレックモードでは、音声は記録できません。
- インターバルレックは、フレームレック、ピクチャーキャッシュレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニュースレック、2スロット同時記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。インターバルレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- OTHERSメニューのSystem（144ページ）のFormatが、HQ 1280×720/23.98P（UDF/HDおよびexFAT/HDモード）、SP 1440×1080/23.98P（FAT/HDモード）に設定されているときは、インターバルレックモードにできません。
- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（127ページ）でHDVまたはDVCAMを含む項目が選択され、かつOTHERSメニューのSystem（144ページ）のFormatでHQモード/23.98P以外のビデオフォーマットが選択されて

いる場合はインターバルレックモードにできません。

## 撮影前の設定

インターバルレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのInterval Rec（119ページ）で設定を行ってください。

マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、CAMERA SETメニューのInterval RecのPre-LightingをOnに設定すると、記録開始よりも2秒前にライトを自動的に点灯させて記録することができ

### ご注意

- Pre-LightingがOnのときは、Video Light SetをRec LinkまたはRec Link + Stbyに設定していても、Interval Timeの設定が、3sec以下の場合、ビデオライトは点灯したままとなります。
- Pre-LightingがOffのときは、Video Light SetをRec Linkに設定して記録を開始しても、ビデオライトは消灯したままとなります。Rec Link + Stbyに設定してある場合は、弱点灯になります。

## インターバルレックモードで撮影する

事前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### REC START/STOPボタンを押す。

#### ご注意

- インターバルレックモードで記録が行われている間は、Interval TimeおよびNumber of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- インターバルレックモードで記録を開始すると、インターバル期間を含め、レックレビュー操作はできません。
- インターバルレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます（133ページ）。
- インターバルレックモードで記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。
- 本機の電源スイッチをOFFにした場合、Interval RecのSettingは自動的にOffになります。ただしInterval TimeおよびNumber of Framesの設定値は保持されます。

## フレームレック: コマ撮りする

フレームレック機能は、クレイアニメなどの撮影をするときに有効です。

記録開始ボタンを押すたびに、あらかじめ設定したフレーム数（Number of Frames）だけ間欠的に映像を記録します。

三脚などに本機を固定して、本体のREC START/STOPボタンの代わりにリモコンのボタンで操作することをお勧めします。

### ご注意

- フレームレックモードでは、音声は記録できません。
- フレームレックは、インターバルレック、ピックアップキャシュレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレック、2スロット同時記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。フレームレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- OTHERSメニューのSystem（144ページ）のFormatが、HQ 1280×720/23.98P（UDF/HDおよびexFAT/HDモード）、SP 1440×1080/23.98P（FAT/HDモード）に設定されているときは、フレームレックモードにできません。
- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（127ページ）でHDVまたはDVCAMを含む項目が選択され、かつOTHERSメニューのSystem（144ページ）のFormatでHQモード/23.98P以外のビデオフォーマットが選択されている場合はフレームレックモードにできません。

## 撮影前の設定

フレームレックで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのFrame Rec（119ページ）で設定を行ってください。

## フレームレックモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

- 1 REC START/STOPボタンを押す。**  
メニューのNumber of Framesで設定したフレーム数を記録すると、自動的にFRM STBY（フレームレックスタンバイ）状態になります。
- 2 再度 REC START/STOPボタンを押す。**



REC START/STOPボタンを押すたびに、Number of Framesで設定したフレーム数を記録し、自動的にFRM STBY状態になります。

#### ご注意

- 設定されたフレーム数の記録が終わるまでは、記録を途中で停止することはできません。記録途中で電源スイッチがOFFになったときは、設定されたフレーム数の記録が終了してから、電源が切れます。
- フレームレックモードで記録が行われている間は、レックレビュー操作はできません。
- フレームレックモードで記録が行われている間は、Number of Framesの設定値は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- フレームレックモードでは、タイムコードはRec Runモードで記録されます（133ページ）。
- フレームレックモード記録を停止したときや、記録停止中にスロットを切り換えたときは、余分なフレームが記録されることがあります。
- 本機の電源スイッチをOFFにした場合、Frame RecのSettingは自動的にOffになります。ただしNumber of Framesの設定値は保持されます。
- マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、Video Light SetをRec Linkに設定して記録を開始してもビデオライトは消灯したままとなります。Rec Link + Stbyに設定してある場合は、弱点灯になります。

## クリップコンティニュアスレック (UDF、exFAT)

通常は記録開始、停止のたびに1つのクリップが独立したファイルとして生成されますが、クリップコンティニュアスレック機能を使用すると、記録と停止を繰り返しても、機能が停止または解除されるまで連続した1つのクリップを生成することができます。短いクリップを数多く生成したくないとき、または記録できるクリップ数の上限を意識しないで記録したいときに便利な機能です。記録の開始点にはレックスタートマークが記録されるため、記録開始位置の検索も容易です。

### 撮影前の設定

あらかじめCAMERA SETメニューのClip Cont. Rec（119ページ）で設定を行ってください。

SettingをOnにすると、クリップコンティニュアスレック機能が有効になり、画面上に「CONT」が表示されます（14ページ）。アサイナブルボタン（43ページ）にClip Cont. Rec（クリップコンティニュアスレック機能）を割り当てて、ボタン操作でSettingのON/OFFを切り換えることもできます。

#### ご注意

- クリップコンティニュアスレックは、ピックアップキャッシュレック、インターバルレック、フレームレック、スロー&クイックモーション、2スロット同時記録、プロキシー記録と同時にOnにすることはできません。クリップコンティニュアスレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中はクリップコンティニュアスレックモードにできません。
- FATでは使用できません。

## クリップコンティニュアスレックで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### REC START/STOPボタンを押す。

記録を開始すると、画面上の「CONT」表示が「●REC」（●は赤）表示に変わります。

#### ご注意

- 記録中または記録待機中（「CONT」表示が点灯した状態）にSxSメモリーカードを取り出したり、バッテリーや電源を抜くと、SxSメモリーカードの修復が必要になります。クリップコンティニュアスレックモードを終了してからSxSメモリーカードを取り出してください。なお、「CONT」が点滅（1回/秒）しているときは、SxSメモリーカードを取り出すことができます。
- 最低2秒間記録してから記録を停止してください。

## クリップコンティニュアスレックモードを終了するには

記録待機中に、CAMERA SETメニューのClip Cont. Rec（119ページ）のSettingをOffにします。

### 動作制限

記録中または記録待機中に以下の操作を行うと、1つのつながったクリップが作成され

ません。次に記録を行うと、新たなクリップが生成されます。

- クリップ操作（クリップのロック、削除、または名前の変更）
- メモリーカードスロットの切り換え
- 記録フォーマットの変更
- 電源スイッチをOFFにして電源を切る
- サムネイル画面を表示する
- クリップを再生する

## ピクチャーキャッシュレック： さかのぼって記録する

ピクチャーキャッシュレック機能を使用すると、撮影している映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリに蓄えておくことによって、記録開始以前にさかのぼって映像をSxSメモリーカードに記録することができます。蓄積時間は最大15秒です。

### ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、フレームレック、インターバルレック、スロー&クイックモーション、クリップコンティニユアスレック、2スロット同時記録、プロキシ記録と同時にOnにすることはできません。ピクチャーキャッシュレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中、フリーズミックス中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- OTHERSメニューのSystem（144ページ）の各項目を変更すると、ピクチャーキャッシュレックはOffになります。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードはTC/UB SETメニューの設定に関わらず常にFree Runモードで記録されます（133ページ）。
- OTHERSメニュー >System>FormatでXAVC-Iを選択している場合は、蓄積時間は最大4秒です。

## 撮影前の設定

あらかじめCAMERA SETメニューのP.Cache Rec（119ページ）で設定を行ってください。

アサインابلボタン（43ページ）にPicture Cache（ピクチャーキャッシュレック機能）を割り当てて、ボタン操作でSettingのON/OFFを切り換えることもできます。

設定を完了すると、画面上の特殊記録/動作状態表示部に「●CACHE」（●は緑）が点灯します（14ページ）。

## ピクチャーキャッシュレックを実行する

### REC START/STOPボタンを押す。

記録が開始され、キャッシュメモリに蓄積されている映像からSxSメモリーカードに書き込まれます。

ピクチャーキャッシュレック実行中は、画面上の「●CACHE」表示が「●REC」（●は赤）表示に変わります。

### ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

CAMERA SETメニューのP.Cache RecでSettingをOffにするか、Picture Cacheを割り当てたアサインابلボタンを押します。

### ご注意

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。従って、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- SxSメモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 外部入力信号（HDV）に対しては、ピクチャーキャッシュレック機能は動作しません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、SxSメモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 記録中でもメニュー操作で蓄積時間の設定を変更できますが、設定値は記録終了後に反映されます。
- マルチインターフェースシュー対応のビデオライトを装着した場合、Video Light SetをRec LinkまたはRec Link + Stbyに設定して記録を開始しても記録開始以前にさかのぼった記録には対応しません。REC START/STOPボタンを押した時点で点灯/消灯します。

## スロー&クイックモーション

UDF/HDモード、exFAT/HDモードまたはFAT/HDモードで、ビデオフォーマット（144ページ）が下記のいずれかに設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

### NTSC Area

HD422 50/1080/29.97P  
HD422 50/1080/23.98P  
HD422 50/720/59.94P  
HD422 50/720/29.97P  
HD422 50/720/23.98P  
XAVC-I 1080/29.97P  
XAVC-L50 1080/29.97P  
XAVC-L35 1080/29.97P  
XAVC-I 1080/23.98P  
XAVC-L50 1080/23.98P  
XAVC-L35 1080/23.98P  
XAVC-I 720/59.94P  
XAVC-L50 720/59.94P  
HQ 1920×1080/29.97P  
HQ 1920×1080/23.98P  
HQ 1280×720/59.94P  
HQ 1280×720/29.97P (FAT/HDのみ)  
HQ 1280×720/23.98P (FAT/HDのみ)

### PAL Area

HD422 50/1080/25P  
HD422 50/720/50P  
HD422 50/720/25P  
XAVC-I 1080/25P  
XAVC-L50 1080/25P  
XAVC-L35 1080/25P  
XAVC-I 720/50P  
XAVC-L50 720/50P  
HQ 1920×1080/25P  
HQ 1280×720/50P  
HQ 1280×720/25P (FAT/HDのみ)

#### ご注意

- SDモードではスロー&クイックモーション撮影はできません。
- スロー&クイックモーションは、フレームレック、インターバルレック、ピクチャーキャッチレック、クリップコンティニュースレック、2スロット同時記録、プロキシ記録と同時にOnにすることはできません。スロー&クイック

モーションをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。

- 記録中、レックレビュー中、フリーズミックス中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- CAMERA SETメニューのSLS/EX SLS（117ページ）がOFF以外のときは、スロー&クイックモーションモードにできません。
- 再生フレームレートと異なる撮影フレームレートを設定した場合、音声は記録できません。

### 撮影前の設定

スロー&クイックモーションで記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのS&Q Motion（120ページ）で設定を行ってください。

画面の特殊記録モード表示がOnのときは、画面上に「S&Q Motion」が点灯します（14ページ）。

### ダイレクトメニューで撮影フレームレートを設定するには

画面の特殊記録モード表示がOnのときは、S&Q Motionの下に「撮影フレームレート/再生フレームレートfps」が表示されます。その場合、ダイレクトメニュー（16ページ）で撮影フレームレートを切り換えることができます。

### スロー&クイックモーションモードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

### REC START/STOPボタンを押す。

#### ご注意

- スロー&クイックモーション撮影中は、Frame Rateの設定は変更できません。変更する場合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイムコードはRec Runモードで記録されます（133ページ）。
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、REC START/STOPボタンを押してから記録が停止するまでに時間がかかる場合があります。
- 本機の電源スイッチをOFFにした場合、スロー&クイックモーションモードは自動的にOffになります。ただし、Frame Rateの設定値は保持されます。

## 2スロット同時記録

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

### 撮影前の設定

2スロット同時記録を始める前に、あらかじめCAMERA SETメニューのSimul Rec（122ページ）をSimulに設定してください。

#### ご注意

- 2スロット同時記録の際は、同じ種類、同じサイズのメモリーカードをご使用ください。
- メモリーカードはSxSカードを推奨します。
- SDHCカードは、2スロット同時記録機能には対応していません。

#### 対応メディア

SxS PRO+シリーズ

SxS PROシリーズ

SxS-1シリーズ

XQDメモリーカードシリーズ

SDXCカード（exFATモード時のみ）

#### 対応フォーマット

OTHERSメニュー Systemの設定で、exFAT/HDモードの下記フォーマットのとき

- XAVC-I
- XAVC-L50
- XAVC-L35
- XAVC-L25
- MPEG2 HD422
- MPEG2 HD420HQ

OTHERSメニュー Systemの設定で、UDF/HDモードの下記フォーマットのとき

- MPEG2 HD422
- MPEG2 HD420HQ

- ◆ 詳しくは、「ビデオフォーマット（Format）」（163ページ）をご覧ください。

### 2スロット同時記録モードで撮影する

撮影前に必要な設定が終わったら、記録を開始します。

**REC START/STOP ボタンを押す。**

記録の開始、停止の操作は、通常の撮影時と同じです。

#### ご注意

- 2スロット同時記録は、下記の機能と同時にOnにすることはできません。
  - ーフレームレック
  - ークリップコンテンツニュアスレック
  - ーピクチャーキャッシュレック
  - ースロー&クイックモーション
  - ーインターバルレック
  - ープロキシ記録
  - ーネットワーク接続(NW&Proxy/USBがNetwork&Proxy設定)
  - ーストリーミング
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、2スロット同時記録機能は設定できません。
- 記録中に一方のスロットのメディアがフルになった場合は、もう一方のスロットのメディアが記録可能であれば、通常記録として継続記録します。通常記録として継続記録中にメディアを交換しても、同時記録やリレー記録は行われません。
- 2スロット同時記録モードで記録を開始したとき、どちらか一方のスロットにのみメディアが挿入されていた場合やどちらか一方のメディアがフルになっていた場合は、記録可能なメディアにのみ記録を行います。

## フリーズミックス：位置を合わせる

UDF/HDモード、exFAT/HDモードまたはFAT/HDモードで記録したクリップの映像の静止画（フリーズ画）と、カメラ入力画像を一時的に重ね合わせて表示することができます。簡単に位置合わせをすることができます。

### フリーズミックスを使用する

あらかじめアサインابلボタン（43ページ）のひとつにFreeze Mix（フリーズミックス機能）を割り当てます。

### フリーズミックス表示する

再生中またはレックレビュー中に、位置合わせしたいレビュー画像でFreeze Mixを割り当てたASSIGNボタンを押します。レビュー画像がフリーズ画としてカメラ入力画像に重ねて表示されます。

## フリーズミックス表示を解除する

ASSIGNボタンまたはREC START/STOPボタンで解除できます。

Freeze Mixを割り当てたアサインブルボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常のカメラ画像になります。

REC START/STOPボタンを押してフリーズミックス表示を解除すると、通常の記録が始まります。

### ご注意

- SDモードではフリーズミックスは使用できません。
- OTHERSメニューのSystem（144ページ）のFormatが、HQ 1280×720/23.98P（UDF/HDおよびexFAT/HDモード）、SP 1440×1080/23.98P（FAT/HDモード）に設定されているときは、フリーズミックスは使用できません。
- 記録された画像とカメラ入力画像のFormatの設定が異なる場合は、フリーズミックス表示はできません。
- スロー&クイックモーションモード、スローシャッター撮影時は、フリーズミックス表示はできません。
- フリーズミックス表示中は、セットアップメニュー、ピクチャープロファイルメニューは操作できません。

## フランジバックの自動調整

フランジバックの自動調整を実行すると、レンズズームの広角端、望遠端でそれぞれ自動でフォーカス合わせを実施し、フォーカス調整後にズーム位置を変更してもフォーカスが合ったまま保持されるよう、フランジバックを調整し結果を保存します。

### ご注意

- コントラストの不鮮明な被写体を使用したり、調整中に本機や被写体を動かすと調整が正しく行われません。調整開始後は完了するまでレンズや本体に触れないでください。
- CAMERA SETメニューのSLS/EX SLSの設定をOFFにしてから調整を行ってください。
- フランジバック調整中に、照明器具や太陽、明るい窓などの光源が、画枠に映り込まないようにしてください。
- フランジバック調整用チャートが必要な場合は、各販売店にお問い合わせください。

## 1 電源スイッチをONにする。

## 2 ND FILTER（NDフィルター切り換え）スイッチをCLEARにする。

## 3 フランジバック調整用チャートなど、コントラストのはっきりした被写体を約3m離れた位置に置き、適正な映像出力が得られるように照明する。 ズームの望遠端で、被写体が画面中央になるように置いてください。また、広角端で被写体より距離が近いものが画面内に入らないようにしてください。

## 4 本機底面のZOOMスイッチをSERVO側にする（電動ズームモード）。

## 5 メニューのCAMERA SET >Auto FB AdjustでExecuteを選択して、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

フランジバックの自動調整が始まります。

調整中は、画面に実行中メッセージが表示されます。  
フランジバックの自動調整が正常に終了すると、メッセージが完了メッセージに変わります。

### ご注意

- NDフィルターが1または2のときは、Auto FB Adjustは選択できません。
- Auto FB Adjust実行中はNDフィルターを切り換えないでください。

### 調整中に CANCEL ボタンを押すと

フランジバックの自動調整処理は中断し、実行前の状態に戻ります。

### フランジバック調整が正しく行われなかった場合は

エラーメッセージが表示されます。  
被写体や照明の状態を確認して、調整をもう一度やり直してください。

## ピクチャープロファイル

撮影条件などに合わせて調整した設定値をピクチャープロファイルとして保存し、必要に応じて再現することが可能です。

本機では、6種類のピクチャープロファイル（PP1～PP6）を登録することができます。工場出荷時は、すべて標準設定値（ピクチャープロファイルOffの場合と同じ）が登録されています。

#### ご注意

ピクチャープロファイルは、記録中/記録待機中のみ操作できます。サムネイル画面では操作できません。

### ピクチャープロファイルを登録する

- 1 電源スイッチ（8ページ）をONにして、本機を起動する。
- 2 **PICTURE PROFILE**ボタン（11ページ）を押す。  
PICTURE PROFILEメニューが表示されます。
- 3 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで**SEL**を選択し、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 4 リストから登録するピクチャープロファイルの番号を選択し、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 5 上/下ボタンまたはジョグダイヤルで**SET**を選択し、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 6 各設定（51ページ）を変更する。
- 7 設定が終わったら、**PICTURE PROFILE**ボタンを押す。

### 登録したピクチャープロファイルを呼び出す

ピクチャープロファイルを登録しておくと、呼び出すだけで登録された画質に調整することができます。

- 1 記録待機中に**PICTURE PROFILE**ボタン（11ページ）を押す。  
PICTURE PROFILEメニューが表示されます。

- 2 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで**SEL**を選択し、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 3 リストから使用するピクチャープロファイルの番号を選択し、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。  
OFFを選択した場合は、画質は標準設定になり、調整はできません。
- 4 **PICTURE PROFILE**ボタンを押す。

DISPLAYボタンを押すと、現在選択されているピクチャープロファイルが画面に表示されます（14ページ）。  
ダイレクトメニュー（16ページ）でピクチャープロファイルを選択できます。

## ピクチャープロファイル項目

PICTURE PROFILEメニューのSELでOffを選択したときの設定値を、太文字（例：**Standard**）で表示します。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Profile Name ピクチャープロファイル名の変更	プロファイル名 <b>Standard</b>	最大8文字のプロファイル名を設定する。 アルファベットの小文字a～z、大文字A～Z、数字0～9、-（ハイフン）、_（アンダーバー）、およびスペースから選択。
Matrix マトリクス演算による映像全域の色相の調整	Setting <b>On</b> / Off	Onにすると、マトリクス演算による映像全域の色相調整機能が有効になる。  <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>MatrixのSettingをOffにすると、Multi Matrix機能もOffになります。</li> <li>一部の青色LED照明など青色成分が極端に多い照明下等で色飽和をおこしてしまう場合はMatrixのSettingをoffにすることで色飽和が軽減されます。</li> </ul>
	Select 1 / <b>2</b> / 3 / 4 / 5 / 6	マトリクス演算に使用する内蔵プリセットマトリクスを選択する。 1：SMPTE-240M相当 / 2：ITU-709相当 / 3：SMPTE WIDE相当 / 4：NTSC相当 / 5：EBU相当 / 6：PAL相当
	Level -99～+99 ( <b>±0</b> )	映像全域の色の濃さ（Saturation）を調整する。
	Phase -99～+99 ( <b>±0</b> )	映像全域の色合い（Hue）を調整する。
	R-G, R-B, G-R, G-B, B-R, B-G -99～+99 ( <b>±0</b> )	それぞれ対応する係数を個別に設定し、映像全域の色相を微調整する。
Multi Matrix mode マルチマトリクス補正と特定エリア色相調整の選択	Multi Matrix / <b>Color Correction</b>	Multi Matrixの項目を設定するかColor Correctionの項目を設定するかを選択する。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Multi Matrix マルチマトリックス補正の設定 (Multi Matrix modeでColor Correctionを選択した場合は、選択不可)	Setting On / <b>Off</b>	16軸の色相 (Hue) 空間で飽和度 (Saturation) を設定するマルチマトリックス補正をON/OFFする。
	Area Indication <sup>1)</sup> On / <b>Off</b>	Onにすると、画面上のMulti Matrixの調整対象となる色の部分にゼブラパターンを表示する。
	Color Detection <sup>2)</sup> Execute/Cancel	実行すると、マルチマトリックス補正の対象となる色を検出する。
	Preset Execute/Cancel	実行すると、Multi MatrixのHueとSaturationをPreset値に戻す。
	Axis <b>B</b> / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	マルチマトリックス補正の対象となる色 (16軸モード) を設定する。
	Hue -99~+99 ( <b>±0</b> )	マルチマトリックス補正の対象となる色の色相 (ヒュー) を16軸モードごとに設定する。
	Saturation -99~+99 ( <b>±0</b> )	マルチマトリックス補正の対象となる色の飽和度 (サチュレーション) を16軸モードごとに設定する。
Color Correction 特定のエリアの色相のみの調整 (Multi Matrix modeでMulti Matrixを選択した場合は、選択不可)	Setting On / <b>Off</b>	Onにすると、特定エリアの色相調整機能が有効になる。(色相を調整できるのは1エリアのみで、複数エリアの色相の同時調整はできない。)
	Area Detection <sup>2)</sup> Execute/Cancel	実行すると、画面中央部の色を検出し、その色を中心にTarget Widthで設定された幅のエリアをColor Correctionでの調整対象とする。
	Area Indication <sup>1)</sup> On / <b>Off</b>	Onにすると、画面上のColor Correctionの調整対象エリアに含まれる色の部分に対しゼブラ1パターンを表示する。
	<div>ご注意</div> ゼブラ1パターンが表示されるエリアと、実際の調整対象エリアが異なる場合があります。	
	Target Phase 0~359 ( <b>130</b> )	Color Correctionの調整対象エリアの中心の色を手動で設定する。
	<div>ご注意</div> Area Detectionを実行すると、Area Detectionの実行結果によって上書きされます。必要に応じて手動で微調整できます。	
	Target Width 0~90 ( <b>40</b> )	Color Correctionの対象エリアの色相の幅を設定する。
	Level -99~+99 ( <b>±0</b> )	設定対象の色に対する色の濃さ(Saturation)を設定する。
	Phase -99~+99 ( <b>±0</b> )	設定対象の色に対する色合い( Hue) を設定する。



PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
White ホワイトバランスのオフセット、プリセットホワイトの色温度の設定	Offset White On / Off	Onにすると、ホワイトモードがメモリー Aまたはメモリー Bのときのオートホワイトバランス収束値、およびATWのときのATW動作の収束値を、色温度低めあるいは色温度高めにシフトさせる。
	Offset<A> -99～+99 (±0)	それぞれホワイトモードがメモリー A、メモリー B、ATWのときのATWに対するオフセットホワイト量の設定（収束値のシフト量）を調整する。
	Offset<B> -99～+99 (±0)	
	Offset<ATW> -99～+99 (±0)	
	Preset White Sel 1 / 2 / 3 / 4	ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているときのプリセット色温度をプリセット1～4から選択する。
	Preset White 2100～10000 (3200 : Preset White Selが1のとき) (4300 : Preset White Selが2のとき) (5600 : Preset White Selが3のとき) (6300 : Preset White Selが4のとき)	Preset White Selで選択したプリセット1～4の色温度を100Kステップで調整する。  <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホワイトバランスがメモリー A、BモードになっているかATWが起動しているとき以外は、Offset Whiteの設定やOffsetの設定を変更しても、その変化を画面で確認することはできません。</li> <li>ホワイトバランスモードでプリセットが選択されているとき以外は、Preset Whiteの設定を変更してもその変化を画面で確認することはできません。</li> <li>Network Remote（137ページ）がOnのときは、WHITE BALスイッチのポジションに関係なく、メモリー A固定になります。</li> </ul>
HD Detail HDモードの映像に付加するディテールの調整	Setting On / Off	Onにすると、HD映像にディテールが付加される。
	Level -99～+99 (±0)	HD映像に付加するディテールの大きさを調整する。
	Frequency -99～+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Crispening -99～+99 (±0)	ノイズ成分を抑制するレベルを調整する。大きくすると、微細なディテール成分がなくなりレベルの大きいディテール成分のみ残るため、ノイズ感が少なくなる。小さくすると、微細なディテール成分も映像に付加されるが、ノイズも多くなる。
	H/V Ratio -99～+99 (±0)	ディテール成分の水平と垂直の比率を調整する。大きくすると垂直のディテール成分が水平に対し大きくなる。
	White Limiter -99～+99 (±0)	白側に付くディテールの大きさを制限する。
	Black Limiter -99～+99 (±0)	黒側に付くディテールの大きさを制限する。
	V DTL Creation NAM / Y / G / <b>G+R</b>	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
	Knee APT Level -99～+99 (±0)	ニーアパーチャー（ニーポイントより上の部分に付けるディテール量）を調整する。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
SD Detail SDモードの映像に付加するディテールの調整	Setting On / Off	Onにすると、SD映像にディテールが付加される。
	Level -99～+99 (±0)	SD映像に付加するディテールの大きさを調整する。
	Frequency -99～+99 (±0)	ディテールの中心周波数（ディテールの太さ）を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
	Crispening -99～+99 (±0)	ノイズ成分を抑制するレベルを調整する。大きくすると、微小なディテール成分がなくなりレベルの大きいディテール成分のみ残るため、ノイズ感が少なくなる。小さくすると、微小なディテール成分も映像に付加されるが、ノイズも多くなる。
	H/V Ratio -99～+99 (±0)	ディテール成分の水平と垂直の比率を調整する。大きくすると垂直のディテール成分が水平に対し大きくなる。
	White Limiter -99～+99 (±0)	白側に付くディテールの大きさを制限する。
	Black Limiter -99～+99 (±0)	黒側に付くディテールの大きさを制限する。
	V DTL Creation NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM（GとRのどちらか大きい方）、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
	Knee APT Level -99～+99 (±0)	ニアパーチャー（ニーポイントより上の部分に付けるディテール量）を調整する。
	Setting On / Off	Onにすると、映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルの調整が可能になる。Offにするとディテールの大きさは映像の全域で同一になる。
Skin Tone Detail 映像の特定の色相の部分に付加するディテールの大きさの調整	Level -99～+99 (±0)	映像の特定の色相の部分に付加するディテールレベルを調整する。
	Area Detection <sup>2)</sup> Execute/Cancel	Executeを選択すると画面中央部の色を検出し、その色を中心に幅を持たせた色の範囲をSkin Tone Detailでの調整対象にする。
	Area Indication <sup>1)</sup> On / Off	Onにすると、画面上のSkin Tone Detailの調整対象エリアに含まれる色の部分に対しセブラ1ボタンが表示される。
	Saturation -99～+99 (±0)	Skin Tone Detailを効かせる色の彩度（色の濃さ）の範囲を調整する。
	Phase 0～359 (130)	Skin Tone Detailの調整対象エリアの色合い方向の中心値を調整する。

**ご注意**

Area Detectionを実行すると、自動的に0に戻ります。

**ご注意**

Area Detectionを実行すると、検出結果で得られた色の色合い相当の値に自動的に変更されます。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
	Width 0~90 <b>(40)</b>	Phaseで設定された色を中心にSkin Tone Detailの調整対象エリアに幅を持たせるときの色合い方向の幅を調整する。  <b>ご注意</b> Area Detectionを実行すると、自動的に40に戻ります。
	Aperture アパーチャー補正の設定	Setting <b>On / Off</b> Onにすると、アパーチャー補正（ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理）が有効になる。  Level -99~+99 <b>(±0)</b> アパーチャー補正のレベルを設定する。
Knee ニー（高輝度部分に圧縮をかける機能）の調整	Setting <b>On / Off</b>	Onにすると、映像の高輝度部分に圧縮がかかる。  <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>以下のときは、Kneeは固定され、変更できません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Gamma設定がHG1~4のとき</li> <li>電子シャッターがスローシャッターモードのとき</li> <li>EX SLSが動作しているとき</li> </ul> </li> </ul>
	Auto Knee <b>On / Off</b>	Onにすると、ニーをかけるレベルを、撮影している映像の輝度レベルから常に自動で最適に計算して動かす。Offにすると、撮影している映像のレベルに依存せず、ニーをかけるレベルを手動で調整できる。
	Point 50~109 <b>(90)</b>	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーポイントを設定する。
	Slope -99~+99 <b>(±0)</b>	Auto Kneeの設定がOffのとき、ニーの傾き（圧縮度合い）を調整する。
	Knee SAT <b>On/Off</b>	Onにすると、ニーサチュレーション（ニーポイントより上の部分の色つき具合）の調整が有効になる。
	Knee SAT Level -99~+99 <b>(±0)</b>	ニーポイントより上の部分の色つき具合（ニーサチュレーション）を調整する。
	White Clip Setting <b>On / Off</b>	ホワイトクリップ調整機能をオン／オフする
	Level Countryの設定がPAL Area以外の場合 90.0%~109.0% <b>(108.0%)</b>	ホワイトクリップレベルを設定する
	Countryの設定がPAL Areaの場合 90.0%~109.0% <b>(105.0%)</b>	
Gamma ガンマ補正のレベルの調整と、ガンマカーブの切り換え	Level -99~+99 <b>(±0)</b>	ガンマ補正のレベルを調整する。
	Select <sup>3)</sup> STD1 ~ STD6 / HG1 ~ HG4 (HD : <b>STD5</b> , SD : <b>STD4</b> )	ガンマ補正の基準カーブの種類を選択する。

PICTURE PROFILE SET		
項目	細目と設定値	内容
Black ブラックの調整	-99～+99 (±0)	マスターブラックのレベルを調整する。
Black Gamma ブラックガンマレベルの調整	-99～+99 (HD：±0, SD：-16)	映像の暗い部分のみを立てて階調をはっきりさせたり、逆に潰してノイズを抑えるブラックガンマ機能のレベルを調整する。
Low Key SAT ローキーサチュレーションの調整	-99～+99 (±0)	映像の暗い部分のみの色を濃くしたり、逆に薄くしてノイズを抑えるローキーサチュレーションのレベルを調整する。
Copy ピクチャープロファイルのコピー	Execute / Cancel	Executeを選択するとコピーを実行する。
PP Data ピクチャープロファイルの保存と読み出し	Display Mode <b>Date&amp;Time</b> / Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する。
	Store(SxS) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをSxSメモリーカードに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。
	Recall(SxS) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをSxSメモリーカードから読み出す。
	Store(USB) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをUSBメモリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。
	Recall(USB) Execute / Cancel	Executeを選択するとピクチャープロファイルをUSBメモリーから読み出す。
Reset ピクチャープロファイルのリセット	Execute / Cancel	Executeを選択すると標準設定に戻る。

1)Area IndicationのON/OFFは、PP1～PP6で連動して切り換わります。

2)Multi MatrixのColor DetectionまたはColor Correction / Skin Tone DetailのArea Detectionを実行するには

# 1. Color DetectionまたはArea Detectionを選択する。

画面中央に検出領域を示す四角のマーカーが表示され、画面下にExecute/Cancelが表示されます。

# 2. Executeを選択する。

マーカー領域の色相検出を実行します。検出に成功すると完了メッセージが表示され、元の画面に戻ります。Multi Matrixの場合は、調整対象となる色がColor Detectionで検出された色に変更され、その色の部分にArea Indication（ゼブラパターン）が表示されます。

Skin Tone Detailの場合は、調整対象エリアはArea Detectionで検出された色を中心とするエリアに変更され、Area Indication（ゼブラパターン）が表示されます。

検出に失敗した場合は、エラーメッセージが表示され、元の画面に戻ります。

3)GammaのSelectで選択できるガンマカーブ  
(STD：スタンダードガンマ、HG：ハイパーガンマ)

STD1：SDカムコーダー相当のガンマテーブル

STD2：x4.5ゲインのガンマテーブル

STD3：x3.5ゲインのガンマテーブル

STD4：SMPTE-240M規格相当のガンマテーブル

STD5：ITU-R709規格相当のガンマテーブル

STD6：x5.0ゲインのガンマテーブル

HG1：325%のDレンジの入力を100%の出力にするガンマテーブル

HG2：460%のDレンジの入力を100%の出力にするガンマテーブル

HG3： 325%のDレンジの入力を109%の出力にするガンマテーブル

HG4： 460%のDレンジの入力を109%の出力にするガンマテーブル

## クリップの削除

記録待機中は、直前に記録したクリップの削除（Last Clip DEL）およびSxSメモリーカードに記録されたクリップの一括削除（All Clips DEL）が可能です。

- ◆ サムネイル画面でのクリップ削除については、「クリップを削除する」（102ページ）をご覧ください。

## アサインブルボタンで削除する

あらかじめアサインブルボタンのいずれかにLast Clip DEL機能を割り当ててください（43ページ）。

Last Clip DEL機能を割り当てたアサインブルボタンを押して、Executeを選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

## セットアップメニューで削除する

OTHERSメニューのClip（145ページ）からLast Clip DELを選択してExecuteを選択し、再度Executeを選択すると、最後に記録されたクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

### ご注意

クリップコンティニュースレックがOnのときは、Last Clip DELを選択できません。

## クリップを一括削除する

OTHERSメニューのClip（145ページ）からAll Clips DELを選択してExecuteを選択し、再度Executeを選択すると、すべてのクリップがSxSメモリーカードから削除されます。

### ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- ファイルシステムでFATを選択している場合は、OKマーク（42ページ）が付加されたクリップは削除されません。UDF、exFATを選択してい

る場合は、Lock Clip（99ページ）が設定されているクリップは削除されません。

## 設定データの保存と呼び出し

本機では、セットアップメニューの設定内容を本機のSxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

### ご注意

OTHERSメニューのClock SetとHours Meterの値は保存されません。

## セットアップファイル

メニューの全設定データ（ピクチャープロファイルを含む）を保存します。

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に64個まで保存することができます。

セットアップファイルは「SETUP.SUF」、「SETUP002.SUF」～「SETUP064.SUF」というファイル名で保存されます。

## User ファイル

カスタマイズしたUSERメニューの設定項目と設定データを保存します。

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に64個まで保存することができます。

このファイルを本機のメモリーに読み込むことにより、USERメニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

Userファイルは「001.USER」～「064.USER」というファイル名で保存されます。

## ピクチャープロファイル

撮影シーンに合わせて設定したピクチャープロファイルの設定値を保存します。

本機の内蔵メモリーに5個、SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、exFATモード時）に64個まで保存することができます。

ピクチャープロファイルは「PPDATA.SUF」、「PPDATA002.SUF」～

「PPDATA064.SUF」というファイル名で保存されます。

## ファイルを保存する

### 1 ファイルを保存するメディアを準備する。

#### SxS メモリーカードを使用する

SxSメモリーカードをカードスロットに入れます。

入れたスロットに対応するSxSメモリーカードアイコンが画面に表示されることを確認してください。

もう1枚のSxSメモリーカードが選択されている場合は、SLOT SELECTボタンで切り換えてください。

#### USB メモリーを使用する

USB メモリーを使うときは（UDF、exFAT モード時）、外部機器接続端子にフォーマット済みのUSBメモリーを接続します（27ページ）。

### 2 セットアップファイルの場合は、OTHERSメニューのCamera Data（140ページ）を選択する。

Userファイルの場合は、OTHERSメニューのUser Data（140ページ）を選択します。

ピクチャープロファイルの場合は、PICTURE PROFILEメニューのPP Data（56ページ）を選択します。

保存するデータに名前を付けるときは手順3に進む前に、名前を設定します。

◆詳しくは「ファイルに名前を付けるには」（58ページ）をご覧ください。

### 3 セットアップファイルの場合は、Camera Data > Store(SxS)、またはStore(USB)を選択する。

Userファイルの場合は、User Data > Store(SxS)、またはStore(USB)を選択します。

ピクチャープロファイルの場合は、PP Data > Store(SxS)、またはStore(USB)を選択します。

ファイルのリストボックスが表示されます。

ファイルが保存されていないファイル番号には、「No File」と表示されます。すでにデータが保存されているファイル番号には、日付、時刻やファイル名が表示されます。

### 4 保存したいファイル番号を選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

#### ご注意

手順3で指定した保存先にすでにセットアップファイルが保存されている場合は、上書きを許可するかどうかの確認メッセージが表示されます。

### 5 保存を実行するときは、Executeを選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。

保存を中止するときは、Cancelを選択し、ジョグダイヤルまたはSET/SELボタンを押す。

保存を実行すると画面に実行中メッセージが表示され、終了すると完了メッセージに変わります。

#### ご注意

保存可能なメディアが挿入されていない場合や、メディアの容量が足りない場合はエラーメッセージが表示されます。

## ファイルに名前を付けるには

設定データをファイルとして保存する前に名前を付けておくと、ファイルの識別に役立ちます。

以下の文字を使用できます。

数字、アルファベット、特殊文字（!、#、\$、%、&、'、（）、\*、+、,、-、/、:、;、<、=、>、?、@、[、\、]、~）

#### ご注意

ピクチャープロファイル名に使用できる文字は数字、アルファベット、-（ハイフン）、\_（アンダーバー）、およびスペースです。

### 1 OTHERSメニューのCamera Data>File IDを選択する。

Userファイルの場合はOTHERSメニューのUser Data > File IDを選択します。

ピクチャープロファイルの場合は  
PICTURE PROFILEメニューのProfile  
Nameを選択します。

**2** ジョグダイヤルを回す、または上/下  
ボタンを押して文字を選択し、ジョ  
グダイヤルまたはSET/SELボタンを  
押す。

**3** 手順2を繰り返す。

**4** 文字の入力が終了したら、ジョグダ  
イヤルまたはSET/SELボタンを押し  
てカーソルをSETに合わせ、再度  
ジョグダイヤルまたはSET/SELボタ  
ンを押す。

設定した名前が表示されます。セット  
アップファイルを保存する操作（58  
ページ）を行うと、この名前データ  
が保存されます。

## ファイル呼び出す

### ご注意

SxSメモリーカードまたはUSBメモリー（UDF、  
exFATモード時）からファイル呼び出すと、本  
機内部に保存されているデータは上書きされます。

**1** ファイルを保存したメディアを準備す  
る。

#### SxS メモリーカードを使用する

ファイルを保存したSxSメモリーカード  
をカードスロットに入れます。

入れたスロットに対応するSxSメモリー  
カードアイコンが画面に表示されるこ  
とを確認してください。

もう1枚のSxSメモリーカードが選択さ  
れている場合は、SLOT SELECTボタン  
で切り換えてください。

#### USB メモリーを使用する

ファイルを保存したUSB メモリーを外  
部機器接続端子に接続します。

**2** セットアップファイルの場合は、  
**OTHERS**メニューの**Camera Data**  
**(140ページ)** を選択する。

Userファイルの場合は、OTHERSメ  
ニューのUser Data（140ページ）を選  
択します。

ピクチャープロファイルの場合は、  
PICTURE PROFILEメニューのPP Data  
（56ページ） を選択します。

**3** セットアップファイルの場合は、  
**Camera Data > Recall(SxS)**、また  
は**Recall(USB)**を選択する。

Userファイルの場合は、User Data >  
Recall(SxS)、またはRecall(USB)を選  
択します。

ピクチャープロファイルの場合は、PP  
Data > Recall(SxS)、または  
Recall(USB)を選択します。

ファイルのリストボックスが表示され  
ます。

ファイルが保存されていないファイル  
番号には、「No File」と表示されます。  
すでにデータが保存されているファ  
イル番号には、日付、時刻やファイル名  
が表示されます。

**4** 呼び出しするファイル番号を選択し、  
ジョグダイヤルまたはSET/SELボタ  
ンを押す。

実行待ちメッセージが表示されます。

### ご注意

選択したファイルに再起動を必要とする設定  
変更が含まれていた場合は、再起動を許可す  
るかどうかの確認メッセージが表示されま  
す。

**5** 呼び出しを実行するときは、  
**Execute**を選択し、ジョグダイヤル  
またはSET/SELボタンを押す。  
呼び出しを中止するときは、**Cancel**  
を選択し、ジョグダイヤルまたは  
SET/SELボタンを押す。

呼び出しを実行すると画面に実行中  
メッセージが表示され、終了すると完  
了メッセージに変わり、セットアップ  
ファイルに従って本機の設定が変更さ  
れます。

### ご注意

読み出し可能なメディアがない場合や、メディア  
に該当のファイルがない場合はエラーメッセージ  
が表示されます。

## 標準設定値に戻す

OTHERSメニューでAll Resetを実行すると、メニューやボタン操作で変更した本機の状態を、すべて標準設定値（工場出荷時の設定）に戻すことができます。

## プランニングメタデータ

プランニングメタデータとは、撮影・記録の計画情報が記述されているXMLファイルです。

### プランニングメタデータファイルの例

```
<?xmlsversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>

<PlanningMetadata
  xmlns="http://xm1ns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"
  assignId="P0001" creationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"
  lastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00" load="false" version="1.00">

  <PropertiespropertyId="assignment" update="2011-08-20T09:00:00+09:00"
    modifiedBy="Chris">

    <TitlespusAscii="Typhoon" xml:lang="ja">台風上陸</Title>

  </Properties>

</PlanningMetadata>
```

プランニングメタデータファイルで、あらかじめ定義したクリップ名やショットマーク名を使用して、撮影できます。

本機では、以下の言語で定義されたクリップ名やショットマーク名を表示することができます。

- 英語
- 中国語
- ドイツ語
- フランス語
- イタリア語
- スペイン語
- オランダ語
- ポルトガル語
- スウェーデン語
- ノルウェー語
- デンマーク語
- フィンランド語

#### ご注意

- 上記以外の言語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、EVF画面およびLCDモニター画面に表示されない場合があります。

- フランス語、オランダ語、フィンランド語でクリップ名やショットマーク名を定義した場合、一部の文字が他の類似のフォントで表示されません。
- 日本語でクリップ名やショットマーク名を定義すると、一部の文字が他のフォントに置き換えられ、EVF画面に正しく表示されないことがあります。

## プランニングメタデータファイルを読み込む

クリップの記録時にプランニングメタデータファイルと一緒に記録するには、撮影前にプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込んでおく必要があります。

### SxS メモリーカードを使うときは

以下のディレクトリーにプランニングメタデータファイル（.xml）を保存したSxSメモリーカードを本機のカードスロットに挿入し、OTHERSメニューのPlan.Metadata（147ページ）でLoad / Slot(A)またはLoad / Slot(B)を選択して読み込むファイルを選びます。

UDF：General/Sony/Planning

exFAT：XDROOT/General/Sony/Planning

FAT：BPAV/General/Sony/Planning

### USB メモリーを使うときは（UDF、exFAT モード時）

あらかじめNETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でUSB Aを選択してください。

#### ご注意

OTHERSメニューのSystemのFormat（144ページ）が以下のとき、USB Aは選択できません。

- XAVC-L50 1080/59.94P、50P
- XAVC-L35 1080/59.94P、50P

- FAT32ファイルシステムでフォーマット済みのUSBメモリーを、外部機器接続端子に接続する（27ページ）。**  
ファイルリストが表示されます。

#### ご注意

ファイルリストには、ファイルは64個まで表示されます。

プランニングメタデータファイルの総数が64個以下であっても、USBメモリー内のプランニングメタデータファイルと同じディレクト



リー（General/Sony/Planning）に512個以上のファイルがあると、すべてのプランニングメタデータファイルが表示されないことがあります。

## 2 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルでファイルリストから読みたいファイルを選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

### プランニングメタデータの詳細情報を確認する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータのファイル名や作成日時、タイトルなどの詳細情報を確認することができます。

OTHERSメニューのPlan.Metadata（147ページ）でPropertiesを選択し、Executeを選びます。

### ワイヤレス LAN 機能を使うときは

本機とデバイスをワイヤレスLAN接続している場合は、デバイスから本機のWebメニューにアクセスしてファイルを送信します。

「Content Browser Mobile」アプリケーションを使ってプランニングメタデータの送受信をすることができます。

## 1 デバイスでブラウザを起動し、ブラウザのアドレスバーに「http://本機のIPアドレス（137ページ）」を入力する。

例：IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「http://192.168.1.10」と入力します。

## 2 ユーザー名とパスワードを入力して、OKをクリックする。

User name: admin

Password: pxw-x200（機種名を小文字で入力）

### 読み込んだプランニングメタデータを消去する

本機のメモリーに読み込んだプランニングメタデータをメモリーから消去します。

OTHERSメニューのPlan.Metadata（147ページ）でClearを選択し、Executeを選びます。

## プランニングメタデータでクリップ名を設定する

プランニングメタデータには、次の2種類のクリップ名文字列を記述することができます。

- EVF画面上に表示できるASCII形式の名称
- 実際にクリップ名として登録されるUTF-8形式の名称

OTHERSメニューのPlan.Metadata（147ページ）でClip Name Dispを選択し、どちらのクリップ名を表示するか選びます。プランニングメタデータでクリップ名を設定すると、EVF画面の動作状態表示の下にクリップ名が表示されます。

### クリップ名文字列の記述例

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Title>タグの内容を変更します。

網掛け部分がクリップ名文字列です。

「Typhoon」はASCII形式（44文字以下）で記述しています。「台風東京上陸」はUTF-8形式（44バイト以下）で記述しています。「sp」はスペース、↵は改行を表します。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="UTF-8"?>↵
<PlanningMetadataspxmlns="http://xmlns.sony.net/pro/metadata/planningmetadata"spassignId="P0001"spcreationDate="2011-08-20T17:00:00+09:00"splastUpdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spversion="1.00">↵
  <PropertiessppropertyId="assignment"spupdate="2011-09-28T10:30:00+09:00"spmodifiedBy="Chris">↵
    <TitlespusAscii="Typhoon"spxml:lang="ja">台風東京上陸
  </Title>↵
</Properties>↵
</PlanningMetadata>↵
```

## ご注意

- 実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。
- クリップ名に使用できる有効文字数は44バイト（または44文字）です。UTF-8形式で44バイトを超えるクリップ名を定義すると、44バイトまでの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式のクリップ名のみ定義している場合は、ASCII形式の44文字までの文字列がクリップ名に使用されます。ASCII形式で記述した文字列、UTF-8形式で記述した文字列が、いずれもクリップ名として使用できない場合、クリップ名は標準形式となります。

## プランニングメタデータで記述したクリップ名をつける

クリップ名を記述したプランニングメタデータファイルを本機のメモリーに読み込み、OTHERSメニューのClip（145ページ）でAuto Namingを選択し、Planを選びます。記録を行うたびに、プランニングメタデータファイルに記述したクリップ名が、アンダーバー（\_）と5桁の通し番号（00001～99999）が付加された形式で自動生成されます。

例：台風東京上陸\_00001、台風東京上陸\_00002、...

## ご注意

- 通し番号が99999に達したら、次の記録操作で00001に戻ります。
- 他のプランニングメタデータを読み込むと、5桁の通し番号は00001に戻ります。
- 日本語のクリップ名は、一部の文字が他のフォントで表示されることがあります。

## プランニングメタデータでショットマーク名を設定する

ショットマーク1、2を記録するとき、プランニングメタデータで定義した文字列でショットマーク名を記録することができます。

### ショットマーク名文字列の記述形式

テキストエディターを使用して、プランニングメタデータの<Meta name>タグの内容を変更します。

網掛け部分がショットマーク名文字列です。

ASCII形式（32文字以下）、またはUTF-8形式（16文字以下）で記述します。

「sp」はスペース、↵は改行を表します。

## ご注意

ASCII形式以外の文字が1文字以上含まれていれば、その文字列の最大長は16文字になります。

```
<?xmlspversion="1.0"spencoding="
UTF-8"?>↵
<PlanningMetadata xmlns="http://
xmlns.sony.net/pro/metadata/
planningmetadata"spassignId="
H00123"spcreationDate="
2011-04-15T08:00:00Z"splastUpdate="
2011-04-15T15:00:00Z"spversion="
1.00">↵
<PropertiessppropertyId=
"assignment"spclass="original"sp
update="2011-04-15T15:00:00Z"sp
modifiedBy="Chris">↵
  <TitlespusAscii="Football
Game"spxml:lang="ja">
Football Game 15/04/2011
</Title>↵
  <Metaspname="_ShotMark1"sp
content="Goal"/>↵
  <Metaspname="_ShotMark2"sp
content="Shoot"/>↵
</Properties>↵
</PlanningMetadata>↵
```

## ご注意

実際にファイルを作成する場合は、改行位置でのみ改行し、ショットマーク名文字列以外では「sp」が表示されていない位置にはスペースは入れずに1つの文として記述してください。

## プランニングメタデータを一括コピーする

1枚のSxSメモリーカードのGeneralフォルダーに記録されているプランニングメタデータを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

OTHERSメニューのCopy All（146ページ）からGeneral Filesを選択します。

## 測位情報の取得(GPS)

測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が本機カードスロット内のメディアに記録され、SDI出力できます。

工場出荷時、GPS機能はOffになっています。

### GPS 記録対応フォーマット

exFAT/HD/XAVCモードで、ビデオフォーマット（164ページ）が下記のいずれか。

NTSC Area

XAVC-I 1080/59.94i

XAVC-L50 1080/59.94P

XAVC-L35 1080/59.94P

XAVC-L50 1080/59.94i

XAVC-L35 1080/59.94i

XAVC-L25 1080/59.94i

XAVC-I 1080/29.97P

XAVC-L50 1080/29.97P

XAVC-L35 1080/29.97P

XAVC-I 1080/23.98P

XAVC-L50 1080/23.98P

XAVC-L35 1080/23.98P

XAVC-I 720/59.94P

XAVC-L50 720/59.94P

PAL Area

XAVC-I 1080/50i

XAVC-L50 1080/50P

XAVC-L35 1080/50P

XAVC-L50 1080/50i

XAVC-L35 1080/50i

XAVC-L25 1080/50i

XAVC-I 1080/25P

XAVC-L50 1080/25P

XAVC-L35 1080/25P

XAVC-I 720/50P

XAVC-L50 720/50P

- 対応フォーマット以外の設定時でも、測位中は、SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectが3G SDI&HD HDMIおよびHD SDI&HD HDMI設定のときは、SDI出力から測位情報が出力されます。

- 1 本機がスタンバイ状態であることを確認する。


- 2 LCDモニター /EVF画面にGPSの受信状態を表示する場合はメニューのLCD/VF SET>Display On/Off>GPSがOnに設定されていることを確認する。

- 3 メニューのOTHERS>GPSをOnに設定する。

LCDモニター /EVF画面に **NO GPS SIGNAL** が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、対応フォーマット設定で動画の撮影時に測位情報を記録します。

### GPS 受信状況

GPS衛星からの電波の受信状況によって、画面に表示されるアイコンが変わります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSがOffになっている、またはエラーが起きている。
測位困難	<b>NO GPS SIGNAL</b>	GPS信号を受信できないため、測位情報が取れない。空の開けた場所に移動してください。
衛星探索中		衛星を検索中です。測位中になるまで数分かかることがあります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

- 電源をいれてから測位を始めるまで時間がかかることがあります。
- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

## プロキシ記録をする

SxSメモリーカードに記録するのと同時に、プロキシファイルをSDカードに記録することができます。

### 本機で使用可能なSDカード

**SDHCメモリーカード\*** (Speed Class : 4以上/容量 : 32GBまで)

**SDXCメモリーカード\*** (Speed Class : 4以上)

\* 本書ではSDカードと表現しています。

### SDカードをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。

本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。SDカードを装着したときに注意メッセージが表示された場合も、フォーマットして使用してください。

- 1 **NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。**
- 2 **SDカードをラベルを右にしてカードスロットに差し込む。**
- 3 **NETWORK SETメニューのProxy File（136ページ）でFormat SD Cardを指定し、Executeを選択する。**

実行中メッセージと進捗状況が表示され、フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SEL/SETダイヤルを押して画面を消します。

#### ご注意

- SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

- SDHCカードはFAT32で、SDXCカードはexFATでフォーマットされます。

### 残容量を確認する

LCDモニター /EVF画面でSDカードの残量を確認することができます。（132ページ）

- 1 **NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。**
- 2 **SDカードをラベルを右にしてカードスロットに差し込む。**

本機でフォーマットしたメディアを他の機器のスロットで使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

### プロキシ記録する

- 1 **NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。**
- 2 **SDカードのラベルを右にしてカードスロットに差し込む。**
- 3 **撮影する。**  
SxSメモリーカードの記録を停止すると、プロキシファイルの記録も停止します。

#### メモ

プロキシ記録の場合、LCDモニター /EVF画面に「Rec2-P」が表示されます。Proxyを割り当てたアサインボタンを押すことで、プロキシ記録のOn/Offを切り替えることができます。

#### ご注意

- OTHERSメニューのSystemのFormat設定が以下のときは、プロキシ記録はできません。  
exFAT : XAVC-L50 1080/59.94P、50P  
XAVC-L35 1080/59.94P、50P  
UDF/exFAT: HD422 50/720/29.97P、25P、23.98P  
HQ 1280x720/23.98P  
DVCAM 59.94i、50i、29.97P、25P  
IMX50 59.94i、50i、29.97P、25P

FAT: SP 1440x1080/23.98P  
HQ 1280x720/29.97P、25P、  
23.98P  
DVCAM 59.94i、50i、29.97P、25P

- OTHERSメニューのSystem>Formatが1080/23.98P、かつVIDEO SETメニューの23.98P Outputが23.98PsFのときに、NETWORK SET>Proxy File>SizeがHD/SD Autoの場合は、プロキシ記録はできません。
- インターバルレック、フレームレック、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニュースレック、2スロット同時記録、スロー & クイックモーション設定のとき、プロキシ記録はできません。
- プロキシ記録するには、インターバルレック、フレームレック、ピクチャーキャッシュレック、クリップコンティニュースレック、2スロット同時記録、スロー & クイックモーション設定をOffして、CAMERA SETメニューのProxyをOnにしてください。(122ページ)
- SDカードにアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。破損した素材を復旧するサルベージ機能はありません。SD カードを本機から抜くときは、必ず電源を切った状態で行ってください。電源を切るときは、必ず使用するSDカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはSDカードの飛び出しにご注意ください。
- 以下の機能が有効になっている場合、プロキシ記録はできません。  
— ストリーミング中 (NETWORK SET>Streaming>SettingがOn)

## プロキシファイルの自動転送について

NETWORK SETメニューのProxy File (136ページ) のAuto Uploadを有効 (On) にすると、インターネット接続状態の場合、記録を終了するとUpload Settingsでデフォルト設定されたサーバーに対して、自動的にプロキシファイルを送信します。詳しくは、「Auto Upload On/Off」(91ページ) を参照してください。

## プロキシ記録時の設定を変更する

### 映像のサイズを設定する

NETWORK SETメニューのProxy FileからSize (136ページ) を選択し、映像のサイズを設定する。

### 記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」となります。タイムコードも同時に記録されます。GPS機能がOnになっている場合、GPS測位情報も記録されます。

### ファイルの保存先について

記録したファイルは、「/PRIVATE/PXROOT/Clip」のディレクトリに保存されます。

### ファイル名について

ファイル名はSxSメモリーカードに記録したクリップ名と同じになります。Match Clip NameをOffにすると、記録開始のタイムコードをファイル名として記録します。(例：14時30分20秒05フレーム時に記録を開始したときのファイル名は「14\_30\_20\_05.mp4」になります。) 同一タイムコードで記録開始した場合、上書きをせず連番を付けて記録します。

#### ご注意

プロキシ記録中にSLOT SELECTボタンでカードを切り換えた場合、Match Clip NameをOnに設定していても、SxSメモリーカードのクリップ名とプロキシのファイル名は同じになりません。

## プロキシーファイルの静止画記録

プロキシー記録をするとプロキシーファイルの先頭フレームの静止画も同時に記録されます。

「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用すると、先頭フレームの静止画ファイルを使用し、デバイスに表示されるプロキシーファイルのサムネイルをすばやく表示することができます。

撮影

## デバイスとワイヤレスLAN接続する

本機にUSBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（付属）を取り付けると、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をワイヤレスLAN接続することができます。

### ご注意

- IFU-WLM3（付属）およびCBK-WA02（別売）以外のUSBワイヤレスLANモジュールは使用できません。
- SystemのFormat設定が、以下の設定のときはワイヤレスLAN接続できません。  
XAVC-L50 1080/59.94P、50P  
XAVC-L35 1080/59.94P、50P

ワイヤレスLAN接続されたデバイスと本機の間では、以下の操作が可能です。

- プランニングメタデータ（60ページ）  
デバイスと本機でプランニングメタデータを送受信できます。  
あらかじめ作成したプランニングメタデータを本機に転送し、クリップ名やショットマークを指定することができます。
- ワイヤレスLAN経由でのリモート操作（84ページ）  
本機とワイヤレスLAN接続されたスマートフォンやタブレット、コンピューターから本機をリモート操作することができます。
- ワイヤレスLAN経由でのファイル転送（77ページ）  
本機のSDカードに記録されたプロキシーファイル（低解像度）や本機で記録したオリジナルファイル（高解像度）を、ワイヤレスLAN経由でサーバーに転送することができます。
- 「Content Browser Mobile」アプリケーション  
「Content Browser Mobile」アプリケーションでは上記の操作に加え、デバイスの画面で本機をストリーミングしながらリモート操作をしたり、本機の設定をすることができます。  
「Content Browser Mobile」アプリケー

ションは、最新のバージョンをご確認の上でご使用ください。  
このアプリケーションを利用して、以下の操作が可能です。

#### — モニタリング

本機のカメラ映像や再生映像からストリーム（H.264）を作成し、ワイヤレスLAN経由で映像のモニタリングができます。

#### — ライブロギング機能

撮影中にモニタリングしながら、デバイスからショットマークを付けることができます。  
プロキシーファイルにも反映します。  
このエッセンスマーク情報を使って、ファイルの切り出し位置を簡単に設定することができます。

#### ご注意

- 本機に記録されるオリジナルファイルの情報を継承した同一デューレーションのプロキシーファイルの場合にのみ有効です。
- オリジナルファイルが分割された場合は、プロキシーファイルには反映されません。

— プロキシーファイルの部分転送（78ページ）およびオリジナルファイルの部分転送（78ページ）  
プロキシーファイルおよびオリジナルファイルのイン点／アウト点を指定し、切り出した部分を転送することができます。

◆「Content Browser Mobile」アプリケーションについて詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

### ソニーの QoS 技術を用いた高品質なストリーミング（81 ページ）

ソニー製ネットワークRXステーション（別売り）またはXDCAM air\*のConnection Control Manager（CCM）と本機をネットワーククライアントモードで接続して使用すると、高品質なストリーミングをすることができます。

\* XDCAM airは、ソニーが提供するクラウドサービスです。  
このサービスをご利用になるには、別途契約が必要です。  
一部対応していない地域がありますので、サービス対象地域についてXDCAM airのサイトをご確認ください。

<https://www.xdcam-air.com>

詳しくは、ソニー法人営業窓口にお問い合わせください。

## 対応デバイスについて

本機の設定や操作にはスマートフォン、タブレットまたはコンピューターを使用することができます。使用できるデバイス、OS、ブラウザは以下をご覧ください。

デバイス	OS	ブラウザ
スマートフォン	Android4.4/5.x/6.x/7.x/8.0	Chrome
	iOS9.x/10.x/11	Safari
タブレット	Android4.4/5.x/6.x/7.x/8.0	Chrome
	iOS9.x/10.x/11	Safari
コンピューター	Windows 7/Windows 8/Windows 10	Chrome/Safari
	Mac OS X 10.10/10.11/macOS	Safari
	10.12/10.13	

## ワイヤレスLANモジュール（IFU-WLM3）を取り付ける

- 1 外部機器接続端子のカバーを開けて、本機に同梱されているワイヤレスLANモジュール（IFU-WLM3）を取り付ける。

#### ご注意

IFU-WLM3の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

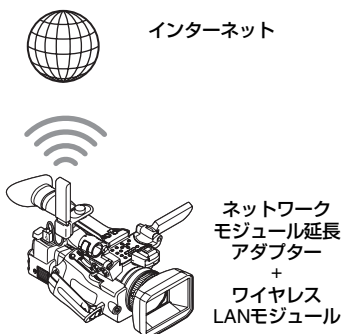
## ワイヤレスLANモジュール（CBK-WA02）を取り付ける

5GHz帯に対応したワイヤレスLANモジュール（CBK-WA02（別売））を使用することができます。

- 1 外部機器接続端子のカバーを開ける。

## 2 ワイヤレスLANモジュール（CBK-WA02（別売り））に付属している通信モジュール延長アダプター（CBK-NA1E）を本機に取り付ける。

凸端子を本機の外部機器接続端子に接続し、凹端子にワイヤレスLANモジュールを取り付けます。本機のアクセサリシュー取り付け部のねじ穴（1/4インチ）を使って固定できます。



## 3 ワイヤレスLANモジュールを通信モジュール延長アダプターに装着する。

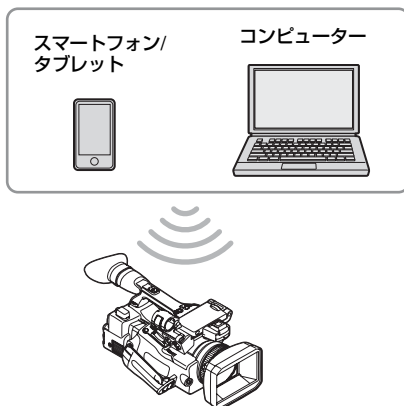
5GHz対応のワイヤレスLANモジュールを装着して、NETWORK SET>Network ModeでワイヤレスLANの動作モードをStationに設定した場合は、5GHz対応のアクセスポイントと接続できます。

### ご注意

CBK-WA02の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

## ワイヤレスLANアクセスポイントモード（Access Pointモード）で接続する

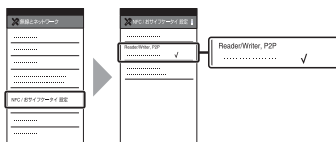
本機をアクセスポイントとしてデバイスとワイヤレスLAN 接続します。



## NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。

## 1 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。



## 2 本機の電源を入れる。

## 3 NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。

### ご注意

ワイヤレスLAN機能が立ち上がるまで時間がかかる(1分程度)場合があります。  
LCDモニター/EVF画面に電波強度アイコンが点滅します。点滅が消えるまでお待ちください。

## 4 NFC機能を有効にする。

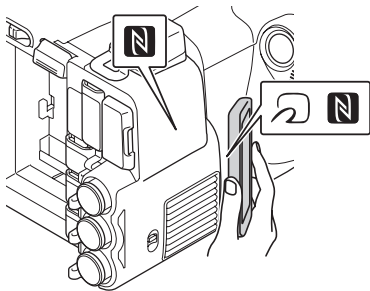
NETWORK SETメニュー（135ページ）でNFCを指定し、Executeを選択する。




または、NFCがアサインされたアサインボタンを押す。

## 5 本機とデバイスをタッチする。

デバイスが本機に接続され、「Content Browser Mobile」が起動します。デバイスが本機に接続されるとLCD画面/EVF画面に「AP」表示が点灯します。



### ご注意

- 一部の  が付いているデバイスはNFCに対応しています。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。
- お使いのデバイスに同一SSIDがすでに登録されている場合、デバイスのOS/バージョンによっては、接続できないときがあります。この場合には、登録されているSSIDをデバイスから削除することにより接続できます。

## WPS機能搭載のデバイスで接続する

デバイスがWPSをサポートしている場合には、WPSでの接続が可能です。

### 1 本機の電源を入れる

### 2 NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。

### ご注意

ワイヤレスLAN機能が立ち上がるまで時間がかかる(1分程度)場合があります。LCDモニター/EVF画面に電波強度アイコンが点滅します。点滅が消えるまでお待ちください。

### 3 NETWORK SETメニュー（135ページ）でNetwork Modeを指定し、Access Pointを選択する。

LCD画面/EVF画面に「AP」表示が点灯します。

### 4 NETWORK SETメニュー（135ページ）でWPSを指定し、Executeを選択する。

### 5 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

### 6 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、詳細Optionを表示し、WPS Push Buttonを選択する。

### ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。
- 本機のSSIDおよびPasswordについてはNETWORK SETメニュー（135ページ）からSSID & Key(AP)をご確認ください。

### 7 デバイスのブラウザーを起動し、「http://192.168.1.1:8080/index.html」にアクセスする。

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

アクセス認証のユーザー名およびパスワードについては、NETWORK SETメニュー（135ページ）からUser NameとPasswordをご確認ください。

### 8 ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」を選択する。

## デバイスでSSID、Passwordを入力して接続する

デバイス側でSSIDとPasswordを入力して接続します。

### 1 本機の電源を入れる

### 2 NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。

### ご注意

ワイヤレスLAN機能が立ち上がるまで時間がかかる(1分程度)場合があります。LCDモニター /EVF画面に電波強度アイコンが点滅します。点滅が消えるまでお待ちください。

## 3 NETWORK SETメニュー（135ページ）でNetwork Modeを指定し、Access Pointを選択する。

LCD画面/EVF画面に「AP」表示が点灯します。

## 4 デバイスのNetwork設定/Wi-Fi設定を開き、Wi-FiをOnにする。

## 5 Wi-Fi NetworkのSSID一覧から、本機のSSIDを選択し、Passwordを入力して接続する。

本機のSSIDおよびPasswordについてはNETWORK SETメニュー（135ページ）からSSID & Key(AP)をご確認ください。

### ご注意

- 使用する機器によっては、操作が異なる場合があります。

## 6 デバイスのブラウザーを起動し、「<http://192.168.1.1:8080/index.html>」にアクセスする。

ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。

アクセス認証のユーザー名およびパスワードについては、NETWORK SETメニュー（135ページ）からUser NameとPasswordをご確認ください。

## 7 ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」を選択する。

## ワイヤレスLAN ステーションモード（Stationモード）で接続する

本機をクライアントとして既存のワイヤレスLANのアクセスポイントに接続します。デバイスとはアクセスポイント経由で接続します。



## WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する

アクセスポイントがWPS機能対応の場合は、簡単な設定で接続することができます。アクセスポイントがWPS機能対応ではない場合は、「WPS 機能を使わないでステーションモードでアクセスポイントに接続する場合」（89ページ）をご覧ください。

- 1 アクセスポイントの電源を入れる。
- 2 本機の電源を入れる。
- 3 NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。

### ご注意

ワイヤレスLAN機能が立ち上がるまで時間がかかる(1分程度)場合があります。LCDモニター /EVF画面に電波強度アイコンが点滅します。点滅が消えるまでお待ちください。

## 4 NETWORK SETメニュー（135ページ）でNetwork Modeを指定し、Stationを選択する。

#### ご注意

- ステーションモードになるまでに時間がかかる（1分程度）場合があります。

### 5 NETWORK SETメニューのWPSを実行する。

### 6 アクセスポイントのWPS ボタンを押す。

WPS ボタンの操作については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

接続が完了すると、LCD画面/EVF画面の電波強度表示が強度1以上で点灯します。

#### ご注意

- 接続に失敗した場合は手順1からやり直してください。

### 7 デバイスをアクセスポイントに接続する。

接続のしかたについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

### 8 デバイスのブラウザーを起動し、「http://<アクセスポイントが本機に割り当てたIPアドレス>:8080/index.html」にアクセスする。

本機のIPアドレスはNETWORK SETメニュー（135ページ）からIP Addressをご確認ください。ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。アクセス認証のユーザー名およびパスワードについては、NETWORK SETメニュー（135ページ）からUser NameとPasswordをご確認ください。

### 9 ユーザー名とパスワードを入力して、「OK」を選択する。

本機のWeb メニューが表示されます。Web メニューについて詳しくは「Web メニューについて」（85ページ）をご覧ください。

## インターネット接続する

本機にモデム（別売）、USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（付属）または、ネットワークアダプターキットCBK-NA1（別売）に付属しているUSB-RJ45アダプターを取り付けてインターネットに接続します。

### モデムを使用して接続する

モデム（別売）を本機に取り付けることによって、3G/4G回線経由でインターネットに接続することができます。

本機に対応しているモデムについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

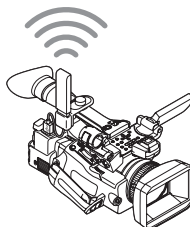
### モデムを本機に取り付ける

- 1 外部機器接続端子のカバーを開ける。
- 2 ネットワークアダプターキットCBK-NA1（別売）に付属しているネットワークモジュール延長アダプターを本機に取り付ける。

凸端子を本機のUSBワイヤレスLANモジュール用端子に接続し、凹端子にモデムを取り付けます。本機のアクセサリシュー取り付け部のねじ穴（1/4インチ）を使って固定できます。



インターネット



ネットワーク  
モジュール延長  
アダプター  
+  
モデム

### 3 モデムをネットワークモジュール延長アダプターに装着する。

#### ご注意

モデムの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

#### 接続する

- 1 本機の電源を入れる
- 2 **NETWORK SET**メニューの**NW&Proxy/USB**（135ページ）で**Network&Proxy**を選択する。

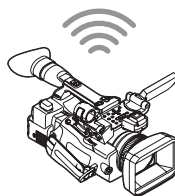
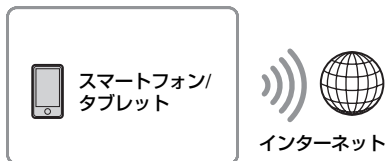
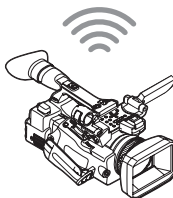
本機に対応しているモデム(別売)を取り付けると、NETWORK SETメニューのNetwork Modelは自動的にModemに設定され、インターネット接続可能状態となります。

#### ご注意

モデムモードになるまでに時間がかかる（30秒から1分）場合があります。LCDモニター /EVF画面のネットワーク接続状態表示（16ページ）が「3G/4G」点灯に変わるまでお待ちください。

### ワイヤレスLAN ステーションモード（Wi-Fi Station モード）で接続する

USBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3（付属）を本機に取り付け、3G/4G/LTE対応アクセスポイント（別売）またはデバイスのテザリングを使用することによって、Wi-Fi ステーションモードでインターネットに接続することができます。



#### デバイスを使って接続する

アクセスポイントまたはデバイスがWPS 機能対応の場合は「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」（70ページ）、WPS 機能に対応していない場合は「WPS 機能を使わないでステーションモードでアクセスポイントに接続する場合」（89ページ）の手順で接続します。

接続の操作の前に、アクセスポイントまたはデバイスの電源を入れ、デバイスの場合はテザリング機能が使用できるようにしておいてください。

## セットアップメニューからアクセスポイントに接続する

セットアップメニューから接続したいアクセスポイントに接続設定することができます。

このときネットワーク自動検出機能を使用して、接続したいアクセスポイントを検出し、接続設定することができます。

### ネットワーク自動検出機能を使用して接続する

**1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(70ページ)の手順1~4を行う。**

**2 NETWORK SETメニューのStation SetのScan Networks (138ページ)でExecuteを選択する。**

本機が接続先の検出を開始します。接続先を見つけると、Scan Networksの結果リストが表示されます。

**3 上/下ボタンまたはジョグダイヤルで接続先を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押して決定する。**

決定すると、Station Set画面に戻ります。SSIDには選択した接続先が表示されます。

**4 Passwordを選択し、パスワード入力画面でパスワードを設定する。**

ネットワーク自動検出する前に接続していた場合、そのときのSSIDを選択すると、パスワードが表示されます。パスワードを設定したら、Station Set画面に戻ります。

**5 メニュー Station Setで以下の接続設定を行う。**

- DHCP  
DHCPを設定します。  
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。  
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。

- IP Address  
本機のIPアドレスを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask  
本機のサブネットマスクを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway  
アクセスポイントのゲートウェイを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto  
DNS自動取得設定をします。  
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。
- 1st DNS Server  
アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。
- 2nd DNS Server  
アクセスポイントのセカンダリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。

**6 設定入力が完了したらSetのExecuteを選択し、設定内容を確定する。**

#### ご注意

接続設定を変更した場合、必ずSetのExecuteを選択してください。Executeを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

#### ご注意

Stationモードになるまでに時間がかかる(30秒から1分)場合があります。LCDモニター/EVF画面のネットワーク接続状態表示(16ページ)が「電波アイコン」点灯に変わるまでお待ちください。

### 手動で入力して接続する

**1 「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」(70ページ)の手順1~4を行う。**

**2 NETWORK SETメニューのStation Set (138ページ)で接続設定を行う。**

- SSID  
接続先のアクセスポイントのSSIDを入力します。

- Password  
接続先のアクセスポイントのパスワードを入力します。
- DHCP  
DHCPを設定します。  
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。  
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address  
本機のIPアドレスを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask  
本機のサブネットマスクを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Gateway  
アクセスポイントのゲートウェイを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto  
DNS自動取得設定をします。  
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。
- 1st DNS Server  
アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。
- 2nd DNS Server  
アクセスポイントのセカンダリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。

### 3 設定入力完了したらSetのExecuteを選択し、設定内容を確定する。

#### ご注意

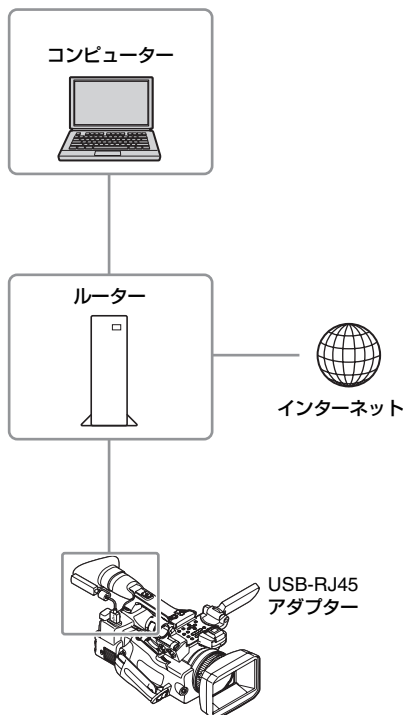
接続設定を変更した場合、必ずSetのExecuteを選択してください。Executeを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

#### ご注意

Stationモードになるまでに時間がかかる（30秒から1分）場合があります。LCDモニター/EVF画面のネットワーク接続状態表示（16ページ）が「電波アイコン」点灯に変わるまでお待ちください。

## LANケーブルを使用して接続する

ネットワークアダプターキットCBK-NA1（別売）に付属しているUSB-RJ45アダプターを本機に取り付け、インターネットルーターとLANケーブルで接続することによって、インターネットに接続することができます。



## USB-RJ45アダプターを本機に取り付ける

- 1 外部機器接続端子のカバーを開ける。
- 2 USB-RJ45アダプターを本機に取り付ける。

ネットワークアダプターキットCBK-NA1に付属しているベルトを使って、USB-RJ45アダプターに接続されたネットワークケーブルを本機に固定してください。

## ご注意

USB-RJ45アダプターの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

## 接続する

### 1 本機の電源を入れる

### 2 NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USB（135ページ）でNetwork&Proxyを選択する。

USB-RJ45アダプターが正しく装着できていれば、Network Modeは自動的にWired LANに設定されます。

### 3 メニュー Wired LAN Setで、接続設定を行う。

- DHCP  
DHCPを設定します。  
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。  
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
- IP Address  
本機のIPアドレスを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- Subnet mask  
本機のサブネットマスクを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。

- Gateway  
アクセスポイントのゲートウェイを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。
- DNS Auto  
DNS自動取得設定をします。  
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。
- 1st DNS Server  
アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。
- 2nd DNS Server  
アクセスポイントのセカンダリーDNSサーバーを入力します。  
DNS AutoがOffのときに有効です。

### 4 設定入力が完了したらSetのExecuteを選択し、設定内容を確定する。

#### ご注意

接続設定を変更した場合、必ずSetのExecuteを選択してください。Executeを選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

#### ご注意

有線LANモードになるまでに時間がかかる（30秒から1分）場合があります。LCDモニター /EVF画面のネットワーク接続状態表示（16ページ）が「LANアイコン」点灯に変わるまでお待ちください。

## ネットワーク接続による対応機能一覧

NETWORK SETメニューのNetwork Modeごとの対応機能一覧は以下の通りです。

機能	Network Mode				
	Access Point	Station	Modem	Wired LAN	Off
プロキシ記録（64ページ）	○	○	○	○	○
プロキシ再生（85ページ）	○ <sup>1)</sup>	○ <sup>1)</sup>	×	×	×
ファイルの転送（77ページ）	×	○	○	○	×
ストリーミング伝送（79ページ）	×	○	○	○	×
モニタリング（86ページ）	○ <sup>1)</sup>	○ <sup>1)</sup>	×	○ <sup>1)</sup>	×
本機のリモート操作（84ページ）	○ <sup>1)</sup>	○ <sup>1)</sup>	×	○ <sup>1)</sup>	×

<sup>1)</sup>本機とネットワーク接続したデバイスの機能

## ご注意

- 「Content Browser mobile」アプリケーションのモニタリングを使用する場合、ご使用時の電圧環境およびモバイル端末によっては、モニタリング映像が停止する場合があります。

- インターネットからの不正アクセスを防ぐため、有線LANネットワークがインターネットに接続していないときに本機のリモート操作（Network RemoteをOn）をすることを推奨します。インターネットに接続する場合は、接続先がセキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。

## ネットワーク接続に必要な機器

ネットワーク接続には、USBワイヤレスLANモジュール、3G/4G/LTE USBモデム、またはUSB-RJ45アダプターが必要です。

### ご注意

- ワイヤレスLANモジュールは、国／地域によって利用できない場合があります。
- ワイヤレスLANモジュールが使用する周波数帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。使用環境によっては、他の機器の影響によって、通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 3G/4G/LTE回線を利用するには、携帯電話事業者との契約が必要です。
- 本機に対応しているネットワーク接続に必要な機器については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。



## ファイルを転送する

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを、3G/4GLTE回線やアクセスポイント経由で接続したインターネット上のサーバーへ転送することができます。

### 準備する

#### インターネットに接続する

「インターネット接続する」(71ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続する。

#### ファイルの転送先を登録する

あらかじめファイルを転送するサーバーを登録しておきます。サーバーの登録のしかたについては、「新しく転送先のサーバーを登録する」(91ページ)をご覧ください。

### ファイルを選んで転送する

本機のSDカードに記録したファイル、SxSメモリーカードのオリジナルファイルをサーバーに転送します。

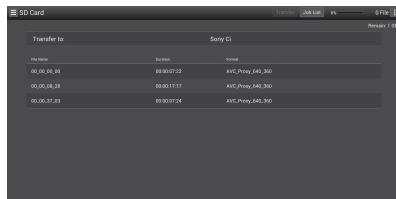
### SDカードのプロキシファイルを転送する

**1** 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続し、デバイスのブラウザーを起動して本機にアクセスする (68ページ)。

**2** ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

☰ をタップし、Media Infoを選んでSD Cardをタップします。  
SD Card、Slot AまたはSlot B画面が表示されます。

例：SD Card画面



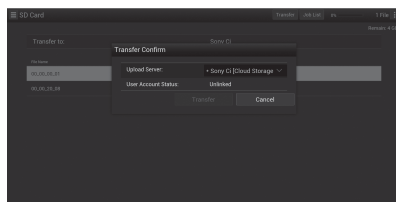
**3** 転送したいファイルを選ぶ。

ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。ダブルタップすると、ファイルを再生して内容を確認することができます。(SDカードのみ)

**4** Transferをタップする。

「新しく転送先のサーバーを登録する」(91ページ)のDefault Settingでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。

必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリーを入力します。



**5** Transferをタップする。

選んだファイルの転送を開始します。転送を中止するときは、Cancelをタップします。

### SxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送する

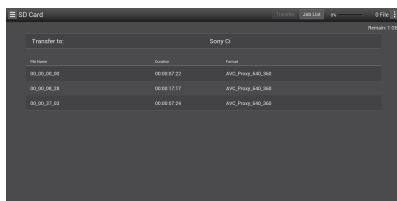
**1** 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続し、デバイスのブラウザーを起動して本機にアクセスする (68ページ)。

**2** ファイルを選ぶためのファイルリスト画面を表示させる。

☰ をタップしてMedia Infoを選択し、Slot A (スロットAのメディアに記

録されているファイル) またはSlot B (スロットBのメディアに記録されているファイル) をタップします。SD Card、Slot AまたはSlot B画面が表示されます。

例: SD Card画面

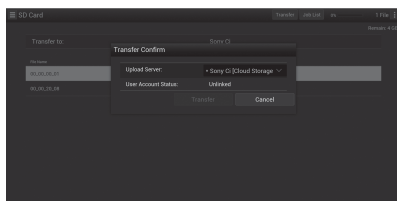


### 3 転送したいファイルを選ぶ。

ファイルをタップして選びます。もう一度タップすると、キャンセルします。ダブルタップすると、ファイルを再生して内容を確認することができます。(SD カードのみ)

### 4 Transferをタップする。

「新しく転送先のサーバーを登録する」(91ページ) のDefault Serverでデフォルト設定された転送先が表示されます。転送先を変更する場合は、転送先をタップしてリストを表示させ、転送先を選びます。必要に応じて、Directoryに転送先のディレクトリーを入力します。



### 5 Transferをタップする。

選んだファイルの転送を開始します。転送を中止するときは、Cancelをタップします。

## ファイル転送の確認をする

SD Card、Slot AまたはSlot B画面のJob Listをタップして表示されるJob List画面で

ファイル転送の状態を確認することができます (92ページ)。

## プロキシーファイルの部分転送をする

「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用すると、プロキシーファイルにイン点／アウト点を指定して切り出した部分を転送することができます。

また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。

### ご注意

- 生成されるファイルには、切り出し位置の前後に最大15フレームのマージンが付加されます。
- ネットワーク機能ソフトウェア (V1.32) 以前で記録したプロキシーファイルから切り出した場合には、ノンリニア編集機に取り込めない場合があります。
- ストーリーボードに基づいて部分転送を行った場合には、ノンリニア編集機へストーリーボードの情報を伝達するためのファイルがJob Listに表示されます。このファイルを転送するため、SDカードにGeneral/Sony/tmpを作成します。転送時にこのファイルを一時的に保存し、転送完了で削除します。

## 本機で記録したオリジナルファイルの部分転送をする

「Content Browser Mobile」アプリケーションを使用すると、本機で記録したオリジナルファイルにイン点／アウト点を指定し、切り出した部分を転送することができます。また、ストーリーボードを使用すると、複数ファイルから切り出した部分を転送することができます。

オリジナルファイルの対応フォーマットは、以下になります。

### exFAT モード

XAVC-I  
XAVC-L50,35,25  
MPEG2 HD422  
MPEG2 HD420HQ

### UDF モード

MPEG2 HD422  
MPEG2 HD420HQ

## ご注意

- 「Content Browser Mobile」を使用してオリジナルファイルを部分転送するには、あらかじめオリジナルファイルと同一ファイル名のプロキシファイルを以下の設定で記録してください。  
—CAMERA SET>Proxy>On  
—VIDEO SET>Match Clip Name>On  
—ネットワーククライアントモードが有効のときは、NETWORK SET>NW Client Edit>NCM with Proxy>Enable
- オリジナルファイルの部分転送中は、以下の操作ができません。  
—クリップ操作  
—メディアのフォーマット  
—コンピューターとのUSB接続
- オリジナルファイルの部分転送中は、ピクチャーキャッシュレックのピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間がCAMERA SET>P.Cache Rec>Rec Timeで設定した時間より短くなります。

## 映像・音声をストリーミング伝送する

カムコーダーで撮像・再生している映像・音声を、インターネットやローカルネットワークを通じて伝送することができます。

## 準備する

### インターネットに接続する

「インターネット接続する」(71ページ)の手順に従って、本機をインターネットに接続します。

### ローカルネットワークに接続する

「デバイスとワイヤレスLAN接続する」(66ページ)の手順に従って、本機をローカルネットワークに接続します。

### ストリーミング伝送の伝送先を設定する

ストリーミング伝送の設定はプリセットとして3つまで保持できます。

- 1 NETWORK SETメニュー (135ページ)のStreaming EditでPreset Editを指定し、伝送先を設定するPreset1 (またはPreset2、Preset3)を選択する。**
- 2 ストリーミング伝送のType、Size、Bit Rate、Dest.Address、Dest.Portを設定する。**  
制限事項等詳細は、「Webメニューについて」の「ストリーミング設定」(87ページ)をご覧ください。
- 3 2. で設定が完了したら、SetのExecuteを選択し、設定内容を確認する。**

## ご注意

Type、Size、Bit Rate、Dest.Address、Dest.Portの設定を変更した場合、必ずSetのExecuteを選択してください。Executeを選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。



本機のストリーミング伝送は、MPEG2-TS/  
UDP、MPEG2-TS/RTP方式です。  
Typeで設定します。

ストリーミング伝送された映像と音を視聴  
するにはこの方式に対応した受信機器をご  
用意ください。

ストリーミングを開始する

- 1 NETWORK SETメニュー（135ページ）のStreamingのSettingをOnにする。  
LCDモニター/ビューファインダーにストリーミング状態が表示され、ストリーミングが  
開始されます。  
Streamingはアサインابلボタンに割り当てることができます。割り当て方については、  
「アサインابلボタン」（43ページ）を参照してください。

本機のLCDモニター /EVFのストリーミング状態表示部（14ページ）にストリーミング状態が  
表示されます。

条件			
メニューの NETWORK SET > Network Mode	メニューの NETWORKSET> Streaming>Setting	ストリーミング状態	アイコン
Off	—	—	表示なし
Off以外	Off	—	表示なし
	On	未配信状態	
		映像配信中状態	
		エラー状態	

ご注意

- NETWORK SETメニューのNW&Proxy/USBでUSB AまたはOFFが選択されている場合はストリーミングを開始できません。
- メニューのNETWORK SET>NW Client Mode>SettingがOnの場合、ストリーミングを開始できません。
- 電源を切ると、StreamingのSettingはOffになります。再びストリーミング伝送を行うには、StreamingのSettingをOnにしてください。
- ストリーミングを開始してから実際に映像・音声gstリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- ストリーミングの伝送先設定が間違っている場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示に×が表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。送信先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- ネットワークの状況により、すべてのフレームが再生できない場合があります。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きなサイズで小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためにはSizeでより小さいサイズを選んでください。
- ストリーミングを開始した場合には、プロキシ記録とファイル転送は行えません。プロキシ記録中やファイル転送中にストリーミングを開始した際にはプロキシ記録、ファイル転送は自動的に中止されます。
- プロキシ記録中やファイル転送中にStreamingをアサインしたアサインابلボタンを押下し、ストリーミングを開始した際にはプロキシ記録、ファイル転送は自動的に中止されます。その後記録中にストリーミングを停止したら、プロキシ記録が開始されます。この場合プロキシ記録のクリップは中止したクリップと別のクリップとなります。ファイル転送の場合は再開します。

## ストリーミングを停止する

### 1 NETWORK SETメニュー（135ページ）のStreamingのSettingをOffにするとストリーミングが停止する。

StreamingがOnのときに、Streamingがアサインされたアサインボタンを押すことでもストリーミングを停止できます。

デバイスとワイヤレスLAN接続している場合（66ページ）とワイヤレスLANステーションモードでインターネット接続している場合（72ページ）には、ストリーミング伝送先の設定、ストリーミングの開始／停止をWebメニュー（85ページ）から行うこともできます。

## ネットワーククライアントモードについて

ソニー製ネットワークRXステーション（別売り）またはXDCAM airと、このネットワーククライアントモードを組み合わせることで、ソニーのQoS技術を使用した、パケットロスの少ない高品質なストリーミングが可能になります。

NW Client Modeでカムコーダーを使用中は、ネットワークRXステーションまたはXDCAM airのConnection Control Manager (CCM) アプリケーションからカムコーダーを操作します。

## ソニーのQoS技術を用いた高品質なストリーミングを行う

- 1 本機をネットワークに接続する。
- 2 NETWORK SETメニューのNW Client Edit（135ページ）でPreset Editを指定し、接続先を設定するPreset1（またはPreset2、Preset3）を選択する。

NW Client Modeの接続先設定は、3つ（Preset1、Preset2、Preset3）設定することができます。

### 3 接続設定項目のCCM Address、CCM Port、User Name、Password、NCM with Proxyを設定する。

#### ご注意

- NW Client Edit>NCM with Proxy>Enableに設定すると、ネットワーククライアントモードが有効でも、プロキシ記録ができます。NCM with Proxyの設定を有効にするには、CAMERA SET>Proxy>Onにしてください。
- NW Client Edit>NCM with Proxy>Disableで記録中に、ネットワーククライアントモードをOnにすると、プロキシ記録は停止します。SxSメモリーカードの記録を継続している場合、モードをOffにするとプロキシ記録を再開します。
- Proxy File > Size > HD/SD Autoに設定していた場合、NCM with Proxyは設定できません。Enableに設定されていた場合は、値を保持し、プロキシ記録動作は行いません。
- User NameおよびPasswordを入力する際、本機では「」（バックスラッシュ）が「¥」で表示されます。

### 4 設定が完了したらSetのExecuteを選択し、設定内容を確定する。 設定内容が確定されます。

### 5 NETWORK SETメニューのNW Client Mode（135ページ）のPreset Selectで接続したいPreset1/Preset2/Preset3を選択する。

### 6 NETWORK SETメニューのNW Client ModeのSettingをOnにする。

ネットワーククライアントモードが有効になり、ネットワークRXステーションまたはXDCAM airと接続します。ネットワークRXステーションまたはXDCAM airの操作により、ライブ映像の伝送が開始されます。操作について詳しくは、ネットワークRXステーションの取扱説明書またはXDCAM airのヘルプをご覧ください。なお、NW Client ModeのSetting（On/Off）は、本機のアサインボタンに割り当てることができます。

## ご注意

- 通常のストリーミング（79ページ）中はネットワーククライアントモードに移行できません。
- ネットワーククライアントモードに移行すると、ストリーミング、モニタリングはできません。
- モニタリング中にネットワーククライアントモードに移行すると、動作は停止します。
- ネットワーククライアントモードでのストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にネットワーククライアントモードでのストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ネットワークRXステーションまたはXDCAM airで設定可能なストリーミングのビットレートが、プロキシ記録のフォーマットにより、以下のように制限されます。
  - プロキシ記録のフォーマットが、1280×720 9Mbps/6Mbpsの場合：ストリーミングのビットレートは、Very Lowの1Mbps以下になります。
  - プロキシ記録のフォーマットが、640×360 3Mbps以下の場合：ストリーミングのビットレートは、Lowの3Mbps以下になります。
- ネットワーククライアントモード時は、プロキシのフォーマット変更はできません。変更する場合は、一度ネットワーククライアントモードをオフにしてください。

## ネットワーククライアントモードでファイルを転送する

ネットワークRXステーション（別売り）またはXDCAM airのCCMと本機をネットワーククライアントモードで接続して、CCMで設定されたサーバーへファイル転送することができます。

### CCM からファイル転送操作する場合

ネットワーククライアントモードで接続したCCM上でファイルの転送操作を行うことができます。

- 1 ネットワーククライアントモードでCCMに接続する。
- 2 CCM上でファイル転送操作を行う。  
CCM上でのファイル転送操作の詳細についてはCCMの取扱説明書をご覧ください。

## 本機に接続したデバイスからファイル転送操作する場合

本機と同一ネットワーク上に接続しているデバイス（スマートフォン、タブレット、PCなど）からファイル転送操作を行うことができます。

- 1 ネットワーククライアントモードでCCMに接続する。
- 2 本機と同一ネットワーク上に接続したデバイスのブラウザーを起動して本機にアクセスする。
- 3 ファイルリスト画面で転送したいファイルを選ぶ。  
「SDカードのプロキシファイルを転送する」（77ページ）、または「SxSメモリーカードのオリジナルファイルを転送する」（77ページ）の手順2、3をご覧ください。
- 4 Transferをタップする。  
転送先に「NCM：RX Server」が表示されます。  
「NCM：RX Server」を転送先に指定します。
- 5 Transferをタップする。  
CCMで設定されたサーバーへ、選んだファイルの転送を開始します。

## ご注意

ネットワーククライアントモードでないときも、転送先を「NCM：RX Server」にできません。この場合は、転送は保留となり、ネットワーククライアントモードでCCMに接続後、CCMで設定されたサーバーへ転送を開始します。

NW Client ModeをOnにすると、LCD/EVFのネットワーククライアントモード状態表示部に、CCM（ネットワークRXステーション（別売り）またはXDCAM airのConnection Control Manager）への接続状態が表示されます。

条件			
メニューの NETWORK SET > Network Mode	メニューの NETWORK SET > NW Client Mode > Setting	状態	表示内容
Off	Off	—	表示なし
Off	On	CCM未接続	表示なし
Off以外		CCM接続	NCM 点灯表示
		CCM接続中	NCM 点滅表示
		CCM接続エラー	NCM× 点灯表示

確認

# Wi-Fiリモコンを使用する

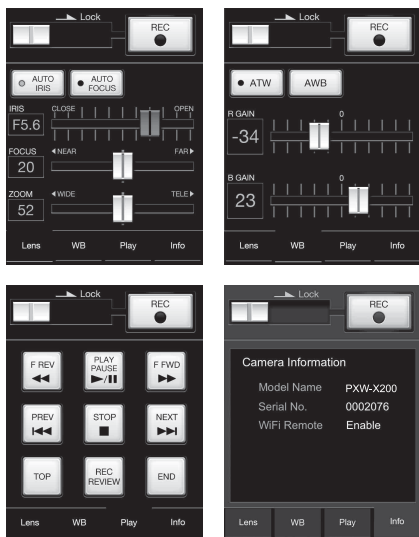
ワイヤレスLAN接続時は、スマートフォン、タブレット、コンピューターなどのデバイスから、本機に内蔵されたWi-Fiリモコンにアクセスすることができます。

Wi-Fiリモコンを使用すると遠隔から本機を操作できます。記録の開始/停止はもちろん、アイリス、フォーカス、ズームなどの設定値を遠隔操作で調整できるため、本機を離れた場所に固定する場合や、本機をクレーンに装着して使用する場合などに大変便利です。

## ご注意

- IRISの設定がAutoでないときは、「IRIS」スライダーの操作や、「Auto IRIS」を ON/OFFすることはできません。
- フォーカシングを後方にスライドさせた状態のときは、「FOCUS」スライダーの操作や、「Auto Focus」を ON/OFFすることはできません。
- ZOOMスイッチがMANUALに設定されているときは、「ZOOM」スライダーを操作することはできません。

## Wi-Fi Remote 画面（スマートフォン）



## Wi-Fi Remote 画面（タブレット）



## Wi-Fiリモコンを表示するには

デバイスの画面にWi-Fiリモコンを表示するには、本機とデバイスそれぞれに設定が必要です。

### 本機の設定をする

- 1 **NETWORK SETメニュー（135ページ）からNetwork Remoteを選択し、Onに設定する。**

### デバイスの設定をする

スマートフォン、タブレット、コンピューターなどの設定をします。

- 1 **本機とデバイスをワイヤレスLAN接続（66ページ）する。**
- 2 **デバイスでブラウザーを起動し、「http://本機のIPアドレス（NETWORK SETメニュー（135ページ）からIP Addressをご確認ください。）/rm.html」にアクセスする。**  
例：IPアドレスが「192.168.1.10」の場合アドレスバーに「http://192.168.1.10/rm.html」と入力する。  
接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。  
以降は、画面表示のとおりに操作してください。  
Lockつまみを右にスライドすると、RECボタンの操作を禁止することができます。



## ご注意

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致なくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
  - 接続中に本機を再起動した場合
  - 接続中に本機を操作した場合
  - デバイスを再接続した場合
  - ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能しなくなることがあります。


## Webメニューについて

ワイヤレスLAN接続したデバイスのブラウザから本機にアクセスすると、本機のWebメニューが表示されます。Webメニューでワイヤレス機能に関する各種設定やファイルの転送操作を行うことができます。

### 最初に表示される画面について

デバイスでブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス（NETWORK SET> IP Address）/rm.html」にアクセスすると、本機のMedia InfoのSD Card画面が表示されます。

### 設定メニューについて

Webメニュー画面左上の  をタップすると設定メニューが表示されます。設定したい項目をタップします。

#### Device Status

- Short Cut
  - Media：SD カード画面（77ページ）へのショートカット
  - Settings：本機設定用の画面（86ページ）へのショートカット
- Status
- Network Client
  - ネットワーククライアントモードがオンのときに表示します。
  - Connected to CCM Name：接続完了
  - エラー表示：Destination Address Error、Authentication Failed、No Internet Access、Certificate is not yet valid、Certification Error

## ご注意

Certificate is not yet validは、日付設定が不正である可能性があります。日付の設定を確認してください。

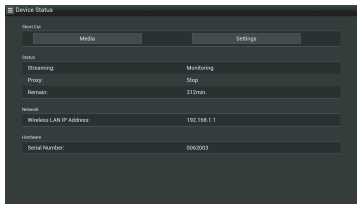
- Streaming
  - Monitoring：Streamingが「Off」状態
  - Running：MPEG2-TS/UDPまたはMPEG2-TS/ RTP
- ネットワーククライアントモードがオンのときは、以下の表示となります。
- Running：ストリーミング中
- Stop：停止中

エラー表示：Destination Address Error、No Internet Access

- Remain : SDカードの残量表示

Warning/Error：注意/エラー表示（「Wxx-xxx」はワーニング番号、「Exx-xxx」はエラー番号（184ページ））

- Serial Number：本機のシリアル番号



本機設定用の画面を表示します。

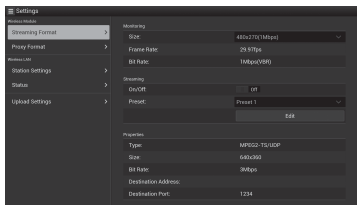
- Format : フォーマット設定 (86ページ)

- Status : ワイヤレスLAN 設定状態 (89ページ)

- 転送設定 (91ページ)

**ご注意**

- Settingsの画面が表示されている場合は、以下から各設定画面を表示することができます。



メディアの情報を表示したりメディアから転送するファイルを選ぶ画面を表示します (77ページ)。

- SD Card：本機のPROXY SDスロットに挿入されているメディア
- Slot A：本機のカードスロットAに挿入されているメディア
- Slot B：本機のカードスロットBに挿入されているメディア

転送中のファイルを管理するJob List画面を表示します (92ページ)。

Wi-Fiリモコンを表示します (84ページ)。

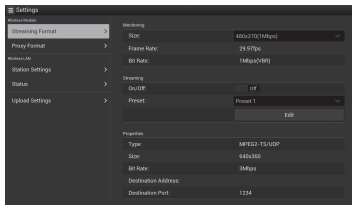
著作権情報を表示します。

## ストリーミングフォーマット設定「Streaming Format」

デバイスでモニタリングされるストリームや、インターネットまたはローカルネットワークを通じてストリーミング伝送するストリームのフォーマットや伝送先の設定を行います。

- AVC/H.264 Main Profile、4 : 2 : 0 Long GOP
- サイズ\*は以下の設定で選択

- AAC-LC圧縮
- サンプリング周波数：48 kHz
- ビットレート：128 kbps for Stereo



## モニタリング設定

デバイスでモニターされる際のフォーマットを設定します。

モニタリング用の映像のサイズとビット  
レートを設定します

- 480x270 : 1Mbps (VBR)

- 480x270 : 0.5Mbps (VBR)

### ご注意

ビットレートは平均値であり、この値を超える場合があります。

### Frame Rate

映像のフレームレートを表示します。

- 23.98fps : 23.975fps
- 25fps : 25fps
- 29.97fps : 29.97fps
- 50fps : 50fps
- 59.94fps : 59.94fps

### ご注意

24fpsには対応していません。

### Bit Rate

映像のビットレートを表示します。

- 1Mbps (VBR) : 480x270
- 0.5Mbps (VBR) : 480x270

## ストリーミング設定

ストリーミング伝送する際のフォーマットや伝送先を設定します。設定はプリセットとして3つまで保持できます。

### On/Off

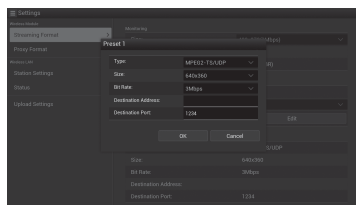
ストリーミング伝送のOn/Offを切り換えます。

### ご注意

Onに設定時は、モニタリング機能が使用できません。

### Preset

プリセットをPreset1～3から選択します。プリセットはPreset Editをタップすると編集できます。



### Type

ストリーミング用の映像の種類を、MPEG-2 TS/UDPとMPEG-2 TS/RTPから選択します。

### Size

ストリーミング用の映像のサイズを設定します。

- HD/SD Auto
- 1280x720
- 640x360
- 480x270
- 320x180

HD/SD Autoを選択した場合、SxSに記録される記録フォーマットの設定や再生するクリップのフォーマットに基づいて設定されます。

### Bit Rate

ストリーミング用の映像のビットレートを設定します。

- 9Mbps
- 6Mbps
- 3Mbps
- 2Mbps
- 1Mbps
- 0.5Mbps
- 0.3Mbps(Mono L)
- 0.3Mbps(Mono R)
- 0.2Mbps(Mono L)
- 0.2Mbps(Mono R)

選択できるビットレートは、Sizeの設定により異なります。

ネットワークの帯域が500kbps以下をご使用の場合には、以下を選択してください。

- 「Size」 480×270 : 「Bit Rate」 0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)
- 「Size」 480×270 : 「Bit Rate」 0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)
- 「Size」 320×180 : 「Bit Rate」 0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)

このときのビデオのフレームレートは10fpsで、オーディオはサンプリング周波数 : 48 kHz/ビットレート : 56 kbps Mono となります。

### Destination Address

ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力します。

### Destination Port

伝送先サーバーの、ストリーミングに使用するポート番号を入力します。

### Audio Channel Select

音声のチャンネルを選択します。

「Ch-1 & Ch-2」：チャンネル1、2の音声  
(初期値)

「Ch-3 & Ch-4」：チャンネル3、4の音声

### ご注意

- 項目名の左側が左チャンネル、右側が右チャンネルとなります。
- 「Size」 480×270 : 「Bit Rate」 0.3Mbps(Mono L)/0.3Mbps(Mono R)  
「Size」 480×270 : 「Bit Rate」 0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)  
「Size」 320×180 : 「Bit Rate」 0.2Mbps(Mono L)/0.2Mbps(Mono R)  
の設定において、  
Mono Lの場合は、  
「Ch-1 & Ch-2」のCh-1  
「Ch-3 & Ch-4」のCh-3  
Mono Rの場合は、  
「Ch-1 & Ch-2」のCh-2  
「Ch-3 & Ch-4」のCh-4  
となります。

## プロキシーフォーマット設定 「Proxy Format」

本機のSDカードに記録されるプロキシーファイルのフォーマット設定を行います。

### 映像

XAVC Proxy (AVC/H.264 Main Profile、4 : 2 : 0 Long GOP)

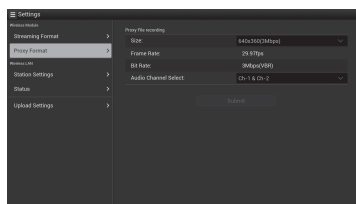
サイズは以下の設定で選択

### 音声

AAC-LC圧縮

サンプリング周波数：48 kHz

ビットレート：128 kbps for Stereo



### Size

プロキシーファイル用の映像のサイズとビットレートを設定します。

「HD/SD Auto」：9Mbps (VBR)

「HD/SD Auto」：6Mbps (VBR)

「1280 × 720」：9Mbps (VBR)

「1280 × 720」：6Mbps (VBR)

「640 × 360」：3Mbps (VBR)

「480 × 270」：1Mbps (VBR)

「480 × 270」：0.5Mbps (VBR)

### ご注意

- ビットレートは平均値であり、この値を超える場合があります。
- HD/SD Autoを選択した場合、SxSに記録される記録フォーマットの設定や再生するクリップのフォーマットに基づいて設定されます。
- HD/SD Autoで記録したプロキシーファイルは、Web BrowserやContent Browser Mobileでの再生ができない場合があります。プロキシーファイルを記録したSDカードをコンピュータに直接挿入して再生してください。

### Frame Rate

映像のフレームレートを表示します。

23.98fps : 23.975fps

25fps : 25fps

29.97fps : 29.97fps

50fps : 50fps

59.94fps : 59.94fps

### ご注意

24fps には対応していません。

### Bit Rate

映像のビットレートを表示します。

9Mbps (VBR) : HD/SD Auto / 1280 × 720

6Mbps (VBR) : HD/SD Auto / 1280 × 720

3Mbps (VBR) : 640 × 360

1Mbps (VBR) : 480 × 270

0.5 Mbps (VBR) : 480 × 270

### Audio Channel Select

記録する音声のチャンネルを選択します。

「Ch-1 & Ch-2」：チャンネル1、2の音声  
(初期値)

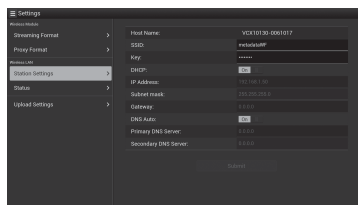
「Ch-3 & Ch-4」：チャンネル3、4の音声

### ご注意

項目名の左側が左チャンネル、右側が右チャンネルとなります。

## ワイヤレスLAN 設定「Station Settings」

本機をワイヤレスLAN に接続するための設定を行います。



### Host Name

本機のホスト名を表示します（変更不可）。

### SSID

Access Pointで選んだSSIDを表示します。

### Key

アクセスポイントのパスワードを入力します。

### DHCP

DHCP設定をします。

Onにすると、自動的に本機にIP アドレスを割り当てます。  
手動で本機のIP アドレスを入力する場合は、Offにします。

### IP Address

本機のIP アドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

### Subnet mask

本機のサブネットマスクを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。

### Gateway

アクセスポイントのゲートウェイを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

### DNS Auto

DNS自動取得設定をします。

Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。

### Primary DNS Server

アクセスポイントのプライマリー DNSサーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。

### Secondary DNS Server

アクセスポイントのセコンダリDNS サーバーを入力します。DNS AutoがOffのときに有効です。

### Submit

ワイヤレスLAN 設定を確定します。

## WPS 機能を使わないでステーションモードでアクセスポイントに接続する場合

**1** アクセスポイントモードで本機とデバイスを接続する（68ページ）。

**2** Station Settings画面の項目を設定する。

接続するアクセスポイントの設定に合わせて設定を行います。  
アクセスポイントの設定については、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

**3** Submitをタップする。

設定した項目が確定します。

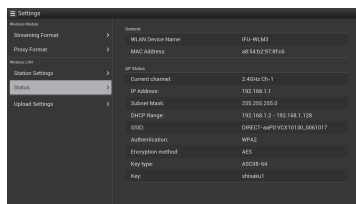
**4** NETWORK SETメニューでNetwork Modeで、ワイヤレスLANの動作モードをStationに設定する。

本機がステーションモードでアクセスポイントに接続しますので、「WPS機能を使ってアクセスポイントに接続する」（70ページ）の手順8以降を行って、デバイスから本機にアクセスします。

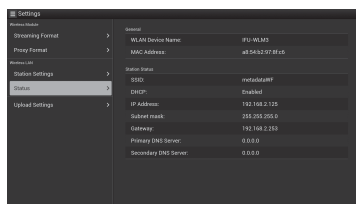
## ワイヤレスLAN 設定を確認する

Wireless LANのStatusでワイヤレスLAN設定の確認画面を表示します。  
本機のワイヤレスLANモードによって、表示される内容が変わります。

## アクセスポイントモード



## ステーションモード



## 有線LAN 設定「Wired LAN Settings」

本機を有線LANでネットワークに接続するための設定を行います。



### DHCP

DHCP設定をします。  
Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。  
手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。

### IP Address

本機のIPアドレスを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

### Subnet mask

本機のサブネットマスクを入力します。DHCPがOffのときに有効です。

## Gateway

アクセスポイントのゲートウェイを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。

## DNS Auto

DNS自動取得設定をします。  
Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。

## Primary DNS Server

アクセスポイントのプライマリー DNSサーバーを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。

## Secondary DNS Server

アクセスポイントのセカンダリDNSサーバーを入力します。  
DHCPがOffのときに有効です。

## Web/Cam Remote

有線LAN経由で本機のWebメニューやWi-Fiリモコンへのアクセスの許可、不許可の設定をします。Onにするとアクセスを許可します。

### ご注意

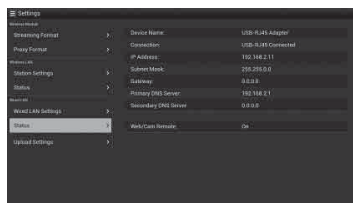
インターネットからの不正アクセスを防ぐため、Onにする場合は有線LAN ネットワークがインターネットに接続していないときを推奨します。インターネットに接続する場合は、接続先がセキュアなネットワークであることをご確認の上でご利用ください。

## Submit

有線LAN設定を確定します。

## 有線LAN設定を確認する

Wired LANのStatusで有線LAN設定の確認画面を表示します。



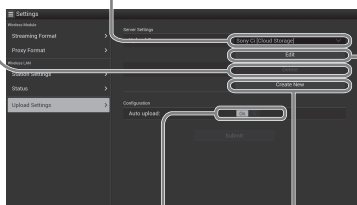
## 転送設定「Upload Settings」

本機に記録したプロキシファイルやオリジナルファイルを転送するサーバーを登録したり、設定を変更します。

登録したサーバーの削除

サーバーの設定変更

設定変更/削除するサーバーを選ぶ



自動転送のON/OFF

転送先のサーバーを登録

### Auto Upload On/Off

Auto Upload On/Off が On でインターネット接続状態の場合、記録を終了すると Upload Settings でデフォルト設定されたサーバーに対して、自動的にプロキシファイルを送信します。

初期値としてサーバーに「Sony Ci」が設定されています。

「Sony Ci」とは、Sony が提供する Media Cloud Services です。ソニーのクラウドサービス「Sony Ci」へ転送することができます。

#### ご注意

- 「Sony Ci」をお使いになる場合は、別途契約が必要です。  
詳細は、[www.SonyMCS.com/wireless](http://www.SonyMCS.com/wireless) をご覧ください。

「Sony Ci」を登録するには

**1 Upload Settings画面で「Sony Ci」が表示されていることを確認し、Edit をタップする。**

「Sony Ci」設定用の画面が表示されます。

**2 Userにユーザー名、Passwordにパスワードを入力する。**

詳細は、[www.SonyMCS.com/wireless](http://www.SonyMCS.com/wireless) をご覧ください。

**3 Linkをタップする。**

しばらくすると完了のメッセージが表示されます。

#### ご注意

- 「Link」はユーザーと本機を関連付ける操作となります。「Link」を実行するにはインターネットの接続が必要です。

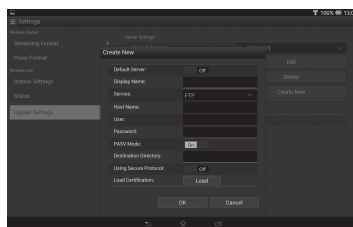
**4 「OK」をタップする。**

#### ご注意

- 「Sony Ci」登録後は、設定画面に「Unlink」が表示されます。タップするとユーザーアカウントを解除し、他のユーザーアカウントでリンクすることもできます。

## 新しく転送先のサーバーを登録する

Create New をタップすると、設定用の画面が表示されます。



設定後に OK をタップすると設定を反映し、Cancel をタップすると、設定を中止します。

### Default Server

On にすると、ファイルの転送先をデフォルト設定にします。（ファイル転送時の転送先リストに優先的に表示されます。）

### Display Name

リストに表示されるサーバー名を入力します。

### Service

サーバーの種類を表示します。

「FTP」：FTP サーバー

### Host Name

サーバーのアドレスを入力します。

#### ご注意

デフォルト Port 21 以外をご使用になる場合には、アドレスの後に「:123」（例）を付加してください。

## User

ユーザー名を入力します。

## Password

パスワードを入力します。

## PASV Mode

PASV モードのON/OFFを行います。

## Destination Directory

転送先のディレクトリを指定します。

ディレクトリー名として不正な文字が入力された場合は、ディレクトリーを生成せず、転送先ディレクトリー直下に転送します。

## Using Secure Protocol

セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。

## Load Certification

CA証明書を読み込みます。

\* 読み込む証明書はPEM形式で、SD Cardのルートディレクトリーに"certification.pem"のファイル名で書き込んでおいてください。

## Clear Certification

CA証明書をクリアします。

### ご注意

FTP による通信は暗号化されていませんので、FTPSの使用をお勧めします。

## 登録済みのサーバーの設定を変更する

Upload Settings画面で設定を変更したいサーバー名を選んでEditをタップします。設定変更画面が表示されますので、必要に応じて設定を変更します。

設定項目、内容については「新しく転送先のサーバーを登録する」(91ページ)をご覧ください。

## 登録したサーバーを削除する

Upload Settings画面で削除したいサーバー名を選んでDeleteをタップします。確認画面が表示されますので、OKを選ぶとサーバーを削除した後元の画面に戻ります。

## 記録終了時に自動的にファイル転送を開始する

「Auto upload」を「On」にすると、記録終了時に自動的に、SDカードに保存したファイルの転送を開始します。

オリジナルファイルの情報を継承した同一デュレーションのプロキシファイルの記録で、カムコーダーがプランニングメタデータに基づいて記録した場合、このプランニングメタデータの<Title>タグの内容で転送先のフォルダーを作成し、このフォルダーの下に転送します。またプランニングメタデータファイルのファイル名に、メディアのIDを付加して転送します。

### ご注意

転送先のフォルダー名称は、「ファイルを選んで転送する」(77ページ)で設定したフォルダーになります。未設定の場合には、当日の日付のフォルダーとなります。変更するには「ファイルを選んで転送する」で設定してください。

## ファイル転送を再開する（リジューム機能）

ファイル転送の失敗後、再転送する場合に失敗したところから再開します。

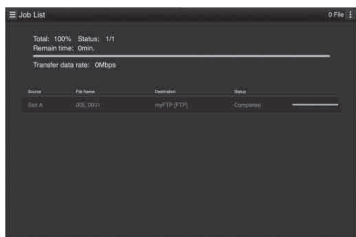
### ご注意

リジューム機能に対応したサーバーの場合にのみ有効です。

## ファイル転送の確認をする「Job List」

転送中のファイルや転送ファイルのリストの確認をしたり、転送するファイルの中止、再開、削除などを行うことができます。本機はFTPリジューム機能（転送途中からのファイルの再転送機能）に対応しています。





- Total：転送する全ファイルの進捗状況です。
- Status：転送中のファイルの進捗状況です。
- Remain time：予想残り転送時間表示です。
- Transfer data rate：転送レート表示です。

## ファイルの転送中止、再開、転送リストからファイルを削除する

### 1 ファイルを選ぶ。

### 2 画面右上の をタップする。

以下の項目を選びます。

- Abort selected：転送を中止します。
- Delete from list：転送リストからファイルを削除します。
- Start selected：ファイルの転送を開始します。
- Select All：リストを全選択します。
- Clear completed：転送済みファイルリストを全削除します。

## エラー/警告表示

エラーを検出した場合、ワイヤレスLAN接続したデバイスの「Device Status」画面上（85ページ）に表示します。

分類	エラー / 警告ID	内容
Hard系	E01-003	Device Error
	E01-004	3G/4G Device Error
	E01-005	Firmware update error
AV系	E02-002	SDI Signal Error
通信系	E03-001	Communication Error
	E03-002	Not supported device
	E03-003	File Transfer Error
	E03-004	Firmware update error
	E03-005	Authentication failed※
	E03-006	Server Capacity Over
	E03-007	IP Address setting error
	E03-008	Certification Error

分類	エラー / 警告ID	内容
Media系	W04-001	No Media
	W04-002	Media Full
	E04-003	Read Error
	E04-004	Write Error（容量Over以外）
	W04-005	Locked Media
	W04-006	Clips Full（600 clips到達）
	W04-008	Media Near Full
	W04-009	Clips Near Full
	W04-010	Last Clip Recording
	E04-007	Not supported media

※ Sony Ci の認証期限切れ、またはFTP Serverの認証で失敗

## サムネイル画面

THUMBNAILボタン（10ページ）を押すと、SxSメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル（縮小画）画面に表示されます。クリップが記録されていないカードを入れた場合は、メッセージが表示されます。

サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、LCDモニター /EVF、外部ビデオモニターに表示できます。

STOP/CAMボタン（10ページ）を押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

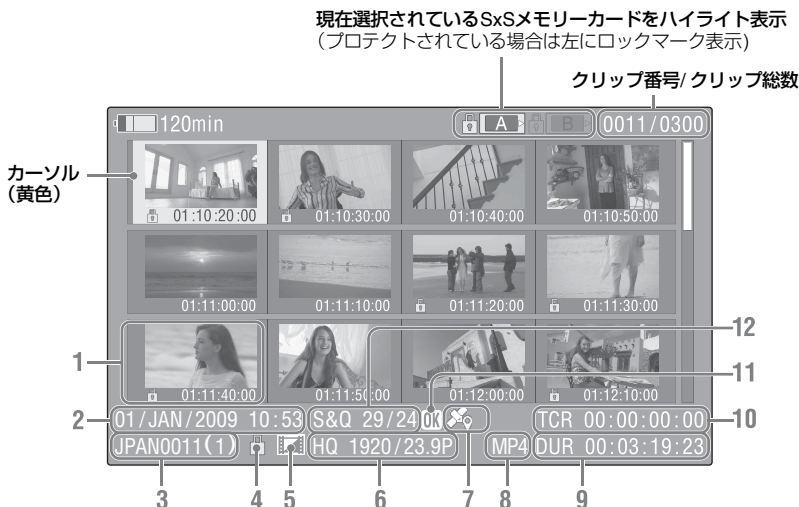
### ご注意

通常のサムネイル画面では、同じSxSメモリーカードにHD/SDのクリップが混在して記録されている場合でも、OTHERSメニューのSystem（144ページ）のHD/SDで選択されているモードのクリップのみ表示されます。

HD/SDモードにかかわらず記録されている全クリップを表示したい場合は、オールクリップサムネイル画面（96ページ）に切り換えます。

## サムネイル画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



### 1. サムネイル（縮小画）

UDF、exFAT、FAT/HDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。任意のフレームに変更することもできます（105ページ）。クリップがロックされている、

またはOKマークが付加されている場合はロックマーク が表示されます。

FAT/SDモード：表示されるサムネイルは、各クリップの先頭フレームです。ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合はテイクマーク が表示されます。それぞれの分割ファイルは、ク

リップエクスパンド画面（102ページ）で見ることができます。

## 2. 収録年月日と録画開始時刻

## 3. クリップ名

FAT/SDモードでファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/（スラッシュ）で区切ってクリップの分割数が表示されます。

## 4. ロックマーク（UDF、exFAT、FAT/HDモード）

UDF、exFAT：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されます。


FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

## 5. AV単独ファイルアイコン（UDF、exFAT、FAT/HDモード）

選択したクリップがAV単独ファイルの場合のみ表示されます。コンピューターでSxSメモリーカードに直接追加したファイルなど正規の管理ファイルがない場合で、すべての操作と表示ができない可能性があることを示します。

## 6. 記録時のビデオフォーマット

## 7. GPS測位情報（exFAT/XAVCフォーマット）

記録したクリップにGPS測位情報がある場合、アイコンが表示されます。

## 8. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット（MXF、MP4、AVI）が表示されます。（UDF/HD、exFAT/HDモード時は表示されません。）

## 9. クリップの収録時間（Duration）

## 10. タイムコード

代表画のタイムコードが表示されます。

## 11. OK/NG/KPマーク（UDF、exFAT、FAT/HDモード）

UDF、exFAT：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

## 12. 特殊記録撮影情報（UDF、exFAT、FAT/HDモード）

特殊記録モード（スロー & クイックモーション、インターバルレック、フレームレック）で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー & クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレームレート/再生フレームレート」が表示されます。

## サムネイル画面の種類を変更する

THUMBNAILボタン（10ページ）を押すごとに、以下のとおりサムネイル画面の種類を切り換えることができます。

### UDF、exFAT

通常のサムネイル画面、OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

### FAT/HD モード

通常のサムネイル画面、OKクリップサムネイル画面、オールクリップサムネイル画面が切り換わります。

### FAT/SD モード

通常のサムネイル画面とオールクリップサムネイル画面が切り換わります。

## OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OK/NG/KPフラグのいずれかのフラグが付加されたクリップ、またはフラグが付加されていないクリップ（None）のみが表示されます。OTHERSメニューのClip（145ページ）のFilter Clipsで、表示するフラグを選択できます。

## OKクリップサムネイル画面

選択されているSxSメモリーカードに記録されたクリップの中で、OKマークが付加されたクリップのみが表示されます。

## オールクリップサムネイル画面

HD/SDモードにかかわらず、記録されているすべてのクリップが表示され、選択されているSxSメモリーカードに他のモードのクリップも記録されているかどうかを確認することができます。

### ご注意

オールクリップサムネイル画面から再生を開始することはできません。  
もう一度THUMBNAILボタンを押すと通常のサムネイル画面に戻り、再生やクリップ操作が可能になります。

## SxSメモリーカードを切り換える

SxSメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン（12ページ）を押して切り換えます。

### ご注意

サムネイル画面が表示されているとき、またはSTOP/CAMボタンを押して外部入力画像が表示されているときのみ、切り換え可能です。  
再生中にSxSメモリーカードを切り換えることはできません。  
またスロットAからスロットBへの連続再生はできません。

# クリップの再生

再生にはハンドル面操作パネル（10ページ）の再生コントロールボタンを使用します。  
赤外線リモコンを有効にしたときは、リモコンのボタンでも操作できます（21ページ）。

## 選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

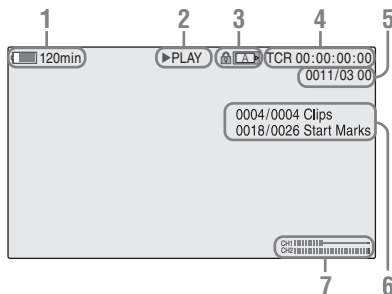
- 1 上下/左右ボタンまたはジョグダイヤルで、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- 2 PLAY/PAUSEボタンを押す。  
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

### ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は、再生コントロールボタンやTHUMBNAILボタンは操作できません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、PREVボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

## 再生中の画像に表示される情報


再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



### 1. バッテリー残量/DC IN電圧表示

### 2. 再生モード表示

### 3. SxSメモリーカード表示

SxSメモリーカードがプロテクトされている場合は、左に  マークが表示されます。

### 4. タイムデータ表示

再生画像のタイムデータが表示されます。DURATION/TC/U-BITボタンを押すたびに、タイムコード (TCR) 表示とユーザービット (UB表示) が切り換わります。

### 5. クリップ番号/クリップ総数

FATの場合に表示されます。また、UDF、exFATでOTHERSメニューのClip (145ページ) のFind ModeがClipの場合に表示されます。

### 6. クリップ番号/クリップ総数、エッセンスマーク番号/エッセンスマーク総数

UDF、exFATでOTHERSメニューのClip (145ページ) のFind ModeがRec Startの場合に表示されます。

### 7. オーディオレベル表示

記録時のオーディオレベルを表示します。

最後のクリップの先頭から再生するにはF FWDボタンとNEXTボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最後に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

## 再生中にショットマークを追加する (UDF、exFATまたはFAT/HDモード)

記録時と同様に、ボタンを押すことによって再生中のクリップに、ショットマークを追加することができます。

ショットマークを入りたい部分で、**Shot Mark1**または**Shot Mark2**の記録機能を割り当てたアサインابلボタンを押す。

### ご注意

- SxSメモリーカードがプロテクトされている場合にはショットマークは記録できません。
- クリップの先頭と末尾にはショットマークは記録できません。

## 音声を聞く

標準再生モードでは、記録されている音声を内蔵スピーカー (9ページ) またはヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子 (8ページ) にヘッドホンをつなぐと、内蔵スピーカーはオフになります。

VOLUMEボタン (10ページ) を押して音量を調整します。

モニターするチャンネルは、AUDIO SETメニューのAudio Output (126ページ) で選択できます。

## 頭出しする

最初のクリップの先頭から再生するにはPREVボタンとF REVボタンを同時に押すと、SxSメモリーカードの最初に記録されたクリップの先頭にジャンプします。

# クリップ操作

サムネイル画面などの再生モードでは、クリップ操作メニューを使用してクリップの操作、詳細情報の確認、付随データの変更などが可能です。下記の画面でSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、それぞれ対応するクリップ操作メニューを表示できます。

## クリップ操作メニュー構成

### サムネイル画面（98ページ）

- CANCEL
- DISP CLIP INFO
- OK MARK ADD（FATのみ）
- OK MARK DELETE（FATのみ）
- OK FLAG ADD（UDF、exFAT）
- NG FLAG ADD（UDF、exFAT）
- KEEP FLAG ADD（UDF、exFAT）
- CLIP FLAG DELETE（UDF、exFAT）
- LOCK CLIP（UDF、exFAT）
- UNLOCK CLIP（UDF、exFAT）
- COPY CLIP
- DELETE CLIP
- ALL MARKS
- SHOT MARK1
- SHOT MARK2
- REC START MARK（UDF、exFAT）
- EXPAND CLIP

### クリップエキスパンド画面（103ページ）

- CANCEL
- EXPAND(COARSE)
- EXPAND(FINE)
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 ADD
- SHOT MARK2 ADD

- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP（FATのみ）

### ショットマーク画面（104ページ）

- CANCEL
- PAUSE
- SET INDEX PIC
- SHOT MARK1 DEL
- SHOT MARK2 DEL
- DIVIDE CLIP（FATのみ）

#### ご注意

SDモードでは選択できるメニューが制限されます。

## クリップ操作メニューの基本操作

上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで機能を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押してください。

CANCELボタンを押すと、操作前の画面に戻ります。

クリップ操作メニューでCANCELを選択すると、クリップ操作メニューが消えます。

#### ご注意

- 本機に記録したオリジナルファイルの部分転送（78ページ）中は、操作できない項目があります。
- SxSメモリーカードがプロテクトされているときは、操作できない項目があります。
- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

## サムネイル画面のクリップ操作メニュー

サムネイル画面（94ページ）でSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、カーソル位置のクリップの操作メニューが表示されます。

項目	機能
DISP CLIP INFO	クリップの詳細情報画面を表示する（100ページ）。
OK MARK ADD <sup>1)</sup>	OKマークを付加する（101ページ）

項目	機能
OK MARK DELETE <sup>1)</sup>	OKマークを削除する（101ページ）。
OK FLAG ADD <sup>2)</sup>	OKフラグを付加する（101ページ）。
NG FLAG ADD <sup>2)</sup>	NGフラグを付加する（101ページ）。
KEEP FLAG ADD <sup>2)</sup>	KPフラグを付加する（101ページ）。
CLIP FLAG DELETE <sup>2)</sup>	フラグを削除する（101ページ）。
LOCK CLIP <sup>2)</sup>	クリップをロックして保護する（101ページ）。
UNLOCK CLIP <sup>2)</sup>	保護されたクリップのロックを解除する（101ページ）。
COPY CLIP	クリップを別のSxSメモリーカードにコピーする（101ページ）。
DELETE CLIP	クリップを削除する（102ページ）。
ALL MARKS <sup>3)</sup>	エッセンスマークが記録されているすべてのフレームをサムネイル表示する（103ページ）。
SHOT MARK1 <sup>3)</sup>	ショットマーク1が記録されているフレームのみをサムネイル表示する（103ページ）。
SHOT MARK2 <sup>3)</sup>	ショットマーク2が記録されているフレームのみをサムネイル表示する（103ページ）。
REC START MARK <sup>2)</sup>	レックススタートマークが付加されているフレームおよび先頭フレームにレックススタートマークが付加されていないクリップの先頭フレームをサムネイル表示する（103ページ）。
EXPAND CLIP	クリップエキスパンド画面に切り換える（102ページ）。

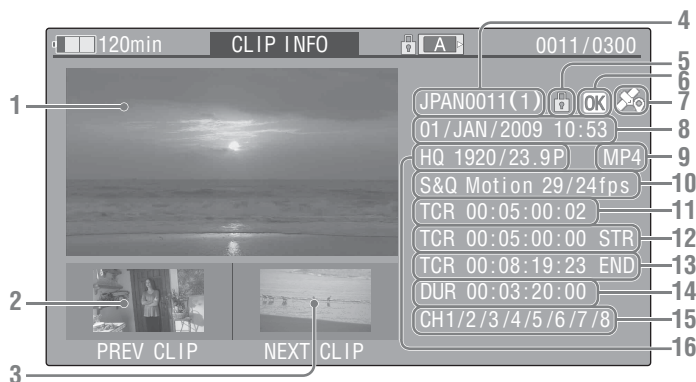
1)FAT/HDモードのみ有効

2)UDF、exFATモードのみ有効

3)UDF、exFAT、FAT/HDモードで有効

## クリップの詳細情報を表示する

クリップ操作メニューでDISP CLIP INFOを選択します。



### 1. 現在のクリップの画像

### 2. 前のクリップの画像

PREVボタンを押すと、ひとつ前のクリップの詳細情報画面になります。

FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、ひとつ前の分割クリップの詳細情報画面になります。

### 3. 次のクリップの画像

NEXTボタンを押すと、次のクリップの詳細情報画面になります。

FAT/SDモードで分割保存されたクリップの場合は、次の分割クリップの詳細情報画面になります。

### 4. クリップ名

12文字以上のクリップ名の場合、最初の5文字と最後の5文字のみ表示されます。省略された部分を確認したいときは、ジョグダイヤルまたはSEL/SETボタンを押すと、クリップ名全体が表示されます（ロング表示モード）。もう一度ジョグダイヤルまたはSEL/SETボタンを押すとロング表示モードは解除されます。PREV/NEXTで前または次のクリップに切り換えた場合にも、ロング表示モードは解除されます。

FAT/SDモードでファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、クリップ名の後に/（スラッシュ）で

区切ってクリップの分割数が表示されます。

### 5. ロックマーク（UDF、exFAT、FAT/HDモードのみ）

UDF、exFAT：選択しているクリップがロックされている場合にロックマークが表示されます。


FAT/HDモード：選択しているクリップにOKマークが付加されている場合にロックマークが表示されます。

### 6. OK/NG/KPマーク（UDF、exFAT、FAT/HDモードのみ）

UDF、exFAT：選択したクリップにOK/NG/KPフラグが付加されている場合は、そのマークが表示されます。

FAT/HDモード：選択したクリップにOKマークが付加されている場合は、OKマークが表示されます。

### 7. GPS測位情報（exFAT/XAVCフォーマット）

記録したクリップにGPS測位情報がある場合、アイコンが表示されます。

### 8. 収録日と録画開始時刻

### 9. ファイルフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマット（MXF、MP4、AVI）が表示されます。



## 10. 特殊記録撮影情報 (UDF、exFAT、FAT/HDモードのみ)

特殊記録モード (スロー & クイックモーション、インターバルレック、フレームレック) で記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。

スロー & クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側に「撮影フレームレート/再生フレームレートfps」が表示されます。

## 11. 表示されている画像のタイムコード

## 12. 記録開始点のタイムコード

## 13. 記録終了点のタイムコード

## 14. 収録時間

## 15. 記録音声チャンネル

## 16. 記録時のビデオフォーマット

## フラグを付ける/フラグを削除する (UDF、exFAT)

UDF、exFATで記録したクリップは、OK/NG/KPフラグを付加することができます。フラグを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面 (OK/NG/KP/Noneクリップサムネイル画面) (95ページ) に表示させることができます。

フラグを付加するときは、サムネイル画面のクリップ操作メニュー (98ページ) でOK FLAG ADD、NG FLAG ADD、KEEP FLAG ADDを選びます。フラグを削除するときは、CLIP FLAG DELETEを選びます。

### ご注意

フラグを付加してもクリップは保護されません。クリップの削除を禁止する場合は、サムネイル画面のクリップ操作メニュー (98ページ) でLOCK CLIPを選びます。保護を解除する場合は、UNLOCK CLIPを選びます。

## OKマークを付ける/OKマークを削除する (FAT/HDモードのみ)

FAT/HDモードで記録したクリップは、OKマークを付加することによって、必要なクリップのみサムネイル画面 (OKクリップサムネイル画面) (96ページ) に表示させるこ

とができます。OKマークを付加したクリップは削除・分割が禁止されます。削除・分割したいときは、OKマークを削除してから操作してください。

サムネイル画面のクリップ操作メニュー (98ページ) から、OKマークを付加するときはOK MARK ADDを、削除するときはOK MARK DELETEを選びます。

## クリップをコピーする

クリップを別のSxSメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のSxSメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

### ご注意

- コピー先のSxSメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。  
括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。  
例: ABCD0002→ABCD0002(1)  
ABCD0002(1)→ABCD0002(2)  
ABCD0005(3)→ABCD0005(4)
- FATの場合、コピー回数が10回を超えた場合など、括弧数字(1)～(9)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- UDF、exFATの場合、コピー回数が1000回を超えた場合など、括弧数字(1)～(999)がすでに存在するカードにはそれ以上コピーできません。
- コピー先のSxSメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されますので、コピー先のSxSメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じSxSメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特長などにより、すべてのクリップを最後までコピーできない場合があります。

## クリップを指定してコピーする

サムネイル画面で選択したクリップをコピーします。

クリップ操作メニューからCOPY CLIPを選びます。

## クリップを一括コピーする

セットアップメニューを使用すると、同じSxSメモリーカードに記録されているクリッ

ブを、別のSxSメモリーカードにまとめてコピーすることができます。

HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみコピーされますので、同一モードのクリップのみ抽出したいときにも便利です。

OTHERSメニューのCopy All（146ページ）からClipsを選択します。

## クリップを削除する

SxSメモリーカードからクリップを削除することができます。

クリップ操作メニューからDELETE CLIPを選びます。

### ご注意

OKマークやLOCK CLIPの設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。削除したいときは、先にOKマークやLOCK CLIPを解除してください。

## クリップを一括削除する

セットアップメニューを使用すると、同じSxSメモリーカードに記録されているクリップをまとめて削除することができます。OTHERSメニューのClip（145ページ）からAll Clips DELを選択します。

### ご注意

- HDモードとSDモードのクリップが混在記録されているSxSメモリーカードでは、現在選択されているモードのクリップのみ削除されます。
- OKマークやLOCK CLIPの設定されたフラグが付加されたクリップは削除できません。

## クリップエクスパンド画面を表示する

UDF、exFAT、FAT/HDモードでは、選択したクリップを時間で12分割し、各ブロックの先頭フレームをサムネイルとして表示することができます。

FAT/SDモードでは、ファイルサイズが2GBを超えて分割保存されたクリップの場合のみ、分割されたファイルの先頭のフレーム

をサムネイルとして表示することができません。

記録時間の長いクリップで、目的のシーンにすばやくキューアップしたい場合などに有効です。

クリップエクスパンド画面は、サムネイル画面で選択したクリップから選択できます。

### ご注意

クリップエクスパンド画面では、記録したクリップにGPS測定情報があっても、アイコンは表示しません。

- サムネイル画面でクリップを選び、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。**  
対応するクリップ操作メニューが表示されます。

- EXPAND CLIPを選択する。**  
サムネイル画面で選択したクリップのエクスパンド画面が表示されます。

## UDF、exFAT、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面

選択されているフレームの番号



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面（94ページ）で表示される項目と共通です。

### 1. フレーム情報

選択したフレームの情報をアイコンで表示します。



代表画

<b>S1</b>	ショットマーク1が付加されたフレーム
<b>S2</b>	ショットマーク2が付加されたフレーム

それぞれのサムネイル画像の下にも同じアイコンが表示されます。ただし、同じフレームに複数の情報が付加されている場合には、代表画→ショットマーク1→ショットマーク2の優先順位で表示されます。

## 2. タイムコード表示

エキスパンド画面で選択したフレームのタイムコードを表示します。

## FAT/SDモードのクリップエキスパンド画面



画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

下記の項目以外は、通常のサムネイル画面(94ページ)で表示される項目と共通です。

### 1. タイムコード表示

選択されている分割されたファイルのタイムコードを表示します。

### 2. 収録時間 (Duration)

選択されている分割されたファイルの収録時間を表示します。

## クリップエキスパンド画面のクリップ操作メニュー

### UDF、exFAT、FAT/HD モード

クリップエキスパンド画面でフレームを選択して、SEL/SETボタンまたはジョグダイ

ヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、さらに細かく分割表示したり、選択したフレーム以降を別のクリップとして保存するなどの操作が可能です。

項目	機能
EXPAND (COARSE)	クリップの分割数を減らす。
EXPAND (FINE)	クリップの分割数を増やす。
PAUSE	選択したフレームで再生一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する (105ページ)。
SHOT MARK1 ADD	選択したフレームにショットマーク1を付加する (104ページ)。
SHOT MARK2 ADD	選択したフレームにショットマーク2を付加する (104ページ)。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する (104ページ)。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する (104ページ)。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する (105ページ)。(FAT/HDモードのみ)

## FAT/SD モード

FAT/SDモードのクリップエキスパンド画面からは、PAUSEのみ選択できます。

## ショットマーク画面を表示する (UDF、exFAT、FAT/HDモード)

クリップにひとつ以上のショットマークやレックススタートマークが記録されている場合、それらのマークが付加されているフレームだけをサムネイル形式で表示することができます。

### ご注意

ショットマーク画面では、記録したクリップにGPS測位情報があっても、アイコンは表示しません。

- 1 サムネイル画面でクリップを選び、**SEL/SET**ボタンまたはジョグダイヤルを押す。
- 2 クリップ操作メニュー（98ページ）から、**ALL MARKS**、**SHOT MARK1**、**SHOT MARK2**、**REC START MARK**のいずれかを選択する。

## ショットマーク画面例（ALL MARKS 選択時）



1

画面下部にクリップの詳細情報が表示されます。

以下の項目以外は、UDF、exFAT、FAT/HDモードのクリップエクスパンド画面（102ページ）で表示される項目と共通です。

### 1. タイムコード表示

ショットマーク画面で選択されているフレームのタイムコード

### 先頭/最後のフレームにカーソルを移動する

カーソルが任意の場所にある状態でF REVボタンとPREVボタンを一緒に押すと、カーソルが先頭のフレームに移動します。

F FWDボタンとNEXTボタンを一緒に押すと、カーソルが最後のフレームに移動します。

### 他のクリップのショットマーク画面に切り換える

カーソルが先頭のフレームにある状態でPREVボタンまたは上ボタンを押すか、ジョグダイヤルを上に戻すと、表示可能なひとつ前のクリップのショットマーク画面に切り換わります。

カーソルが最後のフレームにある状態でNEXTボタンまたは下ボタンを押すか、ジョグダイヤルを下に戻すと、表示可能な次のクリップのショットマーク画面に切り換わります。

## ショットマーク画面でのクリップ操作メニュー

ショットマーク画面でフレームを選択してSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、クリップ操作メニューがポップアップ表示され、ショットマークを削除するなどの操作が可能です。

項目	機能
PAUSE	選択したフレームで再生の一時停止モードにする。
SET INDEX PIC	選択したフレームを代表画に設定する（105ページ）。
SHOT MARK1 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク1を削除する（104ページ）。
SHOT MARK2 DEL	選択したフレームに付加されているショットマーク2を削除する（104ページ）。
DIVIDE CLIP	選択したフレーム位置で2つのクリップに分割する（105ページ）。（FAT/HDモードのみ）

## ショットマークを追加・削除する（UDF、exFATまたはFAT/HDモード）

### 一時停止中にショットマークを追加する

クリップ操作メニューからSHOT MARK1 ADDまたはSHOT MARK2 ADDを選びます。

### クリップエクスパンド画面でショットマークを追加する

クリップ操作メニューからSHOT MARK1 ADDまたはSHOT MARK2 ADDを選びます。

### ショットマークを削除する

クリップエクスパンド画面（102ページ）またはショットマーク画面（103ページ）で削除できます。

クリップ操作メニューからSHOT MARK1 DELまたはSHOT MARK2 DELを選びます。

## クリップの代表画を変更する (UDF、exFAT、FAT/HDモード)

クリップエキスパンド画面（102ページ）やショットマーク画面（103ページ）で選択したフレームを代表画に設定することができます。

クリップ操作メニューからSET INDEX PICを選びます。

### ご注意

先頭以外のフレームを代表画に設定しても、サムネイル画面で再生を開始した場合は、常に先頭フレームから再生されます。

## クリップを分割する（FAT/HDモードのみ）

FAT/HDモードのクリップは、クリップエキスパンド画面（102ページ）やショットマーク画面（103ページ）で選択したフレーム位置で2つのクリップに分割することができます。

クリップ操作メニューからDIVIDE CLIPを選びます。

クリップ名の前4文字は元のクリップの名前を引き継ぎ、後半4文字は最新の連続番号になります。

**例：**新たに記録した場合にEFGH0100というクリップが作られる状態で、ABCD0002という名前のクリップを分割した場合、ABCD0100とABCD0101の2つのクリップが作成されます。

### ご注意

SxSメモリーカードの残量が、クリップ分割に必要な容量に満たない場合は、残量不足を知らせるメッセージが表示されます。

## ステータス画面を表示する

STATUSボタン（10ページ）を押すと、LCDモニター /EVF、外部ビデオモニターにステータス画面を表示できます。

上/下ボタン（10ページ）またはジョグダイヤル（12ページ）を操作すると順次切り換わります。

STATUSボタンをもう一度押すと、ステータス画面が消えます。

◆外部ビデオモニターの接続については、「外部モニターや記録装置を接続する」（150ページ）をご覧ください。

## カメラステータス画面

### White Bal: ホワイトバランスの状態

表示	内容
B	ホワイトメモリー Bに保存されている色温度を表示します。
A	ホワイトメモリー Aに保存されている色温度を表示します。
PRST	プリセットホワイトに設定されている色温度を表示します。プリセットホワイトの色温度は、PICTURE PROFILEメニューで設定します。

### Gain: GAIN スイッチの設定

CAMERA SETメニューでGAINスイッチのL、M、Hの3ポジションのそれぞれに登録されたゲイン値を表示します。

### Handle Zoom Speed：ハンドルズームスピードの設定表示

CAMERA SETメニューのZoom Speed（118ページ）のHigh/Lowに設定されたズームスピードを表示します。

表示	内容
L	Zoom Speed のLowで設定したズームスピード

表示	内容
H	Zoom Speed のHighで設定した ズームスピード

### Zebra: ゼブラの状態

表示	内容
1	LCD/VF SETメニューのZebraの Zebra Selectで1またはBothが選択 されているとき、ゼブラをOnにす るとOn表示になり、右側にLCD/ VF SETメニューのZebraのZebra1 Levelの設定値が表示されます。ゼ ブラがOffのとき、またはZebra Selectで2が選択されているときは Offが表示されます。
2	LCD/VF SETメニューのZebraの Zebra Selectで2またはBothが選択 されているとき、ゼブラをOnにす るとOn表示になります。ゼブラが Offのとき、またはZebra Selectで 1が選択されているときはOffが表 示されます。

### Skin Tone Detail: スキントーンディテールの状態

PICTURE PROFILEメニューで、Skin Tone DetailのSettingの状態（OnまたはOff）を表示します。

### Picture Profile: ピクチャープロファイルの選択状態

現在選択されているピクチャープロファイル番号とピクチャープロファイル名を表示します（ピクチャープロファイルがOffのときはOffを表示）。

## オーディオステータス画面

### Output CH：外部出力/ヘッドホン出力

AUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHとMonitor CHの設定に応じて、外部出力およびヘッドホンに出力される音声チャンネルを以下のように表示します。

- CH-1：左右ともCH-1の場合
- CH-2：左右ともCH-2の場合
- CH-3：左右ともCH-3の場合
- CH-4：左右ともCH-4の場合
- CH-1/CH-2：左CH-1、右CH-2のステレオの場合
- CH-3/CH-4：左CH-3、右CH-4のステレオの場合
- CH-1+CH-2：左右ともCH-1+CH-2のモノラルの場合
- CH-3+CH-4：左右ともCH-3+CH-4のモノラルの場合

### Speaker：スピーカー出力

内蔵スピーカーに出力される音声チャンネルを表示します。

スピーカーはモノラル出力のため、Monitor CHがステレオ設定の場合、CH-1+CH-2またはCH-3+CH-4と表示します。ステレオ以外のときは、AUDIO SETメニューのAudio OutputのMonitor CHの設定をそのまま表示します。

### CH-1/CH-2/CH-3/CH-4：オーディオレベルメーター

4チャンネル（2チャンネル時は2チャンネル分）のオーディオレベルメーターと入力ソースを表示します。

撮影中（記録中/記録待機中）は入力されているオーディオのレベル（EE音声のレベル）を表示します。再生中はAUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHの設定に応じて、再生音声レベルを表示します。サムネイル表示、再生停止状態、または外部入力信号を記録中に、i.LINK（HDV/DV）端子から音声の入力がある場合は、入力音声レベルを表示します。この場合は、AUDIO SETメニューのAudio OutputのOutput CHの設定にかかわらず、左端のチャンネル表示はCH-1、CH-2になります。

### Wind Filter : 風音低減フィルター

入力ソースの右側に、Wind FilterのON/OFFが表示されます。Wind FilterはAUDIO SETメニューのAudio InputのWind Filter CH1～CH4で設定します。

## ビデオステータス画面

### Video Format : ビデオフォーマット

OTHERSメニューのSystemのFormatで設定されているビデオフォーマットの垂直ライン数、フレームレート、スキャン方式 (i/P)を表示します。

### Rec Mode : 記録ビットレート

OTHERSメニューのSystemのFormatで設定されているビデオフォーマットを表示します。

### 3G SDI OUT Level : 3G SDI 信号のデータマッピング方式

VIDEO SETメニューの3G SDI OUT Level A/Bで設定されている3G SDI 信号のデータマッピング方式を表示します。

### SDI Output : SDI 出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectのSDIの設定を表示します。

### HDMI Output : HDMI 出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectのHDMIの設定を表示します。

### i.LINK I/O : i.LINK 入出力

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectのi.LINKの設定を表示します。

### Down Converter : SD 出力のダウンコンバーター設定

HDモード時は、VIDEO SETメニューのDown Converterの設定 (Squeeze、Letterbox、Edge Crop) を表示します。  
SDモード時は、OTHERSメニューのSystemのFormatで、EC (エッジクロップ) のビデオフォーマットが選択されている場合は「Edge Crop」、SQ (スクィーズ) のビデオフォーマットが選択されている場合は「Squeeze」と表示します。

### 23.98P Output : 23.98P 出力モード

VIDEO SETメニューの23.98P Outputの設定 (23.98PsF、59.94i (2-3 Pull Down)) を表示します。

## ボタン/リモートステータス画面

### Assign Button: ボタンアサイン状態

OTHERSメニューのAssign Buttonの設定で各アサインボタンに割り当てられている機能名を表示します。

### IR Remote: 赤外線リモコンの有効 / 無効

OTHERSメニューのIR Remoteの設定を表示します。

### Network Remote : Wi-Fi リモコンの有効 / 無効

NETWORK SETメニューのNetwork Remoteの設定を表示します。

## バッテリー / メディアステータス画面

### Battery: バッテリーパック残量

装着されているバッテリーパックの残量を表示します。

### Charge Count: 充電繰り返し回数

装着されているバッテリーパックの累積充電回数を表示します。


### HDD A/HDD B: PHU-220R のバッテリー残量

プロフェッショナルハードディスクユニットが装着されている場合は、それぞれ対応するスロットに接続されているハードディスクユニットのバッテリーの残量を表示します。

### Media A/Media B: メディアの残量、記録可能時間、書き換え寿命目安

それぞれ対応するスロットに挿入されているSxSメモリーカードの空き記録容量をメーター表示します。

メーターの右には、現在の記録ビットレートで撮影を行った場合に記録可能な残り時間を計算して分単位で表示します。対応するスロットにSxSメモリーカードが挿入され

ていないときや使用できないメモリーカードが挿入されているときは、「ーmin」と表示します。メモリーカードが書き込み防止の場合は、 マークを表示します。寿命表示に対応したカードが装着されている場合のみ、Lifeの値（未使用状態を100%としたときのそれぞれのメモリーカードの残り寿命の目安）を示します。

### SD Card：SD Cardの残量、残記録可能時間

SDカードスロットに挿入されたSDカードの空き容量をメーター表示します。メーターの右には、残記録可能時間を表示します。SDカードスロットにSDカードが挿入されていないときや使用できないメモリーカードが挿入されているときは、「ーmin」と表示します。

## GPSステータス画面

### GPS：GPS 測位状態

現在のGPS信号の測位状態をアイコン表示します。

### DOP：水平方向精度低下率

測位精度を表示します。測位情報が無い場合は「---」と表示します。

### LATITUDE：緯度

緯度情報を表示します。測位情報が無い場合は「---」と表示します。

### LONGITUDE：経度

経度情報を表示します。測位情報が無い場合は「---」と表示します。

### ALTITUDE：高度

高度情報を表示します。測位情報が無い場合は「---」と表示します。

### CALC：測位日時

測位日時を表示します。OTHERSメニューのClock Setの設定に応じて表示します。測位情報が無い場合は「---」と表示します。

### REAL：現在日時

本機の現在の日時を表示します。OTHERSメニューのClock Setの設定に応じて表示します。

## TIME ZONE：タイムゾーン

OTHERSメニューのTime Zoneの設定を表示します。

### ご注意

- OTHERSメニューのGPSがOffのときと、再生中はReal、Time Zone以外は「---」表示になります。
- OTHERSメニューのGPSをOnにした直後は、測位情報が取得できるまでの間はReal、Time Zone以外は「---」表示になります。
- 測位中から探索中になった場合は、測位できた最後の情報が表示されます。取得できていない情報の項目がある場合、その項目が「---」表示になる場合があります。

## RECENT FILESステータス画面

RECENT FILESステータス画面では、直近から過去に読み込みしたファイルの情報をCamera Data、User Data、PP Dataで各3個までの計最大9個まで適用順にリスト表示します。

### Load Date/Time：読み込みした日時

直近から読み込みした順にリスト表示します。日時は読み込みしたときの本機の時計の時刻を表示します。

### Type：ファイルの種類

読み込みしたファイルの種類（Camera Data、User Data、PP Data）を表示します。

### Src：メディアの種類

ファイルを読み込んだメディアの種類を表示します。

### File ID：ファイル名

あらかじめ読み込みしたファイルにFile IDで名前を付けた場合、設定した名前が表示されます。

File IDでファイルに名前を付ける操作は、「ファイルに名前を付けるには」（58ページ）をご覧ください。



# セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがLCDモニター /EVF画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

**USERメニュー**：各メニューの項目を任意の順番で配置する（114ページ）。

**USER MENU CUSTOMIZEメニュー**：USERメニューを設定する（114ページ）。

**CAMERA SETメニュー**：画質以外の撮影に関する設定（画質に関する設定はPICTURE PROFILEメニュー（51ページ））

**AUDIO SET メニュー**：音声に関する設定

**VIDEO SET メニュー**：映像出力に関する設定

**LCD/VF SET メニュー**：LCDモニターとEVF表示に関する設定

**TC/UB SET メニュー**：タイムコードとユーザービットに関する設定

**NETWORK SETメニュー**：ネットワークに関する設定

**OTHERS メニュー**：その他の設定

## セットアップメニューの階層

◆USER MENU CUSTOMIZEメニューの構成については、114ページをご覧ください。

### MENU

- USER
  - Interval Rec
  - Frame Rec
  - Clip Cont.Rec
  - P.Cache Rec
  - S&Q Motion
  - Camera
  - Video
  - Assign Button
  - Clip
  - Network
  - NW Client Mode
  - Streaming

- Format Media
- Menu Settings

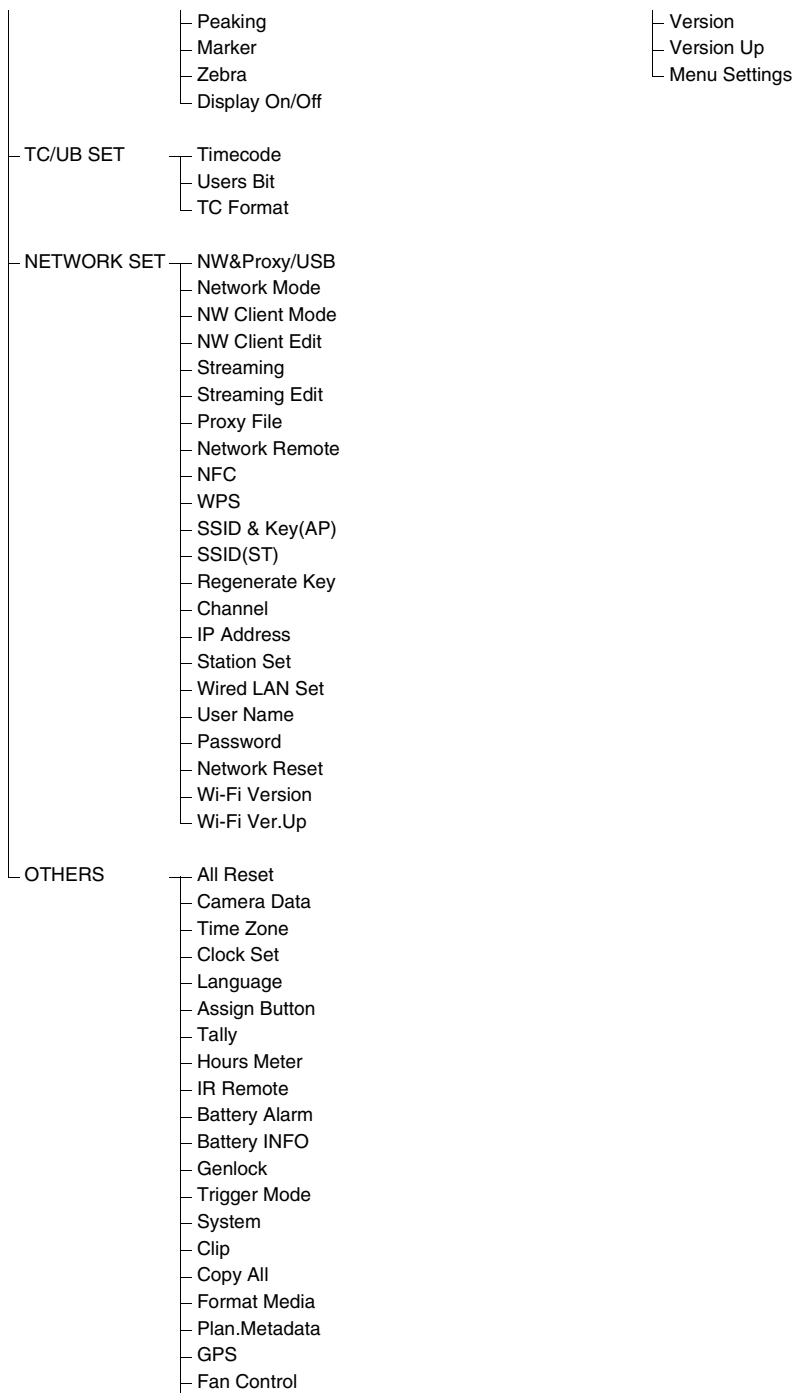
### USER MENU CUSTOMIZE

- CAMERA SET
  - Gain Setup
  - Shutter
  - SLS/EX SLS
  - MF Assist
  - Color Bars
  - Flicker Reduce
  - Handle Zoom
  - Zoom Speed
  - Zoom Transition
  - Interval Rec
  - Frame Rec
  - Clip Cont.Rec
  - P.Cache Rec
  - S&Q Motion
  - Simul Rec
  - Proxy
  - Rec Review
  - TLCS
  - Shockless White
  - White Switch<B>
  - ATW Speed
  - ATW Mode
  - Image Inversion
  - Auto Black Bal.
  - Video Light Set

- AUDIO SET
  - Audio Input
  - Audio Output

- VIDEO SET
  - Input Source Select
  - SDI/HDMI/i.LINK I/O Select
  - 3G SDI OUT Level A/B
  - SDI/HDMI/Video Out Super
  - Down Converter
  - 23.98P Output
  - SDI Rec Control
  - Match Clip Name

- LCD/VF SET
  - LCD
  - EVF



# セッアップメニューの基本操作

## メニュー操作部

### MENU ボタン (10、11 ページ)

セッアップメニューを操作するメニューモードをON/OFFします。

### 上/下/左/右ボタン、SEL/SET ボタン (10 ページ)

上/下/左/右ボタンを押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

SEL/SETボタンを押すと、選択している項目を決定します。

### ジョグダイヤル (SEL/SET ダイアル) (12 ページ)

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

ジョグダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

### CANCEL ボタン (10、12 ページ)

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

#### ご注意

拡大フォーカスモード (37ページ) になっていると、セッアップメニューは操作できません。FOCUS MAGボタンを押して解除してください。

## メニューを設定する

ジョグダイヤルまたは上/下/左/右ボタンで設定したい項目にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルまたはSEL/SETボタンを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大7行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。選択肢エリアの右上隅または右下隅に、スクロール可能なことを示す三角マークが表示されます。

- 選択肢の範囲が大きい項目の場合 (例: -99~+99) は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

## 文字列を入力する

タイムデータやファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力エリアがハイライト表示になり、右端にSETが表示されます。

- 1 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで文字を選択し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押して決定する。  
カーソルが次の欄に移動します。  
前の欄に戻りたいときは、左ボタンを押します。
- 2 同様に最後の桁・欄まで設定する。  
カーソルがSETに移動します。
- 3 ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。  
設定が完了します。

## メニューのロックと解除

セッアップメニューの表示をロックして、USERメニューだけを表示させることができます。

### メニューをロックする

- 1 ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。
- 2 OTHERSメニュー>Menu Settings>User Menu with Lockを表示する。

## ご注意

- ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、Menu Settings>User Menu OnlyがUser Menu with Lockに切り換わります。
- MENUボタンだけを押ししてメニュー表示した場合は、Menu Settings>User Menu with Lockは表示しません。

## 3 Onを選択してSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

LCDモニター /EVF画面の表示が、暗証番号入力画面に切り換わります。

## 4 任意の番号を入力する。

入力できる数値は4桁の0000～9999になります。初期値は0000となっています。

数値を入力し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。すべての桁を入力したら、SETにカーソルが移動します。

## 5 SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

入力が確定します。  
設定が完了したメッセージが表示され、USERメニューだけのメニュー表示に切り換わります。

## ご注意

- 下表のセットアップメニューのメニュー項目をUSERメニューに登録せずにメニューをロックした場合、同機能をアサインボタンに設定することはできません。

セットアップメニューのメニュー項目	アサインボタンに割り当てることができるメニュー項目
CAMERA SET>Handle Zoom	Handle Zoom
CAMERA SET>Clip Cont.Rec>Setting	Clip Continuous Rec
CAMERA SET>P.Cache Rec>Setting	Picture Cache
CAMERA SET>TLCS>Mode	Spotlight Backlight
LCD/VF SET>Zebra>Setting	Zebra
LCD/VF SET>Peaking>Setting	Peaking
LCD/VF SET>Marker>Setting	Marker

セットアップメニューのメニュー項目	アサインボタンに割り当てることができるメニュー項目
LCD/VF SET>EVF>Mode	VF Mode
LCD/VF SET>Display On/Off>Brightness Display	BRT Disp
LCD/VF SET>Display On/Off>Histogram Display	Histogram
LCD/VF SET>Display On/Off>Lens Info	Lens Info
NETWORK SET>NW Client Mode>Setting	NW Client Mode

同機能をアサインボタンにアサインしていた場合は、メニューをロックした時点でアサインの設定が強制的にOffになります。

- PICTURE PROFILEメニューのSELをUSERメニューに登録せずにメニューをロックした場合、ダイレクトメニュー操作での選択はできません。

## メニューのロックを解除する

### 1 ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押す。

### 2 USERメニュー >Menu Settings>User Menu with Lockを表示する。

## ご注意

- ジョグダイヤルを押しながらMENUボタンを押すと、Menu Settings>User Menu OnlyがUser Menu with Lockに切り換わります。
- MENUボタンだけを押ししてメニュー表示した場合は、Menu Settings>User Menu with Lockは表示しません。

### 3 Offを選択してSEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

LCDモニター /EVF画面の表示が、暗証番号入力画面に切り換わります。

### 4 メニューをロックしたときの暗証番号を入力する。

入力できる数値は4桁の0000～9999になります。

数値を入力し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。

すべての桁を入力したら、SETにカーソルが移動します。

## 5 SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。

入力が確定します。

メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメッセージが表示され、全メニュー表示に切り換わります。

### ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。

# セットアップメニュー一覧

## USERメニュー

CAMERA SET、AUDIO SET、VIDEO SET、LCD/VF SET、TC/UB SET、NETWORK SET、OTHERSおよびPICTURE PROFILEに入っているメニューの中から、任意の項目をUSERメニューに登録することができます。登録はUSER MENU CUSTOMIZEメニューで行います。工場出荷時のUSERメニューには以下の項目が含まれています。

- Interval Rec（119ページ）
- Frame Rec（119ページ）
- Clip Cont.Rec（119ページ）
- P.Cache Rec（119ページ）
- S&Q Motion（120ページ）
- Camera（117ページ）
- Video（127ページ）
- Assign Button（142ページ）
- Clip（145ページ）
- Network（135ページ）
- NW Client Mode（135ページ）
- Streaming（136ページ）
- Format Media（146ページ）
- Menu Settings（149ページ）

## USER MENU CUSTOMIZEメニュー

USERメニューで項目の追加や削除、順番の入れ換えなどを行い、USERメニューをより使いやすく編集することができます。

各メニューの任意の項目を選択して、USERメニューに追加することができます。USERメニューには項目を20個まで登録でき、工場出荷時には14項目が登録されています。

USER MENU CUSTOMIZEメニューは以下の項目で構成されています。

項目	細目	選択肢	内容
登録されている項目またはBlank（項目がない場合）	Ins Item ↑		選択した項目の上に項目を追加する。
	Ins SubItem ↑		選択した細目の上に細目を追加する。
	Ins Item ↓		選択した項目の下に項目を追加する。
	Ins SubItem ↓		選択した細目の下に細目を追加する。
	Edit Item	Del Item Ins SubItem Del SubItem	すでに登録されている項目／細目を編集する。 <b>Del Item</b> ：項目を削除する。 <b>Ins SubItem</b> ：細目を追加する。 <b>Del SubItem</b> ：細目を削除する。
Customize Reset		Execute/Cancel	USERメニューを工場出荷状態に戻す。 (Executeで実行)

### ご注意

同じ項目／細目を2回登録することはできません。  
また、追加した項目／細目の名称を変更することはできません。

### USER メニューを工場出荷時の状態に戻すには

メニューのUSER MENU CUSTOMIZE >  
Customize ResetでExecuteを選択し、ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押します。

### 任意の項目と帰属する全細目を追加する

- 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。  
現在登録されている項目が表示されます。
- 2 項目を追加したい位置にある項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
- 3 **Ins Item** ↑ または **Ins Item** ↓ を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。  
**Ins Item** ↑ : 選択した項目の上に項目を追加する。  
**Ins Item** ↓ : 選択した項目の下に項目を追加する。  
追加可能な項目のリストが表示されます。
- 4 追加したい項目を選択して「Execute」を選択し、ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。  
選択した項目とその項目に含まれる全細目が、手順2、3で指定した位置に追加されます。

### 任意の項目と選択した細目を追加する

- 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。  
現在登録されている項目が表示されます。

- 2 項目を追加したい位置にある項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。

- 3 **Ins SubItem** ↑ または **Ins SubItem** ↓ を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。

**Ins SubItem** ↑ : 選択した項目の上に項目を追加する。

**Ins SubItem** ↓ : 選択した項目の下に項目を追加する。

追加可能な項目のリストが表示されます。

- 4 追加したい項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。  
追加可能な細目のリストが表示されます。

- 5 追加したい細目を選択して「Execute」を選択し、ジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。  
選択した項目と細目が手順2、3で指定した位置に追加されます。

### 既存の項目に細目を追加する

#### ご注意

追加する細目は、必ず元のメニューでその細目が帰属していた項目の下に追加してください。別の項目の下に細目を追加することはできません。

- 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。  
現在登録されている項目が表示されます。
- 2 細目を追加したい項目を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。
- 3 **Edit Item**を**Ins SubItem**に設定する。  
選択した項目に現在登録されている細目のリストが表示されます。
- 4 細目を追加したい位置にある細目を選択し、**Ins SubItem** ↑ または **Ins SubItem** ↓ を選択してジョグダイヤルかSEL/SETボタンを押す。

**Ins SubItem ↑** : 選択した細目の上に細目を追加する。

**Ins SubItem ↓** : 選択した項目の下に細目を追加する。

追加可能な細目のリストが表示されません。

## 5 追加したい細目を選択し、**Execute**を選択してジョグダイヤルか**SEL/SET**ボタンを押す。

選択した細目が手順4で指定した位置に追加されます。

---

## 項目を削除する

---

### 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。

現在登録されている項目が表示されません。

### 2 削除したい項目を選択してジョグダイヤルか**SEL/SET**ボタンを押す。

### 3 **Edit Item**を**Del Item**に設定する。

選択した項目が削除されます。

---

## 細目を削除する

---

### ご注意

工場出荷時に登録されているMenu SettingsのUser Menu Onlyを削除することはできません。

### 1 **USER MENU CUSTOMIZE**メニューを表示する。

現在登録されている項目が表示されません。

### 2 削除したい細目が含まれている項目を選択してジョグダイヤルか**SEL/SET**ボタンを押す。

### 3 **Edit Item**を**Del SubItem**に設定する。

削除可能な細目のリストが表示されません。

### 4 削除したい細目を選択してジョグダイヤルか**SEL/SET**ボタンを押す。

選択した細目が削除されます。



各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

出荷時の初期設定値は、太文字（例：**Speed**）で示します。メニュー項目欄に☒が表示されている項目は、サムネイル画面表示中や再生操作中は設定できません。

## CAMERA SETメニュー

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gain Setup GAINスイッチの各ポジションへのゲインレベル割り当て	Low -3 / <b>0</b> / 3 / 6 / 9 / 12 / 18 dB	スイッチをLにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
	Mid -3 / 0 / 3 / 6 / <b>9</b> / 12 / 18 dB	スイッチをMにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
	High -3 / 0 / 3 / 6 / 9 / 12 / <b>18</b> dB	スイッチをHにしたとき反映されるゲインレベルを設定する。
Shutter 電子シャッターの動作条件の設定 スローシャッター / 超高感度スローシャッターモードのときは選択不可	Mode <b>Speed</b> / Angle / ECS	電子シャッターのモードを選択する。 Speed/Angle（標準モード）：動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択する。 ECS（拡張クリアスキャンモード）：モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用する。
	Shutter Speed 1/32, 1/33, 1/40, 1/48, 1/50, 1/60, 1/96, <b>1/100</b> , 1/120, 1/125, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000	Speed モード 選択時、シャッタースピードを設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
	Shutter Angle 11.25° / 22.5° / 45° / 72° / 86.4° / 90° / 144° / 150° / 172.8° / <b>180°</b> / 216°	Angleモード 選択時、開角度を設定する。S&Qモードでフレームレートが1～16に設定されているときは、72°、86.4°、144°、150°、172.8°、216° は選択できない。
	ECS Frequency <b>60.00</b>	ECS モード 選択時、ECS周波数を設定する。設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なる。
	SLS/EX SLS スローシャッターモード/超高感度スローシャッターモードの設定	<b>OFF</b> / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 16 / 32 / 64 蓄積フレーム数を設定する。
<div> <div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>記録中、サムネイル画面表示中、再生中は設定できません。</li> <li>スロー &amp; クイックモーションモード、キャッシュレックモードのときは設定できません。</li> <li>ビデオフォーマットが以下のときは設定できません。 HQ 1280×720/23.98P（UDF/HDおよびexFAT/HDモード） XAVC-L50 1080/59.94P(exFAT/HDモード) XAVC-L50 1080/50P(exFAT/HDモード) XAVC-L35 1080/59.94P(exFAT/HDモード) XAVC-L35 1080/50P(exFAT/HDモード) SP 1440×1080/23.98P（FAT/HDモード）</li> </ul> </div>		

CAMERA SET			
メニュー項目	細目と設定値	内容	
MF Assist MFアシスト機能 のON/OFF	On / <b>Off</b>	Onにすると、手動でラフにフォーカス合わせをした後、最後に自動で正確にフォーカスを合わせ直す。	
Color Bars カラーバーの設 定	Camera/Bars <b>Camera</b> / Bars	カラーバーを出力するときはBarsを選択する。	
	Bars Type <b>Multi</b> / 75% / 100% / SMPTE	Barsを選択したときに出力されるカラーバーの種類を選択する。 Multi：マルチフォーマットカラーバーを出力する。 75%：75%カラーバーを出力する。 100%：100%カラーバーを出力する。 SMPTE：SMPTEカラーバーを出力する。	
Flicker Reduce フリッカー補正 機能の設定	Mode Auto / On / <b>Off</b>	フリッカー補正機能の動作を設定する。 On：常に動作させる。 Auto：フリッカーを検出すると自動で動作する。 Off：動作させない。	
		<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"><li>屋外など、フリッカーが発生しない照明下ではOffに設定することを推奨します。（このような環境ではAuto設定も有効ですが、正しい補正が行われない場合があります。）</li><li>屋内など、フリッカーが発生する照明下ではAutoに設定することを推奨します。（フリッカーがある照明下で定点撮影する場合はOn設定も有効です。）</li></ul>	
		Frequency 50Hz / 60Hz	フリッカーの原因となっている照明の電源周波数に合わせる。
Handle Zoom ズーム動作の設 定	<b>Off</b> / Low / High / Vari	ハンドルZOOMボタンを使用したズームの動作を設定する。 Off: 動作しない Low: Zoom SpeedのLowで設定したスピードで動作 High: Zoom SpeedのHighで設定したスピードで動作 Vari:ハンドルZOOMボタンを深く押すとズームスピードが速くなり、浅く押すとズームスピードが遅くなる	
Zoom Speed ズームスピード の設定	High 1～99 <b>(70)</b>	ズームスピードスイッチをH側にしてハンドルZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。	
	Low 1～99 <b>(30)</b>	ズームスピードスイッチをL側にしてハンドルZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。	
		<div>ご注意</div> <p>ズームスピードが低速時はズーミングにむらが出ることがあります。</p>	
		Remote 1～99 <b>(50)</b>	赤外線リモコンのZOOMボタンを押したときのズームスピードを設定する。
		<div>ご注意</div> <p>赤外線リモコンの受光が正しくできないと、ズームがスムーズに動作しない場合があります。</p>	

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Zoom Transition ズーム動作の設定	<b>Linear</b> / Soft	ハンドルZOOM ボタンを使用したズームの開始・終了時の動作モードを設定する。 Linear：ZOOMボタンを押すとすぐに設定速度でズームを開始し、ボタンを放すと同時に終了する。 Soft：ZOOMボタンを押すと徐々に設定値までズーム速度をあげ、ボタンを放すと徐々に速度を落としてズームを終了する。(ボタンを放してから動作終了まで最大1秒)
	Interval Rec インターバルレック機能の設定	<div>Setting On / <b>Off</b></div> <div>Interval Time 1～10/15/20/30/40/50 sec 1～10/15/20/30/40/50 min 1～4/6/12/24 hour</div> <div>Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (1080/59.94P、 1080/50P、720/59.94P、 720/50Pのとき)</div> <div>Pre-Lighting On / <b>Off</b></div>
Frame Rec フレームレック機能の設定	Setting On / <b>Off</b>	インターバルレック機能による録画間隔を設定する。
	Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (1080/59.94P、 1080/50P、720/59.94P、 720/50Pのとき)	インターバルレックでの1回の録画フレーム数を設定する。
Clip Cont.Rec クリップコンティニユアスレック機能の設定	Setting On / <b>Off</b>	マルチインターフェースシューにビデオライトを装着時、インターバルレック撮影開始前にビデオライトを点灯させるかを設定する。Onに設定すると、撮影の約2秒前からライトが自動的に点灯する。
	Number of Frames 1 / 3 / 6 / 9 または 2 / 6 / 12 (1080/59.94P、 1080/50P、720/59.94P、 720/50Pのとき)	フレームレック機能による録画フレーム数を設定する。
P.Cache Rec ピクチャーキャッシュレック機能の設定	Setting On / <b>Off</b>	クリップコンティニユアスレック機能をON/OFFする。
	Rec Time <b>0-2sec</b> / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 (ピクチャーキャッシュレック開始時にさかのぼる時間) を設定する。
<div><b>ご注意</b></div> OTHERSメニュー > System > Formatで、XAVC-Iのフォーマットを選択している場合は、0-2sec/2-4secのみ選択できます。		

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
S&Q Motion スロー& クイック モーション機能の 設定 OTHERS メニュー >System> Formatで1920× 1080/59.94P、 1920×1080/50P を設定している 場合は選択不可	Setting On / <b>Off</b>	スロー& クイックモーション機能をON/OFFする。
	Frame Rate UDF 1～ <b>30</b> (NTSC) FormatがHD422 50/1080/ 29.97P、HD422 50/1080/ 23.98P、HQ 1920×1080/ 29.97P、HQ 1920×1080/ 23.98Pのとき  1～ <b>30</b> ～60 (NTSC) FormatがHD422 50/720/ 59.94P、HD422 50/720/ 29.97P、HD422 50/720/ 23.98P、HQ 1280×720/ 59.94Pのとき  1～ <b>25</b> (PAL) FormatがHD422 50/1080/ 25P、HQ 1920×1080/25P のとき  1～ <b>25</b> ～50 (PAL) FormatがHD422 50/720/ 50P、HD422 50/720/25P、 HQ 1280×720/50Pのとき	スロー&クイックモーションモードでの撮影フレーム レートを設定する。設定値の範囲は、選択されている 地域やビデオフォーマットによって異なる。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	exFAT	スロー&クイックモーションモードでの撮影フレーム
	1～ <b>30</b> 、60 (NTSC)	レートを設定する。設定値の範囲は、選択されている
	Formatが	地域やビデオフォーマットによって異なる。
	XAVC-I 1080/29.97P、	
	XAVC-I 1080/23.98P、	
	XAVC-L50 1080/29.97P、	
	XAVC-L50 1080/23.98P、	
	XAVC-L35 1080/29.97P、	
	XAVC-L35 1080/23.98Pのとき	
	1～ <b>30</b> (NTSC)	
	FormatがHD422 50/1080/	
	29.97P、HD422 50/1080/	
	23.98P、HQ 1920×1080/	
	29.97P、HQ 1920×1080/	
	23.98Pのとき	
	1～ <b>30</b> ～60 (NTSC)	
	Formatが	
	XAVC-I 720/59.94P、	
	XAVC-L50 720/59.94P、	
	HD422 50/720/59.94P、	
	HD422 50/720/29.97P、	
	HD422 50/720/23.98P、HQ	
	1280×720/59.94Pのとき	
	1～ <b>25</b> 、50 (PAL)	
	Formatが	
	XAVC-I 1080/25P、	
	XAVC-L50 1080/25P、	
	XAVC-L35 1080/25Pのとき	
	1～ <b>25</b> (PAL)	
	FormatがHD422 50/1080/	
	25P、HQ 1920×1080/25P	
	のとき	


CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	1～ <b>25</b> ～50 (PAL) Formatが XAVC-I 720/50P、 XAVC-L50 720/50P、 HD422 50/720/50P、 HD422 50/720/25P、HQ 1280×720/50Pのとき  FAT 1～ <b>30</b> (NTSC) FormatがHQ 1920×1080/ 29.97P、HQ 1920×1080/ 23.98P のとき  1～ <b>30</b> ～60 (NTSC) FormatがHQ 1280×720/ 59.94P、HQ 1280×720/ 29.97P、HQ 1280×720/ 23.98P のとき  1～ <b>25</b> ～30 (PAL) FormatがHQ 1920×1080/ 25P のとき  1～ <b>25</b> ～60 (PAL) FormatがHQ 1280×720/ 50P、HQ 1280×720/25P のとき	
Simul Rec 2スロット同時記 録の設定	Simul / <b>Off</b>	Aスロット&Bスロットへの同時記録機能を行うかを設 定する
Proxy プロキシ記録 の設定	On/ <b>Off</b>	SDカードへのプロキシ記録設定をON/OFFする。
Rec Review レックレビュー による再生時間 の設定	<b>3 sec</b> / 10 sec / Clip	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する 時間を設定する。 3 sec: 最後の3秒 10 sec: 最後の10秒 Clip: クリップ全体

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TLCS トータルレベル コントロール (ゲイン、エクス ポージャー、 シャッターの自 動調整) システ ムの設定	Level +1.0 / +0.5 / <b>±0</b> / -0.5 / -1.0	TLCS制御におけるオートアイリスの制御目標レベル (明るめ/暗め)を設定する (AGCにおけるゲインの制 御、オートシャッターにおけるシャッタースピードの 制御にも連動)。 +1.0: 1絞り相当開いた状態 +0.5: 0.5絞り相当開いた状態 ±0: 標準 -0.5: 0.5絞り相当閉じた状態 -1.0: 1絞り相当閉じた状態
	Mode Backlight / <b>Standard</b> / Spotlight	TLCS制御におけるオートアイリスの制御モードを設定 する。 Backlight: バックライトモード (中心となる被写体が 逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード (中心となる被写体 にスポットライトがあたっているとき、白濁りを軽 減するモード)
	Speed -99 ~ +99 ( <b>+50</b> )	TLCS制御の追従スピードを設定する。
	AGC On / <b>Off</b>	AGC(オートゲインコントロール)機能をON/OFFする。
	AGC Limit 3 / 6 / 9 / <b>12</b> / 18 dB	AGC制御における最大ゲインを設定する。
	AGC Point <b>F2.8</b> / F4 / F5.6	AGC機能がOnのときのオートアイリス制御とAGC制 御の切り換えアイリスポイントを設定する。
	Auto Shutter On / <b>Off</b>	オートシャッターコントロール機能をON/OFFする。
	A.SHT Limit 1/100 1/150 1/200 <b>1/250</b>	オートシャッター制御における最速シャッタースピー ドを設定する。
	A.SHT Point F5.6 / F8 / F11 / <b>F16</b>	オートシャッター機能がOnのときのオートアイリス制 御とオートシャッター制御の切り換えエクスポー ージャーポジションを設定する。
	Shockless White ショックレスホ ワイトバランス の設定	Off / 1 / <b>2</b> / 3 ホワイトバランスのモード切り換え時の変化のスピー ドを選択する。Offにすると瞬時に切り換わり、数字が 大きいほど、ゆっくりとホワイトバランスを補間しな がら切り換える。
White Switch <B> WHITE BALス イッチの設定	<b>ATW</b> / MEM	WHITE BALスイッチをBに設定したときに選択される ホワイトバランス調整モードを選択する。
ATW Speed 自動追尾ホワイ トバランスの設 定	1 / 2 / <b>3</b> / 4 / 5	ATWの追従スピードを設定する。数字が大きいほど速 くなる。

CAMERA SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ATW Mode ATW動作の設定	<b>Natural</b> / Pure	Natural：シーンの明るさに応じて、自然な雰囲気になるように自動調整する。 Pure：青みや赤みの色を残さずに、より原色に近づけるように自動調整する。
Image Inversion 画像反転機能の設定	<b>Normal</b> / H INV / V INV / H+V	Normal: 通常 H INV: 水平方向の反転 V INV: 垂直方向の反転 H+V: 水平方向、垂直方向共反転
		<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>記録中、カラーバー表示中、レックレビュー中は設定できません。</li> <li>オートブラックバランス機能設定時は設定できません。</li> </ul>
Auto Black Bal. オートブラックバランスの設定	Execute / Cancel	オートブラックバランス機能をON/OFFする。
		<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>記録中、カラーバー表示中は設定できません。</li> <li>ピクチャーキャッシュレックモード、インターバルレックモード、フレームレックモード、スロー &amp; クイックモーションモード、スローシャッターモード、超高感度スローシャッターモードのときは設定できません。</li> </ul>
Auto FB Adjust フランジバックの自動調整	Execute / Cancel	Executeを選択するとオートフランジバック調整を実行する。
		<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ビデオフォーマットが59.94iまたは50iに設定されているときに実行してください。</li> <li>NDフィルターをClearに設定してから、実行してください。 NDフィルターが1または2のときは、Auto FB Adjustは選択できません。 フランジバックの自動調整（49ページ）の手順を参照し、実施してください。</li> </ul>
Video Light Set マルチインターフェースシュー対応ビデオライトの設定	<b>Power Link</b> / Rec Link / Rec Link + Stby	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの点灯方式を設定する。 Power Link：本機の電源の入/切に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 Rec Link：本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/消灯する。 Rec Link + Stby：本機の録画開始/終了に連動してビデオライトが点灯/スタンバイ点灯する。



## AUDIO SETメニュー

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<b>Audio Input</b> 音声の入力関係の設定 	CH1 EXT Input <b>XLR</b> /SHOE MIC	CH1に記録する音声信号のソースを、XLR入力端子とマルチインターフェースシューから選択する。
	CH2 EXT Input <b>XLR</b> /SHOE MIC	CH2に記録する音声信号のソースを、XLR入力端子とマルチインターフェースシューから選択する。
	CH3 Input Source <b>Internal</b> / External	4チャンネル記録可能なフォーマットの場合に、CH3として記録する音声信号のソースを設定する。 Internal：内蔵マイクのL側をCH3に記録する。 External：AUDIO IN CH1の信号をCH3に記録する。
	CH4 Input Source <b>Internal</b> / External	4チャンネル記録可能なフォーマットの場合に、CH4として記録する音声信号のソースを設定する。 Internal：内蔵マイクのR側をCH4に記録する。 External：AUDIO IN CH2の信号をCH4に記録する。
	EXT MIC CH1 Ref -70dB / <b>-60dB</b> / -50dB / -40dB / -30dB	AUDIO IN CH1端子に外部マイクを接続して、CH1またはCH3の音声信号ソースにしているときの基準入力レベルを選択する。AUDIO SELECTスイッチの設定に関わらず選択できる。
	<b>ご注意</b> AUDIO IN CH-1スイッチがINTかつCH3 Input SourceがInternalの場合は選択できません。また、CH-1の入力切り換え（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチがLINEの場合も選択できません。	
	EXT MIC CH2 Ref -70dB / <b>-60dB</b> / -50dB / -40dB / -30dB	AUDIO IN CH2端子に外部マイクを接続して、CH2またはCH4の音声信号ソースにしているときの基準入力レベルを選択する。AUDIO SELECTスイッチの設定に関わらず選択できる。
	<b>ご注意</b> AUDIO IN CH-2スイッチがINTかつCH4 Input SourceがInternalの場合は選択できません。また、CH-2の入力切り換え（LINE/MIC/MIC+48V）スイッチがLINEの場合も選択できません。	
	INT MIC Level -12dB / -6dB / <b>0dB</b> / +6dB / +12dB	内蔵マイクレベルを選択する。AUDIO SELECTスイッチの設定に関わらず選択できる。
	Line Input Ref <b>+4dB</b> / 0dB / -3dB / EBUL	AUDIO IN CH-1/CH-2端子がLINEに設定されているときの基準入力レベルを選択する。
	Reference Level <b>-20dB</b> / -18dB / -16dB / -12dB / EBUL	1kHzテスト信号の出力レベルを選択する。
	Limiter Mode <b>Off</b> / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	AUDIO SELECTスイッチをMANU（手動）に設定している場合に、大きな入力信号に対するリミッター特性を選択する。
	AGC Spec <b>-6dB</b> / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	音声入力レベルのAGCの特性を選択する。

AUDIO SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	CH1&2 AGC Mode Mono / <b>Stereo</b>	CH-1、2に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を選択する。 Mono：各チャンネルで独立して行う。 Stereo：ステレオモードで行う。
	CH3&4 AGC Mode <b>Mono</b> / Stereo / Off	CH-3、4に記録するアナログオーディオ信号の入力レベルの自動調整を選択する。 Mono：各チャンネルで独立して行う。 Stereo：ステレオモードで行う。 Off：自動調整しない。Limiter Modeの設定が反映される。
	1KHz Tone On / <b>Off</b>	1KHzの基準音声信号をON/OFFする。
	Wind Filter CH-1 On / <b>Off</b>	CH1の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-2 On / <b>Off</b>	CH2の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-3 On / <b>Off</b>	CH3の風音低減フィルターをON/OFFする。
	Wind Filter CH-4 On / <b>Off</b>	CH4の風音低減フィルターをON/OFFする。
	EXT CH Select CH-1 <b>CH-1/CH-2</b>	CH-1：CH1の外部入力信号を、CH1とCH2の両方に記録する（CH-2のAUDIO INスイッチがEXTの場合）。 CH4 Input SourceがExternalのときは、CH4にも記録する。 CH-1/CH-2：それぞれ対応するチャンネルの外部入力信号を記録する。
	Audio Output 音声の出力関係 の設定	
	Monitor CH <b>CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4)</b> CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4) CH-1 (CH-3) CH-2 (CH-4)	ヘッドホンおよびスピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 CH-1/CH-2 (CH-3/CH-4): ステレオ CH-1+CH-2 (CH-3+CH-4): ミックス CH-1 (CH-3): チャンネル1（チャンネル3）のみ CH-2 (CH-4): チャンネル2（チャンネル4）のみ （ ）は、Output CHでCH-3/CH-4を選択した場合
	Output CH <b>CH-1/CH-2</b> CH-3/CH-4	音声出力をチャンネル1と2にするか、チャンネル3と4にするかを選択する。
	Alarm Level 0～7 ( <b>4</b> )	アラーム音量を設定する。
	Beep On / <b>Off</b>	操作音を出す/出さないを選択する。


## VIDEO SETメニュー



VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
Input Source Select 入力の選択	Camera / i.LINK	映像・音声信号の入力ソースを選択する。 Camera：カメラの撮影入力 i.LINK：i.LINK（HDV/DV）端子からのHDV/DVCAM入力
<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>UDFおよびexFATではi.LINKを選択できません。</li> <li>NW&amp;Proxy/USBがNetwork&amp;Prxoyに設定されているときはi.LINKを選択できません。</li> </ul>		
SDI/HDMI/i.LINK I/O Select 各端子の入出力信号の選択	exFAT/HDモードのとき 3G SDI & HD HDMI <b>HD SDI &amp; HD HDMI</b> SD SDI & SD HDMI i SD HDMI P Off UDF/HDモードのとき <b>HD SDI &amp; HD HDMI</b> SD SDI & SD HDMI i SD HDMI P Off FAT/HDモード（HQ）のとき <b>HD SDI &amp; HD HDMI</b> SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & DVCAM SD HDMI P Off FAT/HDモード（SP）のとき <b>HD SDI &amp; HD HDMI</b> SD SDI & SD HDMI i HD HDMI & HDV SD HDMI i & HDV SD HDMI P & HDV SD HDMI i & DVCAM Off exFAT/SDモードのとき UDF/SDモードのとき <b>SD SDI &amp; SD HDMI i</b> Off FAT/SDモードのとき <b>SD SDI &amp; SD HDMI i</b> SD HDMI i & DVCAM Off	3G SDI & HD HDMI：SDI OUT端子から3G SDI信号、HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力する。 HD SDI & HD HDMI：SDI OUT端子からHD SDI信号、HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力する。 SD SDI & SD HDMI i：SDI OUT端子からSD SDI信号、HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力する。 HD HDMI & HDV：HDMI OUT端子からHD HDMI信号を出力し、i.LINK（HDV/DV）端子でHDVストリームを入出力する。 SD HDMI i & HDV：HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力し、i.LINK（HDV/DV）端子でHDVストリームを入出力する。 SD HDMI P & HDV：HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッシブ信号を出力し、i.LINK（HDV/DV）端子でHDVストリームを入出力する。 SD HDMI i & DVCAM：HDMI OUT端子からSD HDMIインターレース信号を出力し、i.LINK（HDV/DV）端子でDVCAMストリームを入出力する。 SD HDMI P：HDMI OUT端子からSD HDMIプログレッシブ信号を出力する。 Off：SDI/HDMI/i.LINKの各端子からは出力されない。
<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>HD SDI、SD SDI以外に設定したときは、SDI OUT端子からは信号が出力されません。</li> <li>DVCAMストリームを入出力する設定では、スロー&amp;クイックモーションモードは使用できません。</li> <li>NW&amp;Proxy/USBがNetwork&amp;Prxoyに設定されているときは、HDMI OUT端子、VIDEO OUT端子、A/V OUT端子からの出力、i.LINK端子からの入出力はしません。</li> <li>NW&amp;Proxy/USBがNetwork&amp;Prxoyに設定されているときは、SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectは自動的に以下の設定となり、選択できなくなります。 exFAT/HD、UDF/HD、FAT/HDのとき：HD SDI &amp; HD HDMI exFAT/SD、UDF/SD、FAT/SDのとき：SD SDI &amp; SD HDMI i</li> </ul>		

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
3G SDI OUT Level A/B 3G SDI出力信号 方式の設定	LevelA / <b>LevelB</b>	3G SDI出力信号のデータマッピング方式を選択します。 <b>メモ</b> 本設定は、SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectを3G SDI & HD HDMIに設定している場合にのみ有効です。
SDI/HDMI/ Video Out Super 各出力への文字 情報の設定	On / <b>Off</b>	SDI OUT端子、HDMI OUT端子、VIDEO OUT端子、A/V OUT端子からの出力信号に、LCDモニター /EVF画面に表示されるメニューやステータスを加えるかどうかを選択する。 <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>SystemのFormatが1920x1080/59.94P,50P設定で、SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectで3G SDI&amp;HD HDMIを選択したときは、SDI/HDMI/Video Out Superの選択肢にかかわらず、表示されません。</li> <li>NW&amp;Proxy/USBがNetwork&amp;Prxoyに設定されているときは、SDI/HDMI/Video Out SuperはOffとなり、選択できません。LCDモニター /EVF画面に表示されるメニューやステータスを加えての表示はできません。</li> <li>この項目の設定にかかわらず、サムネイル画面、クリップエクスパンド画面、ショットマーク画面では、常にLCDモニター /EVF画面に表示されるメニューやステータスを加えて表示します。</li> </ul>
Down Converter ダウンコンバー ターの動作モー ドの選択	<b>Squeeze</b> / Letterbox / Edge Crop	SD信号の出力モード（アスペクト）を設定する。 Squeeze：16:9画像を左右方向に縮小して4:3画像として出力する。 Letterbox：4:3画像の上下をマスクして、画面中央に16:9映像を表示する。 Edge Crop：16:9画像の両端をカットして4:3画像として出力する。
23.98P Output 23.98P出力の設 定	<b>59.94i (2-3 Pull Down)</b> / 23.98PsF	ビデオフォーマットが以下のときの出力フォーマットを選択します。 UDF/HDモードのとき：HD422 50/1080/23.98P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P exFAT/HDモードのとき：XAVC-I 1080/23.98P XAVC-L50 1080/23.98P XAVC-L35 1080/23.98P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P FAT/HDモードのとき：HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P <b>ご注意</b> NW&Proxy/USBがNetwork&Prxoyに設定されているときは、上記のフォーマット設定していた場合、自動的に23.98PsFになります。

VIDEO SET		
メニュー項目	設定値	内容
SDI Rec Control SDI記録制御の設定	<b>Off</b> / HD SDI Remote I/F	本機と同期した記録を可能にする機能を設定する。 HD SDI Remote I/F : SDI OUT端子に接続したレコーダーにRECトリガー信号を出力する。
Match Clip Name	On / <b>Off</b>	SDI出力にクリップ名を重畳して出力するかどうかを設定する。

## LCD/VF SETメニュー

LCD/VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LCD LCDモニターに関する設定	Color -99～+99 ( <b>±0</b> )	LCD映像の色の濃さを調整する。
	Contrast -99～+99 ( <b>±0</b> )	LCD映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99～+99 ( <b>±0</b> )	LCD映像の明るさを調整する。
EVF ビューファインダーに関する設定	Backlight <b>High</b> / Low	EVFのバックライトの明るさを選択する。
	Mode <b>Color</b> / B&W	撮影中(記録中/記録待機中)のEVFの表示モードを選択する。 Color: カラーモード B&W: モノクロモード
	Contrast -99～+99 ( <b>±0</b> )	EVF映像のコントラスト(明暗の差)を調整する。
	Brightness -99～+99 ( <b>+30</b> )	EVF映像の明るさを調整する。
	Power <b>Auto</b> / On	EVFをONにする条件を設定する。 Auto: LCDモニターを閉じたときと開いて反転させたときにONにする。 On: LCDモニターの開閉にかかわらずONにする。
	<b>ご注意</b> NW&Proxy/USBがNetwork&Prxoyに設定したとき、自動的にAutoになり、選択できません。また、LCDモニターを開いて反転させたときOffになります。	
Peaking LCDモニター、EVFのピーキング(輪郭強調)に関する設定 	Setting On / <b>Off</b>	ピーキング機能をON/OFFする。
	Color <b>White</b> / Red / Yellow / Blue	ピーキング信号の色を選択する。 White: 白 Red: 赤 Yellow: 黄色 Blue: 青
	Level High / <b>Mid</b> / Low	ピーキング信号の大きさを設定する。

LCD/VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<b>Marker</b> LCDモニター、 EVF映像に付加 するマーカー類 の設定 	Setting <b>On</b> / Off	すべてのマーカー表示をまとめてON/OFFする。
	Safety Zone <b>On</b> / Off	セーフティゾーンマーカーをON/OFFする。
	Safety Area 80% / <b>90%</b> / 92.5% / 95%	セーフティゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
	Center Marker <b>On</b> / Off	センターマーカーをON/OFFする。
	Aspect Marker Line / Mask / <b>Off</b>	アスペクトマーカーを選択する。 Line: 白線で表示する。 Mask: マーカー範囲外のビデオ信号レベルを下げて表示する。 Off: 表示しない。
	<div><b>ご注意</b></div> SDモードでEC（エッジクロップ）のビデオフォーマットが選択されているときは、アスペクトマーカーは表示されません。	
	Aspect Select <b>4:3</b> / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.4:1	アスペクトマーカーの比を選択する。
	Aspect Mask 90% / 80% / 70% / 60% / 50% / 40% / 30% / 20% / 10% / <b>0%</b>	Aspect MarkerがMaskのとき、アスペクトマーカーの外側の映像の明るさを選択する。
<b>Zebra</b> ゼブラパターン に関する設定 	Guide Frame <b>On</b> / <b>Off</b>	ガイドフレームマーカーをON/OFFする。
	Setting <b>On</b> / <b>Off</b>	ゼブラ機能をON/OFFする。
	Zebra Select <b>1</b> / 2 / Both	ゼブラパターン表示を選択する。 1: Zebra1 Levelで設定した映像レベルを中心に±10%のエリアに対してゼブラ1（初期値70%）のみを表示する。 2: 100%以上の映像レベルに対してゼブラ2（初期値100%）のみを表示する。 Both: ゼブラ1、ゼブラ2共に表示する。
	Zebra1 Level 50～107 ( <b>70</b> )	ゼブラパターン1の表示レベルを設定する。
<b>Display On/Off</b> LCDモニター / EVF画面に表示 する項目の選択 	Video Level Warnings <b>On</b> / Off	映像が明るすぎるときや暗すぎるときの警告表示をON/OFFする。
	Sending Clip Info <b>On</b> / Off	ワイヤレスLAN接続時、クリップの転送状態を表示する。
	Brightness Display <b>On</b> / <b>Off</b>	映像の明るさを表す数値表示をON/OFFする。
	Histogram Display <b>On</b> / <b>Off</b>	映像のレベル分布を示すヒストグラム表示をON/OFFする。

LCD/VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Lens Info Meter / Feet / <b>Off</b>	被写界深度表示を選択する。 Meter: メートルで表示する。 Feet: フィートで表示する。 Off: 表示しない。
	Zoom Position <b>Number</b> / Bar / Off	レンズのズームのポジション表示を選択する。 Number: 数値で表示する。 Bar: バーで表示する。 Off: 表示しない。
	Audio Level Meter <b>On</b> / Off	オーディオレベルメーター表示をON/OFFする。
	Timecode <b>On</b> / Off	タイムデータ（タイムコード、ユーザービット、デュレーション）表示をON/OFFする。
	Battery Remain <b>On</b> / Off	バッテリー残量/DC入力電圧表示をON/OFFする。
	Media Remain <b>On</b> / Off	メディア残量表示をON/OFFする。
	TLCS Mode <b>On</b> / Off	TLCS動作モード表示をON/OFFする。
	Steady Shot <b>On</b> / Off	手ぶれ補正モード表示をON/OFFする。
	Focus Mode <b>On</b> / Off	フォーカス動作モード表示をON/OFFする。
	White Balance Mode <b>On</b> / Off	ホワイトバランスモード表示をON/OFFする。
	Picture Profile <b>On</b> / Off	ピクチャープロファイル表示をON/OFFする。
	Filter Position <b>On</b> / Off	NDフィルター設定表示をON/OFFする。
	Iris Position <b>On</b> / Off	アイリス（レンズ絞り）位置表示をON/OFFする。
	Gain Setting <b>On</b> / Off	ゲイン設定表示をON/OFFする。
	Shutter Setting <b>On</b> / Off	シャッターモードとスピード表示をON/OFFする。
	Rec Mode <b>On</b> / Off	特殊録画モード（Frame Rec、Interval Rec、S&Q Motion、Simul Rec）の状態表示をON/OFFする。
	Video Format <b>On</b> / Off	ビデオフォーマット表示をON/OFFする。
	Clip Name <b>On</b> / Off	クリップ名表示をON/OFFする。
	ClipNumber (PB) <b>On</b> / Off	クリップ名に付加される番号表示をON/OFFする。
	SDI Rec Control <b>On</b> / Off	同期記録表示(Rec2/Rec2-P表示)をON/OFFする。 HD SDI Remote I/F選択時：Rec2を表示する。 Proxy On時：Rec2-Pを表示する。
	Wide Conversion <b>On</b> / Off	ワイドコンバージョンレンズ設定表示をON/OFFする。
	Network Status <b>On</b> / Off	ネットワーク接続したときの接続状態表示をON/OFFする。

LCD/VF SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Streaming Status On / Off	ストリーミングの状態表示をON/OFFする。
	NW Client Mode On / Off	NW Client ModeでのCCMとの接続の状態表示をON/OFFする。
	SD Card Remain On / Off	本機に装着したSDカードの残記録時間表示をOn/Offする。
	GPS On / Off	測位状態表示をON/OFFする。



TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Timecode タイムコードに 関する設定	Mode <b>Preset</b> / Regen / Clock	<p>タイムコードの歩進モードを設定する。</p> <p>Preset (プリセットモード)：設定された状態から歩進する。</p> <p>Regen (リジェネモード)：タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えた場合、そのカードに記録されている最後のタイムコードを読み出して、タイムコードが連続するようにタイムコードを設定して記録する。</p> <p>Clock (クロックモード)：現在時刻をタイムコードとして使用する。</p>
		<p><b>ご注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターバルレック、フレームレック、スロー&amp;クイックモーションのときは、ModeをPresetに設定すると、Runの設定にかかわらず、タイムコードはRec Runモードになります。ModeをClockに設定すると、タイムコードはRegenモードになります。</li> <li>ピクチャーキャッシュレック機能（46ページ）が有効（P.Cache RecのSetting: On）のときは、タイムコードは強制的にFree Runモードになります。ピクチャーキャッシュレックが解除されると、選択したモード設定に戻ります。</li> </ul>
	Run <b>Rec Run</b> / Free Run	<p>タイムコードの歩進モードがプリセットのとき、歩進方法を設定する。</p> <p>Rec Run：タイムコードは記録時に歩進する。SxSメモリーカードを入れ換えない限り、タイムコードは記録されたクリップの順で連続する。SxSメモリーカードを取り出して別のカードで記録を行うと、再び元のカードを入れてもタイムコードは連続しない。</p> <p>Free Run：SxSメモリーカードへの記録状態に関係なく常に歩進する。</p>
	Setting	タイムコードを任意の値に設定する。
	Reset Execute/Cancel	Executeを選択するとタイムコードを00:00:00:00にリセットする。
TC Out Auto / Generator		タイムコード出力を選択する。
		Auto：記録時はタイムコードジェネレーターの値、再生時はタイムコードリーダーの値を出力する。
		Generator：記録時、再生時ともタイムコードジェネレーターの値を出力する。
Users Bit ユーザービット に関する設定	Mode <b>Fix</b> / Date	<p>ユーザービットのモードを設定する。</p> <p>Fix：ユーザービットに任意の固定値を使用する。</p> <p>Date：ユーザービットに現在年月日を使用する。</p>
	Setting	ユーザービットを任意の値に設定する。

TC/UB SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
TC Format	DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。
タイムコードの フォーマットの 設定		DF: ドロップフレーム NDF: ノンドロップフレーム

#### ご注意

選択されているビデオフォーマットやフレーム周波数によっては、TC Formatの設定にかかわらず、下記のとおりDF/NDFのいずれかに固定されます。

フォーマット設定	フレーム 設定	TC Format
59.94i 59.94P 29.97P 23.98P <sup>1)</sup> SP 1440× 1080/23.98p (FAT) HQ 1280× 720/23.98P (UDF)	00～29	DF/NDF切り換え可 (Clockモード時は DF固定)
23.98P XAVC-I 1080/ 23.98P XAVC-L50 1080/23.98P XAVC-L35 1080/23.98P HD422 50/ 1080/23.98P HD422 50/ 720/23.98P HQ 1920× 1080/23.98P HQ 1440× 1080/23.98P HQ 1280× 720/23.98P (FAT)	00～23 <sup>2)</sup>	NDF固定 <sup>3)</sup>
50i 50P 25P	00～24	NDF固定

1) DFのときは、フレームの桁は00～29の間で自由に設定可能です。

NDFのときは、記録開始のフレームは00、05、10、15、20、25に限定されます。

2) Settingの際にフレームの桁は、00、04、08、12、16、20に限定されます。

記録開始のフレームは00、04、08、12、16、20に限定されます。  
HQ 1920×1080/23.98Pで撮影中（記録中/記録待機中）で、VIDEO SETメニューの23.98P Output（128ページ）が23.98PsFの場合を除き、2-3ブルダウンされた59.94iとなるため、SDI OUT端子からの出力に重畳するタイムコードのフレームは00～29に振り直されます。

3) TC ModeがClockのときも、NDFでカウントするため徐々に実時刻からタイムコードがずれます。

HQ 1920×1080/23.98Pで撮影中（記録中/記録待機中）で、VIDEO SETメニューの23.98P Output（128ページ）が23.98PsFの場合を除き、SDI OUT端子からの出力は2-3ブルダウンされた映像になるため、画面に表示されるタイムコードが重複するフィールドが発生します。

## NETWORK SETメニュー

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
NW&Proxy/ USB ネットワーク接続と外部機器接続の設定	Network&Proxy / USB A / <b>Off</b>	ネットワーク接続と外部機器端子の有効/無効を設定する。 Network&Proxy：ネットワーク接続とプロキシー接続を有効にする。 USB A：外部機器接続を有効にする。 Off：ネットワーク接続および外部機器接続を無効にする。
	Network Mode ネットワーク接続モードの設定	ネットワーク接続の動作モードを設定する。 Access Point/Station：ワイヤレスLANで接続します。外部機器接続端子にUSBワイヤレスLANモジュールIFUWLM3(付属)を装着しているときに選択できます。 Modem：3G/4G/LTEで接続します。外部機器接続端子にモデム(別売)を装着しているときに設定します。 Wired LAN：有線LANで接続します。外部接続端子にUSB-RJ45アダプター(別売)を装着しているときに設定します。 Off：ネットワーク接続を無効にする。プロキシー記録は可能です。  ◆各モードで対応する機能については、「ネットワーク接続による対応機能一覧(75ページ)」をご覧ください。
NW Client Mode ネットワーククライアントモードの接続設定	Setting On / <b>Off</b>	CCMとの接続を開始するか、切断するかを設定する。
	Preset Select <b>Preset1</b> / Preset2 / Preset3	CCMと接続するプリセットを選択する。
NW Client Edit ネットワーククライアントモードの接続先の設定	Preset Edit <b>Preset1</b> / Preset2 / Preset3	接続先のCCMの接続設定を編集するプリセットを選択する。
	CCM Address	接続先のCCMのアドレスを入力する。 (ホスト名またはIPアドレス)
	CCM Port 00001~65535 ( <b>08443</b> )	接続先のCCMのポート番号を入力する。
	User Name	CCM接続認証用ユーザー名を入力する。
	<b>ご注意</b> 本機では「\」(バックスラッシュ)が「¥」で表示されます。	
	Password	CCM接続認証用パスワードを入力する。
	<b>ご注意</b> 本機では「\」(バックスラッシュ)が「¥」で表示されます。	
	NCM with Proxy Enable / <b>Disable</b>	CCM接続時のプロキシー記録の有効/無効を設定する。
	Set Execute / <b>Cancel</b>	接続設定を有効にする(Executeで実行)。

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Streaming ストリーミング の設定	Setting On / <b>Off</b>	ストリーミングを開始するまたは停止する。
	Preset Select <b>Preset1</b> / Preset2 / Preset3	ストリーミングを開始するプリセットを選択する。
	Audio Channel <b>CH1/CH2</b> / CH3/CH4	ストリーミング出力に乗せるオーディオチャンネルを選択する。
<b>ご注意</b>		
Network ModeがOffのときは設定できません。		
Streaming Edit ストリーミング 接続の設定編集	Preset Edit <b>Preset1</b> / Preset2 / Preset3	ストリーミングの接続設定を編集するプリセットを選択する。
	Type <b>MPEG2-TS/UDP</b> / MPEG2-TS/RTP	ストリーミング用の映像の種類を選択します。
	Size HD/SD Auto / 1280x720 / <b>640x360</b> / 480x270 / 320x180	ストリーミング用の映像のサイズを設定します。
	Bit Rate 9Mbps / 6Mbps / <b>3Mbps</b> / 2Mbps / 1Mbps / 0.5Mbps / 0.3Mbps(Mono L) / 0.3Mbps(Mono R) / 0.2Mbps(Mono L) / 0.2Mbps(Mono R)	ストリーミング用の映像のビットレートを設定します。
	Dest. Address	ストリーミングデータの伝送先サーバーのアドレスを入力します。
	Dest. Port 00001~65535 ( <b>01234</b> )	伝送先サーバーの、ストリーミングに使用するポート番号を入力します。
	Set Execute / <b>Cancel</b>	選択したPreset1~3のストリーミングの設定を有効にする(Executeで実行)。
	Proxy File プロキシ記録 の設定	プロキシ記録フォーマットのサイズを選択する。
	Size HD/SD Auto 1280×720 <b>640×360</b> 480×270 480×270	
	Bit Rate 9Mbps 6Mbps <b>3Mbps</b> 1Mbps 0.5Mbps	プロキシ記録のビットレートを選擇する。
	Audio Channel <b>CH1/CH2</b> / CH3/CH4	プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを選択する。
	Auto Upload On / <b>Off</b>	プロキシデータを自動転送する。
	Format SD Card Execute/Cancel	SDカードのフォーマットを実行する。

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Network Remote	On / <b>Off</b>	Wi-Fiリモコンを使用するときOnにする。  <b>ご注意</b> Network ModeがModemのときは設定できません。
NFC	Execute / Cancel	NFCによる簡単接続を開始する。  <b>ご注意</b> Network ModeがModem/Wired LANのときは設定できません。
WPS	Execute / Cancel	Wi-Fi Protected Steup(=WPS)を開始する。  <b>ご注意</b> Network ModeがModem/Wired LANのときは設定できません。
SSID & Key(AP)		本機のAccess Point接続用のSSIDとKey(Password)を表示する。
SSID(ST)		接続先アクセスポイントのSSIDとKey(Password)を表示する。
Regenerate Key	Execute / Cancel	Key(Password)を再生成する。  <b>ご注意</b> Network ModeがStation/Modem/Wired LANのときは設定できません。
Channel	Auto(5GHz) / <b>Auto</b> / CH1～CH11	ワイヤレスLANのチャンネルを設定する。 Auto(5GHz)：5GHz帯のチャンネルを自動で選択する。 (5GHz対応のワイヤレスLANモジュールを装着した場合のみ表示されます。) Auto：CH1～CH11を自動で選択する。 CH1～CH11：チャンネルを手動で選択する。  <b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Network ModeがModem/Wired LANのときは設定できません。</li> <li>• Auto(5GHz)は、ご使用になるワイヤレスLANモジュールにより、表示されない場合があります。また、5GHz帯の屋外使用が禁止されている国／地域向けの場合、表示されません。ワイヤレスLANモジュールが、ご使用になる国／地域に対応しているかご確認ください。詳しくは、ワイヤレスLANモジュールの取扱説明書をご覧ください。</li> </ul>
IP Address		本機のIPアドレスを表示する。

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Station Set Stationモード接続の設定 Network Mode がStationのときに設定できます。	Scan Networks Execute / <b>Cancel</b>	接続先を自動検出する。
	SSID	接続先アクセスポイントのSSIDを設定する。
	Password	接続先アクセスポイントのパスワードを設定する。
	DHCP <b>On</b> / Off	DHCP設定をします。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
	IP Address (DHCP/On : <b>自動取得</b> DHCP/Off : <b>192.168.1.50</b> )	本機のIPアドレスを入力します。 DHCPがOffのときに有効です。
	Subnet Mask (DHCP/On : <b>自動取得</b> DHCP/Off : <b>255.255.255.0</b> )	本機のサブネットマスクを入力します。 DHCPがOffのときに有効です。
	Gateway (DHCP/On : <b>自動取得</b> DHCP/Off : <b>0.0.0.0</b> )	接続先アクセスポイントのゲートウェイを入力します。 DHCPがOffのときに有効です。
	DNS Auto <b>On</b> / Off	DNS自動取得設定をします。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。
	1st DNS Server (DNS Auto/On : <b>自動取得</b> DNS Auto/Off : <b>0.0.0.0</b> )	ルーターのプライマリー DNSサーバーを入力します。 DNS AutoがOffのときに有効です。
	2nd DNS Server (DNS Auto/On : <b>自動取得</b> DNS Auto/Off : <b>0.0.0.0</b> )	ルーターのセカンダリー DNSサーバーを入力します。 DNS AutoがOffのときに有効です。
	Set Execute / <b>Cancel</b>	Station接続の設定を有効にする (Executeで実行)。
Wired LAN Set 有線LAN接続の設定 Network Mode がWired LANのときに設定できます。	DHCP <b>On</b> / Off	DHCP設定をします。 Onにすると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、Offにします。
	IP Address (DHCP/On : <b>自動取得</b> DHCP/Off : <b>192.168.2.50</b> )	本機のIPアドレスを入力します。 DHCPがOffのときに有効です。
	Subnet Mask (DHCP/On : <b>自動取得</b> DHCP/Off : <b>255.255.255.0</b> )	本機のサブネットマスクを入力します。 DHCPがOffのときに有効です。
	Gateway (DHCP/On : <b>自動取得</b> DHCP/Off : <b>0.0.0.0</b> )	アクセスポイントのゲートウェイを入力します。 DHCPがOffのときに有効です。
	DNS Auto <b>On</b> / Off	DNS自動取得設定をします。 Onにすると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。
	1st DNS Server (DNS Auto/On : <b>自動取得</b> DNS Auto/Off : <b>0.0.0.0</b> )	ルーターのプライマリー DNSサーバーを入力します。 DNS AutoがOffのときに有効です。

NETWORK SET		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	2nd DNS Server (DNS Auto/On : <b>自動取得</b> DNS Auto/Off : <b>0.0.0.0</b> )	ルーターのセカンダリー DNSサーバーを入力します。 DNS AutoがOffのときに有効です。
	Set Execute/Cancel	Wired LAN接続の設定を有効にする(Executeで実行)。
User Name	( <b>admin</b> )	任意のユーザー名を設定する (英数字で1～31文字)。
		<div>ご注意</div> Network ModeがModemのときは設定できません。
Password	( <b>pxw-x200</b> )	パスワードを設定する (英数字で0～31文字)。
		<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードは “*” で表示されます。</li> <li>Network ModeがModemのときは設定できません。</li> </ul>
Network Reset	Execute/Cancel	ネットワークの設定をリセットする。
ネットワーク関連設定を工場出荷状態に戻します。		<div>メモ</div> NW&Proxy/USBをNetwork&Prxoylに設定したときに有効になります。
Wi-Fi Version		本機のネットワーク接続機能のバージョンを表示する。
Wi-Fi Version Up	Execute / Cancel	本機のネットワーク接続機能をバージョンアップする。
		<div>ご注意</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>バージョンアップ中は本機の電源を切らないでください。</li> <li>SDカードが挿入されていないときは選択できません。</li> </ul>


## OTHERSメニュー

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<b>All Reset</b> 工場出荷状態へのリセット	Execute/Cancel	Executeを選択するとリセットを実行する。
<b>Camera Data</b> 全メニュー設定値のSxSメモリーカードまたはUSBメモリーへの保存と呼び出し	Display Mode <b>Date&amp;Time</b> / Model Name	保存や呼び出し時に表示されるリストボックスに表示する項目を選択する。
	Store(SxS) Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードへ保存を実行し、セットアップファイルを下記のディレクトリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。 UDFの場合：/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PXW_X200/ exFATの場合：/XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PXW_X200/ FATの場合：/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PXW_X200/
	Recall(SxS) Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードから呼び出しを実行する。
	Store(USB) Execute/Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーへ保存を実行し、セットアップファイルを下記のディレクトリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。 /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PXW_X200/
	Recall(USB) Execute/Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーから呼び出しを実行する。
	File ID	ファイルに最大16文字の名前を付ける。
<b>User Data</b> USERメニュー設定値のSxSメモリーカードまたはUSBメモリーへの保存と呼び出し	Store(SxS) Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードへ保存を実行し、Userファイルを下記のディレクトリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。 UDFの場合：/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PXW_X200/ exFATの場合：/XDROOT/General/Sony/PRO/CAMERA/XDCAM/PXW_X200/ FATの場合：/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM_EX/PXW_X200/
	Recall(SxS) Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカードからUserファイルの呼び出しを実行する。
	Store(USB) Execute/Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーへ保存を実行し、Userファイルを下記のディレクトリーに保存する（保存ファイルは64個まで可能）。 /MSSONY/SONY/PRO/CAMERA/XDCAM/PXW_X200/
	Recall(USB) Execute/Cancel	Executeを選択するとUSBメモリーからUserファイルの呼び出しを実行する。
	File ID	Userファイルに最大16文字の名前を付ける。
	Load Customize Data On / Off	Userファイルを読み出すときに、メニューの構成および設定値を読み込むか（On）、メニューの設定値のみ読み込むか（Off）を選択する。



OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Time Zone 時差の設定	UTC -12:00 ~ +13:30	UTCからの時差を30分単位で設定する。
Clock Set 内蔵時計に関する設定	Date/Time	現在日時を設定する。
	12H/24H 12H / <b>24H</b>	時刻の表示形式を選択する。 12H: 12時間表示 24H: 24時間表示
	Date Mode <b>YYMMDD</b> / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD: 年月日の順 MMDDYY: 月日年の順 DDMMYY: 日月年の順
Language メニューとメッセージ表示言語 の切り換え	English / <b>Japanese</b>	English: 英語表示 Japanese: 日本語表示 <div>ご注意</div> Japaneseを選択した場合、メニューは英語表示で、 メッセージのみ日本語表示となります。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assign Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定	<1>～<5> Off / Zebra / Peaking / Marker / Last Clip DEL / ATW / ATW Hold / WB Preset / Rec Review / Rec / Picture Cache / Freeze Mix / Focus Magnifier / Spotlight / Backlight / IR Remote / Shot Mark1 / Shot Mark2 / VF Mode / BRT Disp / Histogram / Lens Info / OK Mark / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag Keep / Clip Continuous Rec / LCD/ VF Adjust / Color Bars / One Push Auto Iris / Handle Zoom / NFC / Streaming/ NW Client Mode / Proxy <1> <b>Zebra</b> <2> <b>Peaking</b> <3> <b>Off</b> <4> <b>Off</b> <5> <b>Off</b>	ASSIGNボタン1/2/3/4/5に機能を割り当てる（選択できる機能は共通）。 Off：無効 Zebra：ゼブラ機能のON/OFF切り換え Peaking：ピーキング機能のON/OFF切り換え Marker：セーフティーゾーン、センターマーカ、アスペクトマーカ、ガイドフレーム機能をまとめてON/OFF切り換え Last Clip DEL：ラストクリップデリート（リテイク）機能の実行 ATW：ATW機能のON/OFF切り換え ATW Hold：ATW Hold機能のON/OFF切り換え WB Preset：ホワイトバランス色温度の切り換え Rec Review：レックレビュー機能の実行 Rec：録画スタート/ストップの実行 Picture Cache：ピクチャーキャッシュレック機能のON/OFF切り換え Freeze Mix：フリーズミックス機能の実行 Focus Magnifier：拡大フォーカス機能のON/OFF切り換え Spotlight：TLCOSモードのスポットライト補正モードへの切り換えと解除 Backlight：TLCOSモードのバックライト補正モードへの切り換えと解除 IR Remote：赤外線リモコンの有効/無効の切り換え Shot Mark1：ショットマーク1の付加（HDモードのみ） Shot Mark2：ショットマーク2の付加（HDモードのみ） VF Mode：EVF画面のカラー/モノクロ切り換え BRT Disp：輝度レベル表示機能のON/OFF切り換え Histogram：ヒストグラム表示機能のON/OFF切り換え Lens Info：被写界深度表示のOff/Meter/Feet切り換え OK Mark：OKマークの付加、削除の実行（HDモードのみ、サムネイル画面では不可） Clip Flag OK：記録中または再生中のクリップにOKフラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Flag NG：記録中または再生中のクリップにNGフラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Flag Keep：記録中または再生中のクリップにKeepフラグを設定、解除（UDFのみ） Clip Continuous Rec：クリップコンティニュアスレック機能のON/OFF切り換え LCD/VF Adjust：LCD/VF Adjust機能のレベルバー表示切り換え（LCDのブライトネス調整用→LCDのコントラスト調整用→VFのブライトネス調整用→VFのコントラスト調整用→Off） Color Bars：カラーバー/カメラ信号の切り換え One Push Auto Iris：ワンプッシュアイリス機能の実行 Handle Zoom：ハンドルズーム動作の切り換え NFC：NFC機能の実行 Streaming：ストリーミングを開始するまたは停止する。 NW Client Mode：CCMとの接続のON/OFF切り換え Proxy：プロキシ記録のON/OFF切り換え

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Tally タリーに関する 設定	Front	タリーランプの明るさを設定する。
	High / Low / Off	High: 明るく点灯 Low: 暗く点灯 Off: 点灯しない
Hours Meter 積算時計の表 示	Hours (Sys)	積算使用時間を表示する (リセット不可)。
	Hours (Reset)	積算使用時間を表示する (リセット可)。
	Reset Execute/Cancel	Executeを選択するとHours (Reset)表示を0にリセ ットする。
IR Remote リモコンのON/ OFF	On / Off	付属の赤外線リモコンを使用するときOnにする。
		<b>ご注意</b> 本体の電源を切ると自動的にOffに戻ります。
Battery Alarm 電圧低下警告の 設定	Low BATT 5% / <b>10%</b> / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
	BATT Empty 3% ~ 7% ( <b>3%</b> )	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。
	DC Low Volt1 11.5 V ~ 17.0 V ( <b>11.5 V</b> )	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定 する。
	DC Low Volt2 11.0 V ~ 14.0 V ( <b>11.0 V</b> )	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定 する。
Battery INFO バッテリーパッ クに関する情報 の表示 (表示のみ)	Type	タイプ(製品名) を表示する。
	MFG Date	製造年月日を表示する。
	Charge Count	累積充放電回数を表示する。
	Capacity	満充電時の推定全容量を表示する。
	Voltage	現在の出力電圧を表示する。
	Remaining	現在の残容量を表示する。
Genlock ゲンロックの設 定	H Phase (HD) -999 ~ +999 ( <b>±0</b> )	ゲンロック時のHD信号のH位相 (水平同期信号の位 相) を設定する。
	H Phase (SD) -99 ~ +99 ( <b>±0</b> )	ゲンロック時のSD信号のH位相 (水平同期信号の位 相) を設定する。
Trigger Mode i.LINK端子に接 続した外部記録 機器に対する操 作の設定 (FAT のみ)	Internal / <b>Both</b> / External	Internal: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメ モリーカードに対してのみ行う。 Both: 録画開始/停止の操作を内蔵スロットのSxSメモ リーカードとi.LINK端子に接続した外部記録機器の 両方に対して行う。 External: 録画開始/停止の操作をi.LINK端子に接続した 外部記録機器に対してのみ行う。
		

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
System	Country NTSC Area / <b>NTSC(J)</b> Area / PAL Area	使用する地域とセットアップのON/OFFを選択する。 NTSC Area：セットアップON NTSC(J) Area：セットアップOFF PAL Area：セットアップOFF
	F.Sys. UDF / <b>exFAT</b> / FAT	ファイルシステムUDF/exFAT/FATを切り換える。
	HD/SD <b>HD</b> / SD	HDモード/SDモードを切り換える。
	XAVC/MPEG2 <b>XAVC</b> /MPEG2	exFAT/HDモード時に、XAVC/MPEG2フォーマットを切り換える。
	Format	ビデオフォーマットを設定する。
<b>HDモード</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>ビットレート           <ul style="list-style-type: none"> <li>UDF：HD422 50またはHD420 HQ</li> <li>exFAT：XAVCまたはHD422 50、HD420 HQ</li> <li>FAT：HQまたはSP</li> </ul> </li> <li>水平画素数           <ul style="list-style-type: none"> <li>1920、1440、1280のいずれか</li> </ul> </li> <li>フレームレート           <ul style="list-style-type: none"> <li>23.98、25、29.97、50、59.94のいずれか</li> </ul> </li> <li>スキャン方式           <ul style="list-style-type: none"> <li>i（インターレース）またはP（プログレッシブ）</li> </ul> </li> </ul>		
<b>SDモード</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>フレームレート           <ul style="list-style-type: none"> <li>25、29.97、50、59.94のいずれか</li> </ul> </li> <li>スキャン方式           <ul style="list-style-type: none"> <li>i（インターレース）またはP（プログレッシブ）</li> </ul> </li> <li>アスペクト           <ul style="list-style-type: none"> <li>SQ（スクイーズ）またはeC（エッジクロップ）</li> </ul> </li> </ul>		
◆各モードで選択できるビデオフォーマットについては、「ビデオフォーマット(Format)」(163ページ)をご覧ください。		
<b>ご注意</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>NW&amp;Proxy/USBがNetwork&amp;PrxoyおよびUSB Aに設定されているときは、1920×1080/59.94P、1920×1080/50Pは選択できません。</li> <li>1920×1080/59.94P、1920×1080/50Pに設定しているときは、AV OUT端子及びVIDEO OUT端子から出力されません。</li> </ul>		

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Clip クリップの名称 や削除に関する 設定	Auto Naming C**** / Title / <b>Plan</b>	クリップ名の設定方法を選択する。 C**** : (UDF、exFAT) Title: Title Prefixで任意に設定する。 Plan: プランニングメタデータで設定したクリップ名がある場合はその名称にする。ない場合はTitle Prefixで設定した名称にする。
	Title Prefix <b>nnn_</b> (nnnはシリアルNo.の下3桁) (最大7文字表示)	クリップ名のタイトル部分 (4~46文字) を設定する Character Set画面を呼び出す。 <b>Character Set画面の構成</b> 文字選択エリア (3行) : Title Prefixエリアのカーソル位置に挿入する文字を選択する。 !#\$%()+,-.:/;=@[ ]^_`0123456789 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ カーソル操作エリア (1行) : Space: カーソル位置の文字をスペースに変更する。 INS: カーソル位置にスペースを挿入する。 DEL: カーソル位置の文字を削除する。 ←: カーソルを左に移動する。 →: カーソルを右に移動する。 ESC: 変更をキャンセルしてCharacter Set画面を閉じる。 END: 変更を実行してCharacter Set画面を閉じる。 Title Prefixエリア (1行) : タイトルを入力するエリア。 <b>タイトルを設定するには</b> <b>1</b> 上/下/左/右ボタンを使って、文字選択エリアからTitle Prefixエリアのカーソル位置に入れる文字を選択 (ハイライト表示) し、SEL/SETボタンまたはジョグダイヤルを押す。(選択した文字が入り、カーソルが右に移動する。) <b>2</b> 手順1を繰り返し、タイトルを設定する。(必要に応じて、Space、INS、DELを使用する。) <b>3</b> タイトル名の設定が終わったら、ENDを選択してCharacter Set画面を閉じる。
	Number Set <b>0001</b> ~9999	クリップ名の最後の番号部分 (4桁) を設定する。 プランニングメタデータを使用する場合は、5桁になります。
	Update <b>Media(A)</b> / Media(B)	選択したスロットのSxSメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 <sup>1)</sup>
	Last Clip DEL Execute/Cancel	Executeを選択すると最後に記録したクリップを削除する。
	All Clips DEL Execute/Cancel	Executeを選択するとSxSメモリーカード内のすべてのクリップを削除する。
<b>ご注意</b>		
OKマークが付加されたクリップや、ロックされたクリップは削除できません。		

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Filter Clips <b>OK</b> / NG / KP / None	クリップを表示するときのフィルターを、OK (OKフラグ)、NG (NGフラグ)、KP (Keepフラグ)、None (フラグなし) から選択する。(UDF、exFAT)
	Lock All Clips Execute/Cancel	Executeを選択するとすべてのクリップを保護する。(UDF、exFAT)
	Unlock All Clips Execute/Cancel	Executeを選択するとすべてのクリップの保護を解除する。(UDF、exFAT)
	Index Picture Pos 0sec ~ 10sec ( <b>0sec</b> )	クリップをサムネイル表示するときの画像を設定する。先頭からの時間を選択する。
	Find Mode <b>Clip</b> / Rec Start	PREVボタン/NEXTボタンを押したときの動作を設定する。(UDF、exFAT) Clip：現在のクリップ/次のクリップの先頭に移動する (クリップの先頭でPREVボタンを押したときはひとつ前のクリップの先頭に移動する)。 Rec Start：ひとつ前のRec Start Essence Mark /次のRec Start Essence Markに移動する。
Copy All 2) クリップや Generalフォル ダーのファイル の一括コピーに 関する設定	Clips	SxSメモリーカード内のすべてのクリップをコピーする。
	General Files	SxSメモリーカード内のGeneralフォルダーにあるすべてのファイルをコピーする。
	Clips&General	SxSメモリーカード内のすべてのクリップとGeneralフォルダーにあるすべてのファイルをコピーする。
Format Media SxSメモリー カードの初期化	Media(A) Execute/Cancel	Executeを選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/exFAT/FAT) に従ってスロットAのSxSメモリーカードを初期化する。
	Media(B) Execute/Cancel	Executeを選択すると、設定されているファイルシステム (UDF/exFAT/FAT) に従ってスロットBのSxSメモリーカードBを初期化する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Plan.Metadata プランニングメ タデータの操作 に関する設定	Load / Slot(A) または Load / Slot(B) Execute/Cancel	スロットAまたはBのSxSメモリーカードからプラン ニングメタデータを読み込む。 Executeを選択するとスロットAまたはBのSxSメモ リーカードに保存されているプランニングメタデー タのファイルリストが表示される。ファイルを選択し、 Load → Executeで読み込み実行。
		<b>ご注意</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルリストには、ファイルは64個まで表示され ます。プランニングメタデータファイルの総数が64 個以下であっても、SxSメモリーカード内のプラン ニングメタデータファイルと同じディレクトリー (General/Sony/Planning) に512個以上のファイル があると、すべてのプランニングメタデータファ イルが表示されないことがあります。</li> <li>読み込みを開始した後は、完了メッセージが表示さ れるまで、SxSメモリーカードを抜かないでくだ さい。</li> </ul>
Load/USB (UDF、exFATモード時) Execute/Cancel		外部機器接続端子に接続したUSBメモリーからプラン ニングメタデータをロードする。 「Execute」を選択すると、USBメモリーに保存されて いるプランニングメタデータのファイルリストが表示 され、ファイルを選択してロードを実行する。
Properties Execute/Cancel		Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれて いるプランニングメタデータの内容を表示する。 File Name：ファイル名 Assign ID：アサインID Created：ファイルの生成日時 Modified：ファイルの最終更新日時 Modified by：ファイルの更新者 Title1：ファイルで指定されたTitle1の内容（ASCII形式 のクリップ名） Title2：ファイルで指定されたTitle2の内容（UTF-8形 式のクリップ名） Material Gp：マテリアルグループ（同じプランニング メタデータを使用して収録したクリップ群）の数 Shot Mark1：ショットマーク1の名前 Shot Mark2：ショットマーク2の名前 プランニングメタデータ詳細情報画面でFile Nameま たはAssign ID、Title1、Title2を選択し、SEL/SETボタ ンまたはジョグダイヤルを押すと、選択した項目が全 画面表示され、長いファイル名やクリップ名も全体を 表示することができます。
		<b>ご注意</b> <p>Shot Mark1またはShot Mark2を選んでも、ショット マーク名の全画面表示はできません。</p>
Clear Execute/Cancel		Executeを選択すると本機のメモリーに読み込まれて いるプランニングメタデータの内容を消去する。

OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
	Clip Name Disp <b>Title1 (ASCII)</b> / Title2 (UTF-8)	<p>プランニングメタデータでクリップ名を設定する場合の表示形式を設定する。</p> <p><b>ご注意</b></p> <p>プランニングメタデータでクリップ名を設定するときに、ASCII形式の名称とUTF-8形式の名称が両方とも定義されている場合はUTF-8形式の名称がクリップ名となります。プランニングメタデータで、ASCII形式の名称またはUTF-8形式の名称のどちらか一方しか定義していない場合は、メニューの設定にかかわらず定義されているクリップ名が表示されます。</p>
GPS	On / <b>Off</b>	GPS機能をOn/Offする。
GPSに関する設定		
Fan Control	Setting	ファン制御モードを設定する
ファン制御モードを設定します。	<b>Auto</b> / Off in Rec	<p>Auto : 温度に応じてファンを自動制御</p> <p>Off in Rec : 記録中は強制的にオフにする（ただし、高温になると自動的にオンになる）</p>
Version	Vx.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
本機のバージョンを表示		
Version Up	Execute/Cancel	Executeを選択すると本機のバージョンアップを実行する。
本機のバージョンアップ		バージョンアップが必要になったときに使用する。
		<p><b>ご注意</b></p> <p>SxSメモリーカードが挿入されていないときは選択できません。</p>



OTHERS		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Menu Settings メニューに関する設定	Direct Menu All / <b>Part</b> / Off	ダイレクトメニュー機能を設定する。 All: ダイレクトメニューがすべて可能 (GAIN、SHUTTER、WHITE BALスイッチ操作が無効になります。) Part: 一部の機能に関してのみダイレクトメニュー操作が可能 (GAIN、SHUTTER、WHITE BALスイッチの設定によって操作が制限される。) Off: ダイレクトメニュー操作は不可
	Menu Scroll <b>Normal</b> / Loop	メニューのスクロール方法を選択する。 Normal: カーソルは一番上、または一番下までスクロールして止まる Loop: カーソルは一番上までスクロールすると、一番下へ移動してスクロールを続ける。一番下までスクロールすると一番上へ移動する
	User Menu Only On / <b>Off</b>	メニューを表示したときに、USERメニューだけを表示するか (On)、メニューリストを表示するか (Off) を選択する。
	User Menu with Lock On / <b>Off</b>	メニュー表示にロックをかけて、USERメニューだけの表示にするかどうかを選択する。 On: 任意の暗証番号を入力し、メニュー表示にロックをかける。(USERメニューだけの表示になります。) Off: Onしたときに入力した任意の暗証番号を入力し、ロックを解除する。(解除すると、通常のメニューリスト表示に切り換わります。)
		<div> <div>ご注意</div> <p>通常のメニュー表示操作では表示されません。メニュー表示の操作方法は、111ページをご覧ください。</p> </div>

1) 本機以外の機器で操作されたカードが記録・再生できない状態になったときなど、管理ファイルを更新することによって、症状が改善される場合があります。

2) 複数のクリップやファイルが記録されたSxSメモリーカードをコピーする場合は、カードの容量が同じであっても使用条件やメモリーの特性により、全クリップやファイルを最後までコピーできない場合があります。

## 外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

HD信号、SD信号を問わず、外部モニターにLCDモニター / EVFと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。

モニターに出力する信号に応じて、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/Video Out Super (128ページ) をOnに設定してください。HDモードでSD信号を出力するときは、あらかじめVIDEO SETメニューのDown Converter (128ページ) で出力モード (Squeeze / Letterbox / Edge Crop) を選択してください。

### ご注意

ダウンコンバートされて出力されるSD信号には、次のような制約があります。

50P/50i/25Pの映像はPAL信号、59.94P/59.94i/29.97Pの映像はNTSC 信号、23.98Pの映像は2-3ブルダウン処理されたNTSC 信号として出力されます。

### SDI OUT端子 (BNC型)

3G SDIに対応し、exFAT HDモード時には59.94P/50Pの3G出力が可能です。(フォーマットが59.94P/50P以外の場合は、SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectを3G SDI&HD HDMIに設定しても、HD出力されます。)工場出荷時は、HD SDI信号を出力するように設定されています。

本機をSDモードに設定するとSD SDI信号を出力します。

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (127ページ) をSD SDI & SD HDMI iに設定することによって、HDモードでもダウンコンバートされたモニター用SD SDI信号を出力するように変更することができます。

接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

### 本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HD SDI信号出力時は、VIDEO SETメニューのSDI Rec Control (129ページ) をHD SDI Remote I/Fに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

### ご注意

- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectを3G SDI & HD HDMI、HD SDI & SD HDMI i以外に設定して、HDMI OUT端子およびi.LINK (HDV/DV) 端子を使用するときは、SDI OUT端子からは信号が出力されません。
- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- NW&Proxy/USBがNetwork&Prxoyに設定されているときは、SDI/HDMI/i.LINK I/O Selectは選択できません。

### HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (127ページ) の設定を変更することによって、信号を出力することができます。HDモードでは、HD HDMI、SD HDMIインターレース、SD HDMI プログレッシブから選択して出力します。

SDモードではSD HDMI インターレース信号を出力します。

接続には、市販のHDMI接続ケーブルを使用します。

### ご注意

NW&Proxy/USBがNetwork&Prxoyに設定されているときは、HDMI端子から出力しません。

### VIDEO OUT端子 (BNC型)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (127ページ) の設定を変更することによって、HD-Y信号 (HDモード時) また

はダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号（SDモード時）を出力することができます。

接続には市販のBNCケーブルを使用してください。

#### ご注意

以下の設定時は、VIDEO OUT端子から出力しません。

- NW&Proxy/USBがNetwork&ProxyおよびUSB A のとき
- SystemのFormat設定が1920x1080/59.94P、50Pのとき

### i.LINK (HDV/DV) 端子 (IEEE1394、4ピン)

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（127ページ）の設定を変更することによって、HDVまたはDVストリームを出入力することができます。

入力設定をする場合は、VIDEO SETメニューのInput Source Select（127ページ）でi.LINKを選択してください。

i.LINK対応のモニターやVTRを接続することができます。

- ◆ i.LINK端子の接続について詳しくは、「i.LINKで接続する（FATのみ）」（154ページ）をご覧ください。

#### ご注意

- NW&Proxy/USBがNetwork&Proxyに設定されているときは、i.LINK端子から入出力しません。
- System>F.Sys.が、UDFおよびexFATモード時は、i.LINK端子から入出力しません。

### A/V OUT端子（音声/映像複合マルチコネクタ）

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（127ページ）の設定を変更することによって、2チャンネルの音声信号とダウンコンバートされたモニター用SDアナログコンポジット信号を出力することができます。接続には、付属のAV接続ケーブルを使用します。

#### ご注意

以下の設定時は、A/V OUT端子から出力しません。

- NW&Proxy/USBがNetwork&ProxyおよびUSB A のとき

- SystemのFormat設定が1920x1080/59.94P、50Pのとき

# コンピューターでクリップを管理・編集する

## コンピューターのExpressCardスロットを使う

ExpressCard/34またはExpressCard/54スロットがあるコンピューターの場合は、本機でクリップを記録したSxSメモリーカードを直接挿入して、ファイルにアクセスすることができます。

### ご注意

- SxSデバイスドライバーソフトウェアおよびUDFドライバーソフトウェアをダウンロードしてインストールする必要があります。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」(202ページ)をご覧ください。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- あらかじめSxSメモリーカードを書込み禁止(Read Only)にし、データをコンピューターにバックアップしてから編集を行ってください。
- ◆ SxSデバイスドライバーソフトウェアのサポート関連情報については、下記URLをご覧ください。

<http://www.sony.net/SxS-Support/>

Windowsコンピューターでは、マイコンピューターにリムーバブルディスクが追加されていることを確認してください。追加されていれば正常に動作しています。Macintoshコンピューターでは、メニューバーにアイコンが表示されます。

## USBケーブルを使って接続する

本機に付属のUSBケーブルを使って接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機の場合、2枚のメモリーカードが挿入されているときは、コンピューターでは2つのドライブとして認識されます。

### ご注意

- 本機はコンピューターからのバスパワーでは動作しません。それぞれ電源を用意してください。
- 本機に記録したオリジナルファイルの部分転送(78ページ)中は、接続できません。

## 本機への接続の確認

- 1 本機のPC接続端子とコンピューターを付属のUSBケーブルで接続してから、電源をONにする。

LCDモニター /EVF画面にコンピューターとの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

### ご注意

SxSメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、コンピューターとの接続確認メッセージは表示されません。フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

- 2 上/下/左/右ボタンまたはジョグダイヤルで「Execute」を選択する。
- 3 Windowsの場合、「マイコンピューター」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。  
Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダー(フォルダー名は任意に変更可)が作成されていることを確認する。

### ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
  - 電源を切る。電源コードを抜く。
  - SxSメモリーカードを抜く。
  - USBケーブルを抜く。
- すべてのパソコンについて、動作を保証するものではありません。
- 接続には本機に付属のUSBケーブルを使用してください。

## SxSメモリーカードを取りはずす

### Windows の場合

1. コンピューターのタスクバーに表示されている「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックする。
2. 表示されたメニューから「SxS Memory Card ドライブ (X:) を安全に取り外します」を選択する。
3. 安全に取り外すことができることを知らせるメッセージが表示されたら、カードを抜く。

### Macintosh の場合

デスクトップにあるSxSメモリーカードのアイコンを「ゴミ箱」（イジェクトアイコン）にドラッグします。

ファインダー上にSxSメモリーカードのアイコンがある場合は、横のイジェクトアイコンをクリックしてください。

#### ご注意

メニューバーに表示されているSxSメモリーカードのアイコンから「カード電源 切」を選択しないでください。

## アプリケーションソフトウェアを使う

コンピューターのローカルディスクにクリップをコピーする場合などは、専用のアプリケーションソフトウェアをダウンロードし、インストールして使用します。ソフトウェアのダウンロードについては、「ソフトウェアのダウンロードについて」（202ページ）をご覧ください。

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダーにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリー構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

#### ご注意

Explorer（Windows環境）やFinder（Mac環境）を使用して、SxSメモリーカード内のクリップのコピーなどを行うと、クリップが持つ情報を保持できなくなることがあります。

## ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売り）が必要です。

専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

## i.LINKで接続する (FATのみ)

HDV互換のビデオフォーマット（SP 1440×1080/59.94i、SP 1440×1080/50i、SP 1440×1080/23.98P）またはDVCAM互換のビデオフォーマット（SDモードのフォーマット）が選択されているときは、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（127ページ）をHDVまたはDVCAMに設定することによって、i.LINK（HDV/DV）端子を介した信号の入出力が可能です。

i.LINK（HDV/DV）端子に接続した外部機器で本機のメモリーカードに記録されるのと同じ画像を記録したり、外部機器の再生画像を本機で記録することができます。DVCAMストリームのオーディオは、ロックオーディオ48kHz16ビット2チャンネルのみに対応します。

### ご注意

- i.LINK接続は1対1で使用してください。
- i.LINK接続中にOTHERS メニューのSystem、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select、Down Converterなど、i.LINK（HDV/DV）端子から出力される信号に影響がある設定を変更するときは、i.LINKケーブルを抜いてから変更してください。i.LINK接続中に設定を変更した場合、接続されたi.LINK機器が正常に動作できなくなることがあります。
- NW&Proxy/USBがNetwork&Proxyに設定されているときは、i.LINK1端子から入出力しません。

i.LINKとは商標です。

## 本機の画像を外部機器で記録する

撮影中（記録中/記録待機中）は、本機で撮影している画像がi.LINK（HDV/DV）端子を介してHDV またはDVCAMストリームとして出力されます。本機のREC START/STOP 操作に連動して、接続したHDVレコーダーやDVCAMレコーダーで記録することもできます。

### 1 本機で事前に必要な設定を行う。


- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select（127ページ）
- OTHERSメニューのTrigger Mode（143ページ）

### 2 外部機器を録画スタンバイ状態にする。

### 3 本機で記録を開始する。

同期して外部機器が記録モードになります。

本機のLCDモニター /EVFのi.LINK状態表示部（14ページ）に外部機器の状態が表示されます。

表示	外部機器の状態
STBY  HDV	HDV録画待機中
●REC  HDV	HDV録画中
STBY  DV	DV録画待機中
●REC  DV	DV録画中

### ご注意

- 外部機器の種類によっては、動作が異なる場合があります。
- 本機で記録を開始してから、i.LINK状態表示が切り換わるまでタイムラグがあります。Trigger ModeがBothに設定されていても、接続されているi.LINK機器では同期がかかるまで記録が開始されません。
- メモリーカードには撮影中にショットマークを記録することができますが、外部機器で記録される画像には付加されません。

## ノンリニア編集する

本機がサムネイル表示/再生モードのときは、i.LINK（HDV/DV）端子に接続したノンリニア編集システムにストリーム転送することができます。

### ご注意

- 本機のi.LINK（HDV/DV）端子は4ピンです。接続するコンピューターのi.LINK端子のピン数をご確認のうえ、適切なi.LINKケーブルをお使いください。
- コンピューター上で本機の画像を検索するとき、画像の表示がコンピューター画面に反映されるまでに時間がかかる場合があります。
- クリップが短い場合や再生開始点からクリップ終端までが短い場合、クリップの境界でi.LINK信号が途切れることがあります。また、このような信号をノンリニア編集機でキャプチャしよ

うとした場合、アプリケーションによっては誤動作することがあります。

- ノンリニア編集機で×4倍、×15倍、×24倍以外のサーチ速度を指定すると、i.LINK信号は出力されません。またこの場合LCDモニター画面は静止画のままになることがあります。
- ノンリニア編集ソフトウェアによっては、高速再生画がコンピューター上に出来ない場合があります。

## 本機の設定

VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (127ページ) をHDVまたはDVCAMに設定してください。

## 外部入力信号を記録する

i.LINK (HDV/DV) 端子に接続した機器からの入力を、本機に装着したSxSメモリーカードに記録することができます。タイムコードは、本機の設定にかかわらず、i.LINK入りに重畳されているタイムコードが記録されます。

## 1 外部信号を本機で記録できるフォーマットに設定する。

本機のビデオフォーマット (144ページ) の設定により、記録できる入力信号は次のようになります。

- FAT/HDモード  
SP 1440×1080/59.94iまたはSP 1440×1080/23.98P : 1440×1080/59.94iのHDVストリーム信号  
SP 1440×1080/50i : 1440×1080/50iのHDVストリーム信号
- FAT/SDモード  
DVCAM59.94i、29.97P SQ/EC : 720×480/59.94iのDVCAMストリーム信号  
DVCAM50i、25P SQ/EC : 720×576/50iのDVCAMストリーム信号  
上記以外のビデオフォーマットと入力信号の組み合わせでは記録できません。

## 2 VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select (127ページ) をHDVに設定する。

## 3 VIDEO SETメニューのInput Source Select (127ページ) をi.LINKに設定する。

入力映像が、LCDモニター /EVF画面、VIDEO OUT端子に接続したモニターに表示されます。

音声信号は、内蔵スピーカー、ヘッドホン端子に接続したヘッドホン、AUDIO OUT端子に接続したモニターのスピーカーから出力されます。

## 4 REC START/STOPボタン (11ページ) またはREC STARTボタン (13ページ) を押す。

記録が始まります。

### ご注意

- 次のような場合、エラー表示になります。エラー表示になった場合は、REC START/STOPボタンを押して、記録モードを解除してください。一本機で設定されているビデオフォーマットと異なる信号が入力されている。  
—コピー禁止ストリームが入力されている。
- 記録中に本機への入力が無信号となった場合はタリールランプおよびLCDモニター /EVF画面のi.LINK状態表示の「●REC」が点滅し、SxSメモリーカードに何も記録されていないことを表示します。  
再び信号が入力されると記録が再開しますが、本機でのクリップ番号が繰り上がります。

## 外部同期

本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

### 映像信号の位相を合わせる（ゲンロック）

本機のGENLOCK IN端子（12ページ）に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。

入力できる基準信号は、設定されているビデオフォーマットによって異なります。

### NTSC/NTSC(J) Area の場合 MXF

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
XAVC-L50 1080/59.94P XAVC-L35 1080/59.94P XAVC-I 1080/59.94i XAVC-L50 1080/59.94i XAVC-L35 1080/59.94i XAVC-L25 1080/59.94i XAVC-I 1080/29.97P XAVC-L50 1080/29.97P XAVC-L35 1080/29.97P XAVC-I 1080/23.98P <sup>1)</sup> XAVC-L50 1080/23.98P <sup>1)</sup> XAVC-L35 1080/23.98P <sup>1)</sup> HD422 50/1080/59.94i HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P <sup>1)</sup> HQ 1920x1080/23.98P <sup>1)</sup> HQ 1440x1080/23.98P <sup>1)</sup>	1080/59.94i NTSC
XAVC-I 1080/23.98P <sup>2)</sup> XAVC-L50 1080/23.98P <sup>2)</sup> XAVC-L35 1080/23.98P <sup>2)</sup> HD422 50/1080/23.98P <sup>2)</sup> HQ 1920x1080/23.98P <sup>2)</sup> HQ 1440x1080/23.98P <sup>2)</sup>	1080/23.98PsF NTSC
XAVC-I 720/59.94P XAVC-L50 720/59.94P HD422 50/720/59.94P HQ 1280x720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280x720/23.98P	1080/59.94i 720/59.94P NTSC

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
IMX50 59.94i SQ/EC IMX50 29.97p SQ/EC DVCAM59.94i SQ/EC DVCAM29.97p SQ/EC	1080/59.94i NTSC

- 1) 23.98P Output : 59.94i(2-3Pull Down)
- 2) 23.98P Output : 23.98PsF

### MP4

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
HQ 1920x1080/59.94i HQ 1440x1080/59.94i SP 1440x1080/59.94i HQ 1920x1080/29.97P HQ 1440x1080/29.97P HQ 1920x1080/23.98P <sup>1)</sup> HQ 1440x1080/23.98P <sup>1)</sup> SP 1440x1080/23.98P	1080/59.94i NTSC
HQ 1920x1080/23.98P <sup>2)</sup> HQ 1440x1080/23.98P <sup>2)</sup>	1080/23.98PsF NTSC
HQ 1280x720/59.94P HQ 1280x720/29.97P HQ 1280x720/23.98P	1080/59.94i 720/59.94P NTSC

- 1) 23.98P Output : 59.94i(2-3Pull Down)
- 2) 23.98P Output : 23.98PsF

### AVI

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
DVCAM59.94i SQ/EC DVCAM29.97P SQ/EC	1080/59.94i NTSC

### PAL Area の場合 MXF

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
XAVC-L50 1080/50P XAVC-L35 1080/50P XAVC-I 1080/50i XAVC-L50 1080/50i XAVC-L35 1080/50i XAVC-L25 1080/50i XAVC-I 1080/25P XAVC-L50 1080/25P XAVC-L35 1080/25P HD422 50/1080/50i HQ 1920 x 1080/50i HQ 1440x1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P	1080/50i PAL



ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
XAVC-I 720/50P XAVC-L50 720/50p HD422 50/720/50P HQ 1280x720/50P HD422 50/720/25P	1080/50i 720/50P PAL
IMX50 50i SQ/EC IMX50 25P SQ/EC DVCAM50i SQ/EC DVCAM25P SQ/EC	1080/50i PAL

## MP4

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
HQ 1920x1080/50i HQ 1440x1080/50i SP 1440x1080/50i HQ 1920x1080/25P HQ 1440x1080/25P	1080/50i PAL
HQ 1280x720/50P HQ 1280x720/25P	1080/50i 720/50P PAL

## AVI

ビデオフォーマット	入力可能な基準信号
DVCAM50i SQ/EC DVCAM25p SQ/EC	1080/50i PAL

同期信号の位相の調整は、OTHERSメニューのGenlock（143ページ）で行います。

## ご注意

- 以下のビデオフォーマットのときに出力フォーマットがSDモードの場合は、ゲンロックできません。出力フォーマットをHDモードに設定してください。  
MXF：XAVC-I 720/59.94P  
XAVC-L50 720/59.94P  
HD422 50/720/59.94P  
HQ 1280x720/59.94P  
XAVC-I 720/50P  
XAVC-L50 720/50P  
HD422 50/720/50P  
HQ 1280x720/50P  
MP4：HQ 1280x720/59.94P  
HQ 1280x720/50P
- 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
- サブキャリアは同期しません。

## 他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード（Free RunやClock）に設定してください。

## 1 TC/UB SETメニューのTimecodeを次のように設定する。

Mode：Preset

Run：Free Run

## 2 DURATION/TC/U-BITボタン（11ページ）を押して、画面にタイムコードを表示させる。

## 3 IN/OUTスイッチ（12ページ）がIN側になっていることを確認し、GENLOCK IN 端子とTC IN端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「EXT-LK」と表示されます。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

## ご注意

- 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
- 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
- リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 接続をはずした場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

## 外部ロックを解除するには

TC/UB SETメニューのTimecodeの設定を変更するか、本機の電源をOFFにしてください。

特殊記録モード（スロー&クイックモード、フレームレック、インターバルレック）での記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

---

## 本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

---

- 1 TC/UB SETメニューのTimecodeおよびTC Formatで本機のタイムコードを設定する（38ページ）。**
- 2 IN/OUTスイッチ（12ページ）がOUT側になっていることを確認し、TC OUT端子とVIDEO OUT端子（12ページ）を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。**

TC OUT端子から出力されるタイムコードは、TC/UB SETメニューのTimecodeのTC Outの設定により異なります。TC OutをGeneratorに設定したときは、記録時、再生時とも本機のタイムコードジェネレーターが生成するタイムコードが出力されます。Autoに設定したときは、記録時はタイムコードジェネレーターが生成するタイムコード、再生時は映像に付加されているタイムコードが出力されます。

## 使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「ご使用になる前に」と併せてご覧ください。

### 取り扱い・保管上のご注意

#### 強い衝撃を与えない

- 内部構造や外観の変形などの損傷を受けることがあります。
- アクセサリーシューに装着した部品に強い衝撃が与えられた場合、アクセサリーシューが損傷する場合があります。この場合は使用を中止し、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

#### 動作中は布などで包まないでください

内部の温度が上がり、好ましくありません。

#### 使い終わったら

電源スイッチをOFFにしてください。

#### 長時間使わないときは

バッテリーを抜いておいてください。

#### 運搬するときは、ハンドルを持つ

フロントマイク部、LCDモニター部など、ハンドル以外の場所を持って運搬すると、本機が落下してけがの原因になることがあります。

#### レンズを太陽光に向けて放置しない

太陽光がレンズを通して内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

### 輸送

- メモリーカードは必ず取り出しておいてください。
- トラック、船、航空機など、本機を貨物として扱う輸送では、お買い上げ時の梱包材をご使用ください。

### お手入れ

レンズの表面に付着したゴミやほこりは、ブローアで吹き払います。  
外装の汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ります。ひどい汚れは、中性洗剤液を少し含ませた布で拭いた後、カラ拭きします。アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品類は、表面が変質したり、塗料がはげることがありますので、使わないでください。

#### 万一、異常が生じたときは

お買い上げ店かソニーのサービス窓口にご相談ください。

### ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。  
常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

### 使用場所・保管場所

水平な場所、空調のある場所に保管してください。

次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所（使用温度は0℃～40℃）。  
真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。

- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨があたる所。
- 激しく振動する所。
- 強い磁気を発生するものの近く。
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く。
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く。

## 携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

## レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。

## LCD（液晶）画面について

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間で使用する間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

## 結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

## CMOSイメージセンサー特有の現象

撮影画面に出る下記の現象は、CMOSイメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

### 白点

CMOSイメージセンサーは非常に精密な技術で作られています。宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。これは撮像素子の原理に起因するもので故障ではありません。

また、以下の場合、白点が見えやすくなります。

- 高温の環境で使用するとき
- マスターゲイン(感度)を上げたとき
- スローシャッターモードのとき

### 折り返しひずみ

細かい模様、線などを撮影すると、ぎざぎざやちらつきが見えることがあります。

### フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したり、横縞が流れるように見えることがあります。



このようなときは、フリッカー補正機能をAutoにしてください（38ページ）。条件によってはフリッカー補正機能で低減しない場合があります。電子シャッタースピードを、50Hzの地域では1/100に、60Hzの地域では1/60に設定することをお勧めします。

### フォーカルブレン

撮像素子（CMOSセンサー）の映像信号を読み出す方法の性質により、撮像条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しゆがんで見えることがあります。

## フラッシュバンド

フラッシュ光や、すばやく点滅する光源を撮影したときに、画面の上下で輝度が変わることがあります。

## 画面表示に関するご注意

- 次のような場合、LCDモニターやEVFの映像が乱れることがあります。
  - フォーマットを切り換えたととき
  - レックレビュー時
  - サムネイル画面から再生を開始したとき
  - LCDモニターを反転したとき
  - 拡大フォーカス表示切り換え時
- EVF内で視線を動かした場合などに、赤、緑、青の原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、これらの原色が実際にメディアに記録されることはありません。

## ファイルの断片化について

画像が正しく記録・再生されないときは記録メディアをフォーマット（初期化）してください。長期間、映像の記録・クリップの消去を繰り返していると、記録メディア内のファイルが断片化（フラグメンテーション）して、映像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、クリップのバックアップを取ったあと、OTHERSメニューのFormat Media（146ページ）で記録メディアのフォーマット（初期化）を行ってください。

## セキュリティに関するご注意

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。

- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。
- セキュリティの面から、製品をネットワークに接続してご使用になる際は、アクセス制限設定を工場出荷時の設定値から変更して設定することを強く推奨します。（139ページ）  
また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- 設定作業中または設定作業後のブラウザで他のサイトを閲覧しないでください。ブラウザにログインした状態が残りますので、意図しない第三者の使用や悪意のあるプログラムの実行を防ぐために、設定作業が完了したら必ずブラウザを終了してください。

## GPSについて

GPS（Global Positioning System）とは、米国の高精度な航空衛星を利用した、地球上のどこにいても自分の正確な位置を知ることができるシステムです。

GPS衛星は、高度20,000kmの6つの軌道上に各4個、24個以上が設置されています。GPS衛星からの電波を受信し、衛星の軌道情報（アルマナックデータ）と電波の伝播時間のデータなどから自分の位置を計算します。

位置を計算することを測位と呼び、衛星を3機以上受信できれば、経度、緯度がわかります。

- GPS衛星の配置は常に変化しているため、ご使用になる場所や時刻などの条件によっては測位に時間がかかったり、測位できないことがあります。
- GPSは衛星から電波を受信し、測位するシステムです。ビルや木立の陰など、電波を遮断・反射してしまう場所を避け、できるだけ上空の開けた場所でご使用ください。
- GPS衛星からの電波が届かない以下のような場所や状況では、測位情報を記録できないことがあります。

- トンネルの中・屋内やビルの陰
- 高層ビルの間・建物の中の狭い道路
- 地下・密集した樹木の間・高架の下・  
高圧電線など、近くに磁気を発生する  
ものがある場合
- 1.5GHz帯の携帯電話など、近くに同じ  
周波数帯の電波を発生するものがある  
場合

- GPSがOnの状態で撮影した画像をインターネットに公開、共有すると、意図せずに撮影場所が第三者に知られる場合があります。その場合はGPSをOffにして撮影してください（148ページ）。

## 誤差について

- GPSをOnにした直後に移動すると、移動しなかった場合に比べて、測位までの時間が長くなることがあります。
- GPS衛星自体による誤差  
本機は、3個以上のGPS衛星からの電波を受信すると自動的に現在地を測位します。GPS衛星自体による誤差は、約10m程度ですが、測位する周辺の環境によってはさらに大きな誤差を生じることがあります。このような場合は、実際に居た場所と地図上での位置が異なることがあります。また、GPS衛星は米国国防省により管理されており、意図的に精度が変更されることがあります。
- 測位時間による誤差  
本機では、測位中に測位情報を定期的に取得しています。

## 注意

## 規制について

使用する国や地域の規制に従ってGPS機能をお使いください。

## 測地系について

本機では、測地系として、「WGS-84」を採用しています。

# ビデオフォーマット (Format)

OTHERSメニューのSystem > Format (144ページ) で選択可能なビデオフォーマットは、以下のとおりです。

出荷時の初期値は、太文字 (例: **HD422 50/1080/59.94i**) で示します。

## UDF/HDモード

Countryの設定	NTSC Area またはNTSC(J) Area	PAL Area
選択可能なビデオフォーマット	<b>HD422 50/1080/59.94i</b> HQ 1920×1080/59.94i HQ 1440×1080/59.94i HD422 50/1080/29.97P HQ 1920×1080/29.97P HQ 1440×1080/29.97P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P HD422 50/720/59.94P HQ 1280×720/59.94P HD422 50/720/29.97P HD422 50/720/23.98P HQ 1280×720/23.98P	<b>HD422 50/1080/50i</b> HQ 1920×1080/50i HQ 1440×1080/50i HD422 50/1080/25P HQ 1920×1080/25P HQ 1440×1080/25P HD422 50/720/50P HQ 1280×720/50P HD422 50/720/25P

## UDF/SDモード

Countryの設定	NTSC Area またはNTSC(J) Area	PAL Area
選択可能なビデオフォーマット	<b>IMX50 59.94i SQ</b> IMX50 59.94i EC DVCAM 59.94i SQ DVCAM 59.94i EC IMX50 29.97P SQ IMX50 29.97P EC DVCAM 29.97P SQ DVCAM 29.97P EC	<b>IMX50 50i SQ</b> IMX50 50i EC DVCAM 50i SQ DVCAM 50i EC IMX50 25P SQ IMX50 25P EC DVCAM 25P SQ DVCAM 25P EC

## exFAT/HDモード

Countryの設定	NTSC Area またはNTSC(J) Area	
MXFファイルフォーマット	XAVC	MPEG2
選択可能なビデオフォーマット	XAVC-L50 1080/59.94P	<b>HD422 50/1080/59.94i</b>
	XAVC-L35 1080/59.94P	HQ 1920×1080/59.94i
	<b>XAVC-I 1080/59.94i</b>	HQ 1440×1080/59.94i
	XAVC-L50 1080/59.94i	HD422 50/1080/29.97P
	XAVC-L35 1080/59.94i	HQ 1920×1080/29.97P
	XAVC-L25 1080/59.94i	HQ 1440×1080/29.97P
	XAVC-I 1080/29.97P	HD422 50/1080/23.98P
	XAVC-L50 1080/29.97P	HQ 1920×1080/23.98P
	XAVC-L35 1080/29.97P	HQ 1440×1080/23.98P
	XAVC-I 1080/23.98P	HD422 50/720/59.94P
	XAVC-L50 1080/23.98P	HQ 1280×720/59.94P
	XAVC-L35 1080/23.98P	HD422 50/720/29.97P
	XAVC-I 720/59.94P	HD422 50/720/23.98P
	XAVC-L50 720/59.94P	HQ 1280×720/23.98P

Countryの設定	PAL Area	
MXFファイルフォーマット	XAVC	MPEG2
選択可能なビデオフォーマット	XAVC-L50 1080/50P	<b>HD422 50/1080/50i</b>
	XAVC-L35 1080/50P	HQ 1920×1080/50i
	<b>XAVC-I 1080/50i</b>	HQ 1440×1080/50i
	XAVC-L50 1080/50i	HD422 50/1080/25P
	XAVC-L35 1080/50i	HQ 1920×1080/25P
	XAVC-L25 1080/50i	HQ 1440×1080/25P
	XAVC-I 1080/25P	HD422 50/720/50P
	XAVC-L50 1080/25P	HQ 1280×720/50P
	XAVC-L35 1080/25P	HD422 50/720/25P
	XAVC-I 720/50P	
	XAVC-L50 720/50P	

## exFAT/SDモード

Countryの設定	NTSC Area またはNTSC(J) Area	PAL Area
選択可能なビデオフォーマット	<b>DVCAM59.94i SQ</b>	<b>DVCAM50i SQ</b>
	DVCAM59.94i EC	DVCAM50i EC
	DVCAM29.97P SQ	DVCAM25P SQ
	DVCAM29.97P EC	DVCAM25P EC



## FAT/HDモード

Countryの設定	NTSC Area またはNTSC(J) Area	PAL Area
選択可能なビデオフォーマット	<b>HQ 1920×1080/59.94i</b> HQ 1440×1080/59.94i SP 1440×1080/59.94i HQ 1920×1080/29.97P HQ 1440×1080/29.97P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P SP 1440×1080/23.98P HQ 1280×720/59.94P HQ 1280×720/29.97P HQ 1280×720/23.98P	<b>HQ 1920×1080/50i</b> HQ 1440×1080/50i SP 1440×1080/50i HQ 1920×1080/25P HQ 1440×1080/25P HQ 1280×720/50P HQ 1280×720/25P

## FAT/SDモード

Countryの設定	NTSC Area またはNTSC(J) Area	PAL Area
選択可能なビデオフォーマット	<b>DVCAM59.94i SQ</b> DVCAM59.94i EC DVCAM29.97P SQ DVCAM29.97P EC	<b>DVCAM50i SQ</b> DVCAM50i EC DVCAM25P SQ DVCAM25P EC

# 出力のフォーマットと制限

## ビデオフォーマットと出力信号

### SDI OUT端子の出力フォーマット

SDI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニューの設定や再生するクリップのフォーマットに応じて出力されます。

下表に示す設定の場合は、出力フォーマットが変換されます。

#### ご注意

- フォーマットがUDF/HDモード、exFAT/HDモードまたはFAT/HDモードの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがSD SDI & SD HDMI iに設定されていると、SDにダウンコンバートされた信号が出力されます。
- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectが3G SDI & HD HDMI、HD SDI & HD HDMI、SD SDI & SD HDMI i以外に設定されているときは、SDI OUT端子からは信号は出力されません。

### 記録中／記録待機中

入力フォーマット	出力フォーマット	
OTHERSメニューの SystemのFormat	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	
	3G SDI & HD HDMI、 HD SDI & HD HDMI	SD SDI & SD HDMI i
59.94P(XAVC-L)	1920×1080/59.94P <sup>1)</sup> 1920×1080/59.94i <sup>4)</sup>	SD/59.94i <sup>4)</sup>
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD/59.94i
29.97P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/29.97PsF 1280×720/59.94P <sup>5)</sup>	SD/29.97PsF
23.98P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i <sup>2)</sup> 1920×1080/23.98PsF <sup>3)</sup> 1280×720/59.94P <sup>5)</sup>	SD/59.94i
23.98P(SP)	1920×1080/59.94i	
59.94P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	SD/59.94i <sup>4)</sup>
59.94i (DVCAM/IMX)	-	SD/59.94i
29.97P (DVCAM/IMX)	-	SD/29.97PsF
50P(XAVC-L)	1920×1080/50P <sup>1)</sup> 1920×1080/50i <sup>4)</sup>	SD/50i <sup>4)</sup>
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD/50i
25P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/25PsF 1280×720/50P <sup>5)</sup>	SD/25PsF
50P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	SD/50i <sup>4)</sup>
50i (DVCAM/IMX)	-	SD/50i
25P (DVCAM/IMX)	-	SD/25PsF

1)3G SDI & HD HDMI時

2)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが59.94i(2-3 Pull Down)のとき

3)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが23.98PsFのとき

4)プログレッシブからインターレースに変換したもの

5)フォーマットが720のとき

## 再生時

再生するクリップのフォーマット	出力フォーマット	
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	
	3G SDI & HD HDMI、 HD SDI & HD HDMI	SD SDI & SD HDMI i
59.94P(XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94P <sup>1)</sup> 1920×1080/59.94i <sup>4)</sup>	SD/59.94i <sup>4)</sup>
59.94i(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i	SD/59.94i
29.97P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/29.97PsF 1280×720/59.94P <sup>1)</sup>	SD/29.97PsF
23.98P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/59.94i <sup>2)</sup> 1920×1080/23.98PsF <sup>3)</sup> 1280×720/59.94P <sup>6)</sup>	SD/59.94i
23.98P(SP)	1920×1080/59.94i	
59.94P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	SD/59.94i <sup>4)</sup>
59.94i(DVCAM/IMX)	-	SD/59.94i
29.97P(DVCAM/IMX)	-	SD/29.97PsF
50P(XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50P <sup>1)</sup> 1920×1080/50i <sup>4)</sup>	SD/50i <sup>4)</sup>
50i(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i	SD/50i
25P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920×1080/25PsF 1280×720/50P <sup>5)</sup>	SD/25PsF
50P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	SD/50i <sup>4)</sup>
50i(DVCAM/IMX)	-	SD/50i
25P(DVCAM/IMX)	-	SD/25PsF

1)3G SDI & HD HDMI時

2)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが59.94i(2-3 Pull Down)で、再生クリップのフォーマットが1080のとき

3)VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが23.98PsFで、再生クリップのフォーマットが1080のとき

4)プログレッシブからインターレースに変換したもの

5)フォーマットが720のとき

6)再生クリップのフォーマットが720のとき。FAT/HQ 1280x720/23.98Pで記録されたPurePクリップ再生時も自動でブルダウン再生されます。

## サムネイル画面表示時

入力フォーマット	出力フォーマット	
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	
	3G SDI & HD HDMI、 HD SDI & HD HDMI	SD SDI & SD HDMI i
OTHERSメニューの SystemのFormat		
59.94P(XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/59.94i <sup>3)</sup>	SD/59.94i <sup>3)</sup>

入力フォーマット	出力フォーマット	
OTHERSメニューの SystemのFormat	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	
	3G SDI & HD HDMI、 HD SDI & HD HDMI	SD SDI & SD HDMI i
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/59.94i <sup>1)</sup> 1280×720/59.94P <sup>4)</sup>	SD/59.94i
29.97P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)		
23.98P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)		
23.98P(SP)		
59.94P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/59.94P	SD/59.94i <sup>3)</sup>
59.94i (DVCAM/IMX)	-	SD/59.94i
29.97P (DVCAM/IMX)	-	
50P(XAVC-I/XAVC-L)	1920×1080/50i <sup>3)</sup>	SD/50i <sup>3)</sup>
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920×1080/50i 1280×720/50P <sup>4)</sup>	SD/50i
25P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)		
50P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280×720/50P	SD/50i <sup>3)</sup>
50i (DVCAM/IMX)	-	SD/50i
25P (DVCAM/IMX)	-	

1) VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが59.94i(2-3 Pull Down)のとき

2) VIDEO SETメニューの23.98P OUTPUTが23.98PsFのとき

3) プログレッシブからインターレースに変換したもの

4) フォーマットが720のとき

## HDMI OUT端子の出力フォーマット

HDMI OUT端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニューや再生するクリップのフォーマットに応じて出力されます。

下表に示す設定の場合は、出力フォーマットが変換されます。

### ご注意

フォーマットがUDF/HDモード、exFAT/HDモードまたはFAT/HDモードの場合、VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O SelectがSD SDI & SD HDMI iに設定されていると、SDIにダウンコンバートされた信号が出力されます。

## 記録中／記録待機中

入力フォーマット	出力フォーマット		
OTHERSメニューの SystemのFormat	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	3G SDI & HD HDMI HD SDI & HD HDMI HD HDMI & HDV	SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & HDV SD HDMI i & DVCAM	SD HDMI P & HDV SD HDMI P
59.94P(XAVC-L)	1920x1080/59.94i <sup>1)</sup>	SD/59.94i <sup>1)</sup>	SD/59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920x1080/59.94i	SD/59.94i	SD/59.94P <sup>2)</sup>

入力フォーマット	出力フォーマット		
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
OTHERSメニューの SystemのFormat	3G SDI & HD HDMI HD SDI & HD HDMI HD HDMI & HDV	SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & HDV SD HDMI i & DVCAM	SD HDMI P & HDV SD HDMI P
29.97P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920x1080/29.97PsF 1280x720/59.94P <sup>3)</sup>	SD/29.97PsF	SD/59.94P
23.98P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920x1080/59.94i 1280x720/59.94P <sup>3)</sup>	SD/59.94i	
59.94P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280x720/59.94P	SD/59.94i <sup>1)</sup>	
59.94i (DVCAM/IMX)	-	SD/59.94i	-
29.97P (DVCAM/IMX)	-	SD/29.97PsF	-
50P(XAVC-L)	1920x1080/50i <sup>1)</sup>	SD/50i <sup>1)</sup>	SD/50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920x1080/50i	SD/50i	SD/50P <sup>2)</sup>
25P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920x1080/25PsF 1280x720/50P <sup>3)</sup>	SD/25PsF	SD/50P
50P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280x720/50P	SD/50i <sup>1)</sup>	
50i (DVCAM/IMX)	-	SD/50i	
25P (DVCAM/IMX)	-	SD/25PsF	-

1)プログレッシブからインターレースに変換したもの

2)インターレースからプログレッシブに変換したもの

3)フォーマットが720のとき

## 再生時

再生するクリップのフォーマット	出力フォーマット		
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	3G SDI & HD HDMI HD SDI & HD HDMI HD HDMI & HDV	SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & HDV SD HDMI i & DVCAM	SD HDMI P & HDV SD HDMI P
59.94P(XAVC-I/XAVC-L)	1920x1080/59.94i <sup>1)</sup>	SD/59.94i <sup>1)</sup>	SD/59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920x1080/59.94i	SD/59.94i	SD/59.94P <sup>2)</sup>
29.97P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920x1080/29.97PsF 1280x720/59.94P <sup>3)</sup>	SD/29.97PsF	SD/59.94P
23.98P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920x1080/59.94i 1280x720/59.94P <sup>4)</sup>	SD/59.94i	
59.94P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280x720/59.94P	SD/59.94i <sup>3)</sup>	
59.94i (DVCAM/IMX)	-	SD/59.94i	-
29.97P (DVCAM/IMX)	-	SD/29.97PsF	-
50P(XAVC-I/XAVC-L)	1920x1080/50i <sup>1)</sup>	SD/50i <sup>1)</sup>	SD/50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/SP)	1920x1080/50i	SD/50i	SD/50P <sup>2)</sup>
25P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920x1080/25PsF 1280x720/50P <sup>3)</sup>	SD/25PsF	SD/50P
50P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280x720/50P	SD/50i <sup>1)</sup>	
50i (DVCAM/IMX)	-	SD/50i	
25P (DVCAM/IMX)	-	SD/25PsF	-

1)プログレッシブからインターレースに変換したもの

- 2)インターレースからプログレッシブに変換したもの  
 3)フォーマットが720のとき  
 4)再生クリップのフォーマットが720のとき。FAT/HQ 1280x720/23.98Pで記録されたPurePクリップ再生時も自動でブルダウン再生されます。

## サムネイル画面表示時

入力フォーマット	出力フォーマット		
OTHERSメニューの SystemのFormat	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select		
	3G SDI & HD HDMI HD SDI & HD HDMI HD HDMI & HDV	SD SDI & SD HDMI i SD HDMI i & HDV SD HDMI i & DVCAM	SD HDMI P & HDV SD HDMI P
59.94P(XAVC-I/XAVC-L)	1920x1080/59.94i <sup>1)</sup>	SD/59.94i <sup>1)</sup>	SD/59.94P
59.94i (XAVC-I/XAVC-L/HD/ HQ/SP)	1920x1080/59.94i	SD/59.94i	SD/59.94P <sup>2)</sup>
29.97P(XAVC-I/XAVC-L/HD/ HQ)	1920x1080/59.94i 1280x720/59.94P <sup>3)</sup>		SD/59.94P
23.98P(XAVC-I/XAVC-L/HD/ HQ)	1920x1080/59.94i 1280x720/59.94P <sup>3)</sup>		
59.94P(XAVC-I/XAVC-L/HD/ HQ)	1280x720/59.94P	SD/59.94i <sup>1)</sup>	
59.94i (DVCAM/IMX)	-	SD/59.94i	-
29.97P (DVCAM/IMX)	-		-
50P(XAVC-I/XAVC-L)	1920x1080/50i <sup>1)</sup>	SD/50i <sup>1)</sup>	SD/50P
50i (XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ/ SP)	1920x1080/50i	SD/50i	SD/50P <sup>2)</sup>
25P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1920x1080/50i 1280x720/50P <sup>3)</sup>	SD/50i <sup>2)</sup>	SD/50P
50P(XAVC-I/XAVC-L/HD/HQ)	1280x720/50P		
50i (DVCAM/IMX)	-		-
25P (DVCAM/IMX)	-		-

- 1)プログレッシブからインターレースに変換したもの  
 2)インターレースからプログレッシブに変換したもの  
 3)フォーマットが720のとき

## VIDEO OUT端子の出力フォーマット

VIDEO OUT端子からは、SDI OUT端子またはHDMI OUT端子から出力されている信号と同じフォーマットのHD-Y信号（SDI OUT端子またはHDMI OUT端子の出力がHDのとき）またはアナログコンポジット信号（SDI OUT端子またはHDMI OUT端子の出力がSDのとき）が出力されます。

OTHERSメニューのSystemのCountryの設定と異なるシステムで記録されたクリップを再生する場合は、下表のとおりフレームレート変換された簡易再生信号が出力されます。

### Country の設定が NTSC Area/NTSC(J) Area のときに PAL システムで記録されたクリップを再生する場合

フレームレート変換のため、同じ絵が繰り返しとなるフレームがあります。

再生するクリップのビデオフォーマット	VIDEO OUT出力フォーマット	
	HD-Y	アナログコンポジット
XAVC-L50 1080/50P XAVC-L35 1080/50P XAVC-I 1080/50i XAVC-L50 1080/50i XAVC-L35 1080/50i XAVC-L25 1080/50i HD422 50/1080/50i HQ 1920×1080/50i HQ 1440×1080/50i SP 1440×1080/50i	1920×1080/60i	SD/59.94i
XAVC-I 1080/25P XAVC-L50 1080/25P XAVC-L35 1080/25P HD422 50/1080/25P HQ 1920×1080/25P HQ 1440×1080/25P	1920×1080/30PsF	SD/29.97PsF
XAVC-I 720/50P XAVC-L50 720/50P HD422 50/720/50P HQ 1280×720/50P	1280×720/60P	SD/59.94i
HD422 50/720/25P HQ 1280×720/25P		SD/29.97PsF
DVCAM50i SQ/EC	再生不可	再生不可
DVCAM25P SQ/EC		
IMX50/50i SQ/EC		
IMX50/25P SQ/EC		

## Country の設定が PAL Area のときに NTSC システムで記録されたクリップを再生する場合

フレームレート変換のため、間引かれるフレームがあります。

再生するクリップのビデオフォーマット	VIDEO OUT出力フォーマット	
	HD-Y	アナログコンポジット
XAVC-L50 1080/59.94P XAVC-L35 1080/59.94P XAVC-I 1080/59.94i XAVC-L50 1080/59.94i XAVC-L35 1080/59.94i XAVC-L25 1080/59.94i HD422 50/1080/59.94i HQ 1920×1080/59.94i HQ 1440×1080/59.94i SP 1440×1080/59.94i	1920×1080/49.95i	SD/50i
XAVC-I 1080/29.97P XAVC-L50 1080/29.97P XAVC-L35 1080/29.97P HD422 50/1080/29.97P HQ 1920×1080/29.97P HQ 1440×1080/29.97P  XAVC-I 1080/23.98P XAVC-L50 1080/23.98P XAVC-L35 1080/23.98P HD422 50/1080/23.98P HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P SP 1440×1080/23.98P	1920×1080/24.97PsF	SD/25PsF
XAVC-I 720/59.94P XAVC-L50 720/59.94P HD422 50/720/59.94P HQ 1280×720/59.94P  HD422 50/720/29.97P HQ 1280×720/29.97P  HD422 50/720/23.98P HQ 1280×720/23.98P	1280×720/49.95P	SD/50i  SD/25PsF
DVCAM59.94i SQ/EC DVCAM29.97P SQ/EC IMX50/59.94i SQ/EC IMX50/29.97P SQ/EC	再生不可	再生不可

## i.LINK I/O端子の出力フォーマット

i.LINK I/O端子からのシリアルデジタル信号は、セットアップメニューや再生するクリップのフォーマットの設定に応じて、下表に示すフォーマットで出力されます。

### ご注意

- OTHERSメニューのF.Sys.がUDFまたはexFATに設定されているときは、i.LINK I/O端子からは信号は出力されません。
- VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Selectが3G SDI & HD HDMI、HD SDI & HD HDMI、SD SDI & SD HDMI i、SD HDMI Pに設定されているときは、i.LINK I/O端子からは信号は出力されません。



## 撮影時（記録中 / 記録待機中） / クリップ再生時

撮影時：OTHERSメニュー のSystemのFormat 再生時：再生するクリップ のビデオフォーマット	出力フォーマット	
	VIDEO SETメニューのSDI/HDMI/i.LINK I/O Select	
	HD HDMI & HDV SD HDMI i & HDV SD HDMI P & HDV	SD HDMI i & DVCAM
HQ 1920×1080/59.94i HQ 1440×1080/59.94i	無信号	SD/59.94i
HQ 1920×1080/29.97P HQ 1440×1080/29.97P		SD/29.97PsF
HQ 1920×1080/23.98P HQ 1440×1080/23.98P		無信号
SP 1440×1080/59.94i	1440×1080/59.94i	SD/59.94i
SP 1440×1080/23.98P	1440×1080/59.94i <sup>1)</sup>	SD/59.94i <sup>1)</sup>
HQ 1280×720/59.94P	無信号	SD/59.94i <sup>2)</sup>
HQ 1280×720/29.97P		SD/29.97PsF
HQ 1280×720/23.98P		無信号
DVCAM59.94i SQ/EC		SD/59.94i
DVCAM29.97P SQ/EC		SD/29.97PsF
HQ 1920×1080/50i HQ 1440×1080/50i	無信号	SD/50i
HQ 1920×1080/25P HQ 1440×1080/25P		SD/25PsF
SP 1440×1080/50i		SD/50i
HQ 1280×720/50P	無信号	SD/50i <sup>3)</sup>
HQ 1280×720/25P		SD/25PsF
DVCAM50i SQ/EC		SD/50i
DVCAM25P SQ/EC		SD/25PsF

1) 23.98Pを2-3プルダウンして59.94iとしたもの

2) 59.94Pから59.94iに変換したもの

3) 50Pから50iに変換したもの

## 入出力制限

メニューの設定によって、下表のとおり入出力が制限されます。

×：無信号

メニュー設定		出力						入力
System		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select	SDI OUT	HDMI OUT	i.LINK	VIDEO OUT	A/V OUT	i.LINK
F.Sys.	HD/SD							
UDF	HD	HD SDI & HD HDMI	HD	HD	×	HD-Y	×	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		SD HDMI P	×	SD-P	×	×	×	×
		Off	×	×	×	Composite	Composite	×
exFAT	HD	3G SDI & HD HDMI	3G <sup>1)</sup> HD	HD	×	HD-Y <sup>2)</sup>	×	×
		HD SDI & HD HDMI	HD	HD	×	HD-Y <sup>2)</sup>	×	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite <sup>2)</sup>	Composite <sup>2)</sup>	×
		SD HDMI P	×	SD-P	×	×	×	×
FAT	HD/HQ	OFF	×	×	×	Composite <sup>2)</sup>	Composite <sup>2)</sup>	×
		HD SDI & HD HDMI	HD	HD	×	HD-Y	×	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		SD HDMI i & DVCAM	×	SD	DVCAM	Composite	Composite	DVCAM
	HD/SP	SD HDMI P	×	SD-P	×	×	×	×
		Off	×	×	×	Composite	Composite	×
		HD SDI & HD HDMI	HD	HD	×	HD-Y	×	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		HD HDMI & HDV	×	HD	HDV	HD-Y	×	HDV
		SD HDMI i & HDV	×	SD	HDV	Composite	Composite	HDV
		SD HDMI P & HDV	×	SD-P	HDV	×	×	HDV
		SD HDMI i & DVCAM	×	SD	DVCAM	Composite	Composite	DVCAM
	UDF/ exFAT	Off	×	×	×	Composite	Composite	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
		OFF	×	×	×	Composite	Composite	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×
FAT	SD	SD HDMI i & DVCAM	×	SD	DVCAM	Composite	Composite	DVCAM
		OFF	×	×	×	Composite	Composite	×
		SD SDI & SD HDMI i	SD	SD	×	Composite	Composite	×

<sup>1)</sup>SystemのFormat、再生クリップのフォーマットが1920x1080/59.94P,50Pのとき

<sup>2)</sup>SystemのFormat設定が1920x1080/59.94P、50Pのとき×（無信号）となります。

## ビデオフォーマットと記録機能

各ビデオフォーマットと記録機能の対応の可否は以下のとおりです。

### Country が NTSC Area または NTSC(J) Area のとき

System			通常 記 録	インターバル レック		クリップ コンティ ニュアス レック	ピク チャー キャッ シュレック	スロー & クイック モーショ ン	プロキ シー記録	2スロッ ト同時記 録
HD/ SD	F.Sys.	Format		フレームレック						
				SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select						
				右記 以外	HDV または DVCAM					
HD	UDF	MXF	○	○	—	○	○	—	○	○
		HD422 50/ 1080/59.94i								
		HQ 1920x1080/ 59.94i								
		HQ 1440x1080/ 59.94i								
		HD422 50/ 1080/ 29.97P, 23. 98P	○	○	—	○	○	○	○	○
		HQ 1920x1080/ 29.97P, 23. 98P								
		HD422 50/ 720/59.94P								
		HQ 1280x720/ 59.94P								
		HQ 1440x1080/ 29.97P, 23. 98P	○	○	—	○	○	—	○	○
		HD422 50/ 720/ 29.97P, 23. 98P	○	○	—	○	○	○	—	○
		HQ 1280x720/ 23.98P	○	—	—	○	○	—	—	○
	exFAT	XAVC- L50, L35 1080/ 59.94p	○	○	—	○	○	—	—	○

System			通常 記録	インターバル レック		クリップ コンティ ニュアス レック	ピク チャー キャッ シュレック	スロー & クイック モーショ ン	プロキ シー記録	2スロッ ト同時記 録
				フレームレック						
HD/ SD	F.Sys.	Format		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select						
				右記 以外	HDV または DVCAM					
HD	exFAT	MXF	○	○	—	○	○ <sup>1)</sup>	—	○	○
		XAVC-I 1080/59.94i								
		XAVC- L50,L35,L2 5 1080/ 59.94i	○	○	—	○	○	—	○	○
		XAVC-I 1080/ 29.97p,23. 98P	○	○	—	○	○ <sup>1)</sup>	○	○	○
		XAVC-I 720/59.94p								
		XAVC- L50,L35 1080/ 29.97p	○	○	—	○	○	○	○	○
		XAVC- L50,L35 1080/ 23.98p								
		XAVC-L50 720/59.94p								
		HD422 50/ 1080/59.94i	○	○	—	○	○	—	○	○
		HQ 1920x1080/ 59.94i								
		HQ 1440x1080/ 59.94i								
		HD422 50/ 1080/ 29.97P,23. 98P	○	○	—	○	○	○	○	○
		HQ 1920x1080/ 29.97P,23. 98P								
		HD422 50/ 720/59.94P								

System			通常 記録	インターバル レック		クリップ コンティ ニュアス レック	ピク チャー キャッ シュレック	スロー & クイック モーショ ン	プロキ シー記録	2スロッ ト同時記 録
				フレームレック						
HD/ SD	F.Sys.	Format		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select						
				右記 以外	HDV または DVCAM					
HD	exFAT	MXF	○	○	—	○	○	○	○	○
		HQ 1280x720/ 59.94P								
		HQ 1440x1080/ 29.97P,23. 98P	○	○	—	○	○	—	○	○
		HD422 50/ 720/ 29.97P,23. 98P	○	○	—	○	○	○	—	○
		HQ 1280x720/ 23.98P	○	—	—	○	○	—	—	○
	FAT	MP4	○	○	—	—	○	—	○	—
		HQ 1920x1080/ 59.94i								
		HQ 1440x1080/ 59.94i,29.9 7P								
		SP 1440x1080/ 59.94i								
		HQ 1920x1080/ 29.97P	○	○	—	—	○	○	○	—
		HQ 1280x720/ 59.94P								
		HQ 1920x1080/ 23.98P	○	○	○	—	○	○	○	—
		HQ 1440x1080/ 23.98P	○	○	○	—	○	—	○	—
		SP 1440x1080/ 23.98P	○	—	—	—	○	—	—	—
		HQ 1280x720/ 29.97P	○	○	—	—	○	○	—	—
		HQ 1280x720/ 23.98P	○	○	○	—	○	○	—	—

System			通常 常 記 録	インターバル レック		クリップ コンティ ニュアス レック	ピク チャー キャッ シュレック	スロー & クイック モーショ ン	プロキ シー記録	2スロッ ト同時記 録
				フレームレック						
HD/ SD	F.Sys.	Format		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select						
				右記 以外	HDV または DVCAM					
SD	UDF	MXF	○	○	—	○	○	—	—	—
		IMX50 59.94i,29.9 7P								
		DVCAM59. 94i,29.97P								
	exFAT	MXF	○	○	—	○	○	—	—	—
		DVCAM59. 94i,29.97P								
	FAT	AVI	○	○	—	—	○	—	—	—
	DVCAM59. 94i,29.97P									

1)OTHERSメニュー>System>FormatでXAVC-Iを選択している場合は、蓄積時間は最大4秒です。

## Country が PAL Area のとき

System			通常記録	インターバル レック		クリップ コンティ ニュアス レック	ピク チャー キャッ シュレック	スロー & クイック モーショ ン	プロキ シー記録	2スロッ ト同時記 録
				フレームレック						
HD/ SD	F.Sys.	Format		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select						
				右記 以外	HDV または DVCAM					
HD	UDF	MXF	○	○	—	○	○	—	○	○
		HD422 50/ 1080/50i								
		HQ 1920 x 1080 /50i								
		HQ 1440x1080/ 50i								
		HD422 50/ 1080/25P	○	○	—	○	○	○	○	○
		HQ 1920x1080/ 25P								
		HD422 50/ 720/50P								
		HQ 1280x720/ 50P								

System			通常 記録	インターバル レック		クリップ コンティ ニュアス レック	ピク チャー キャッ シュレック	スロー & クイック モーショ ン	プロキ シー記録	2スロッ ト同時記 録
				フレームレック						
HD/ SD	F.Sys.	Format		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select						
				右記 以外	HDV または DVCAM					
	exFAT	MXF	○	○	—	○	○	—	○	○
		HQ 1440x1080/ 25P								
		HD422 50/ 720/25P	○	○	—	○	○	○	—	○
		XAVC- L50,L35 1080/50p	○	○	—	○	○	—	—	○
		XAVC-I 1080/50i	○	○	—	○	○ <sup>1)</sup>	—	○	○
		XAVC- L50,L35,L2 5 1080/50i	○	○	—	○	○	—	○	○
		XAVC-I 1080/25p	○	○	—	○	○ <sup>1)</sup>	○	○	○
		XAVC-I 720/ 50p								
		XAVC- L50,L35 1080/25p	○	○	—	○	○	○	○	○
		XAVC-L50 720/50p								
		HD422 50/ 1080/50i	○	○	—	○	○	—	○	○
		HQ 1920 x 1080 /50i								
		HQ 1440x1080/ 50i	○	○	—	○	○	—	○	○
		HD422 50/ 1080/25P	○	○	—	○	○	○	○	○
		HQ 1920x1080/ 25P								
		HD422 50/ 720/50P								
		HQ 1280x720/ 50P								
		HQ 1440x1080/ 25P	○	○	—	○	○	—	○	○
		HD422 50/ 720/25P	○	○	—	○	○	○	—	○

System			通常記録	インターバル レック		クリップ コンティ ニュアス レック	ピク チャー キャッ シュレック	スロー & クイック モーショ ン	プロキ シー記録	2スロッ ト同時記 録
				フレームレック						
HD/ SD	F.Sys.	Format		SDI/HDMI/ i.LINK I/O Select						
				右記 以外	HDV または DVCAM					
	FAT	MP4	○	○	—	—	○	—	○	—
		HQ 1920x1080/ 50i								
		HQ 1440x1080/ 50i								
		SP 1440x1080/ 50i								
		HQ 1920x1080/ 25P	○	○	—	—	○	○	○	—
		HQ 1280x720/ 50P								
		HQ 1440x1080/ 25P	○	○	—	—	○	—	○	—
		HQ 1280x720/ 25P	○	○	—	—	○	○	—	—
SD	UDF	MXF	○	○	—	○	○	—	—	—
		IMX50 50i,25P								
		DVCAM50i, 25P								
	exFAT	DVCAM50i, 25P	○	○	—	○	○	—	—	—
	FAT	AVI	○	○	—	—	○	—	—	—
		DVCAM50i, 25P								

1)OTHERSメニュー>System>FormatでXAVC-Iを選択している場合は、蓄積時間は最大4秒です。



# バックアップ電池の交換

本機はバックアップ電池によって各種データを保持します。

工場出荷時に、バックアップ用リチウム電池CR2032が装着されています。

バッテリーパックやACアダプターをはずした状態でも、バックアップ電池によって日付・時刻、およびFree Runモードのタイムコードを保持し歩進させます。

## ⚠ 警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

## バックアップ電池の交換時期

バックアップ電池の電圧が低下すると、LCDモニター /EVF画面に警告メッセージが表示されます。

できるだけ早く新しい電池と交換してください。

## ご注意

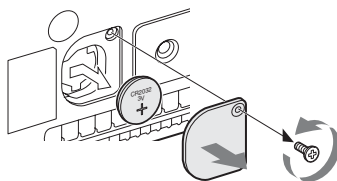
- 市販のCR2032リチウム電池を使用してください。指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。
- CR2032が入手できない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
- 使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

## バックアップ電池を交換する

## ご注意

- バックアップ電池を交換するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。
- はずしたネジを本体内に落とさないようにご注意ください。

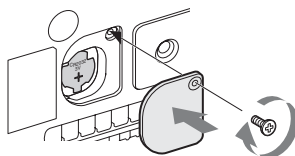
- 1 底面のバックアップ電池取り付け部（13ページ）のネジをはずしてカバーを開け、非金属の棒状のもので電池を横にずらして取り出す。



- 2 +表示を外側にして新しいバックアップ電池（CR2032）を入れる。



- 3 カバーを元どおり取り付け。



# トラブル時の対処

## 電源

症状	原因	対処
電源スイッチをONにしても電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付ける（18ページ）か、ACアダプター（BC-U1/BC-U2）を使用してAC電源に接続する（19ページ）。
	バッテリーパックが完全に消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（18ページ）。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する（18ページ）。
バッテリーパックがすぐ消耗する。	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
	充電が不十分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す（18ページ）。フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックに交換してください。

## 記録・再生

症状	原因	対処
REC START/STOPボタンを押しても記録が始まらない。	電源スイッチがOFFになっている。	電源スイッチをONにする。
	SxSメモリーカードがプロテクトされている。	プロテクトを解除するか、またはプロテクトされていないSxSメモリーカードに交換する。
	SxSメモリーカードの容量がいっぱいになっている。	十分な空き容量のあるSxSメモリーカードに交換する。
	修復が必要なSxSメモリーカードが入っている。	SxSメモリーカードを修復する（24ページ）。
PLAYボタンを押しても再生が始まらない。	電源スイッチがOFFになっている。	電源スイッチをONにする。
付属のリモコンが動かない	リモコン操作が無効になっている。	リモコン操作を有効にする（21ページ）。
	リモコンの電池が消耗している。	電池を交換する（22ページ）。
音声記録できない。	AUDIO LEVEL CH-1/CH-2調整つまみが最小の位置になっている。	AUDIO LEVEL CH-1/CH-2調整つまみの設定を調整する（40ページ）。
記録した音声ひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVEL CH-1/CH-2調整つまみを調節して、記録し直す（40ページ）。
雑音が多い。	音声レベルが低すぎる。	AUDIO LEVEL CH-1/CH-2調整つまみを調節して、記録し直す（40ページ）。

## 外部機器

症状	原因	対処
i.LINK接続しても接続先の機器に画像が映らないなど、接続先の機器が反応しない。	認識するまでに時間がかかる場合がある。	約15秒間、そのまま待つ。それでも認識しないときは、以下を行う。 <ul style="list-style-type: none"><li>• i.LINKケーブルを差し込み直すなどして、接続状態を確認する。</li><li>• 電源をOFFにして、接続し直す。</li><li>• i.LINKケーブルを交換する。</li></ul>

## ワイヤレスLAN使用时

### ご注意

本機とワイヤレスLANアクセスポイントまたは端末機器間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなったり、接続できなくなることがあります。本機の場合を移動したり、本機とアクセスポイントまたは端末機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対処
端末機器から本機にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"><li>• ワイヤレスLANの接続(IPアドレスなど)を確認してください</li><li>• アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。</li></ul>
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。
本機のWebメニューが表示できない	<ul style="list-style-type: none"><li>• IPアドレスを確認してください。</li><li>• ポート番号「:8080」が付加されているか確認してください。</li></ul>
ワイヤレスLANが使えない	未対応のワイヤレスLANモジュールの可能性があります。対応しているワイヤレスLANモジュールについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

## インターネット接続

症状	対処
モデムを認識しない	未対応のモデムの可能性があります。対応しているモデムについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	3G/4G/LTEの電波状態が悪い可能性があります。移動して再度試してください。

## Wired LAN接続

症状	対処
「E03-007 IP Address Setting Error」が出る	ワイヤレスLANとIP Address設定のネットワークアドレスが衝突しています。アドレスを手動で変更、またはお使いのネットワークルーターの設定を変更してください。

## エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、LCDモニター / EVF画面のメッセージ表示、タリーランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

警告音の音量は、AUDIO SETメニューのAudio Output（126ページ）のAlarm Levelで設定します。

### エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。LCDモニター／EVF画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチをOFFにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源もはずしてください。)

### 警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

(OTHERSメニューのLanguageをEnglishに設定した場合、メッセージは英文で表示されます。)

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
メディア残量がわずかです Media Near Full	断続音	点滅	SxSメモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。 2スロット同時記録モード時は、「Media(A) <sup>2</sup> Near Full」が表示されます。
メディア残量がありません Media Full	連続音	高速点滅	SxSメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。 交換してください。 2スロット同時記録モード時は、「Media(A) <sup>2</sup> Full」が表示されます。
SD Card残量がありません SD Card Full	連続音	高速点滅	SDカードの残量がないため、記録できません。 交換してください。
バッテリー残量がわずかです Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
バッテリー残量がありません Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリ ランプ	原因と対策
警告温度になりました Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 いったん電源を切り、温度が下がるまで使用 を中止してください。
電源電圧が低下しています Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています（段階1）。供 給電源を確認してください。
電源電圧が不足しています Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます（段階2）。記録はで きません。 他の電源に接続しなおしてください。
HDD A <sup>1</sup> バッテリー残量が僅かです HDD A <sup>1</sup> Battery Near End	断続音	点滅	HDDのバッテリーの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
HDD A <sup>1</sup> バッテリー残量不足です HDD A <sup>1</sup> Battery End	連続音	高速点滅	HDDのバッテリーが消耗しました。記録はで きません。 いったん操作を中止し、バッテリーを交換し てください。
メディア(A) <sup>2</sup> のみ記録しています (2スロット同時記録時) Record Only Media(A) <sup>2</sup>		点滅	2スロット同時記録モードで片側のメディアに だけ記録している状態です。2スロット同時記 録するには、記録を一旦停止し、両方のス ロットに記録可能なメディアを挿入してくだ さい。
ビデオライトのバッテリー残量が 僅かです Video Light Battery Near End	断続音	点滅	マルチインターフェースシューに装着したビ デオライトのバッテリー残量が少なくなっ ています。 早い機会に交換してください。
このバッテリーは使用できません 交換してください Battery Error Please Change Battery			バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
バックアップ電池残量がありませ ん 交換してください Backup Battery End Please Change			バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を交換してください。
メディア(A) <sup>2</sup> は使用できません 交換してください Unknown Media(A) <sup>2</sup> Please Change			パーティションが切られているメモリーカー ドや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録 されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してくだ さい。
メディアエラーが発生しました メディア(A) <sup>2</sup> は修復が必要です Media Error Media(A) <sup>2</sup> Needs to be Restored			メモリーカードに異常が発生し、修復が必要 な状態になりました。 メモリーカードを一度抜いてから再挿入して、 カードの修復を行ってください。
メディアエラーが発生しました メディア(A) <sup>2</sup> は記録できません Media Error Cannot Record to Media(A) <sup>2</sup>			メモリーカードが故障して、記録ができな くなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、 新しいメモリーカードに交換することをお勧 めします。
メディアエラーが発生しました メディア(A) <sup>2</sup> は使用できません Media Error Cannot Use Media(A) <sup>2</sup>			メモリーカードが故障して記録も再生もでき なくなりました。 本機では扱えませんが、他のカードに交換 してください。
まもなくスロットを切り替えます Will Switch Slots Soon			2枚のメモリーカードで連続記録を実行するた めスロットを切り換えることを予告するメッ セージです。
クリップがありません No Clip			メモリーカード内にクリップがありません。 選択しているカードを確認してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリ-ランブ	原因と対策
メディア(A) <sup>2)</sup> は使用できません ファイルシステムが異なります Cannot Use Media(A) <sup>2)</sup> Unsupported File System			ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
このファイルシステムでは メディア(A) <sup>2)</sup> は使用できません。 In This File System Cannot Use Media(A) <sup>2)</sup>			このファイルシステムでは使用できないメモリーカードが挿入されました。 対象スロットのカードを交換または本機でフォーマットするか、F.Sys.モードを切り換えてください。
同名のクリップが存在します メディア(A) <sup>2)</sup> を交換してください Same File Already Exists Change Media(A) <sup>2)</sup>			コピー先のメモリーカード内に同じ名前のクリップがあります。 対象スロットのカードを他のカードに交換してください。
ビデオフォーマットが違います Video Format Mismatch			Format設定が外部入力信号フォーマットと異なっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 OTHERSメニューのSystemのFormatを外部入力信号に合わせて設定し直してください。
コピー制御信号を検出しました 記録できません Copy Protected Input Cannot Record			ストリームにコピープロテクトがかかっているため、i.LINK接続による外部入力信号を記録できません。 入力信号を確認してください。
メディアエラーが発生しました 再生を停止しました Media Error Playback Halted			メモリーカードからの読み出しにエラーが発生したため、再生が続けられません。 頻繁に起きる場合には、コピーをとるなどをして、メモリーカードを交換してください。
メディア(A) <sup>2)</sup> にエラーが発生しました Media(A) <sup>2)</sup> Error			メモリーカードに異常が発生したため、記録できません。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
書き換え寿命に達しました メディア(A) <sup>2)</sup> を交換してください Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) <sup>2)</sup>			メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 ◆詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
最大クリップ数になりました コピーしました xx/xx Reached Clip Number Limit Copy Completed to xx/xx			1枚のメモリーカードに記録可能な最大クリップ数に達したため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
メディア残量が足りません コピーしました xx/xx Not Enough Capacity Copy Completed to xx/xx			メモリーカードの残量が足りないため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
同名のクリップが複数存在します コピーしました xx/xx Reached Duplication Limit Copy Completed to xx/xx			同名のクリップが10以上存在するため、コピーできません (xx/xxまでコピー完了しています)。 カードを交換してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 メディアがありません Copy Error! (CANCEL:Abort) No Media!			メモリーカードがスロットに挿入されていません。 カードを挿入してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリーランプ	原因と対策
エラーが発生しました キャンセル：中止 書き込み禁止メディア Copy Error! (CANCEL:Abort) Media Write Protected			メモリーカードにライトプロテクトがかかっています。 スロットからカードを取り出して、ライトプロテクトを解除してください。
エラーが発生しました キャンセル：中止 メディア(A) <sup>2)</sup> は使用できません Copy Error! (CANCEL:Abort) Cannot Use Media(A) <sup>2)</sup>			使用できないメモリーカードが挿入されました。 対象スロットのカードを交換してください。
Generalファイルのコピー コピーできません Copy General Files NG: Cannot Copy			Generalファイルのコピーに失敗しました。 コピーをやり直してください。
異なるメディアが挿入されました メディア(A) <sup>2)</sup> は使用できません Different Media is Inserted Cannot Use Media(A) <sup>2)</sup>			異なる種類のカードが挿入されました。 後から挿入したカードを、前に挿入したカードと同じ種類のカードに交換してください。
ファイルシステムが異なります Unsupported File System			ファイルシステムが異なるメモリーカードが挿入されました。 カードを交換または本機でフォーマットするか、F.Sys. モードを切り換えてください。
SD Cardへは記録できません NG: メディアが書き込み禁止です Cannot Record to SD Card NG: Media Write Protected			SDカードにライトプロテクトがかかっています。 スロットからカードを取り出して、ライトプロテクトを解除してください。
SD Cardへは記録できません 最大クリップ数になりました Cannot Record to SD Card Reached Clip Number Limit			1枚のSDカードに記録可能な最大クリップ数に達したため、記録できません。カードを交換してください。
プロキシ記録できません NG: 準備中です Cannot Record Proxy NG:Preparing			プロキシ記録機能の準備中です。しばらくお待ちください。
MIシューへは電源供給されません Power supply to MI Shoe disabled			NW&Proxy/USBをNetwork&Proxyに設定しているときにマルチインターフェースシューに本機から電源供給が必要なアクセサリを装着した場合、電源供給されません。
プロキシ記録できません Cannot Record Proxy			ストリーミングを開始するとSD Cardへのプロキシ記録はできなくなります。 記録中の場合は、記録が停止します。プロキシ記録する場合は、ストリーミングを停止してください。 また、ネットワーククライアントモードをNCM with Proxy>Disableで有効にすると、プロキシ記録ができなくなります。
プロキシ記録は停止します Proxy Recording will be stopped			プロキシ記録中にネットワーククライアントモードをNCM with Proxy>Disableで有効にすると、プロキシ記録が停止します。
非対応のデバイスです Unsupported Device			外部機器端子に非対応のデバイスが装着されています。電源を切り、デバイスを交換してください。
ストリーミングを開始できません Dest.Addressが不正です Cannot Start Streaming Invalid Dest. Address			ストリーミング設定のDest.Addressに入力したアドレスが間違っている可能性があります。正しい値を入力してください。

LCD/EVF警告表示	警告音	タリ ランプ	原因と対策
ポート番号が不正です Invalid Number			ストリーミング設定のDest.Portに使用できないポート番号が入力された可能性があります。正しい値を入力してください。
CCMに接続できません Cannot Connect to CCM			ネットワーククライアントモードは有効ですが、ネットワーク接続していないため、CCMに接続できません。ネットワーク接続設定を確認してください。
CCMに接続できません ユーザー名またはパスワードが不正です Cannot Connect to CCM Invalid User Name or Password			ネットワーククライアントモードでCCMに接続するためのユーザー名またはパスワードが間違っている可能性があります。正しく設定されているか確認してください。
CCMに接続できません アドレスまたはポート番号が不正です Cannot Connect to CCM Invalid Address or Port Number			ネットワーククライアントモードで接続先のCCMのアドレスが間違っているか、使用できないポート番号が入力された可能性があります。正しい値を入力してください。
CCMに接続できません サーバー証明書がまだ有効ではありません Cannot Connect to CCM Certificate is not yet valid			CCMの証明書が有効ではありません。日付設定が不正である可能性があります。日付の設定を確認してください。
1)スロットBに接続したHDDの場合はB			
2)スロットBに入れたカードの場合は(B)			



# ライセンスについて

## MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

(i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。

(ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

## ビットマップフォントについて

本製品は、株式会社リコーがデザイン制作したリコービットマップフォントを使用しています。

## END USER LICENSE AGREEMENT

### IMPORTANT:

BEFORE USING THE SOFTWARE CONTAINED IN THE CAMCORDER, PLEASE READ THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA") CAREFULLY. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE ACCEPTING THE TERMS OF THIS EULA. IF YOU DO NOT ACCEPT THE TERMS OF THIS EULA, YOU MAY NOT USE THE SOFTWARE.

This EULA is a legal agreement between you and Sony Corporation ("SONY"). This EULA governs your rights and obligations regarding the software of SONY and/or its third party licensors (including SONY's affiliates) and their respective affiliates (collectively, the "THIRD-PARTY SUPPLIERS") contained in the camcorder, together with any updates/upgrades provided by SONY, any printed, on-line or other electronic documentation for such software, and any data files created by operation of such software (collectively, the "SOFTWARE").

Notwithstanding the foregoing, any software in the SOFTWARE having a separate end user license agreement (including, but not limited to, GNU General Public license and Lesser/Library General Public License) shall be covered by such applicable separate end user license agreement in lieu of the terms of this EULA to the extent required by such separate end user license agreement ("EXCLUDED SOFTWARE").

## SOFTWARE LICENSE

The SOFTWARE is licensed, not sold. The SOFTWARE is protected by copyright and other intellectual property laws and international treaties.

## COPYRIGHT

All right and title in and to the SOFTWARE (including, but not limited to, any images, photographs, animation, video, audio, music, text and "applets" incorporated into the SOFTWARE) is owned by SONY or one or more of the THIRD-PARTY SUPPLIERS.

## GRANT OF LICENSE

SONY grants you a limited license to use the SOFTWARE solely in connection with the camcorder and only for your individual use. SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS expressly reserve all rights, title and interest (including, but not limited to, all intellectual property rights) in and to

the SOFTWARE that this EULA does not specifically grant to you.

## **REQUIREMENTS AND LIMITATIONS**

You may not copy, publish, adapt, redistribute, attempt to derive source code, modify, reverse engineer, decompile, or disassemble any of the SOFTWARE, whether in whole or in part, or create any derivative works from or of the SOFTWARE unless such derivative works are intentionally facilitated by the SOFTWARE. You may not modify or tamper with any digital rights management functionality of the SOFTWARE. You may not bypass, modify, defeat or circumvent any of the functions or protections of the SOFTWARE or any mechanisms operatively linked to the SOFTWARE. You may not separate any individual component of the SOFTWARE for use on more than one camcorder unless expressly authorized to do so by SONY. You may not remove, alter, cover or deface any trademarks or notices on the SOFTWARE. You may not share, distribute, rent, lease, sublicense, assign, transfer or sell the SOFTWARE. The software, network services or other products other than SOFTWARE upon which the SOFTWARE'S performance depends might be interrupted or discontinued at the discretion of the suppliers (software suppliers, service suppliers, or SONY). SONY and such suppliers do not warrant that the SOFTWARE, network services, contents or other products will continue to be available, or will operate without interruption or modification.

## **EXCLUDED SOFTWARE AND OPEN SOURCE COMPONENTS**

Notwithstanding the foregoing limited license grant, you acknowledge that the SOFTWARE may include EXCLUDED SOFTWARE. Certain EXCLUDED SOFTWARE may be covered by open source software licenses ("Open Source Components"), which means any software

licenses approved as open source licenses by the Open Source Initiative or any substantially similar licenses, including but not limited to any license that, as a condition of distribution of the software licensed under such license, requires that the distributor make the software available in source code format. If and to the extent disclosure is required, please visit [www.sony.com/linux](http://www.sony.com/linux) or other SONY-designated web site for a list of applicable OPEN SOURCE COMPONENTS included in the SOFTWARE from time to time, and the applicable terms and conditions governing its use. Such terms and conditions may be changed by the applicable third party at any time without liability to you. To the extent required by the licenses covering EXCLUDED SOFTWARE, the terms of such licenses will apply in lieu of the terms of this EULA. To the extent the terms of the licenses applicable to EXCLUDED SOFTWARE prohibit any of the restrictions in this EULA with respect to such EXCLUDED SOFTWARE, such restrictions will not apply to such EXCLUDED SOFTWARE. To the extent the terms of the licenses applicable to Open Source Components require SONY to make an offer to provide source code in connection with the SOFTWARE, such offer is hereby made.

## **USE OF SOFTWARE WITH COPYRIGHTED MATERIALS**

The SOFTWARE may be capable of being used by you to view, store, process and/or use content created by you and/or third parties. Such content may be protected by copyright, other intellectual property laws, and/or agreements. You agree to use the SOFTWARE only in compliance with all such laws and agreements that apply to such content. You acknowledge and agree that SONY may take appropriate measures to protect the copyright of content stored, processed or used by the SOFTWARE.

Such measures include, but are not limited to, counting the frequency of your backup and restoration through certain SOFTWARE features, refusal to accept your request to enable restoration of data, and termination of this EULA in the event of your illegitimate use of the SOFTWARE.

### **CONTENT SERVICE**

PLEASE ALSO NOTE THAT THE SOFTWARE MAY BE DESIGNED TO BE USED WITH CONTENT AVAILABLE THROUGH ONE OR MORE CONTENT SERVICES ("CONTENT SERVICE"). USE OF THE SERVICE AND THAT CONTENT IS SUBJECT TO THE TERMS OF SERVICE OF THAT CONTENT SERVICE. IF YOU DECLINE TO ACCEPT THOSE TERMS, YOUR USE OF THE SOFTWARE WILL BE LIMITED. You acknowledge and agree that certain content and services available through the SOFTWARE may be provided by third parties over which SONY has no control. USE OF THE CONTENT SERVICE REQUIRES AN INTERNET CONNECTION. THE CONTENT SERVICE MAY BE DISCONTINUED AT ANY TIME.

### **INTERNET CONNECTIVITY AND THIRD PARTY SERVICES**

You acknowledge and agree that access to certain SOFTWARE features may require an Internet connection for which you are solely responsible. Further, you are solely responsible for payment of any third party fees associated with your Internet connection, including but not limited to Internet service provider or airtime charges. Operation of the SOFTWARE may be limited or restricted depending on the capabilities, bandwidth or technical limitations of your Internet connection and service. The provision, quality and security of such Internet connectivity are the sole responsibility of the third party providing such service.

### **EXPORT AND OTHER REGULATIONS**

You agree to comply with all applicable export and re-export restrictions and regulations of the area or country in which you reside, and not to transfer, or authorize the transfer, of the SOFTWARE to a prohibited country or otherwise in violation of any such restrictions or regulations.

### **HIGH RISK ACTIVITIES**

The SOFTWARE is not fault-tolerant and is not designed, manufactured or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the SOFTWARE could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage ("HIGH RISK ACTIVITIES"). SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS, and each of their respective affiliates specifically disclaim any express or implied warranty, duty or condition of fitness for HIGH RISK ACTIVITIES.

### **EXCLUSION OF WARRANTY ON SOFTWARE**

You acknowledge and agree that use of the SOFTWARE is at your sole risk and that you are responsible for use of the SOFTWARE. The SOFTWARE is provided "AS IS," without warranty, duty or condition of any kind.

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES, DUTIES OR CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, NONINFRINGEMENT AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. SONY DOES

NOT WARRANT OR MAKE ANY CONDITIONS OR REPRESENTATIONS (A) THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN ANY OF THE SOFTWARE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS OR THAT THEY WILL BE UPDATED, (B) THAT THE OPERATION OF ANY OF THE SOFTWARE WILL BE CORRECT OR ERROR-FREE OR THAT ANY DEFECTS WILL BE CORRECTED, (C) THAT THE SOFTWARE WILL NOT DAMAGE ANY OTHER SOFTWARE, HARDWARE OR DATA, (D) THAT ANY SOFTWARE, NETWORK SERVICES (INCLUDING THE INTERNET) OR PRODUCTS (OTHER THAN THE SOFTWARE) UPON WHICH THE SOFTWARE'S PERFORMANCE DEPENDS WILL CONTINUE TO BE AVAILABLE, UNINTERRUPTED OR UNMODIFIED, AND (E) REGARDING THE USE OR THE RESULTS OF THE USE OF THE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, OR OTHERWISE.

NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY SONY OR AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE OF SONY SHALL CREATE A WARRANTY, DUTY OR CONDITION OR IN ANY WAY INCREASE THE SCOPE OF THIS WARRANTY. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO THESE EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

#### **LIMITATION OF LIABILITY**

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as "SONY") SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES FOR BREACH OF ANY

EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY, BREACH OF CONTRACT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY RELATED TO THE SOFTWARE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY DAMAGES ARISING OUT OF LOSS OF PROFITS, LOSS OF REVENUE, LOSS OF DATA, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE OR ANY ASSOCIATED HARDWARE, DOWN TIME AND USER'S TIME, EVEN IF ANY OF THEM HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. IN ANY CASE, EACH AND ALL OF THEIR AGGREGATE LIABILITY UNDER ANY PROVISION OF THIS EULA SHALL BE LIMITED TO THE AMOUNT ACTUALLY PAID FOR THE PRODUCT. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE EXCLUSION OR LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

#### **CONSENT TO USE OF NON-PERSONAL INFORMATION, LOCATION DATA, DATA SECURITY**

You acknowledge and agree that SONY and its affiliates, partners and agents may read, collect, transfer, process and store certain information collected from the SOFTWARE, including but not limited to information about (i) the SOFTWARE and (ii) the software applications, contents and peripheral devices that interact with your camcorder and the SOFTWARE ("Information"). Information includes, but is not limited to: (1) unique identifiers relating to your camcorder and its components; (2) performance of the camcorder, the SOFTWARE and their components; (3) configurations of your camcorder, the SOFTWARE and the software applications, contents and peripheral devices that interact with the camcorder and the SOFTWARE; (4) use and frequency of use of the functions of (x) the SOFTWARE, and

(y) the software applications, contents and peripheral devices that interact with the SOFTWARE; and (5) location data, as indicated below. SONY and its affiliates, partners and agents may use and disclose Information subject to applicable laws in order to improve its products and services or to provide products or services to you. Such uses include, but are not limited to: (a) administering the functionalities of the SOFTWARE; (b) to improve, service, update or upgrade the SOFTWARE; (c) improving, developing and enhancing the current and future products and services of SONY and other parties; (d) to provide you with information about the products and services offered by SONY and other parties; (e) complying with applicable laws or regulations; and (f) to the extent offered, providing you with location-based services of SONY and other parties, as indicated below. In addition, SONY retains the right to use Information to protect itself and third parties from illegal, criminal or harmful conduct.

Certain services available through the SOFTWARE may rely upon location information, including, but not limited to, the geographic location of the camcorder. You acknowledge that for the purpose of providing such services, SONY, the THIRD-PARTY SUPPLIERS or their partners may collect, archive, process and use such location data, and that such services are governed by the privacy policies of SONY or such third party. By using any such services, you agree that you have reviewed the privacy policies applicable to such services and consent to such activities.

SONY, its affiliates, partners and agents will not intentionally use Information to personally identify the owner or user of the SOFTWARE without your knowledge or consent. Any use of Information will be in accordance with the privacy policies of

SONY or such third party. Please contact applicable contact address of each area or country for SONY's current privacy policy.

Please contact applicable third parties for privacy policies relating to personally identifiable and other information you provide when you use or access third party software or services.

Information may be processed, stored or transferred to SONY, its affiliates or agents which are located in countries outside of your country of residence. Data protection and information privacy laws in certain countries may not offer the same level of protection as your country of residence and you may have fewer legal rights in relation to Information processed and stored in, or transferred to, such countries. SONY will use reasonable efforts to take appropriate technical and organizational steps to prevent unauthorized access to or disclosure of Information, but does not warrant it will eliminate all risk of misuse of such Information.

## **AUTOMATIC UPDATE FEATURE**

From time to time, SONY or the THIRD-PARTY SUPPLIERS may automatically update or otherwise modify the SOFTWARE, including, but not limited to, for purposes of enhancement of security functions, error correction and improvement of functions, at such time as you interact with SONY's or third parties' servers, or otherwise. Such updates or modifications may delete or change the nature of features or other aspects of the SOFTWARE, including, but not limited to, functions you may rely upon. You acknowledge and agree that such activities may occur at SONY's sole discretion and that SONY may condition continued use of the SOFTWARE upon your complete installation or acceptance of such update or modifications. Any

updates/modifications shall be deemed to be, and shall constitute part of, the SOFTWARE for purposes of this EULA. By acceptance of this EULA, you consent to such update/modification.

### **ENTIRE AGREEMENT, WAIVER, SEVERABILITY**

This EULA and SONY's privacy policy, each as amended and modified from time to time, together constitute the entire agreement between you and SONY with respect to the SOFTWARE. The failure of SONY to exercise or enforce any right or provision of this EULA shall not constitute a waiver of such right or provision. If any part of this EULA is held invalid, illegal, or unenforceable, that provision shall be enforced to the maximum extent permissible so as to maintain the intent of this EULA, and the other parts will remain in full force and effect.

### **GOVERNING LAW AND JURISDICTION**

The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods shall not apply to this EULA. This EULA shall be governed by the laws of Japan, without regards to conflict of laws provisions. Any dispute arising out of this EULA shall be subject to the exclusive venue of the Tokyo District Court in Japan, and the parties hereby consent to the venue and jurisdiction of such courts.

### **EQUITABLE REMEDIES**

Notwithstanding anything contained in this EULA to the contrary, you acknowledge and agree that any violation of or non-compliance with this EULA by you will cause irreparable harm to SONY, for which monetary damages would be inadequate, and you consent to SONY obtaining any injunctive or equitable relief that SONY deems necessary or appropriate in such circumstances. SONY may also take any legal and technical remedies to prevent violation of and/or to enforce this EULA,

including, but not limited to, immediate termination of your use of the SOFTWARE, if SONY believes in its sole discretion that you are violating or intend to violate this EULA. These remedies are in addition to any other remedies SONY may have at law, in equity or under contract.

### **TERMINATION**

Without prejudice to any of its other rights, SONY may terminate this EULA if you fail to comply with any of its terms. In case of such termination, you must: (i) cease all use, and destroy any copies, of the SOFTWARE; (ii) comply with the requirements in the section below entitled "Your Account Responsibilities".

### **AMENDMENT**

SONY RESERVES THE RIGHT TO AMEND ANY OF THE TERMS OF THIS EULA AT ITS SOLE DISCRETION BY POSTING NOTICE ON A SONY DESIGNATED WEB SITE, BY EMAIL NOTIFICATION TO AN EMAIL ADDRESS PROVIDED BY YOU, BY PROVIDING NOTICE AS PART OF THE PROCESS IN WHICH YOU OBTAIN UPGRADES/UPDATES OR BY ANY OTHER LEGALLY RECOGNIZABLE FORM OF NOTICE. If you do not agree to the amendment, you should promptly contact SONY for instructions. Your continued use of the SOFTWARE after the effective date of any such notice shall be deemed your agreement to be bound by such amendment.

### **THIRD-PARTY BENEFICIARIES**

Each THIRD-PARTY SUPPLIER is an express intended third-party beneficiary of, and shall have the right to enforce, each provision of this EULA with respect to the SOFTWARE of such party.

Should you have any questions concerning this EULA, you may contact SONY by writing to SONY at applicable contact address of each area or country.

## JQuery, Sizzle.js, Janssonについて

本製品には、MITライセンス適用の下記のソフトウェアが含まれています

jQuery JavaScript Library v1.7.2  
<http://jquery.com/>  
Copyright 2011, John Resig

Sizzle.js  
<http://sizzlejs.com/>  
Copyright 2011, The Dojo Foundation  
Date: Wed Mar 21 12:46:34 2012 -0700

Jansson 2.6  
<http://www.digip.org/jansson/>  
Copyright 2009-2013, Petri Lehtinen

### MITライセンス

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT

SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

## OpenSSLについて

本製品には、OpenSSL Toolkitで使用するためにOpenSSL Projectによって開発されたソフトウェアが含まれています (<http://www.openssl.org/>)。

### OpenSSL License

```
/*
=====
=====
* Copyright (c) 1998-2008 The OpenSSL
* Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and
* binary forms, with or without
* modification, are permitted provided
* that the following conditions are met:
*
* 1. Redistributions of source code must
* retain the above copyright notice,
* this list of conditions and the
* following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must
* reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the
* following disclaimer in the
* documentation and/or other
* materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning
* features or use of this software must
* display the following
```

```
* acknowledgment:
* "This product includes software
* developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit.
* (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and
* "OpenSSL Project" must not be used
* to endorse or promote products
* derived from this software without
* prior written permission. For written
* permission, please contact openssl-
* core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software
* may not be called "OpenSSL" nor
* may "OpenSSL" appear in their
* names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.
*
* 6. Redistributions of any form
* whatsoever must retain the following
* acknowledgment:
* "This product includes software
* developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit
* (http://www.openssl.org/)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY
* THE OpenSSL PROJECT ``AS IS''
* AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED
* WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT
* LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
* AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO
* EVENT SHALL THE OpenSSL
* PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE
* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY,
* OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
* PROCUREMENT OF SUBSTITUTE
* GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
* OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY
* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
```

```
* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR
* TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
* OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE
* USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
* ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* =====
* =====
*
* This product includes cryptographic
* software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product
* includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* /
*
Original SSLeay License
-----
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young
* (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*
* This package is an SSL
* implementation written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as
* to conform with Netscapes SSL.
*
* This library is free for commercial and
* non-commercial use as long as the
* following conditions are aheared to.
* The following conditions apply to all
* code found in this distribution, be it the
* RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not
* just the SSL code. The SSL
* documentation included with this
* distribution is covered by the same
* copyright terms except that the holder
* is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
*
* Copyright remains Eric Young's, and
* as such any Copyright notices in the
* code are not to be removed.
* If this package is used in a product,
```



\* Eric Young should be given attribution  
 \* as the author of the parts of the library  
 \* used.  
 \* This can be in the form of a textual  
 \* message at program startup or in  
 \* documentation (online or textual)  
 \* provided with the package.  
 \*  
 \* Redistribution and use in source and  
 \* binary forms, with or without  
 \* modification, are permitted provided  
 \* that the following conditions are met:  
 \* 1. Redistributions of source code must  
 \* retain the copyright notice, this list of  
 \* conditions and the following  
 \* disclaimer.  
 \* 2. Redistributions in binary form must  
 \* reproduce the above copyright  
 \* notice, this list of conditions and the  
 \* following disclaimer in the  
 \* documentation and/or other  
 \* materials provided with the  
 \* distribution.  
 \* 3. All advertising materials mentioning  
 \* features or use of this software must  
 \* display the following  
 \* acknowledgement:  
 \* "This product includes  
 \* cryptographic software written by  
 \* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"  
 \* The word 'cryptographic' can be left  
 \* out if the routines from the library  
 \* being used are not cryptographic  
 \* related :-).  
 \* 4. If you include any Windows specific  
 \* code (or a derivative thereof) from  
 \* the apps directory (application  
 \* code) you must include an  
 \* acknowledgement:  
 \* "This product includes software  
 \* written by Tim Hudson  
 \* (tjh@cryptsoft.com)"  
 \*  
 \* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY  
 \* ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY  
 \* EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES,  
 \* INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,  
 \* THE IMPLIED WARRANTIES OF

\* MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A  
 \* PARTICULAR PURPOSE ARE  
 \* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE  
 \* AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE  
 \* LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,  
 \* INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR  
 \* CONSEQUENTIAL DAMAGES  
 \* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,  
 \* PROCUREMENT OF SUBSTITUTE  
 \* GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE,  
 \* DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS  
 \* INTERRUPTION)  
 \* HOWEVER CAUSED AND ON ANY  
 \* THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN  
 \* CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR  
 \* TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR  
 \* OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT  
 \* OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN  
 \* IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF  
 \* SUCH DAMAGE.  
 \*  
 \* The licence and distribution terms for  
 \* any publically available version or  
 \* derivative of this code cannot be  
 \* changed. i.e. this code cannot simply  
 \* be copied and put under another  
 \* distribution licence [including the GNU  
 \* Public Licence.]  
 \* /

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご希望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

# 主な仕様

## 一般仕様

### 質量

約2.4 kg (本体のみ)  
約2.8 kg (レンズフード、アイカップ、  
バッテリーパックBP-U30、SxSメモ  
リーカード各1 装着時)

### 外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)

約168 × 161 × 331 mm  
突起部を含みます。  
寸法は概算値です。

### 電源電圧

DC 12 V (11V～17V)

### 消費電力

約18W  
記録時、LCD : Off、EVF : On、I/O  
Select : Off、ネットワーク機能 : Off  
約23W  
記録時、LCD : On、EVF : Off、I/O  
Select : HD SDI、ネットワーク機能 :  
On

### 動作温度

0℃～+40℃

### 保存温度

-20℃～+60℃

### 連続動作時間

約4.5時間 (バッテリーパックBP-U90使用  
時)  
約3時間 (バッテリーパックBP-U60/BP-  
U60T使用時)  
約1.5時間 (バッテリーパックBP-U30使用  
時)  
(記録時、LCD : Off、EVF : On、I/O Select  
: Off、ネットワーク機能 : Off)

## 記録フォーマット (ビデオ)

### XAVC Intra

XAVC-Iモード：CBG、最大ビットレート  
112Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

### XAVC Long

XAVC-L50モード：VBR、最大ビットレート  
50Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L35モード：VBR、最大ビットレート  
35Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

XAVC-L25モード：VBR、最大ビットレート  
25Mbps、MPEG-4 H.264/AVC

### MPEG-2 Long GOP

MPEG HD422モード：CBR、最大ビット  
レート50Mbps、MPEG-2 422P@HL

MPEG HD420HQモード：VBR、最大ビット  
レート35Mbps、MPEG-2 MP@HL

MPEG HD420 SPモード：CBR、最大ビット  
レート25Mbps、MPEG-2 MP@H-  
14

### MPEG IMX

IMX50モード：CBR、50Mbps、MPEG-2  
422P@ML Intra

### DVCAM

DVCAMモード：CBR、25Mbps、DVCAM

### Proxy

AVC/H.264 Main Profile 4:2:0 Long GOP

1280x720/9Mbps、6Mbps

640x360/3Mbps

480x270/1Mbps、500kbps (VBR)

## 記録フォーマット (オーディオ)

### exFAT

XAVC-Iモード：LPCM 24ビット、48kHz、  
4 チャンネル

XAVC-Lモード：LPCM 24ビット、48kHz、  
4 チャンネル

MPEG HD422モード：LPCM 24ビット、  
48kHz、4 チャンネル

MPEG HD420HQ モード：LPCM 16ビット  
ト、48kHz、4 チャンネル

DVCAMモード：LPCM 16ビット、48kHz、  
4 チャンネル

### UDF

MPEG HD422モード：LPCM 24ビット、  
48kHz、4 チャンネル

MPEG HD420 HQモード：LPCM 16ビット  
ト、48kHz、4 チャンネル

IMX50モード：LPCM24/16ビット、  
48kHz、4 チャンネル

DVCAMモード：LPCM 16ビット、48kHz、  
4 チャンネル

### FAT

MPEG HD420HQモード：LPCM16ビット、  
48kHz、4チャンネル

MPEG HD420SPモード：LPCM 16ビット、  
48kHz、4チャンネル

DVCAMモード：LPCM16ビット、48kHz、  
2チャンネル

### Proxy

AAC-LC、128kbps、2チャンネル

## 記録フレームレート

### exFAT

XAVC-Iモード：1920x1080/59.94i、50i、  
29.97P、23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P

XAVC-L50モード：1920x1080/59.94P、  
50P、59.94i、50i、29.97P、

23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P

XAVC-L35モード：1920x1080/59.94P、  
50P、59.94i、50i、29.97P、

23.98P、25P

XAVC-L25モード：1920x1080/59.94i、50i

MPEG HD422モード：1920x1080/59.94i、  
50i、29.97P、23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P、29.97P、

23.98P、25P

MPEG HD420 HQモード：1920x1080/  
59.94i、50i、29.97P、23.98P、

25P

1440x1080/59.94i、50i、29.97P、

23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P、23.98P

(2-3 Pull Down)

DVCAMモード：720x480/59.94i、  
29.97PsF

720x576/50i、25PsF

### UDF

MPEG HD422モード：1920x1080/59.94i、  
50i、29.97P、23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P、29.97P、

23.98P、25P

MPEG HD420 HQモード：1920x1080/  
59.94i、50i、29.97P、23.98P、

25P

1440x1080/59.94i、50i、29.97P、

23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P、23.98P

(2-3 Pull Down)

MPEG IMX50モード：720x486/59.94i、  
29.97PsF

720x576/50i、25PsF

DVCAMモード：720x480/59.94i、  
29.97PsF

720x576/50i、25PsF

## FAT

MPEG HD420 HQモード：1920x1080/  
59.94i、50i、29.97P、23.98P、  
25P

1440x1080/59.94i、50i、29.97P、  
23.98P、25P

1280x720/59.94P、50P、29.97P、  
25P、23.98P

MPEG HD420 SPモード：1440x1080/  
59.94i、50i、23.98P (2-3 Pull  
Down)

DVCAMモード：720x480/59.94i、  
29.97PsF

720x576/50i、25PsF

## Proxy

本機記録フォーマット1920x1080時：  
29.97P、25P、23.98P

本機記録フォーマット1280x720時：  
59.94P、50P、29.97P、25P、  
23.98P

## 連続記録時間

以下の数値は1クリップだけでメディアフルになるまで記録を行った場合の最長記録時間です。複数のクリップを作成すると、クリップ数によっては最長記録時間が短くなる場合があります。

### exFAT

XAVC-Iモード

約120分：SBP-128B (128GB) 使用時

約60分SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約30分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

XAVC-L 50モード

約240分：SBP-128B (128GB) 使用時

約120分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約60分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

XAVC-L 35モード

約340分：SBP-128B (128GB) 使用時

約170分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約85分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

XAVC-L 25モード

約440分：SBP-128B (128GB) 使用時

約220分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約110分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## MPEG HD422モード

約240分：SBP-128B (128GB) 使用時

約120分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約60分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## MPEG HD420 HQモード

約360分：SBP-128B (128GB) 使用時

約180分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約90分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## DVCAMモード

約440分：SBP-128B (128GB) 使用時

約220分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約110分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## UDF

## MPEG HD422モード

約240分：SBP-128B (128GB) 使用時

約120分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約60分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## MPEG HD420 HQモード

約360分：SBP-128B (128GB) 使用時

約180分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約90分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## MPEG IMX50モード

約240分：SBP-128B (128GB) 使用時

約120分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約60分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## DVCAMモード

約440分：SBP-128B (128GB) 使用時

約220分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約110分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## FAT

## MPEG HD420 HQモード

約400分：SBP-128B (128GB) 使用時

約200分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約100分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## MPEG HD420 SPモード

約560分：SBP-128B (128GB) 使用時

約280分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約140分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## DVCAMモード

約520分：SBP-128B (128GB) 使用時

約260分：SBP-64B/SBS-64G1A (64GB) 使用時

約130分：SBS-32G1A (32GB) 使用時

## レンズ

### レンズマウント

固定式

### ズーム比

17倍（光学）、電動/手動切り換え可能

### 焦点距離

f5.6 mm～95.2mm  
(35 mm換算：29.3 mm～499 mm)

### 絞り

自動/手動切り換え可能  
F1.9 ～ F16およびC（クローズ）

### フォーカス範囲

AF/MF/FullMF切り換え可能  
800 mm to ∞（マクロOFF）  
50 mm to ∞（マクロON、広角端）  
800 mm to ∞（マクロON、望遠端）

### 手ぶれ補正

ON/OFF可能、シフトレンズ方式

### フィルター径

M77 mm、ピッチ0.75 mm

## カメラ部

### 撮像素子

1/2型3板“Exmor” Full HD CMOSイメージセンサー

### 有効画素数

1920 (H) × 1080 (V)

### 分光系

F1.6 プリズムシステム

### 内蔵フィルター

NDフィルター  
CLEAR: クリア  
1: 1/8ND  
2: 1/64ND

### 感度（2000ルクス、89.9%反射）

F12（標準）（1920 x 1080/59.94i モード）  
F13（標準）（1920 x 1080/50i モード）

### 最低被写体照度

0.09 lx（標準）（1920 x 1080/59.94i）  
0.07 lx（標準）（1920 x 1080/50i）  
（F1.9、+18 dB、64フレーム蓄積、ガンマ：Off、ビデオレベル：100%）  
0.02 lx（標準）（1920 x 1080/59.94i）  
0.02 lx（標準）（1920 x 1080/50i）  
（F1.9、+18 dB、64フレーム蓄積、ガンマ：On、ビデオレベル：50%）

### SN比

58 dB (Y)（標準）

### 水平解像度

1000TV本以上（1920 x 1080iモード）

### シャッタースピード

1/32 ～ 1/2000秒

### スローシャッター（SLS）

2、3、4、5、6、7、8、16、32、  
64フレーム

### スロー&クイックモーション

XAVC Intra/XAVC Long  
1080P  
NTSC：1～30、60フレーム  
PAL：1～25、50フレーム  
720P  
NTSC：1～60フレーム  
PAL：1～50フレーム  
MPEG HD422  
1080P  
NTSC：1～30フレーム  
PAL：1～25フレーム  
720P  
NTSC：1～60フレーム  
PAL：1～50フレーム  
MPEG HD420 HQ  
1080P：1～30フレーム  
720P：1～60フレーム

### ホワイトバランス

プリセットモード（3200K）、  
メモリー Aモード、メモリー Bモード/  
ATWモード

### ゲイン

-3、0、3、6、9、12、18 dB、AGC

### ガンマカーブ

切り換え可能

## 入出力

### オーディオ入力

XLR型3ピン（2）、凹型、LINE/MIC/  
MIC+48V切り換え可能  
LINE：+4 dBu  
MIC：-30 dBu ～ -70 dBu  
（基準レベル 0dBu=0.775Vrms）

### コンボジット出力

AVマルチコネクター（1）（オーディオ出力  
と共通）  
NTSCまたはPAL

## ビデオ出力

BNC型 (1)、GENLOCK IN端子と切り換え可能、HD-Y/コンポジット信号  
1.0 Vp-p、75 Ω

## オーディオ出力

AVマルチコネクタ (1) (コンポジット出力と共通)  
-10dBu (基準レベル)、47kΩ

## SDI出力

BNC型 (1)、3G/HD/SD切り換え可能  
SMPTE292M/259M/424M/425M

## i.LINK

IEEE 1394、4ピンコネクタ (1)、  
HDV (HDV 1080i) / DV入出力、S400

## タイムコード入力

BNC型 (1)、TC OUT端子と切り換え可能  
0.5 V ~ 18 Vp-p、10 kΩ

## タイムコード出力

BNC型 (1)、TC IN端子と切り換え可能  
1.0 Vp-p、75 Ω

## GENLOCK入力

BNC型 (1)、VIDEO OUT端子と切り換え可能  
1.0 Vp-p、75 Ω

## USB

mini-B (1)

## イヤホン出力

ステレオミニジャック (1)  
-18 dBu (基準レベル出力 16Ω負荷時)

## スピーカー出力

モノラル  
出力：250 mW

## DC入力

DC ジャック (1)

## レンズリモート端子

丸型8ピン (1)

## HDMI出力

Type A型 (1)

## 外部機器接続端子

4ピン (Type A) (1)

## 表示部

## ビューファインダー

0.45型カラー LCD：852 (H) × 480 (V)、  
16:9

## LCDモニター

3.5型カラー LCDモニター：960 (H) × 3  
(RGB) × 540 (V)、16:9

## 内蔵マイク

## 内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデンサマイク

## メディアスロット部

## タイプ

ExpressCard/34 (2)

## 付属品

レンズフード (1)

あらかじめ本機に装着されています。

EVFアイカップ (1)

あらかじめ本機に装着されています。

赤外線リモコン (1)

USB無線LANモジュールIFU-WLM3 (1)

コールドシューキット (1)

USBケーブル (1)

AV接続ケーブル (1)

ショルダーベルト (1)

ボタン電池 (バックアップ用CR2032) (1)

あらかじめ本機に装着されています。

ボタン電池 (リモコン用CR2025) (1)

あらかじめリモコンに装着されています。

保証書 (1)

ご使用になる前に (1)

CD-ROM (取扱説明書) (1)

## ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアを下記サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト  
ホームページ：

アメリカ合衆国 <http://pro.sony.com>

カナダ	<a href="http://www.sonybiz.ca">http://www.sonybiz.ca</a>
ラテンアメリカ	<a href="http://sonypro-latin.com">http://sonypro-latin.com</a>
ヨーロッパ	<a href="http://www.pro.sony.eu/pro">http://www.pro.sony.eu/pro</a>
中東、アフリカ	<a href="http://sony-psmea.com">http://sony-psmea.com</a>
ロシア	<a href="http://sony.ru/pro/">http://sony.ru/pro/</a>
ブラジル	<a href="http://sonypro.com.br">http://sonypro.com.br</a>
オーストラリア	<a href="http://pro.sony.com.au">http://pro.sony.com.au</a>
ニュージーランド	<a href="http://pro.sony.co.nz">http://pro.sony.co.nz</a>
日本	<a href="http://www.sonybsc.com">http://www.sonybsc.com</a>
アジア	<a href="http://pro.sony-asia.com">http://pro.sony-asia.com</a>
韓国	<a href="http://bp.sony.co.kr">http://bp.sony.co.kr</a>
中国	<a href="http://pro.sony.co.cn">http://pro.sony.co.cn</a>
インド	<a href="http://pro.sony.co.in">http://pro.sony.co.in</a>

## Sony Creative Software社のソフトウェアダウンロードページ

[http://www.sonycreativesoftware.com/download/software\\_for\\_sony\\_equipment](http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment)

## 別売りアクセサリー

### バッテリーパック

BP-U30、BP-U60、BP-U60T、BP-U90

### バッテリーチャージャー /ACアダプター

BC-U1、BC-U2

### SxSメモリーカード

SxS PROシリーズ

SxS-1シリーズ

### SxSメモリーカードUSBリーダー /ライター

SBAC-US20

### メディアアダプター

QDA-EX1 (XQDメモリーカード用)

MEAD-SD02 (SDHC/SDXCカード用)

### エレクトレットコンデンサーマイクロホン

ECM-VG1、ECM-673、ECM-674、

ECM-678、ECM-MS2、ECM-680S

### マルチインターフェースシュー対応バッテリービデオライト

HVL-LBPC

### マルチインターフェースシュー対応ワイヤレスマイクロホン

UWP-D11/D12

### マルチインターフェースシューマウントアダプター

SMAD-P3

## ネットワークアダプターキット

CBK-NA1

- \* これらのアクセサリーを後部アクセサリーシューに取り付けて使用する場合は、コールドシューキットを取り付けてください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

## 商標について

- “XDCAM” はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC” および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft、WindowsはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- iOSは、米国スiscoの商標もしくは登録商標です。

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの米国およびその国における登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。



# 索引

## あ行

アクセサリシュー	10
アクセサリシュー 取り付け部	10
アサインابلボタン	43
頭出し	97
位置合わせ	48
インターバルレック	43
エクスポージャー	36
エラー表示	184
オーディオステータス画面	106
オートシャッター	36
オートホワイトバランス	34
オールクリップサムネイル画面	96
音声記録	39
音声モニター	41

## か行

外部同期	156
外部入力信号	155
外部マイク	39
外部モニター	150
拡大フォーカス	37
カメラステータス画面	105
カラーバー	41
基準音声信号	41
クリップ	30, 57, 96, 152
クリップエクスパンド画面	98, 102
クリップコンティニュースレック	45
クリップ操作メニュー	98
クリップ名	30
警告表示	184
ゲイン	35
ゲンロック	156
誤操作防止	30
コマ撮り	44

## さ行

サムネイル画面	98, 94
視度調整つまみ	21
自動追尾ホワイトバランス	32
充電繰り返し回数	107
シューバネ	10

出力信号	166
ジョグダイヤル	111
ショットマーク	41, 97, 103, 104
ショットマーク画面	98, 103
ズーム	36
ズームスピード	105
ステータス画面	105
スロー&クイックモーション	47
赤外線リモコン	21
設定データ	57
セットアップメニュー	109, 114
ゼブラパターン	34

## た行

タイムコード	156
タイムデータ	39
ダイレクトメニュー	16
超高感度スローシャッター	35
手ぶれ補正	38
電子シャッター	35
電動ズームレバー	37
時計	20

## な行

内蔵ステレオマイク	39
内蔵スピーカー	97
入出力制限	174, 175
ネットワーククライアントモード	81
ノンリニア編集	154

## は行

バックアップ電池	181
バックライト	21
バッテリーチャージャー	18
バッテリーパック	18
バッテリー / メディアステータス画面	107
ハンドル ZOOM ボタン	37
ピーキング	37
ピクチャーキャッシュレック	46
ピクチャープロファイル	49
被写界深度バー表示	15
ヒストグラム表示	15
日付 / 時刻	20
ビデオステータス画面	107
ビデオフォーマット	32
ビューファインダー	20

ビューファインダー視度調整つまみ .....	10
フォーカス .....	37
フォーマット（初期化） .....	23, 25, 26, 27
フランジバック .....	49
ブランニングメタデータ .....	60
フリーズミックス .....	48
プリセットモード .....	32
フリッカー .....	38
フルオートモード .....	29
フレームレック .....	44
プロキシー記録 .....	64
ヘッドホン端子 .....	41, 97
ボタン/リモート ステータス画面 .....	107
ホワイトバランス .....	32

## ま行

マーカー .....	34
マクロモード .....	38
メディアアダプター .....	25
メモリー A モード .....	32
メモリー B モード .....	32
モニター音量 .....	41

## や行

ユーザービット .....	39
---------------	----

## ら行

リモートコマンダー（リモコン） .....	13
リモコン発光部 .....	13
レックスタートマーク .....	45, 99
レックレビュー .....	43
録音レベル .....	40

## A

AC アダプター .....	18
AC 電源 .....	19
ACCESS ランプ .....	23
AGC モード .....	35
All Reset .....	140
Aperture .....	55
Area Detection .....	56
Assign Button .....	43, 142
ATW .....	32
ATW Mode .....	124
ATW Speed .....	123
Audio Input .....	125

AUDIO LEVEL 調整つまみ .....	41
Audio Output .....	126
AUDIO SELECT スイッチ .....	40
AUDIO SET メニュー .....	125
Auto Black Bal. ....	124
Auto FB Adjust .....	49
Auto Naming .....	30
Auto Shutter .....	36
A/V OUT 端子 .....	151

## B

Battery Alarm .....	143
Battery INFO .....	143
Black .....	56
Black Gamma .....	56

## C

Camera Data .....	140
CAMERA SET メニュー .....	117
Channel .....	137
Clip .....	145
Clip Cont. Rec. ....	45, 119
Clip Name Disp. ....	148
Clock Set .....	141
CMOS イメージセンサー .....	160
Color Bars .....	118
Color Correction .....	52
Copy .....	56
Copy All .....	146
Country .....	144

## D

Date/Time .....	20
DC IN 端子 .....	19
DISP CLIP INFO .....	100
Display On/Off .....	130
DISPLAY ボタン .....	14
Down Converter .....	128
DURATION/TC/U-BIT ボタン .....	39

## E

EVF .....	21, 129
EXPAND (COARSE) .....	103
EXPAND (FINE) .....	103
ExpressCard スロット .....	152

## F

Flicker Reduce .....	38, 118
FOCUS MAG ボタン .....	37
Format .....	144
Format Media .....	146
Frame Rec .....	119
Freeze Mix .....	48
FULL AUTO ボタン .....	29
Full MF モード .....	37

## G

Gain Setup .....	117
Gamma .....	55
Genlock .....	143, 157
GENLOCK IN 端子 .....	156
GPS .....	148
GPS 受信状況 .....	63
GPS 状態表示 .....	15
GPS ステータス画面 .....	108
GPS モジュール .....	10

## H

Handle Zoom .....	118
HD Detail .....	53
HDMI OUT 端子 .....	150
HD/SD .....	144
Hours Meter .....	143

## I

Image Inversion .....	124
Input Source Select .....	127
Interval Rec .....	119
IP Address .....	137
IR Remote .....	21, 143
i.LINK .....	154
i.LINK 端子 .....	151

## K

Knee .....	55
KP フラグ .....	42

## L

Language .....	141
LCD .....	20, 129

LCD/VF SET メニュー .....	129
LENS REMOTE 端子 .....	37
Low Key SAT .....	56

## M

MACRO スイッチ .....	38
Marker .....	130
Match Clip Name .....	129
Matrix .....	51
MEAD-SD02 .....	26, 203
Media Full .....	24
Media Near Full .....	24
Menu Settings .....	149
MENU ボタン .....	111
MF Assist .....	118
Multi Matrix .....	52
Multi Matrix mode .....	51

## N

ND フィルター .....	32
Network Mode .....	135
Network Remote .....	137
Network Reset .....	139
NFC .....	137
NG フラグ .....	42
NW Client Edit .....	135
NW Client Mode .....	135
NW&Proxy/USB .....	135

## O

OK クリップサムネイル画面 .....	96
OK フラグ .....	42
OK マーク .....	42
OTHERS メニュー .....	140

## P

Password .....	139
PAUSE .....	103, 104
Peaking .....	37, 129
PEAKING ボタン .....	37
Plan.Metadata .....	60, 147
PLAY/PAUSE ボタン .....	96
PP Data .....	56
Profile Name .....	51
Proxy .....	122
P.Cache Rec .....	119

## R

REC HOLD レバー .....	30
Rec Review .....	43, 122
REC REVIEW ボタン .....	30
REC START MARK .....	99
REC START/STOP ボタン .....	30
RECENT FILES ステータス画面 .....	108
Regenerate Key .....	137
Reset .....	56

## S

SD Detail .....	54
SDHC カード .....	26
SDI OUT 端子 .....	150
SDI Rec Control .....	129, 150
SDI/HDMI/i.LINK I/O Select .....	127
SDI/HDMI/Video Out Super .....	128
SEL/SET ダイアル .....	111
SEL/SET ボタン .....	111
Shockless White .....	123
Shutter .....	117
Simul Rec .....	122
Skin Tone Detail .....	54
SLOT SELECT ボタン .....	23
SLS/EX SLS .....	117
SSID & Key(AP) .....	137
SSID(ST) .....	137
Station Set .....	138
Streaming .....	136
Streaming Edit .....	136
SxS デバイスドライバソフトウェア .....	152
SxS メモリーカード .....	22
System .....	144
S&Q Motion .....	47, 120

## T

Tally .....	143
TC Format .....	134
TC IN 端子 .....	157
TC Out .....	158
TC OUT 端子 .....	158
TC/UB SET メニュー .....	133
Time Zone .....	20, 141
Timecode .....	38, 133
TLCS .....	15, 29, 123

Trigger Mode .....	143, 154
--------------------	----------

## U

UDF/FAT .....	144
USB ケーブル .....	152
USB メモリー .....	27
フォーマット .....	27
USB ワイヤレス LAN モジュール .....	66
USER メニュー .....	114
User Data .....	140
USER MENU CUSTOMIZE メニュー .....	114
User Name .....	139
Users Bit .....	133
UTC .....	20

## V

Version .....	148
Version Up .....	148
Video Light Set .....	124
VIDEO OUT 端子 .....	150
VIDEO SET メニュー .....	127
VOLUME ボタン .....	41, 97

## W

White .....	53
WHITE BAL スイッチ .....	33
WHITE BAL ボタン .....	34
White Clip .....	55
White Switch .....	123
Wi-Fi .....	
Wi-Fi Version .....	139
Wi-Fi Version Up .....	139
Wi-Fi リモコン .....	84
Wired LAN Set .....	138
WPS .....	137

## X

XQD メモリーカード .....	25
-------------------	----

## Z

Zebra .....	34, 130
Zoom Speed .....	37, 118
Zoom Transition .....	119

## 数字

23.98P Output .....	128
---------------------	-----

